

平成 29 年度
静岡市「子どもの生活実態調査」
【調査結果報告書】

静 岡 市

【目次】

I	調査の概要	
1	調査目的	2
2	市民アンケート調査結果	2
3	支援者ヒアリング・アンケート調査	4
II	市民アンケート調査結果	
	子ども	
1	あなたのこと	6
2	普段の生活のこと	7
3	学校や勉強のこと	42
4	普段考えていること	56
5	静岡市の取組について	78
	保護者	
1	回答者のこと	85
2	世帯のこと	86
3	子どものこと	100
4	回答者と回答者の配偶者の状況	143
5	現在の暮らしの状況	188
6	静岡市の取組について	199
	参考数値	
	参考数値	211
III	支援者ヒアリング・アンケート調査結果	
1	ヒアリング実施結果	214
2	アンケート実施結果	219
IV	参考資料	
1	調査票（子ども）	228
2	調査票（一般：保護者）	236
3	調査票（制度利用者：保護者）	252

本調査の実施にあたり、以下の有識者の皆様にご協力いただいた。

小田川 華子 氏 首都大学東京 子ども・若者貧困研究センター
特任研究員

末富 芳 氏 日本大学 文理学部 教育学科 教授

津富 宏 氏 静岡県立大学 国際関係学部 教授

(50 音順)

1 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

本市における子どものいる世帯の状況を把握することを目的に、本年度「子どもの生活実態調査」を実施しました。調査の概要は下記のとおりです。

2 市民アンケート調査結果

(1) 調査対象者

① 一般調査

ア	5歳の子ども（年中相当）の保護者	1,500 世帯
イ	10歳の子ども（小学5年）とその保護者	2,031 世帯
ウ	13歳の子ども（中学2年）とその保護者	1,570 世帯
エ	16歳の子ども（高2相当）とその保護者	1,500 世帯

※ 5歳及び16歳の子どもは、住民基本台帳より無作為抽出。10歳の子どもは全小学校の5年1組、13歳の子どもは全中学校の2年1組（ただし、全校生徒500人以上の中学校においては2年2組まで）の児童・生徒に学校を通じて調査票を配付。

② 制度利用者

生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯のうち、0歳から17歳（平成29年4月1日現在）の子どもとその保護者2,000世帯（子どもの回答は、小学校5年生以上に依頼。）

(2) 調査期間 平成29年7月12日（水）から平成29年8月31日（木）まで

(3) 調査方法 上記(1)ア、エ、制度利用者は郵送配付・郵送回収
イ、ウは学校配付・郵送回収

(4) 回収状況

調査票			配付数	有効回収数	有効回答率
一般	5歳	保護者	1,500	700	46.7 %
		子ども	1,500	700	46.7 %
	10歳	保護者	2,031	1,061	52.2 %
		子ども	2,031	1,042	51.3 %
	13歳	保護者	1,570	693	44.1 %
		子ども	1,570	687	43.8 %
16歳	保護者	1,500	413	27.5 %	
	子ども	1,500	404	26.9 %	
制度利用者		保護者	2,000	578	28.9 %
		子ども	2,000	382	19.1 %
合計		保護者	8,601	3,445	40.1 %
		子ども	7,101	2,515	35.4 %
		計	15,702	5,960	38.0 %

(5)集計結果の見方

- 回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率で（％）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならないことがあります。
- グラフ内で回答者数がない場合の「0」表示については、省略しています。
- MA（複数回答）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を除いています。なお、クロス集計とは、複数の項目を組み合わせで分類した集計のことで、複数の設問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

【階層区分について】

- 保護者からの回答（世帯員の数・世帯の可処分所得）をもとに、等価可処分所得（※）を算出し、これをもとに困窮の程度を4つの階層に分類し、比較分析を行いました。

※ 等価可処分所得

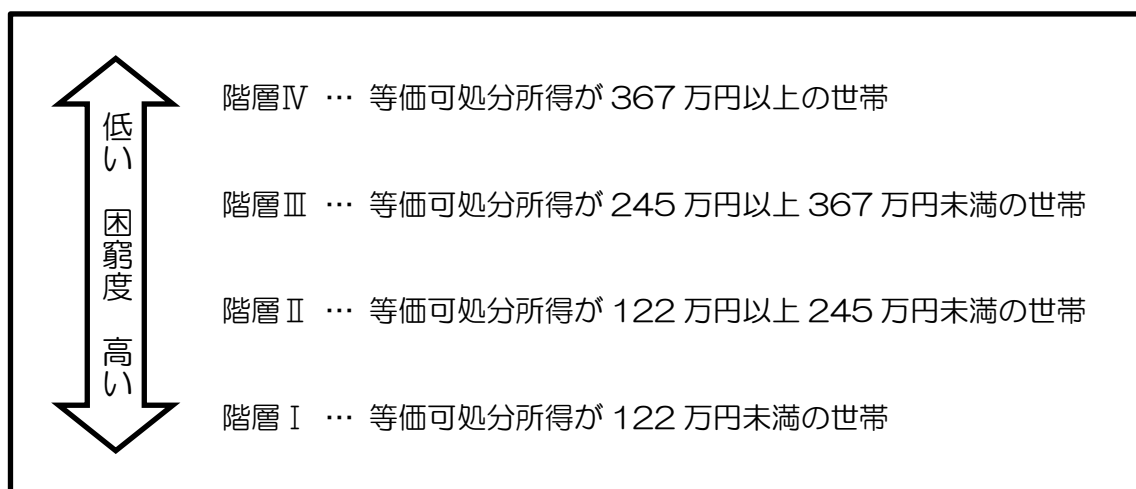
世帯の可処分所得（収入から税金や社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得のことをいい、この算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づいています。

なお、本市で実施した「子どもの生活実態調査」では、世帯の所得額について、回答者の負担を考慮し、50～100万円の幅を持たせた選択肢で回答を求めています。

そのため、選択肢の上限値と下限値の平均値を世帯人員の平方根で割って調整した値を当てはめています。

- ※ 厚生労働省が平成28年度に実施した国民生活基礎調査では、等価可処分所得の中央値は245万円であり、その半分（貧困線）を下回る世帯を相対的貧困と位置付けています。

本市では、この中央値を基準とし、以下の4階層に分類しています。



3 支援者ヒアリング・アンケート調査

(1) 調査対象

ヒアリング (9か所)	児童養護施設(2か所)、母子生活支援施設(1か所)、母子寡婦福祉会(1か所)、民生委員・主任児童委員(3区)、学習支援・生活支援を行う団体(2か所)
アンケート (430か所)	市立小学校・中学校、こども園、幼稚園、保育園、スクールソーシャルワーカー、各区子育て支援課、各区生活支援課、保健福祉センター、児童館、放課後児童クラブ (対象430か所中284か所が回答(回収率約66%))

(2) 調査期間

平成29年7月下旬～8月末まで

(3) 調査方法

ヒアリング：上記9か所に対し、対面による聞き取り調査を実施

アンケート：上記430か所に対し、調査票配付によるアンケート調査を実施

(4) 調査項目

- ① 困難を抱える(抱えやすい)子どもの特徴・課題等
- ② 困難を抱える(抱えやすい)保護者の特徴・課題等
- ③ 支援にあたっての課題
- ④ これまでの支援の中で、課題を抱える子どもや保護者の状況が改善したときの要因や工夫した取組
- ⑤ 今後、市が実施する必要がある支援

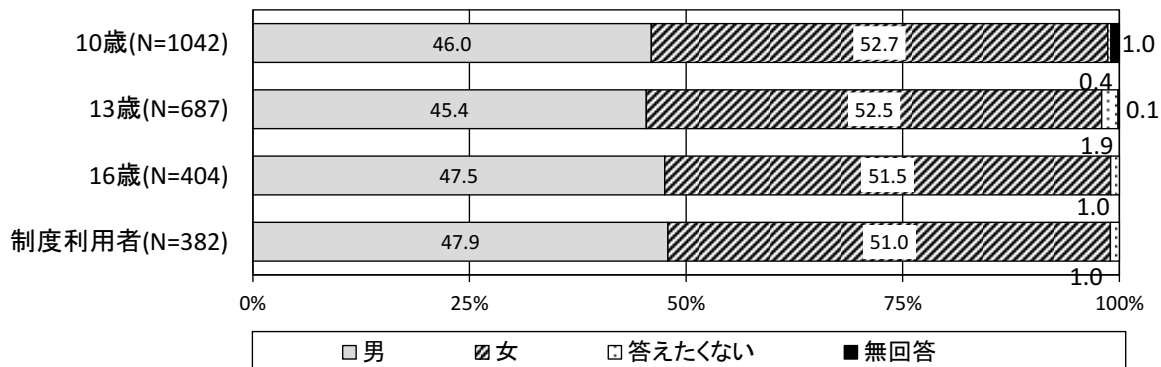
Ⅱ 市民アンケート調査結果

2 市民アンケート調査結果

子ども

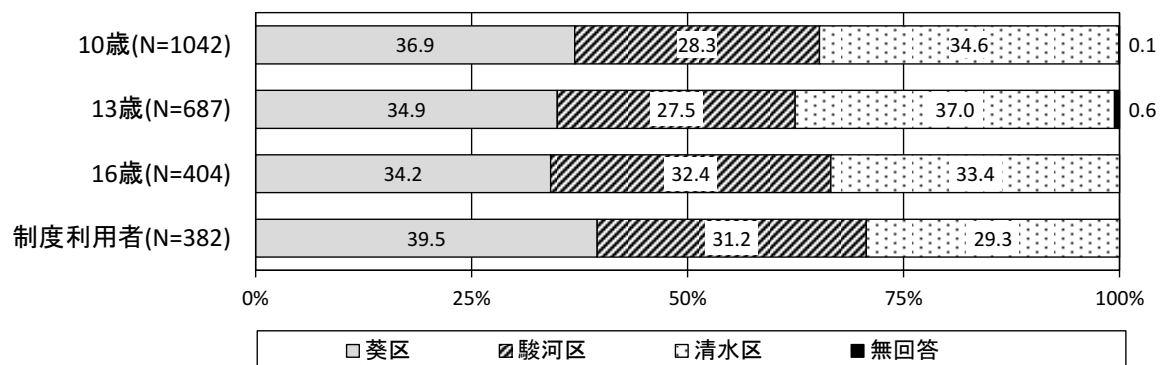
1 あなたのこと

問1 あなたの性別を教えてください。



各年齢、制度利用者とも、女性の回答が半数以上となっています。

問2 あなたの住んでいる区を教えてください。

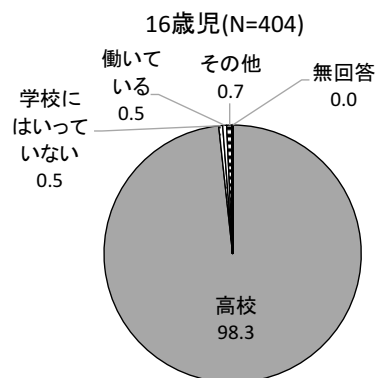


各年齢、制度利用者ともほぼ均等に回答されています。

問3 あなたが今通っている学校や仕事の状況を教えてください。

※10歳、13歳については小学校・中学校が100%。

16歳では、高校98.3%、学校に行っていない0.5%、働いている0.5%、その他0.7%となっています。



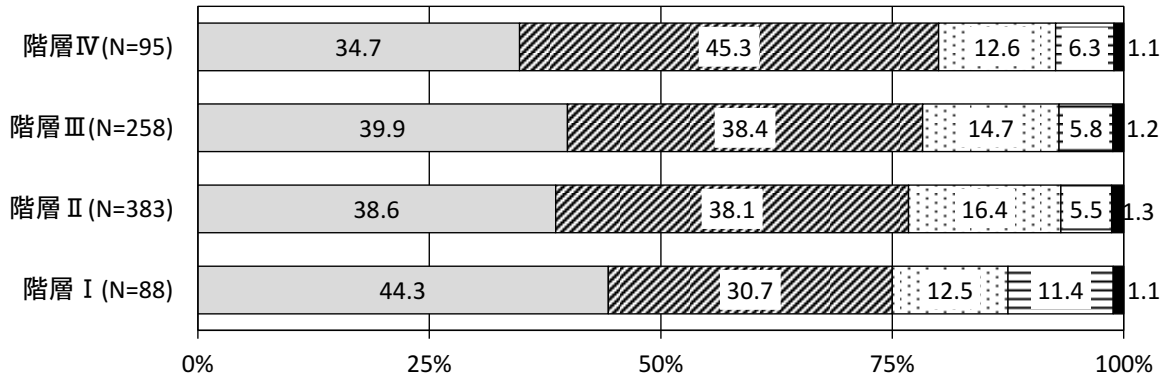
問4 あなたの学年を教えてください。

問4については、問3と同じため、掲載していません。

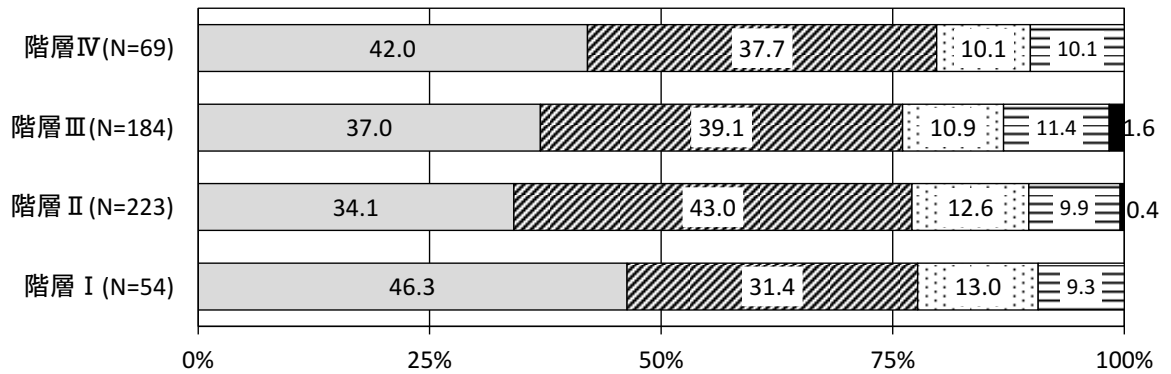
2 普段の生活のこと

問5 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、朝決まった時間に起きられますか。

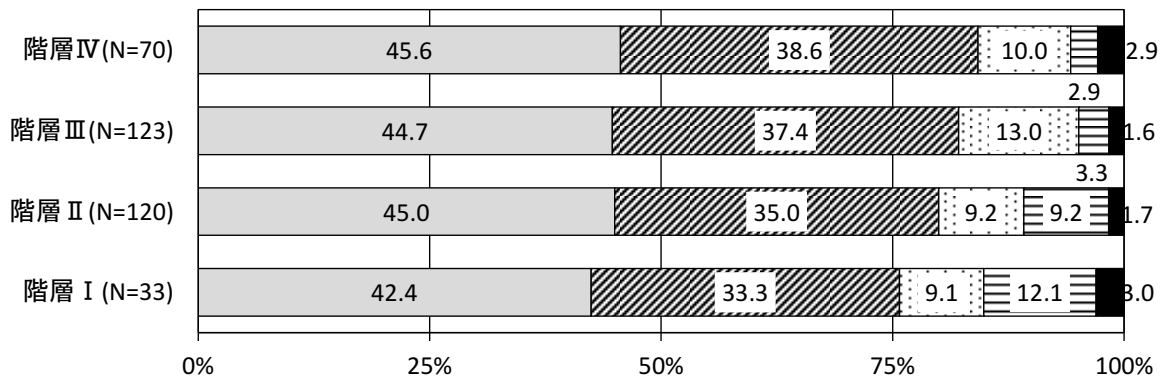
10歳



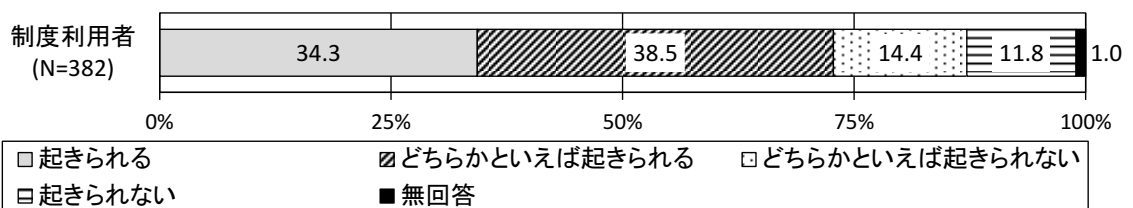
13歳



16歳



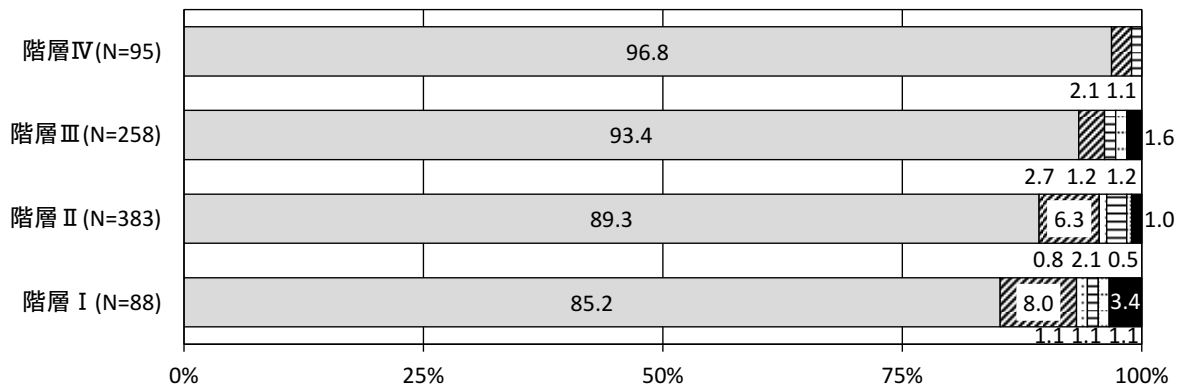
制度利用者



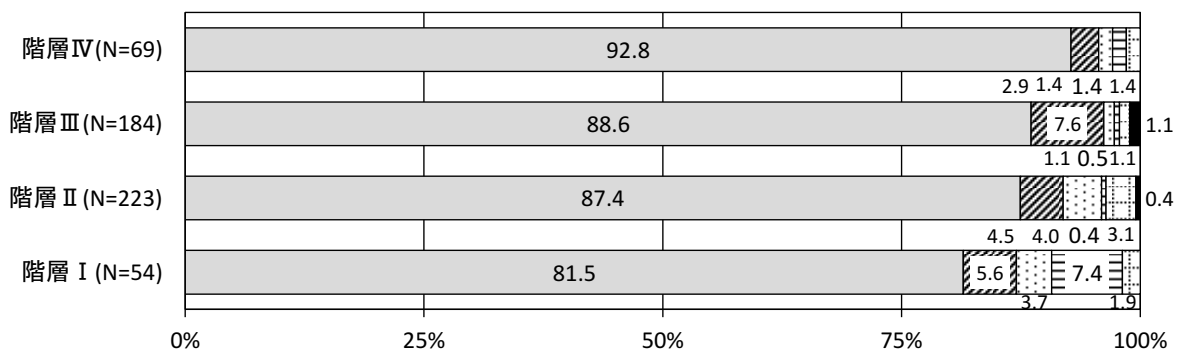
10歳、16歳では、階層が低くなるにしたがって、起きられない（「どちらかといえば起きられない」「起きられない」）の割合がやや高くなっています。

問6 あなたは、朝ごはんをどれくらい食べていますか。

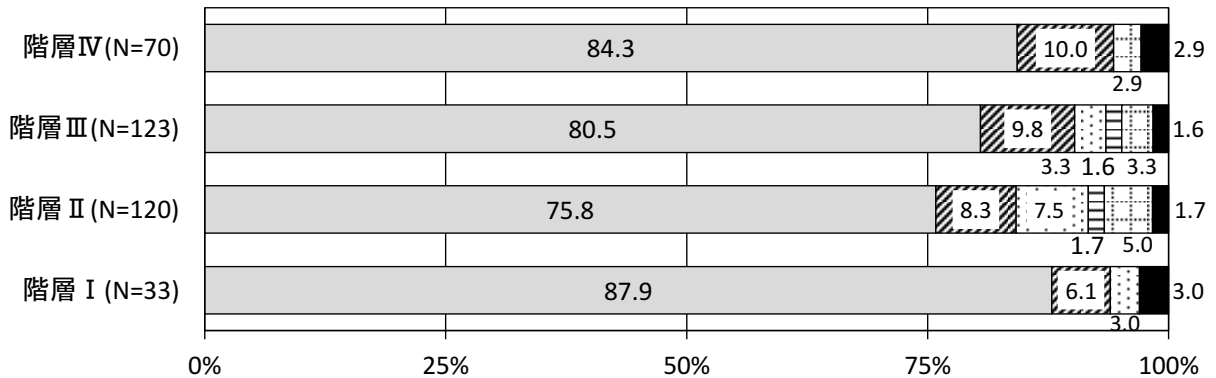
10歳



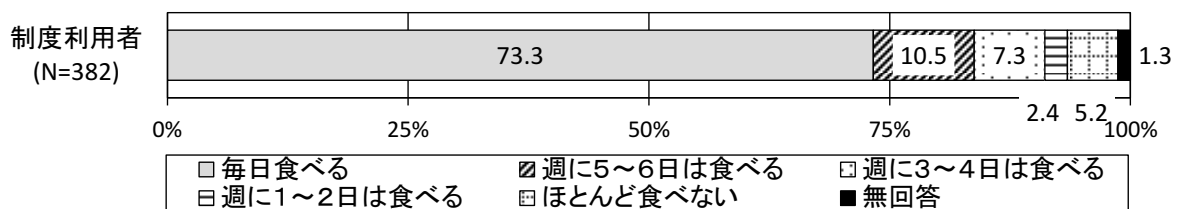
13歳



16歳



制度利用者

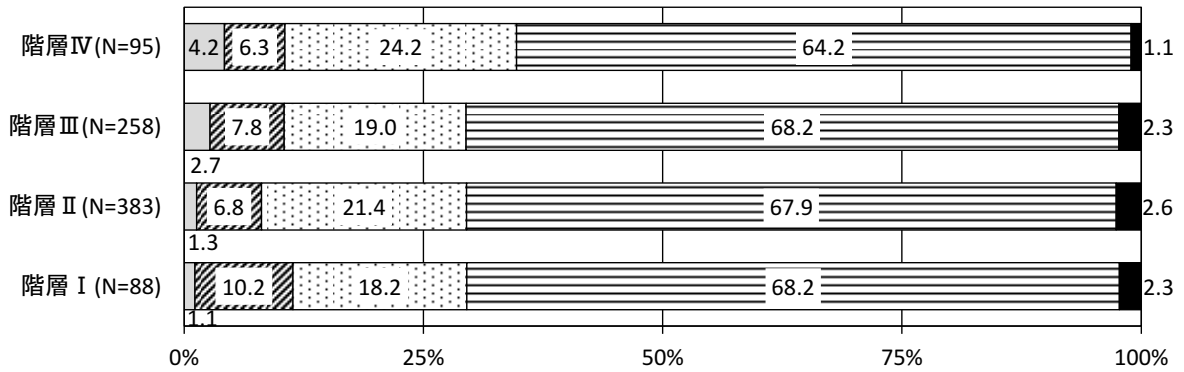


朝ごはんを食べる頻度についてみると、10歳、13歳では、階層が低くなるほど「毎日食べる」が低くなっています。

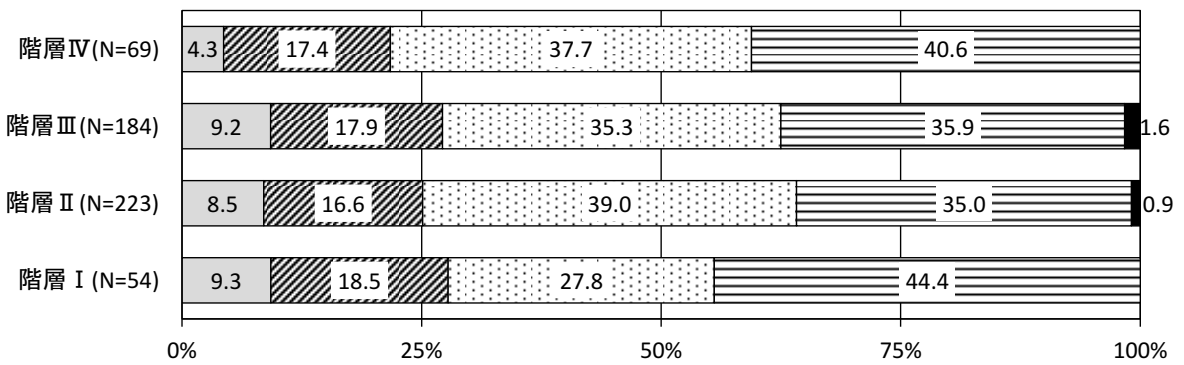
また、制度利用者も「毎日食べる」が最も低く、73.3%となっています。

問 7-1 あなたは家で、ひとりで夕ごはんを食べることがありますか。

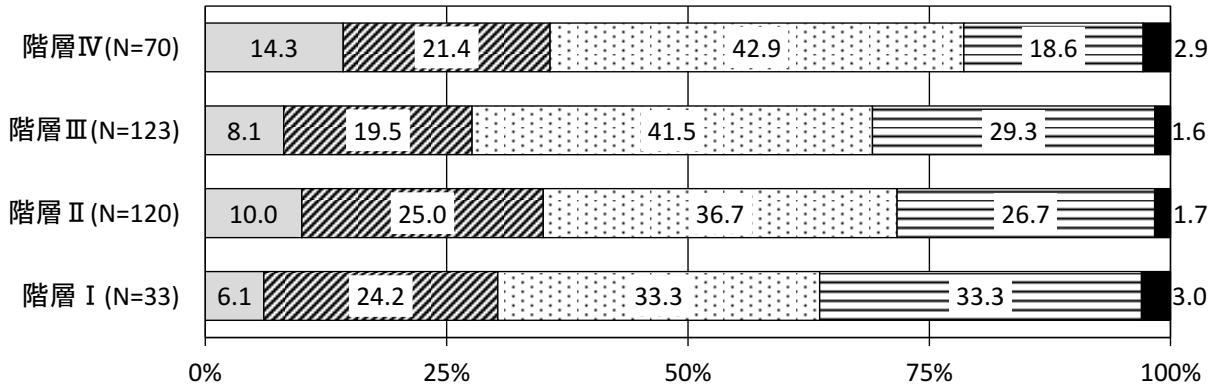
10 歳



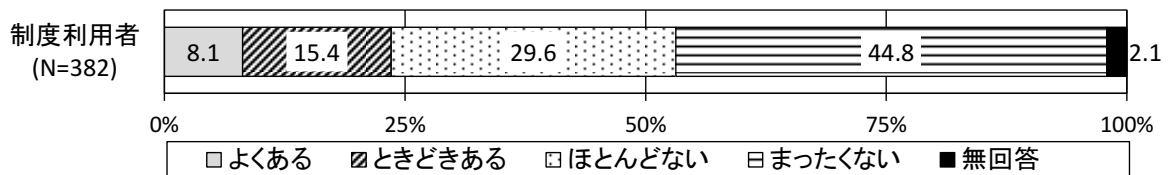
13 歳



16 歳



制度利用者



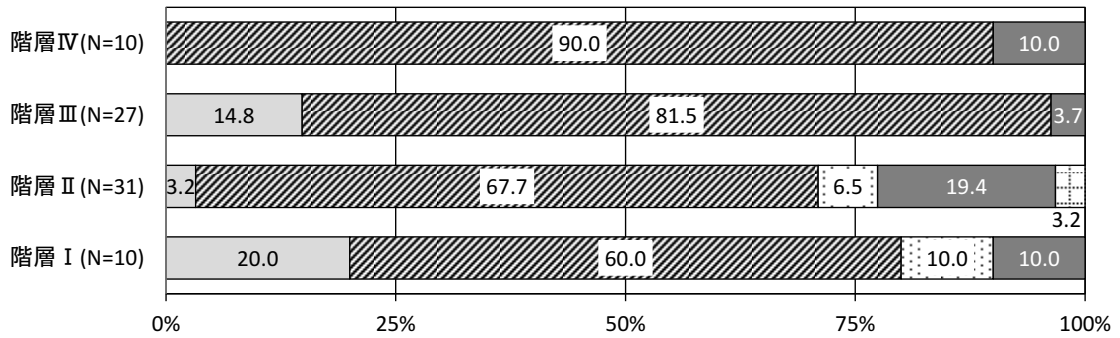
家でひとりで夕ごはんを食べる頻度についてみると、年齢が高くなるにしたがって、「よくある」「ときどきある」が高く、16歳ではすべての階層で25%を超えています。

なお、各年齢とも階層による差は、あまり見られませんでした。

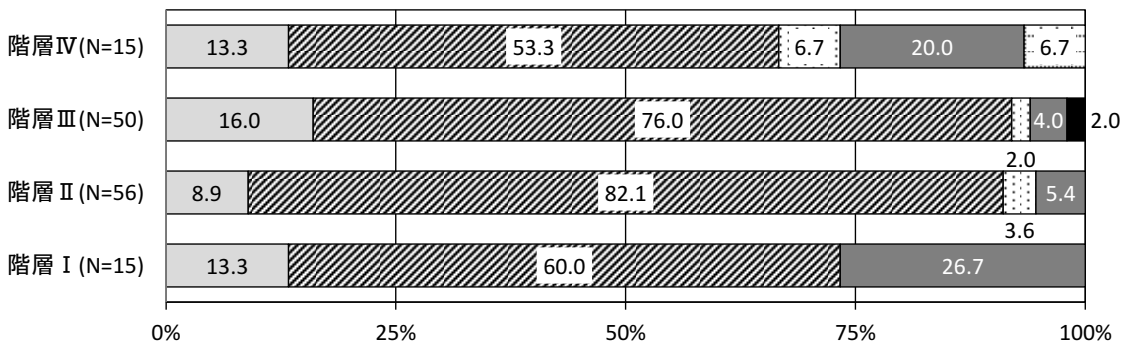
【問 7-1 で「よくある」、「ときどきある」と答えた方におうかがいします】

問 7-2 ひとりでごはんを食べるとき、特によく食べているものを教えてください。

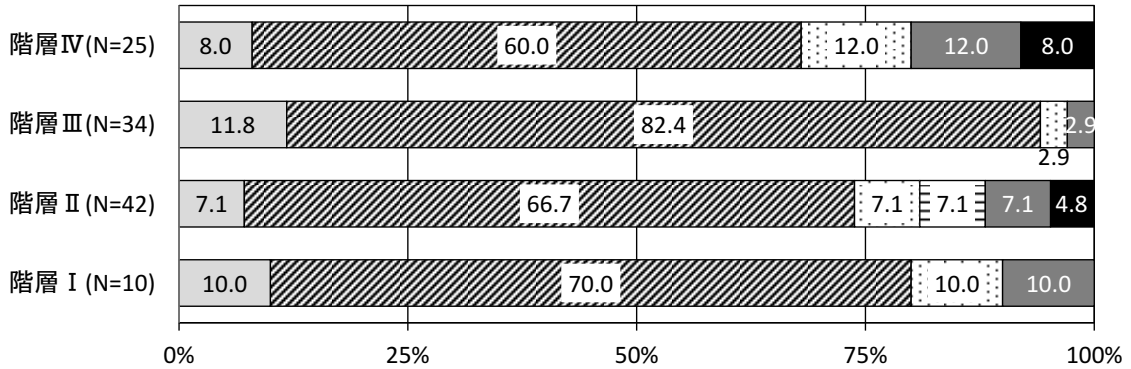
10 歳



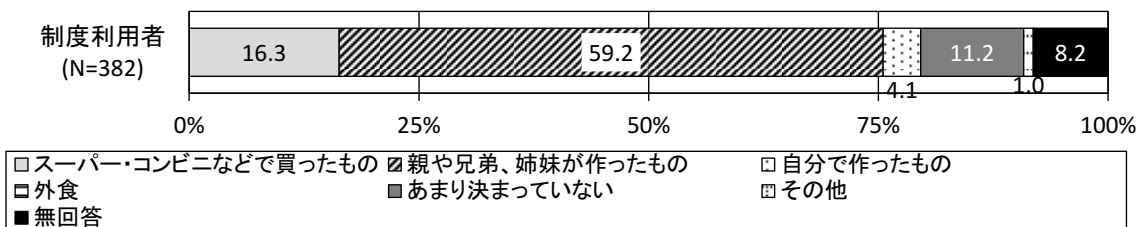
13 歳



16 歳



制度利用者

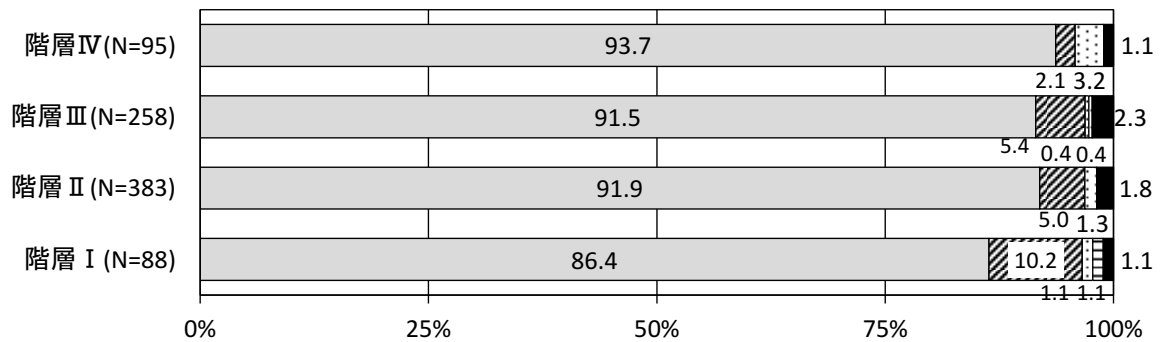


ひとりで夕飯を食べることが「よくある」「ときどきある」と答えた人がよく食べるものについてみると、全体として、「親や兄弟姉妹が作ったもの」の割合が高くなっています。

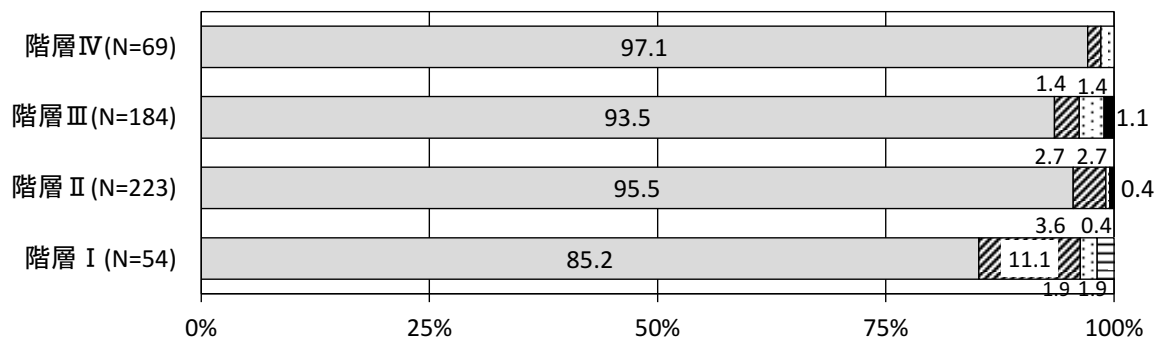
なお、年齢・階層ごとの回答に統一的な傾向はみられません。

問 8-1 あなたは、週にどのくらい、お風呂(シャワーのみの場合も含む)に入りますか。

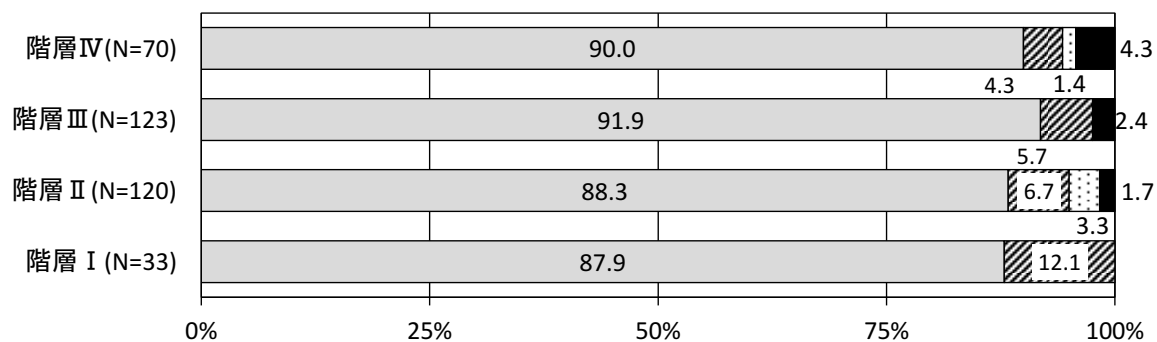
10 歳



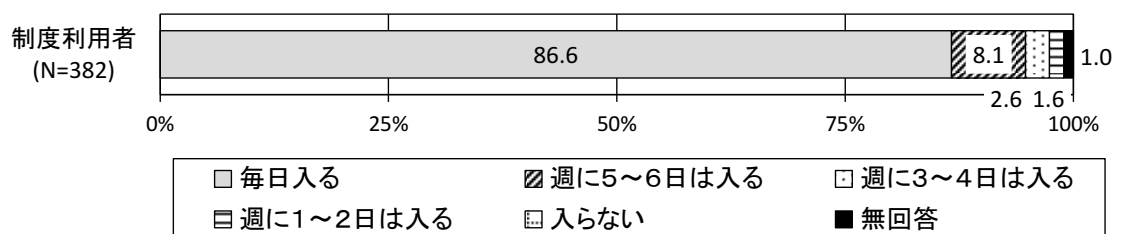
13 歳



16 歳



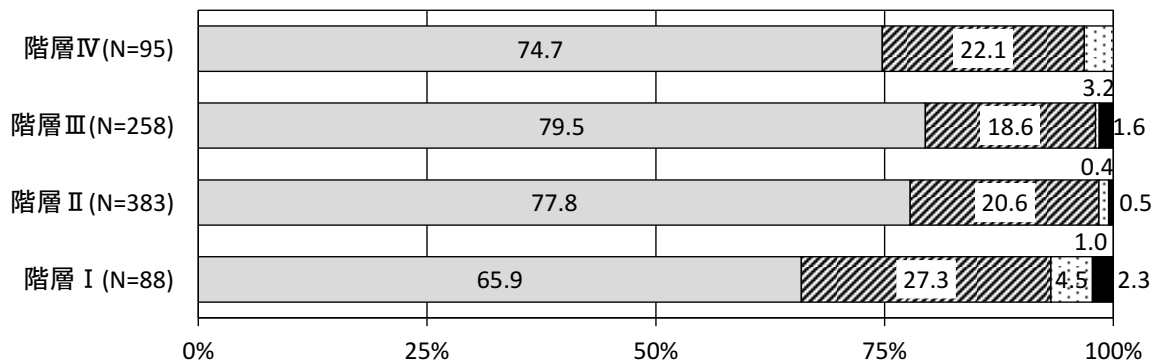
制度利用者



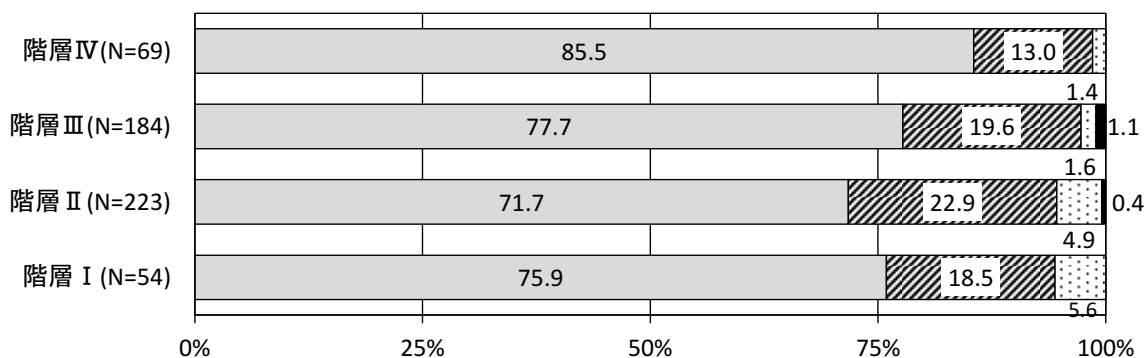
お風呂に入る(シャワーのみの場合も含む)頻度についてみると、全ての年齢について、階層Ⅰの回答で「毎日入る」が少し低くなっています。

問 8-2 あなたは、1日にどのくらい歯みがきをしていますか。

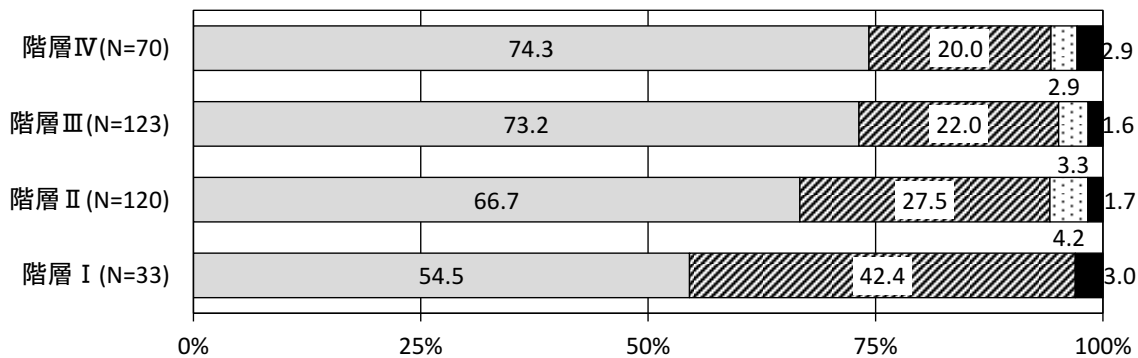
10 歳



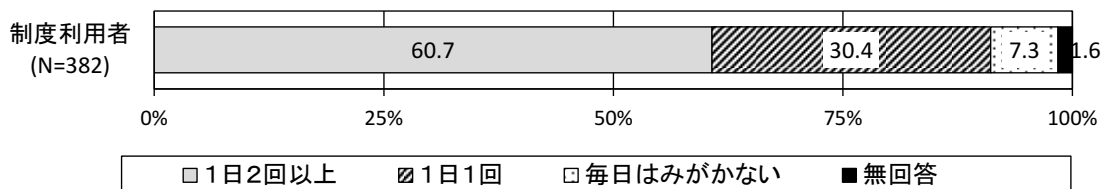
13 歳



16 歳



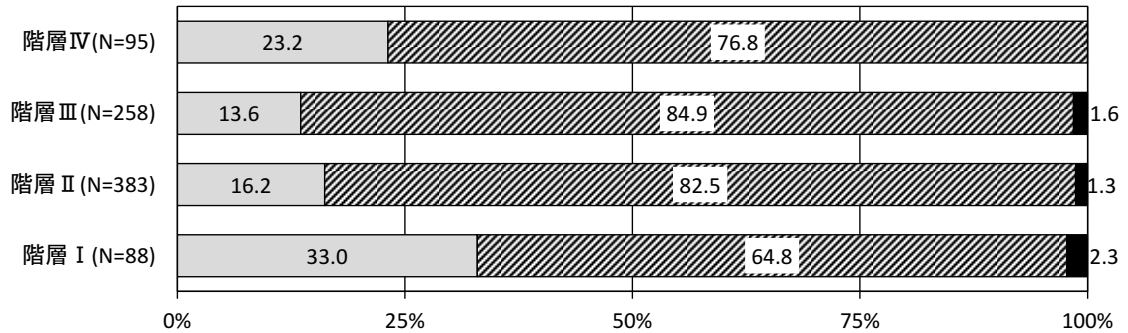
制度利用者



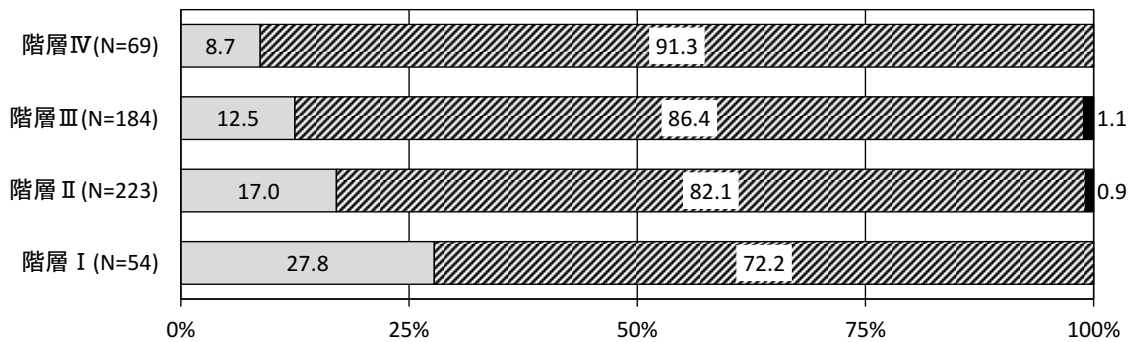
1日に歯を磨く頻度についてみると、10歳、16歳では階層Ⅰになると「1日2回以上」が低くなっています。また、制度利用者も60.7%と低い数値となっています。

問9 あなたは、現在、むし歯がありますか。

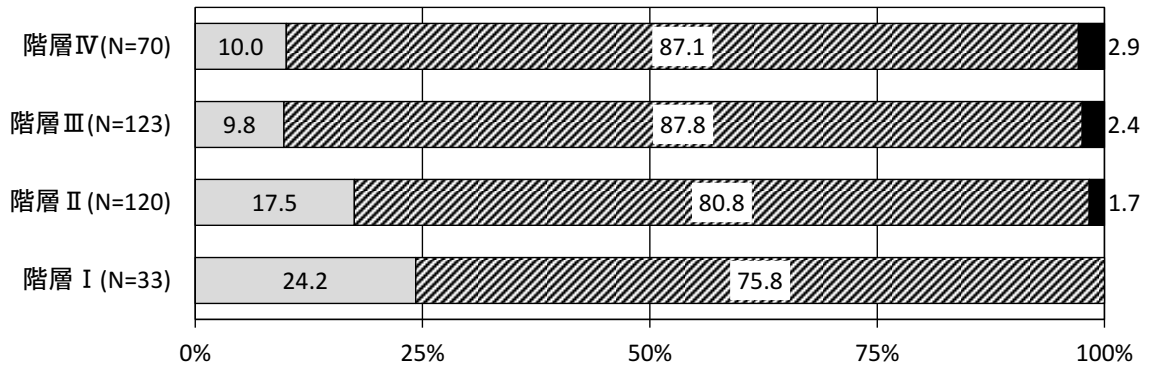
10歳



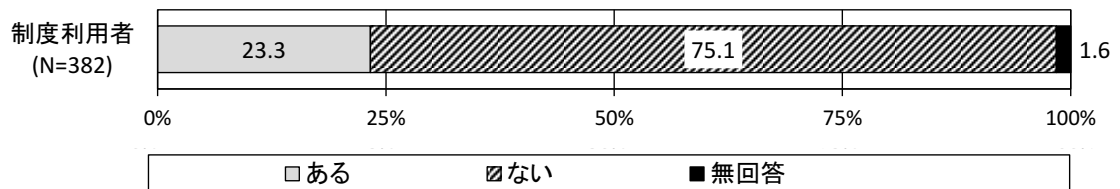
13歳



16歳



制度利用者

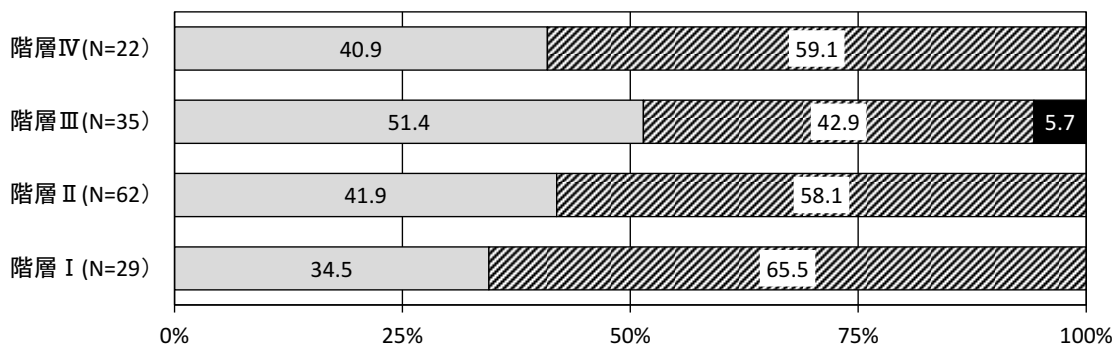


現在のむし歯の有無についてみると、いずれの年齢についても、階層Iでむし歯が「ある」が高くなっています。

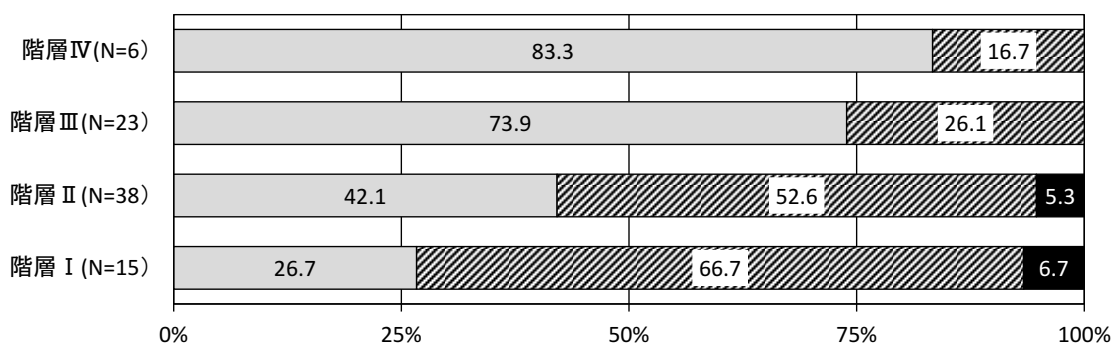
また、制度利用者も23.3%と、各年齢の階層Iに近い数値となっています。

問 9-2 (むし歯が)「ある」と答えた方 現在治療中ですか。

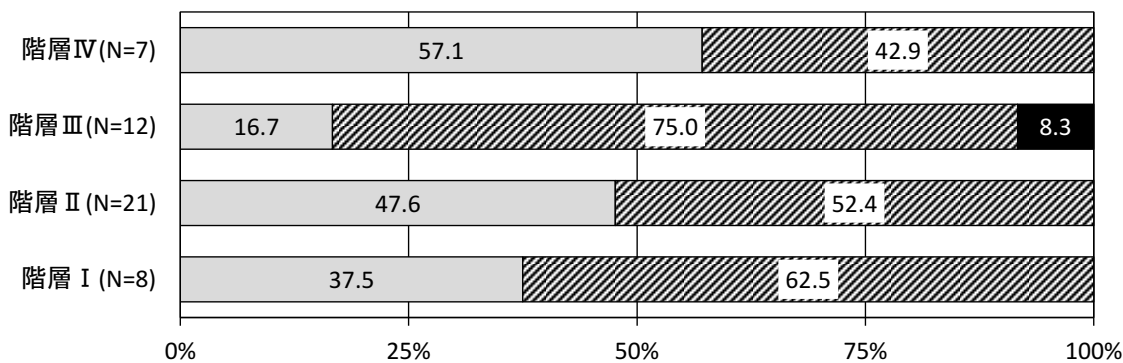
10 歳



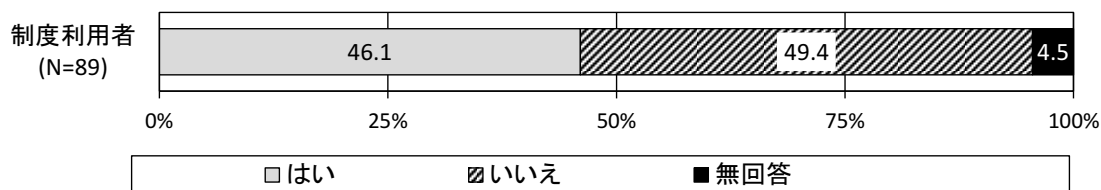
13 歳



16 歳



制度利用者

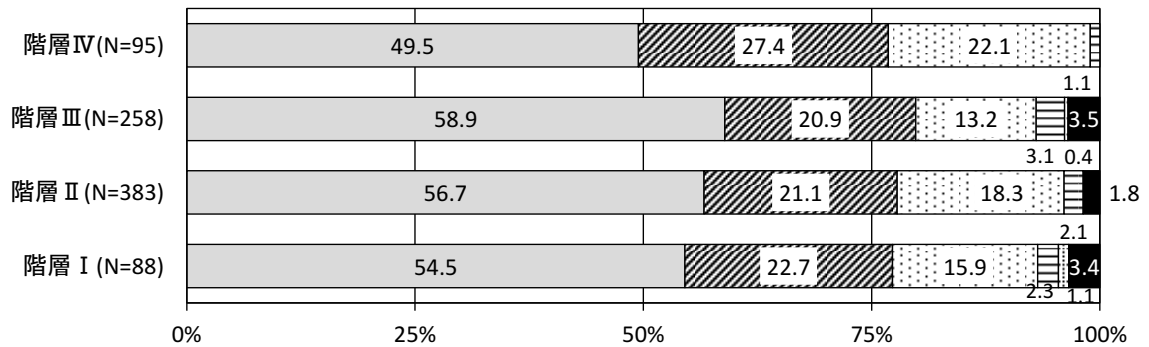


現在むし歯があると答えた人で治療中かについてみると、いずれの年齢についても、階層Ⅰで「治療していない」が高くなっています。

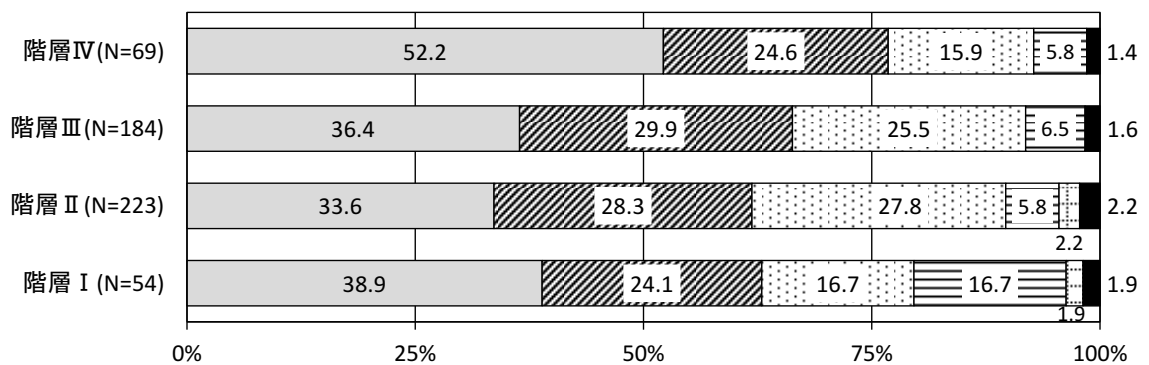
制度利用者においても「治療していない」が 44.9%と、「治療している」を上回っています。

問 10 あなたは、自分の健康状態についてどう思いますか。

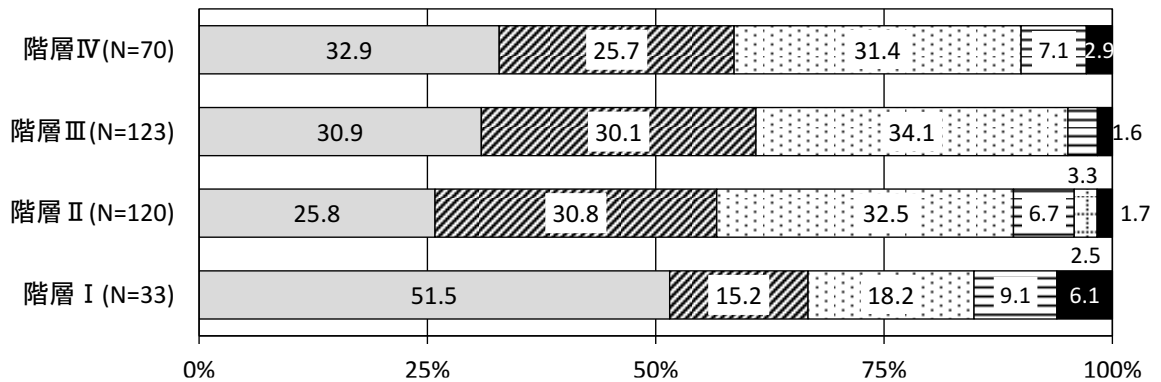
10 歳



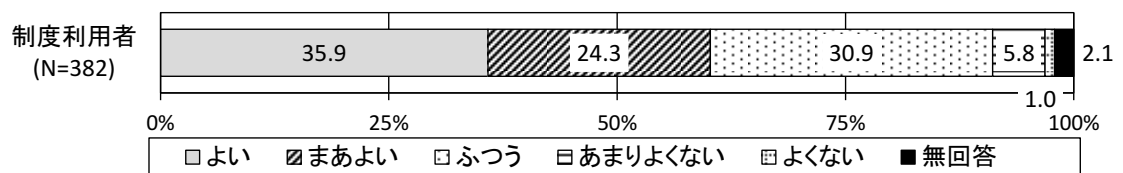
13 歳



16 歳



制度利用者

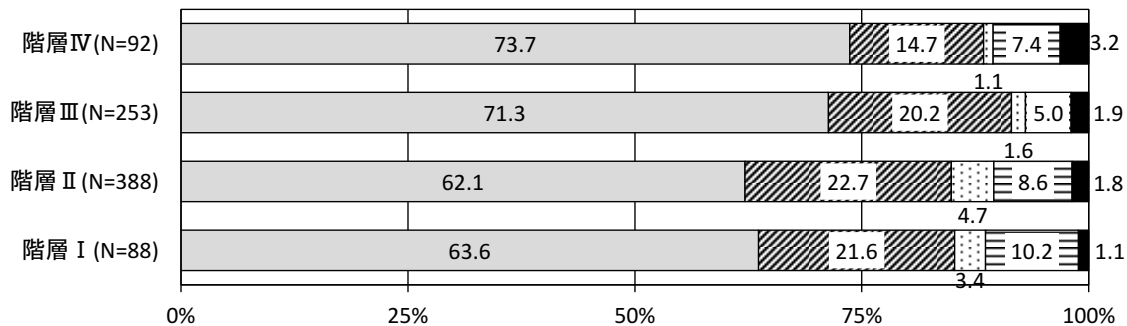


自分の健康状態をどう思うかについてみると、10歳は「よい」「まあよい」がすべての階層で75%を超えていますが、年齢によって、階層ごとの回答に統一的な傾向はみられませんでした。

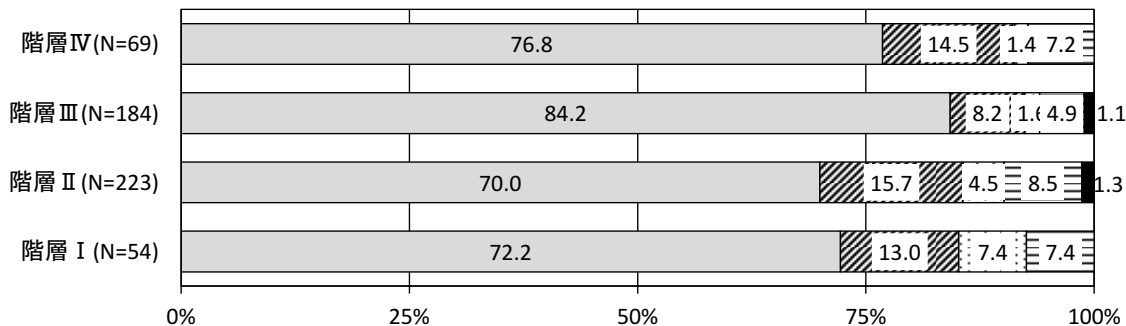
問 11 次の①～⑮について、もっているものは「ひとりで使うか家族で使うか」を、もっていないものは「ほしいかほしくないか」を教えてください。

問 11-① 本・参考書(教科書やマンガを除く)

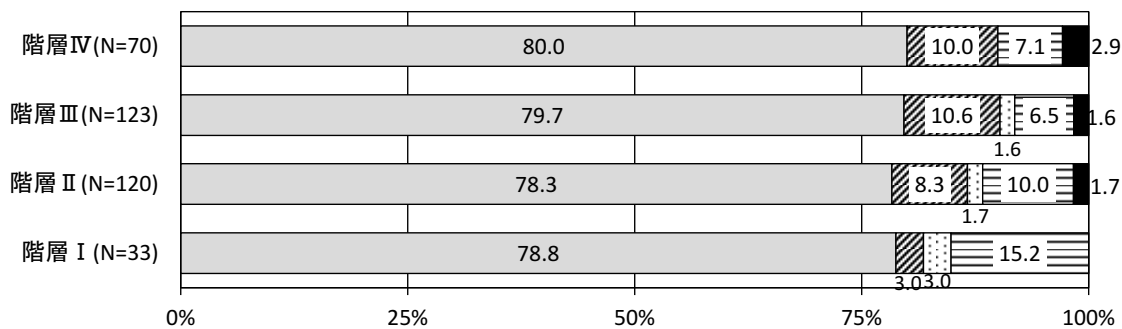
10 歳



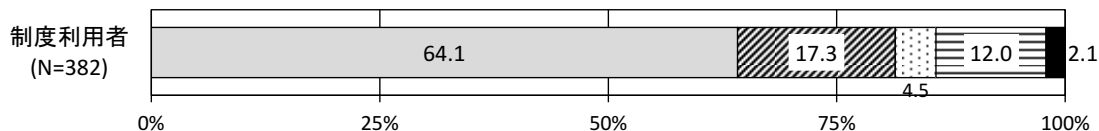
13 歳



16 歳



制度利用者

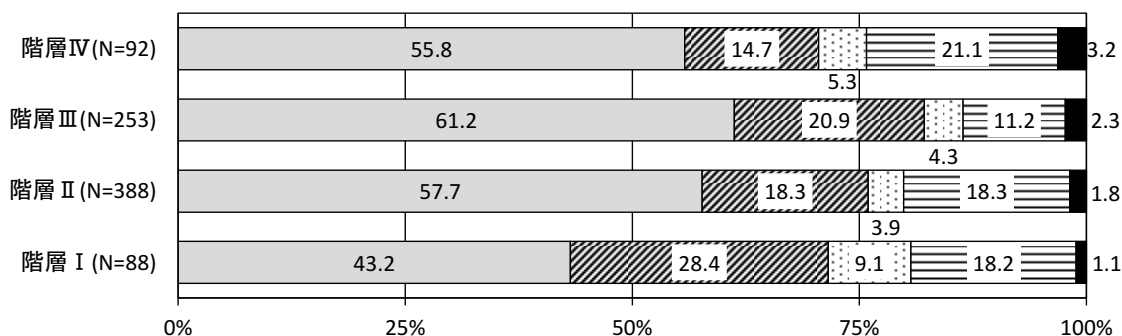


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている ▨ほしい ▨ほしくない ■無回答

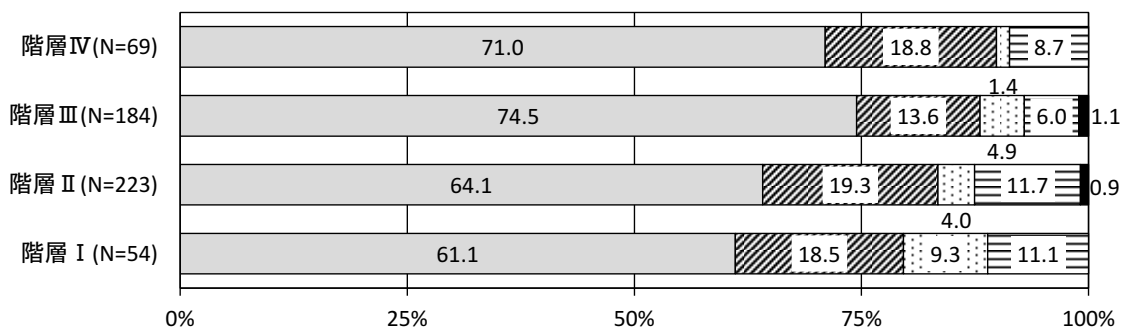
本・参考書を持っているか、ほしいかについてみると、いずれの年齢についても、階層Ⅰ・Ⅱで「もっていない」（「もっておらずほしい」「もっていないがほしくない」）が高くなっています。

問 11-② マンガ・雑誌

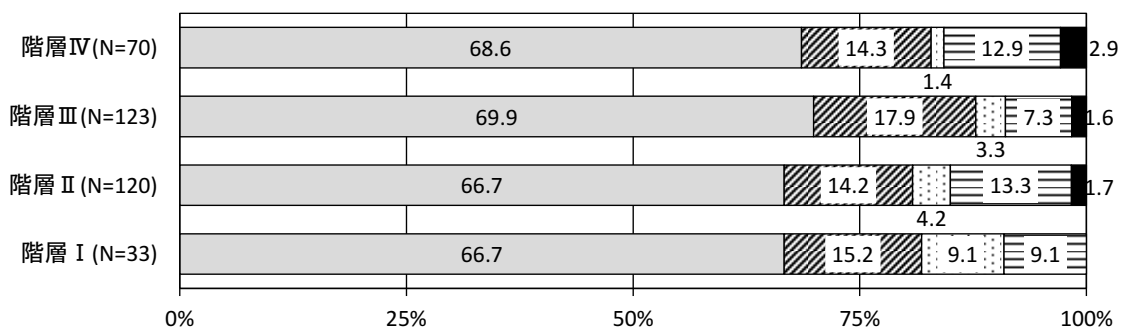
10 歳



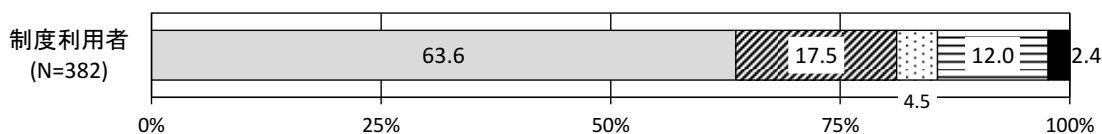
13 歳



16 歳



制度利用者

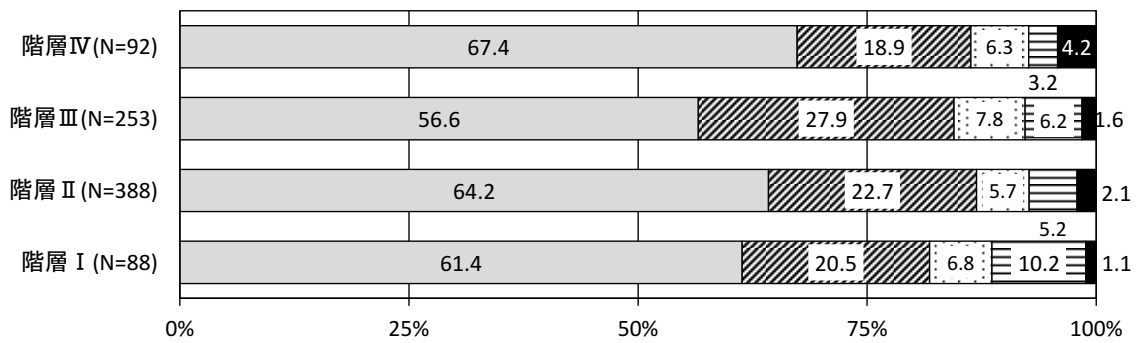


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている □ほしい □日ほしくない ■無回答

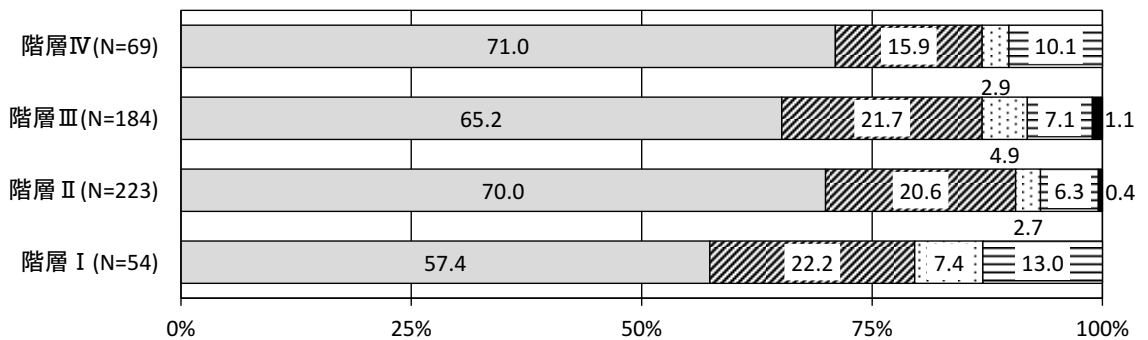
マンガ・雑誌を持っているか、ほしいかについてみると、いずれの年齢についても、階層Ⅰで「もっとおらずほしい」が高くなっています。また、10歳の階層Ⅰでは「ひとりで使うことができる」が43.2%と特に低くなっています。

問 11-③ ゲーム機

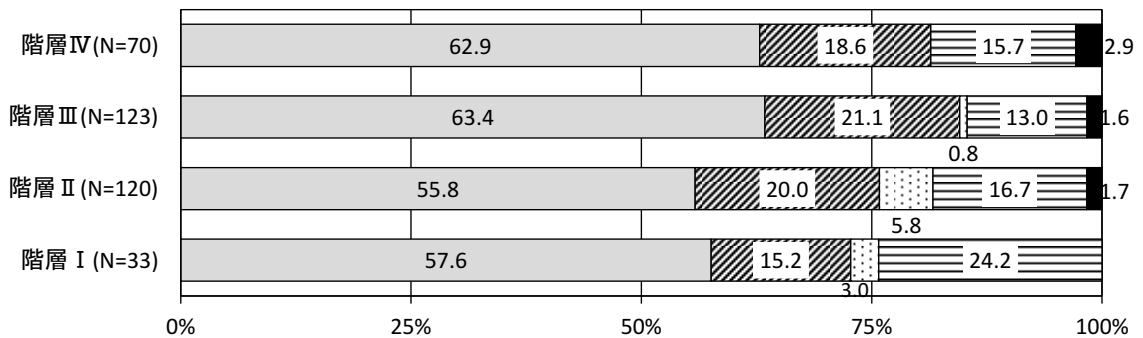
10 歳



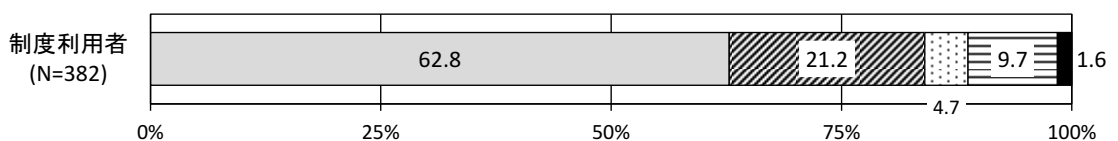
13 歳



16 歳



制度利用者

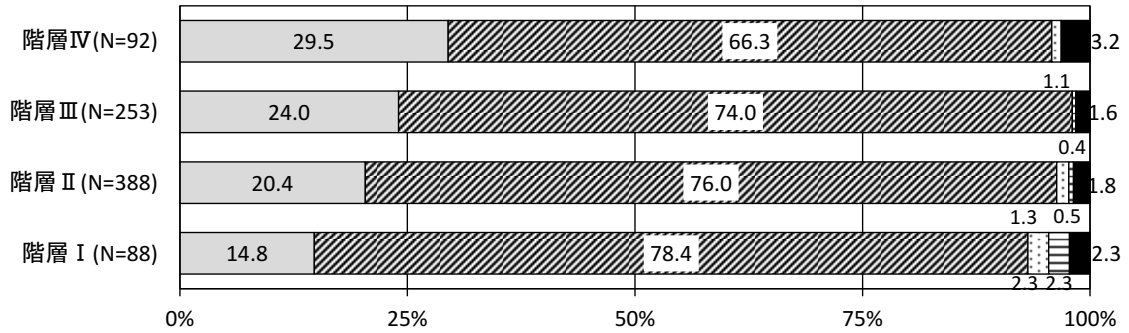


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

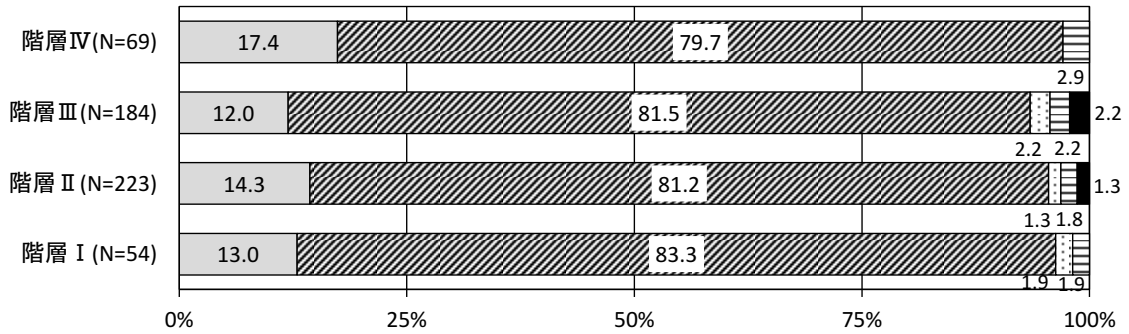
ゲーム機を持っているか、ほしいかについてみると、全ての年齢において、個人での所有率は6割を超えています。また、年齢が高くなるにしたがって、持っていない人で欲しい人という割合は減っていきます。

問 11-④ テレビ

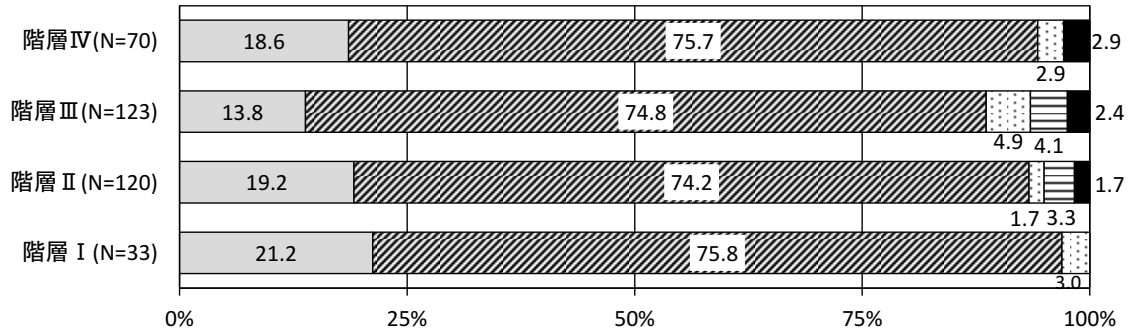
10 歳



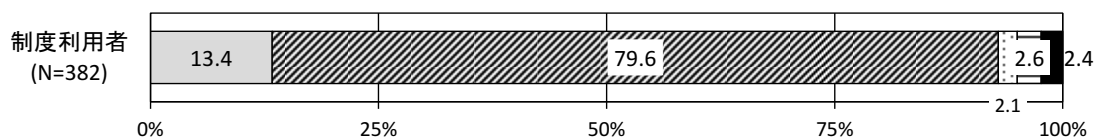
13 歳



16 歳



制度利用者

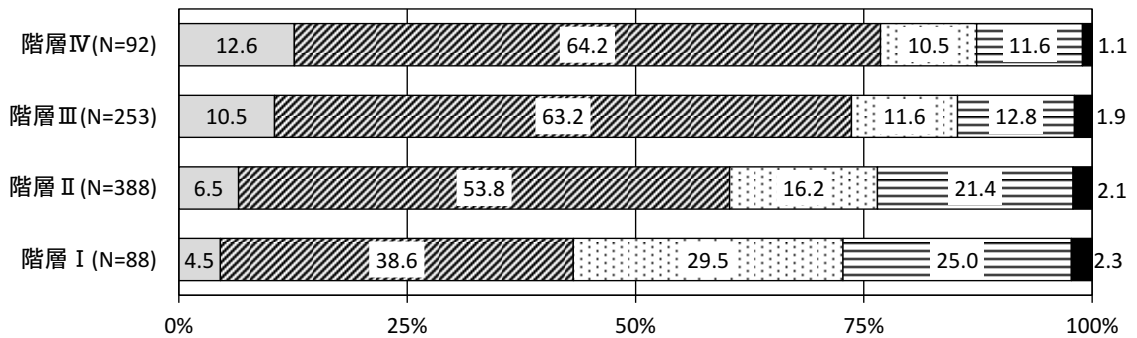


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

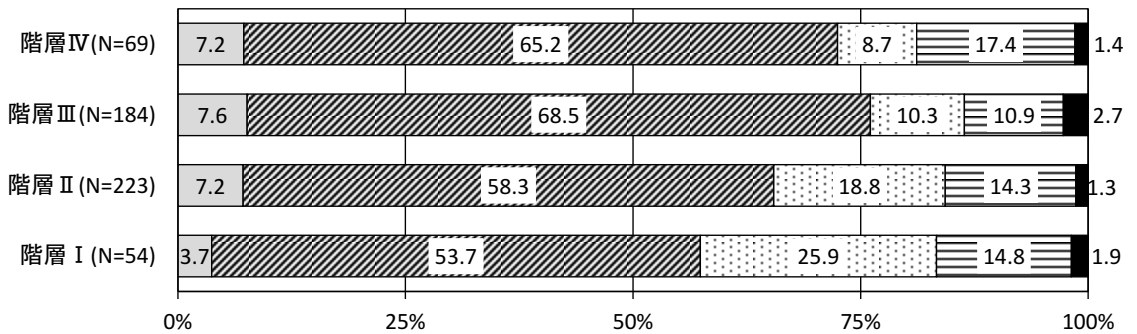
テレビを持っているか、ほしいかについてみると、個人で利用できるテレビを持っている人は、10歳と16歳に多く、階層が低くなるほど「家族と一緒に使っている」が高くなっています。

問 11-⑤ パソコン

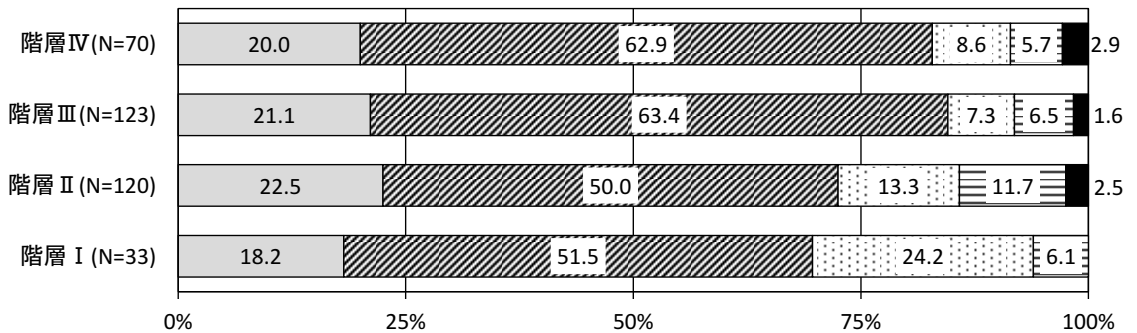
10 歳



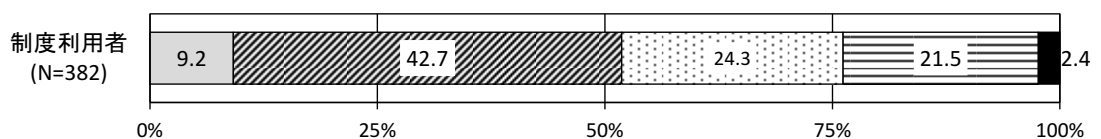
13 歳



16 歳



制度利用者



□ひとりで使うことができる ■家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

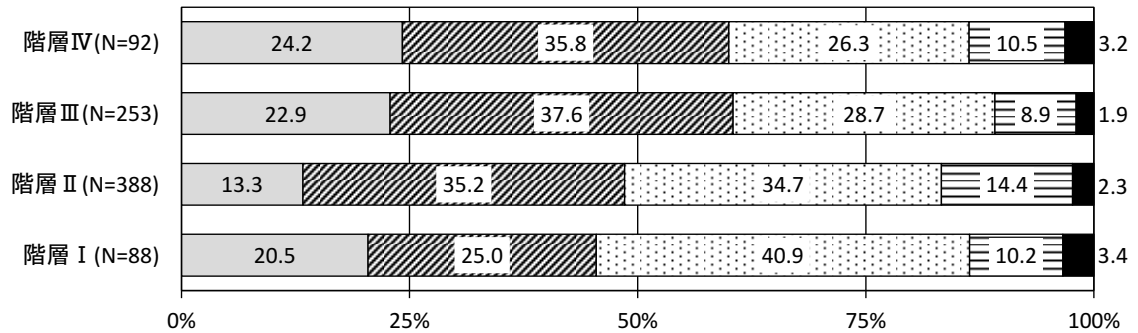
パソコンを持っているか、ほしいかについてみると、10歳、13歳は階層が低くなるほど「家族と一緒に使っている」「ほしい」が高くなっています。制度利用者では、家庭での所有率は少なく、欲しい人が多くなっています。

16歳は、個人の所有率が2割を超えています。

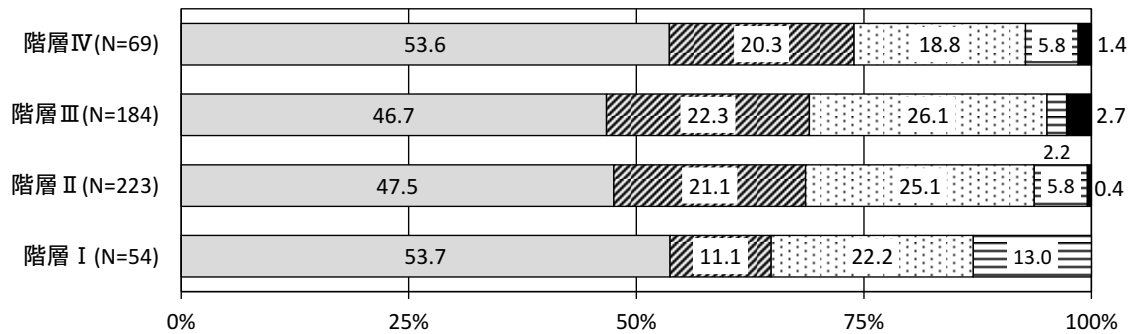
全年齢において、階層Ⅰの子の4人に1人は欲しいと回答しています。

問 11-⑥ スマートフォン・タブレット機器

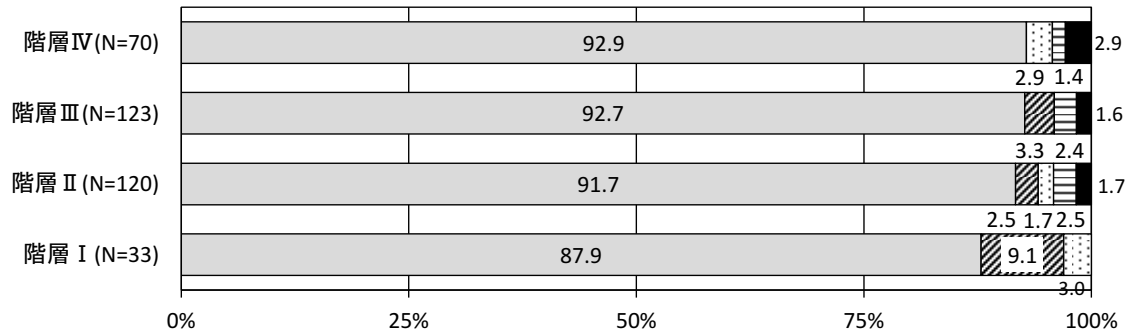
10 歳



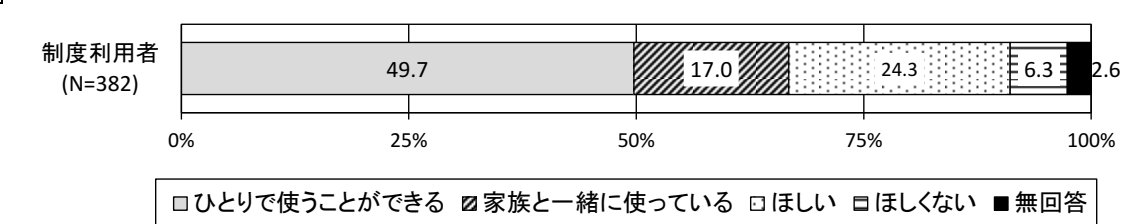
13 歳



16 歳



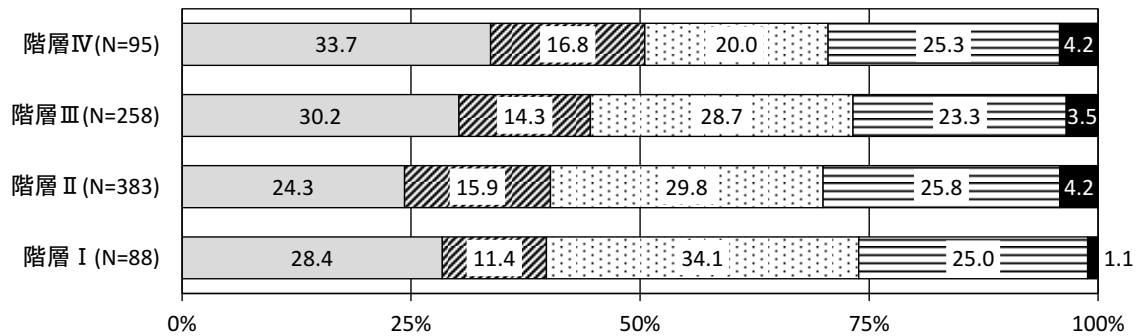
制度利用者



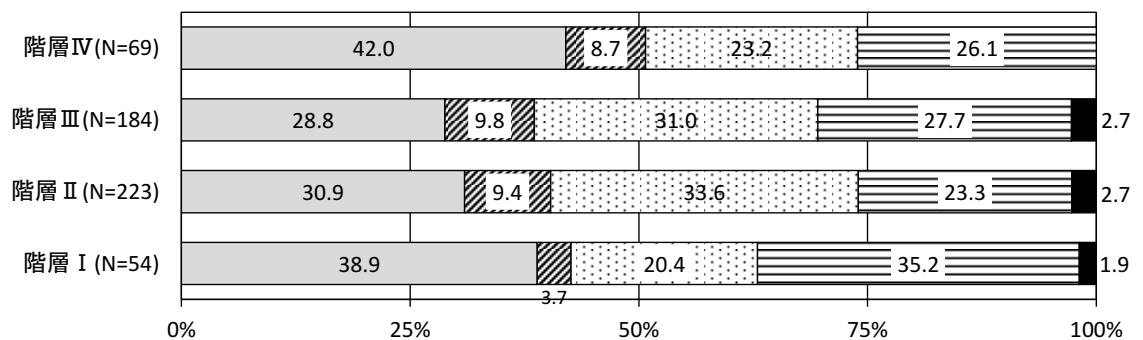
スマートフォン・タブレット機器を持っているか、ほしいかについてみると、10 歳、13 歳で階層が低くなるほど、また、制度利用者では「家族と一緒に使っている」「ほしい」が高くなっています。13 歳では半数近くが所有し、4 人に 1 人が欲しい、16 歳では 9 割以上が所有しています。

問 11-⑦ 携帯電話

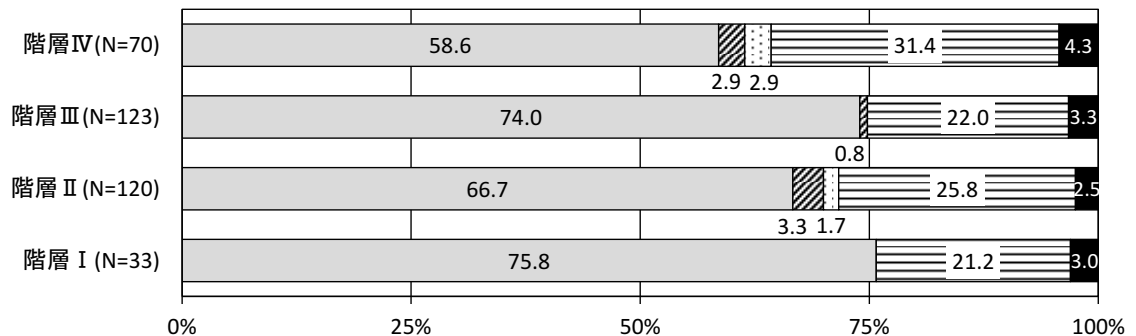
10 歳



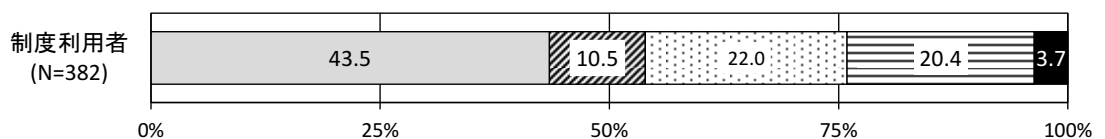
13 歳



16 歳



制度利用者

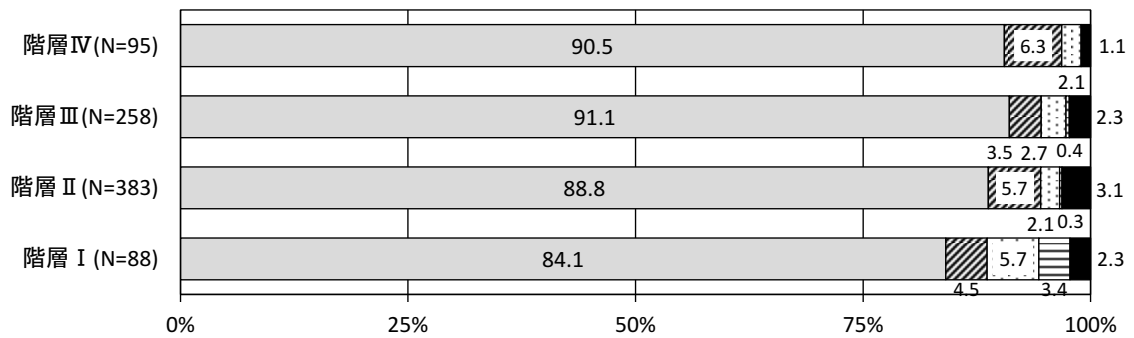


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

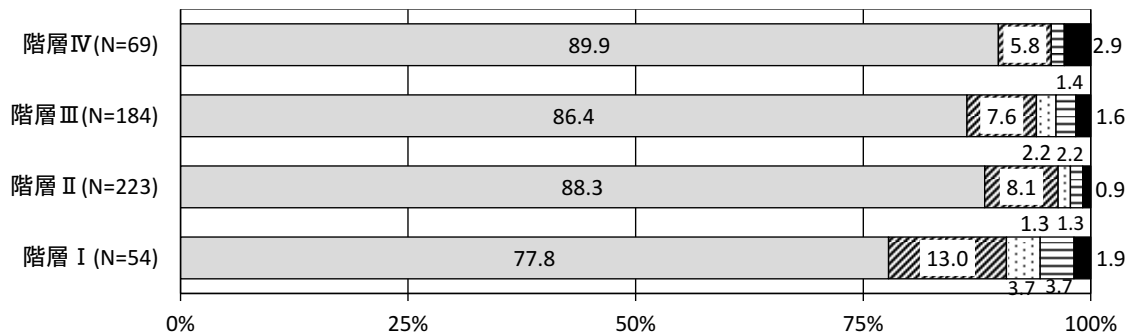
携帯電話を持っているか、ほしいかについてみると、10 歳、13 歳は、「ほしい」が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ、「ひとりで使うことのできる」が高くなっています。

問 11-⑧ 自転車

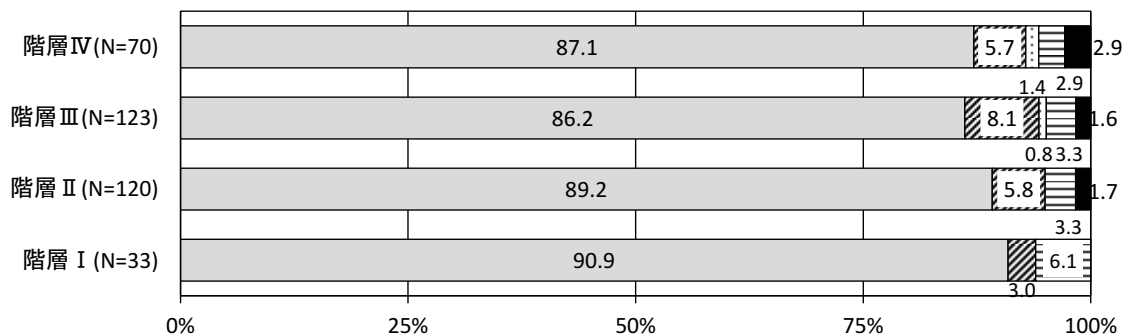
10 歳



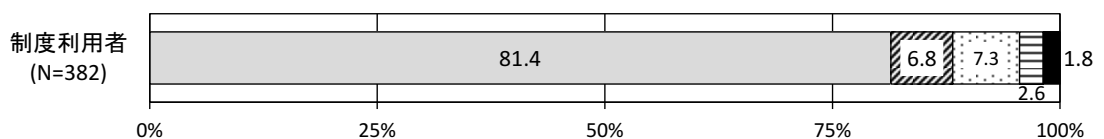
13 歳



16 歳



制度利用者

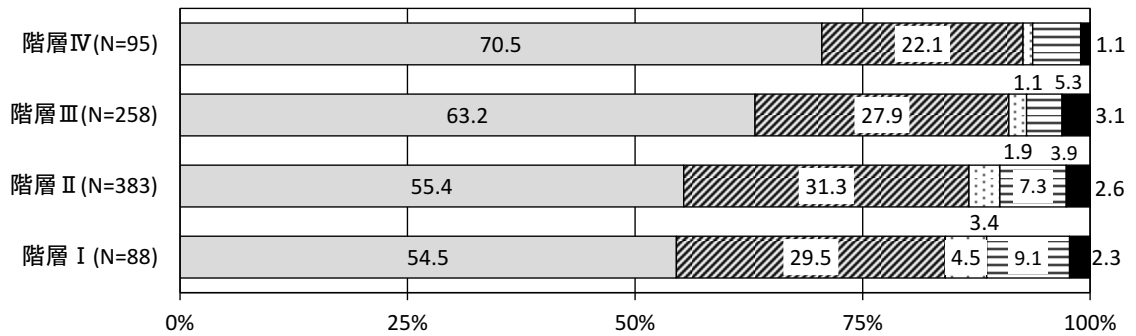


□ひとりですることが出来る □家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

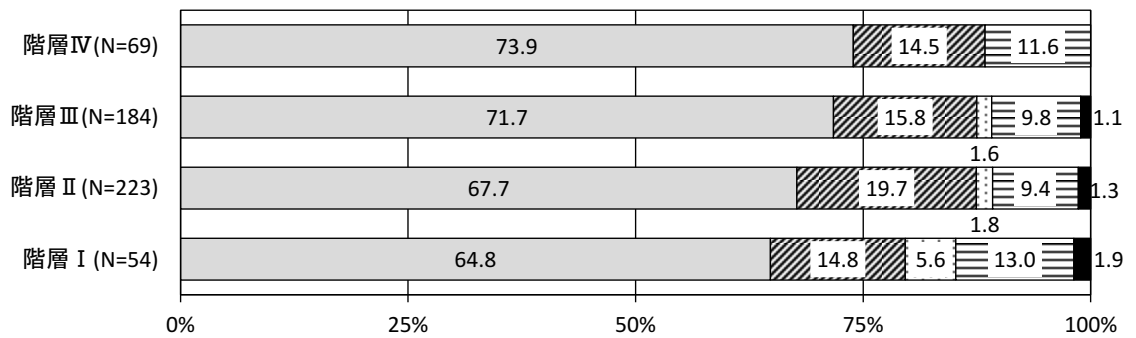
自転車を持っているか、ほしいかについてみると、相対的に所有率が高いですが、10 歳、13 歳の階層が低くなるほど、また、制度利用者では、「ひとりですることが出来る」が低くなっています。

問 11-⑨ 運動用具(ボール・ラケットなど)

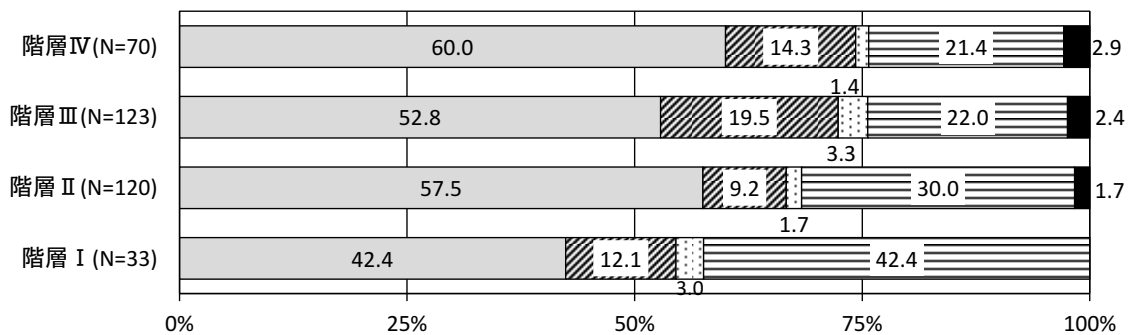
10 歳



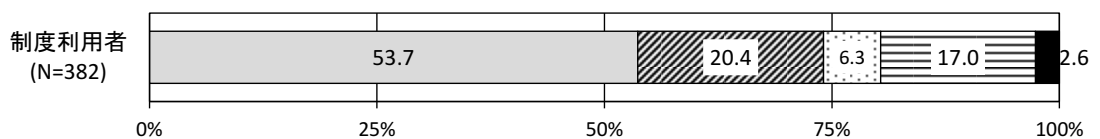
13 歳



16 歳



制度利用者

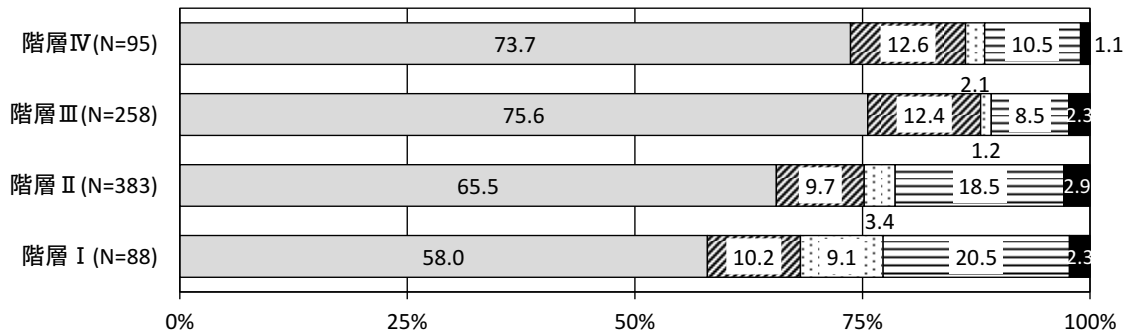


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

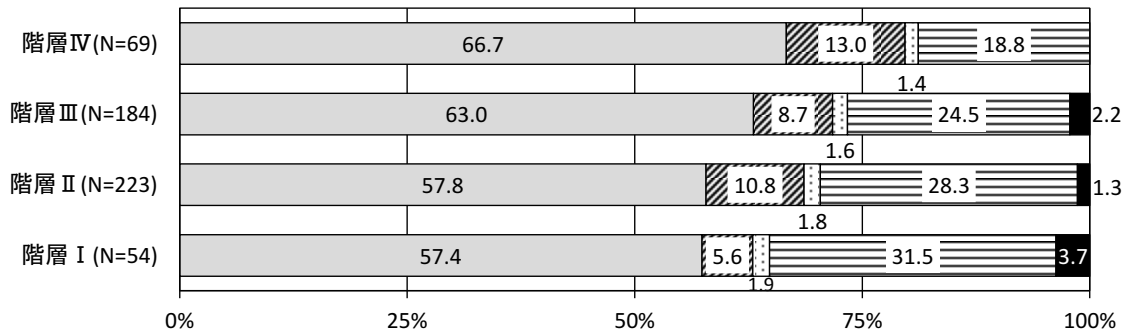
運動用具(ボール・ラケットなど)を持っているか、ほしいかについてみると、各年齢とも、階層が低くなるほど「ひとりで使う事ができる」が低くなっています。持っていないでも「ほしい」という人は少ないです。

問 11-⑩ 習い事などの道具(ピアノなど)

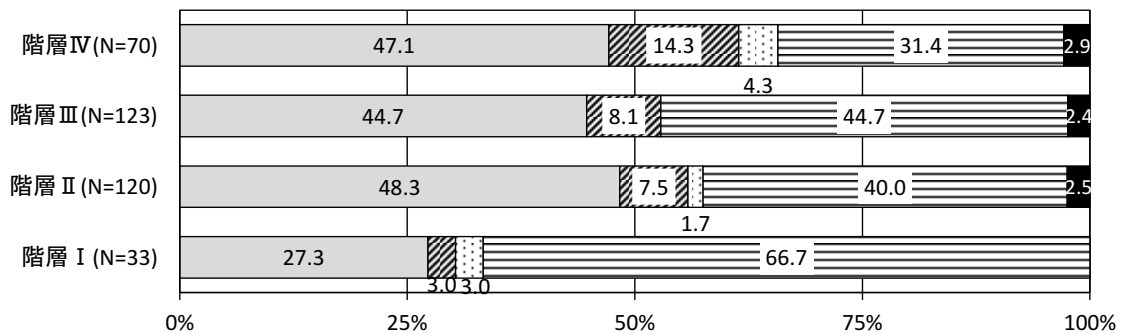
10 歳



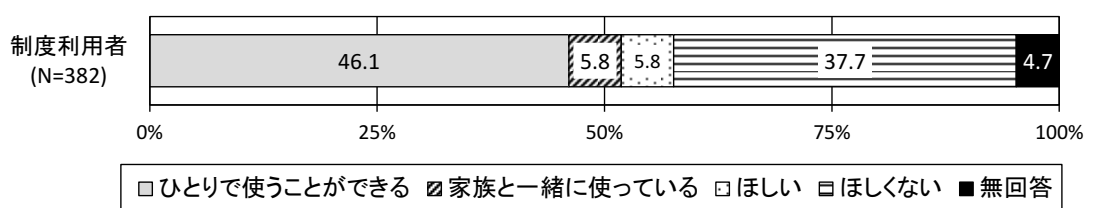
13 歳



16 歳



制度利用者

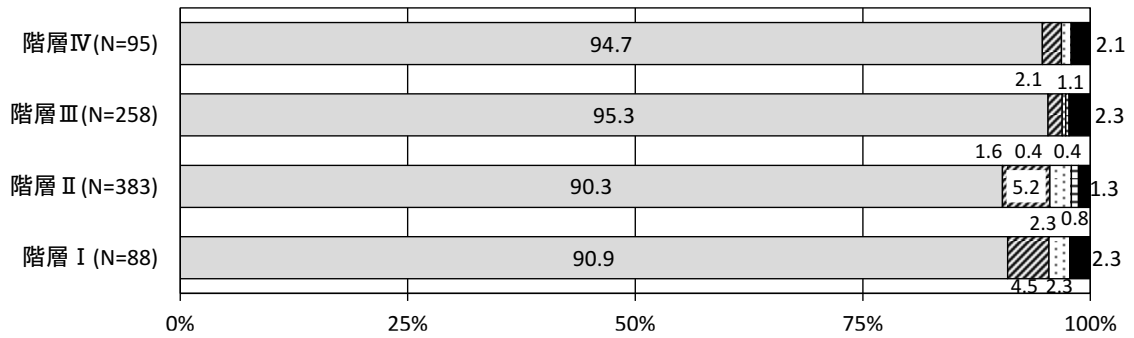


□ひとりで使うことができる □家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

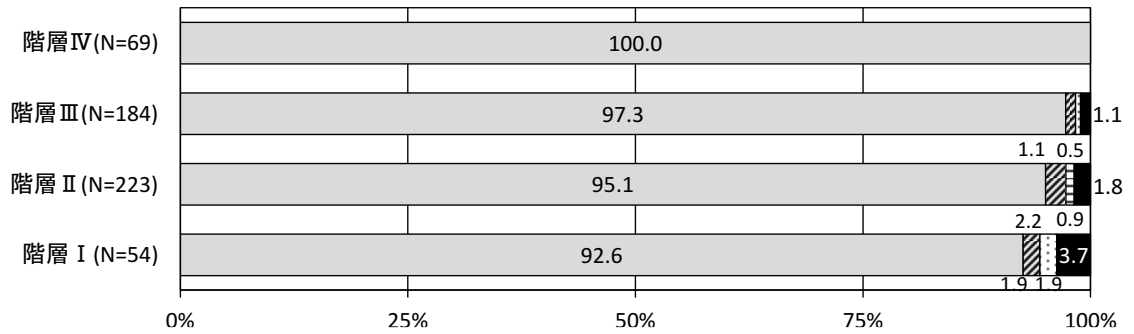
習い事などの道具（ピアノなど）を持っているか、ほしいかについてみると、いずれの年齢も階層が低くなるほど「ひとりで使うことができる」が低くなっていますが、制度利用者も含め、持っていない人でも「ほしくない」が高くなっています。

問 11-⑪ 文房具やノート

10 歳



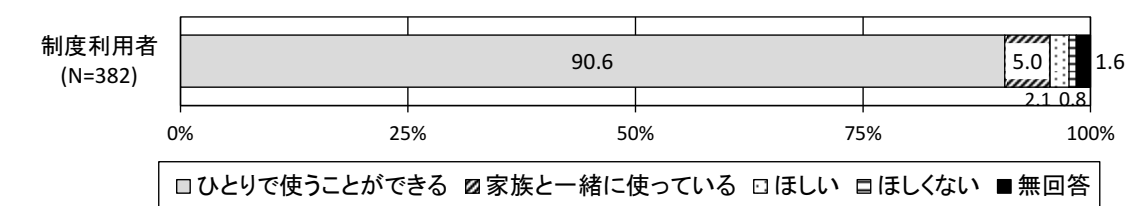
13 歳



16 歳



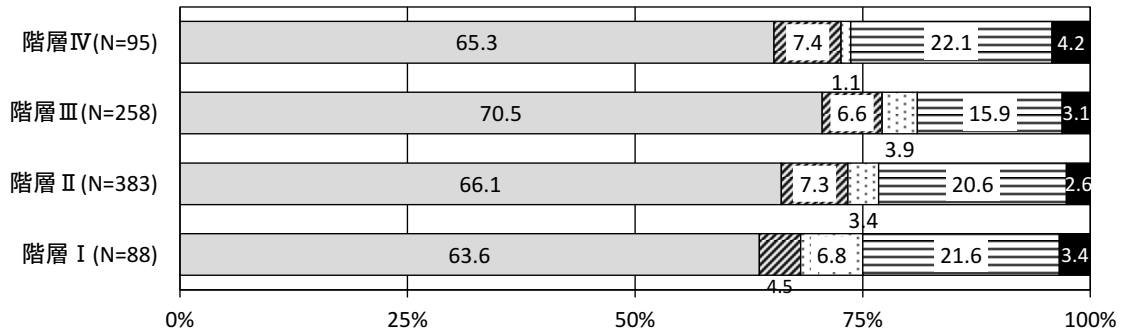
制度利用者



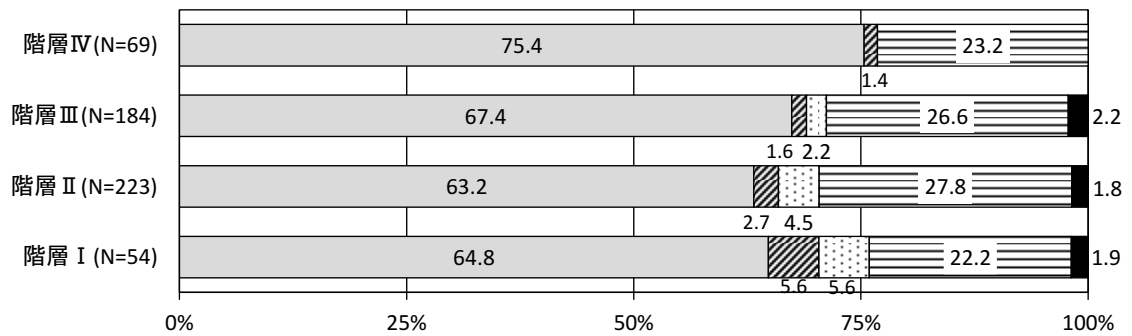
文房具やノートを持っているか、ほしいかについてみると、全ての年齢並びに制度利用者の個人所有率は多い状況にあります。一部持っていない人は、階層が低くなるほど「家族と一緒に使っている」「ほしい」が若干高くなっています。

問 11-⑫ キャラクターグッズ

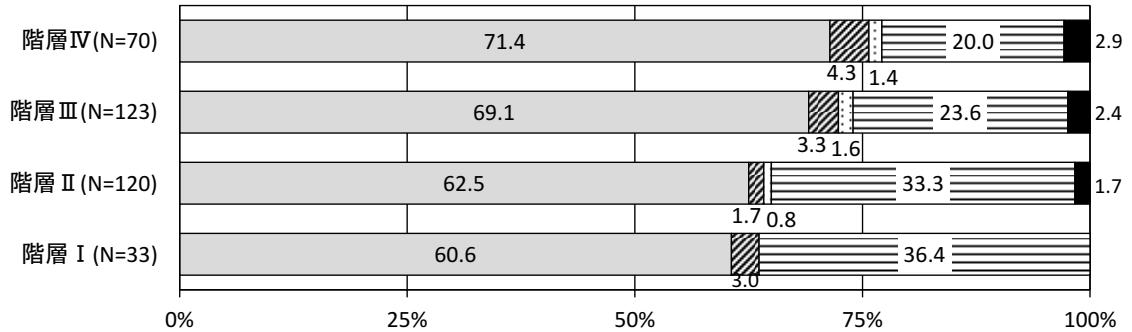
10 歳



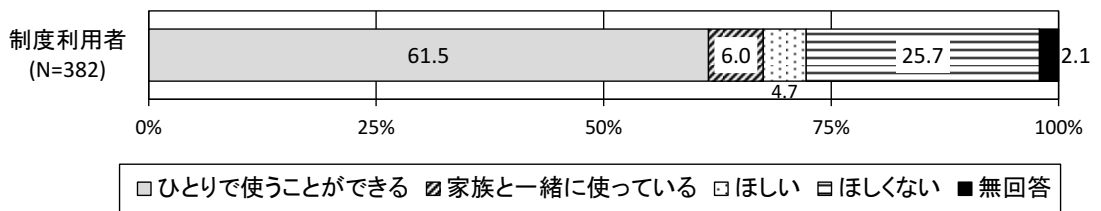
13 歳



16 歳



制度利用者

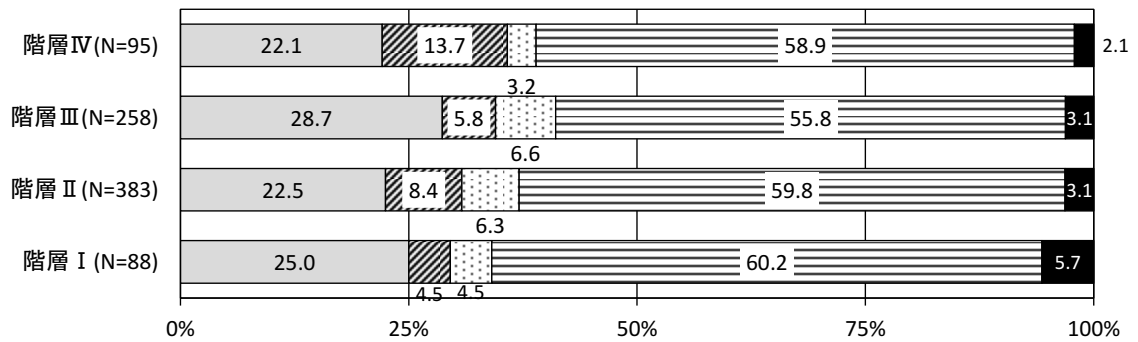


□ひとりで使うことができる ■家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

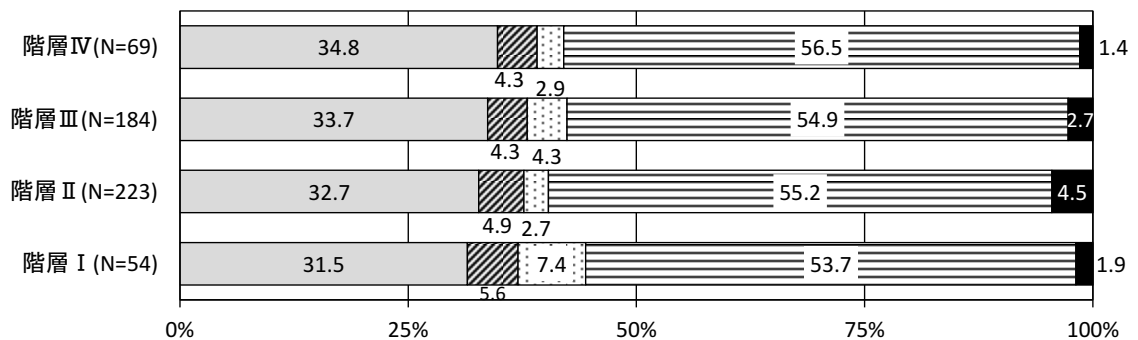
キャラクターグッズを持っているか、ほしいかについてみると、全ての年齢において、階層が低くなるほど「ひとりで使うことができる」は減少しています。一方で、「ほしい」は低く、持っていない人でも「ほしくない」は高くなっています。

問 11-⑬ 化粧品・アクセサリ

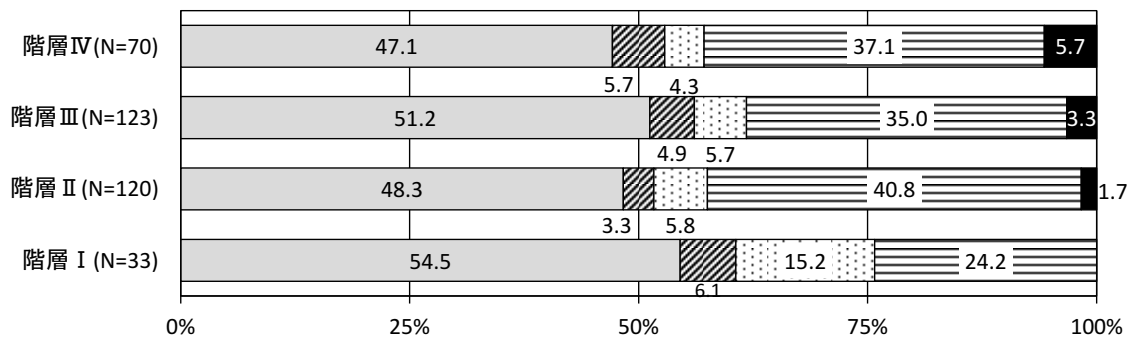
10 歳



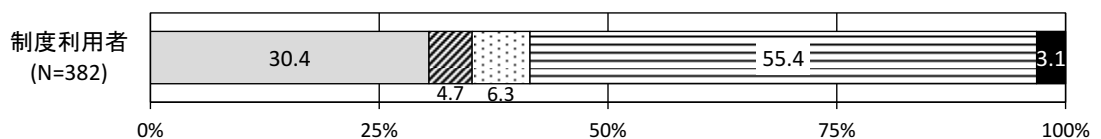
13 歳



16 歳



制度利用者

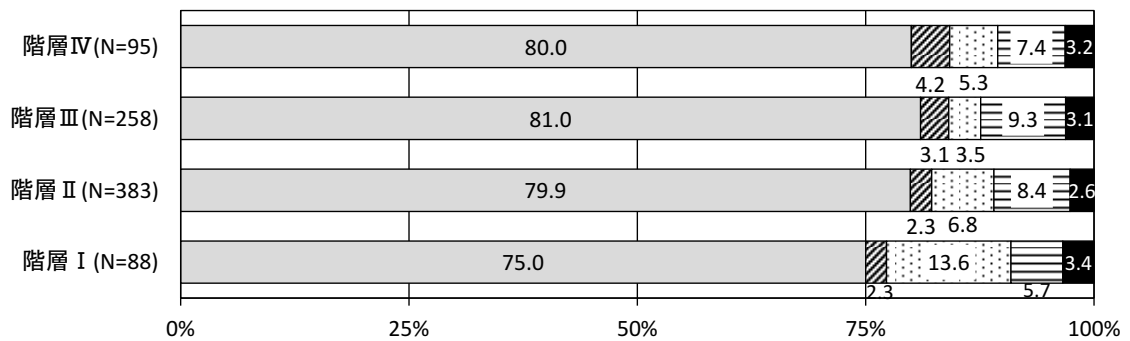


□ひとりで使うことができる □家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

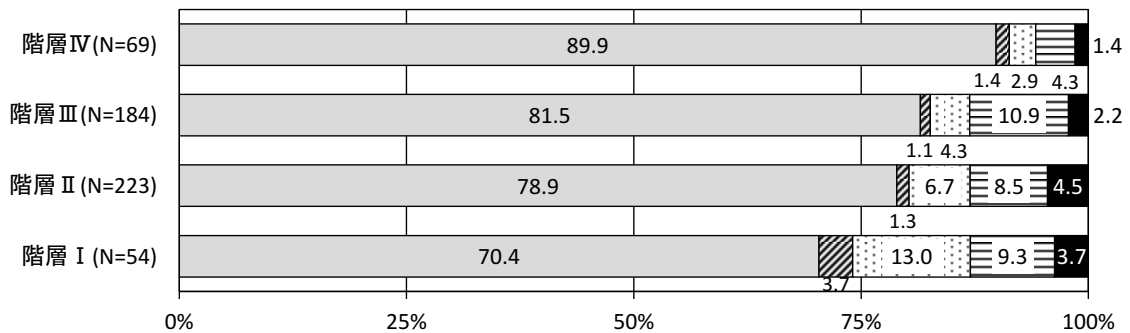
化粧品・アクセサリを持っているか、ほしいかについてみると、年齢が高くなるにしたがって「ひとりで使うことができる」は増加しています。一方、所有していない人で「ほしい」割合が高いのは、16歳階層Ⅰで、それ以外の方は欲しくないと回答しています。

問 11-⑭ 自分で選んだ服

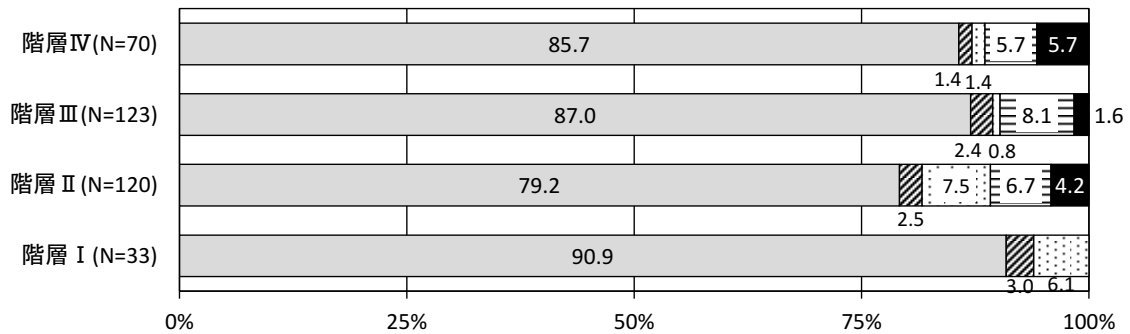
10 歳



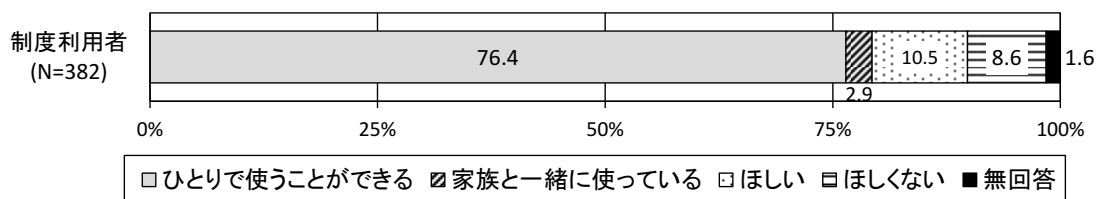
13 歳



16 歳



制度利用者

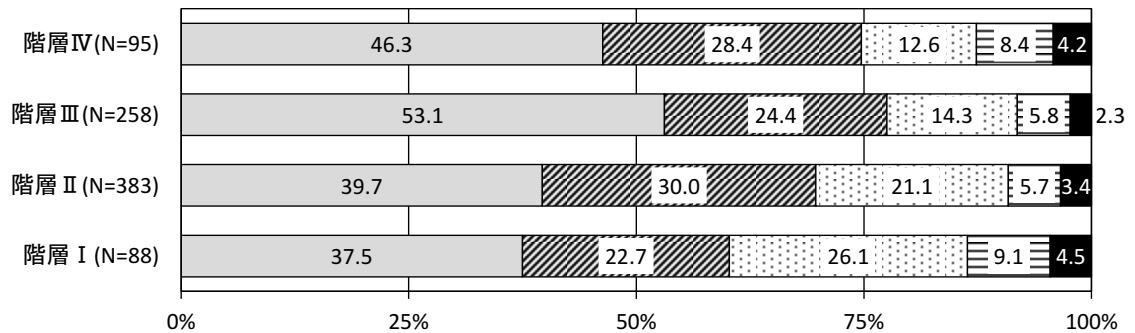


□ 一人で使うことができる ▨ 家族と一緒に使っている □ ほしい □ ほしくない ■ 無回答

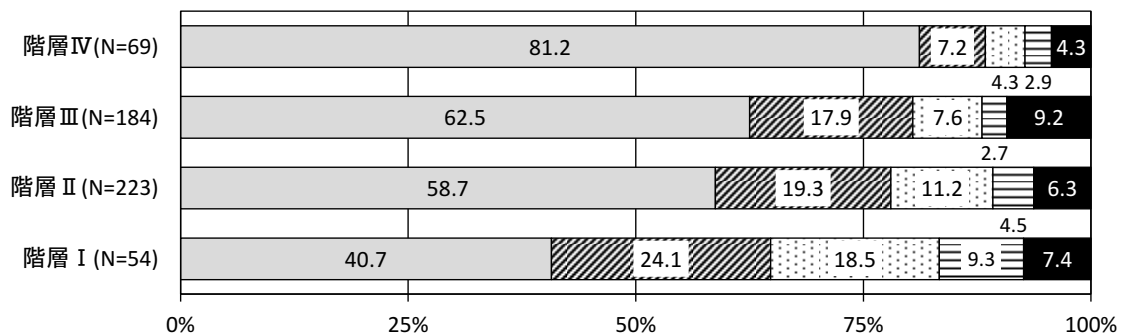
自分で選んだ服を持っているか、ほしいかについてみると、全ての年齢において、「一人で使うことができる」が高くなっています。各年齢で見ると、10歳、13歳は、階層が低くなるにしたがって所有率は減少し、「ほしい」が増えています。

問 11-⑮ 子ども部屋

10 歳



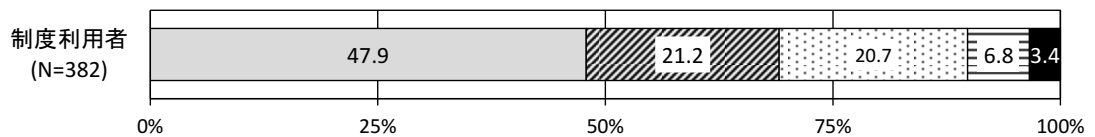
13 歳



16 歳



制度利用者

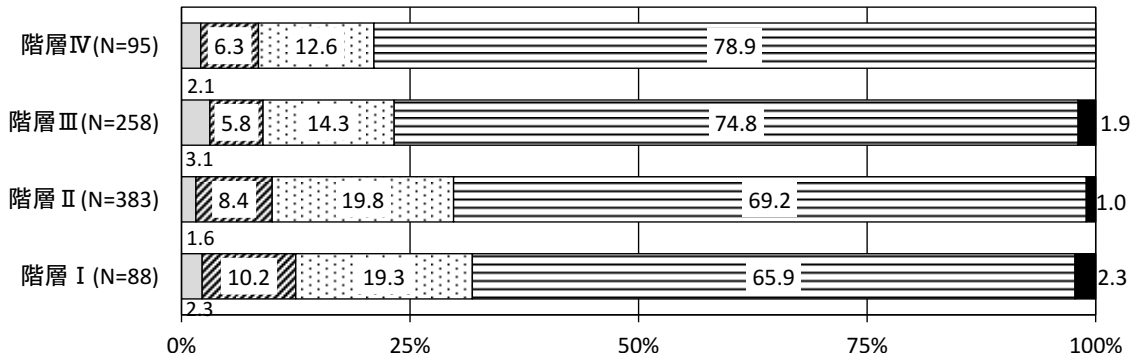


□ひとりで使うことができる ▨家族と一緒に使っている □ほしい □ほしくない ■無回答

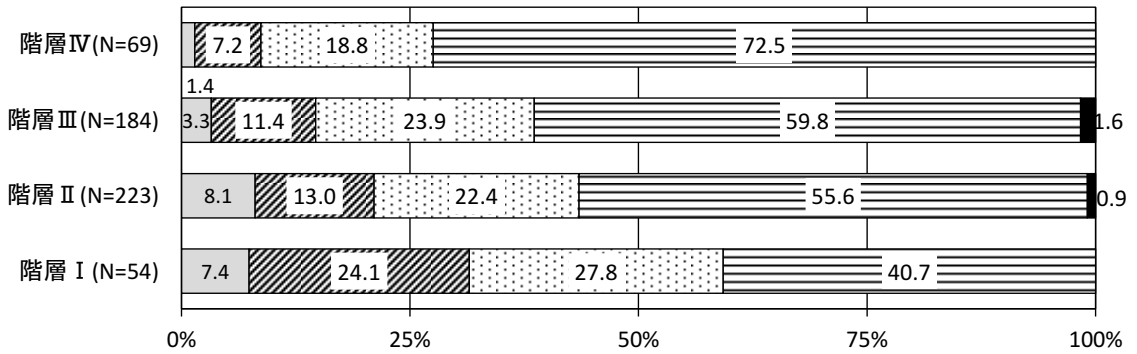
子ども部屋を持っているか、ほしいかについてみると、どの年齢も、階層が低くなるにしたがって「ひとりで使うことができる」は減少しています。また、持っていない人は、「ほしい」が高くなっています。

問 12 普段の生活の中で、お金が足りなくて、必要とする文具や教材が買えないことはありますか。

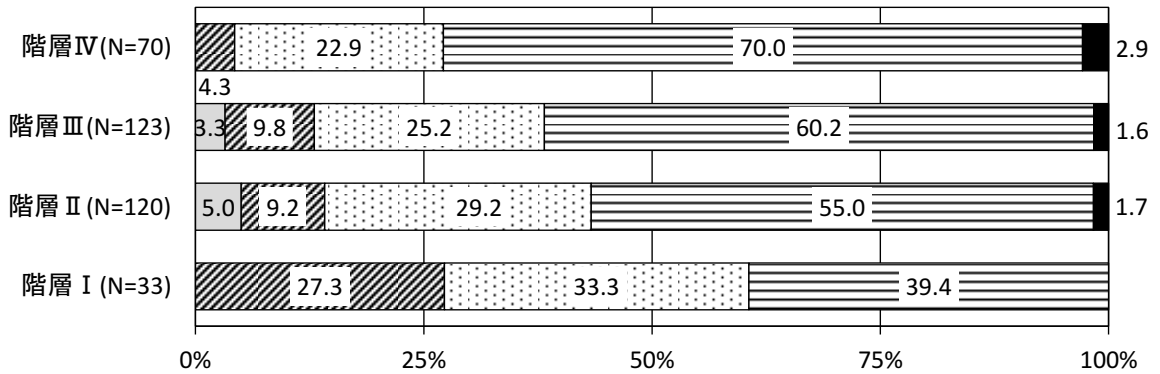
10 歳



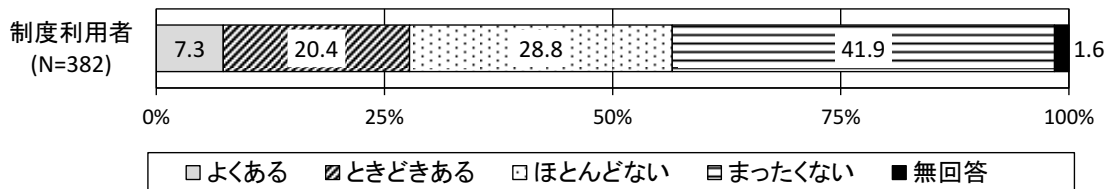
13 歳



16 歳

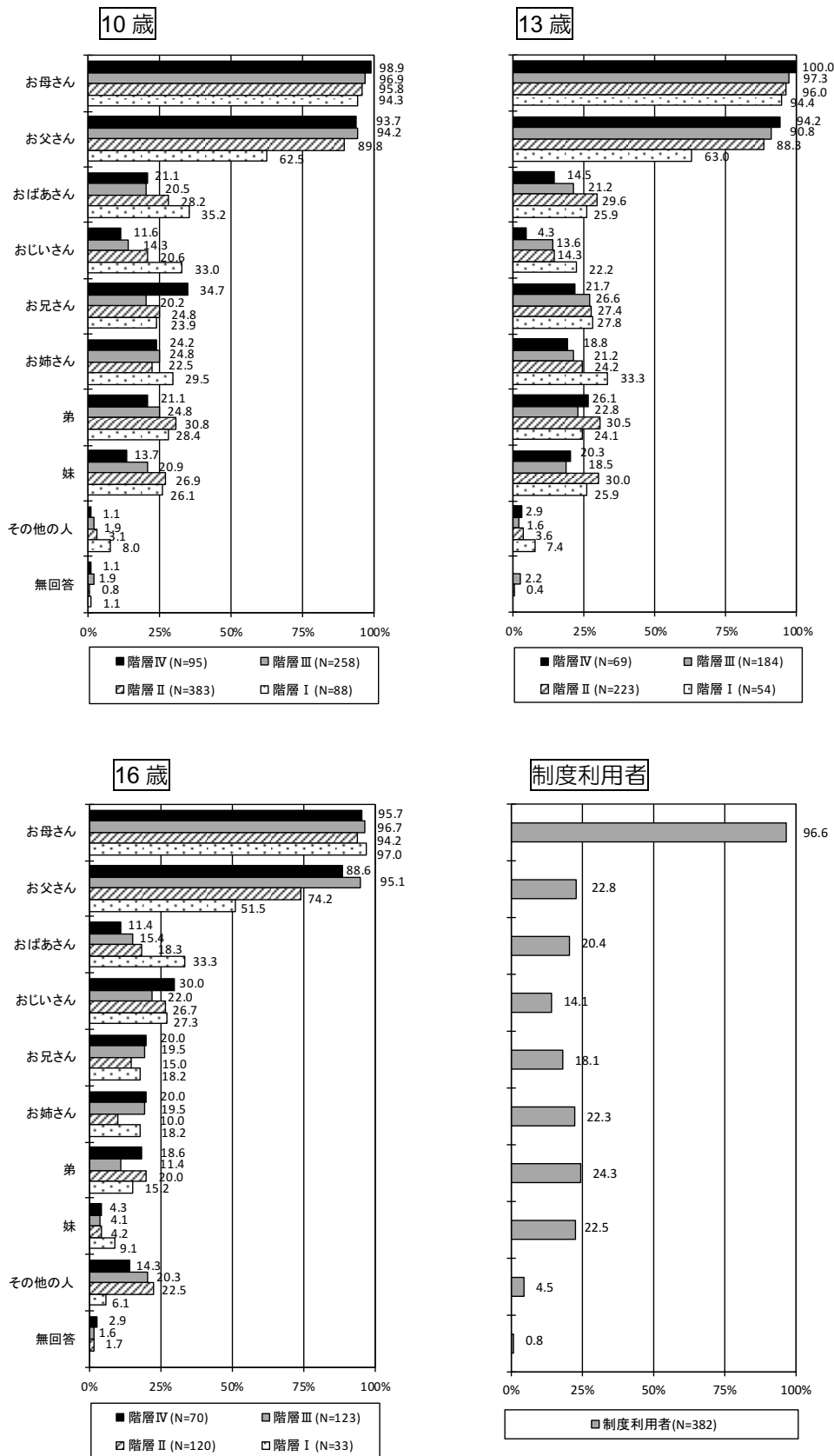


制度利用者



普段の生活の中で、お金が足りなくて、必要とする文具や教材が買えない経験についてみると、全ての年齢で、階層Ⅰで「よくある」「ときどきある」が高くなっています。

問 13 あなたと現在、一緒に住んでいる人を教えてください。(MA)

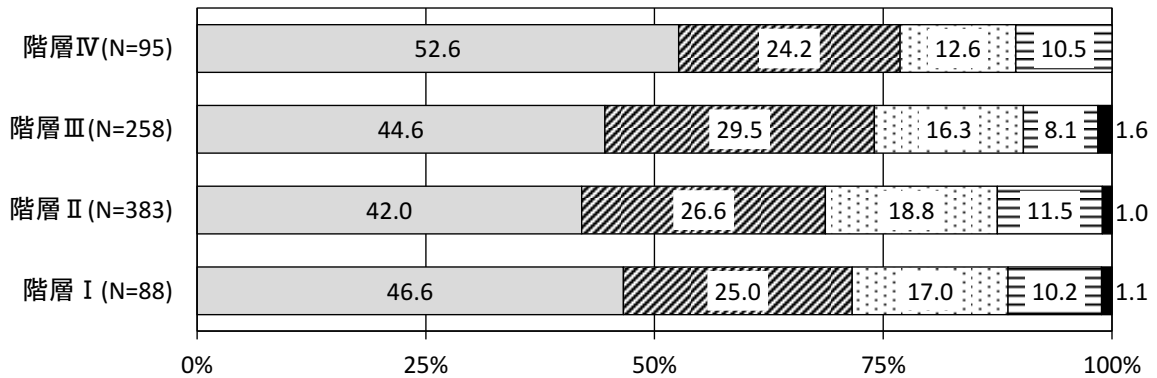


各年齢の階層 I 及び制度利用者について、「お父さん」が少なくなっています。

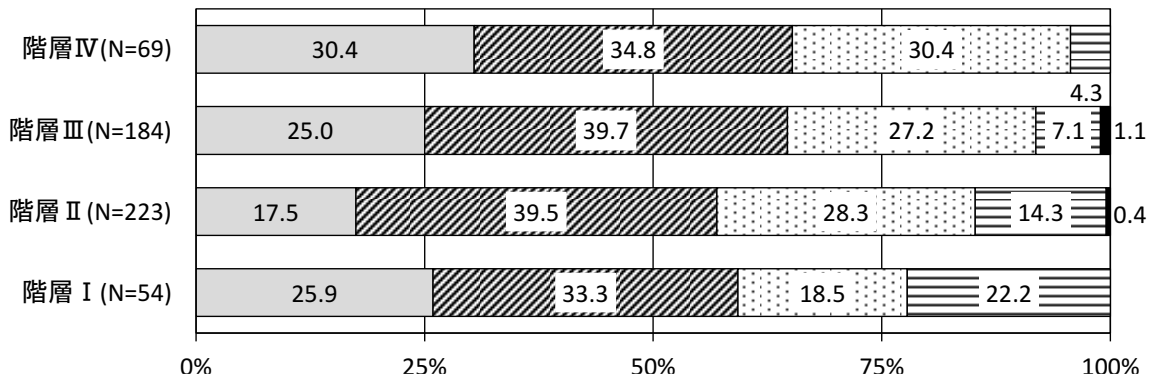
問 14 あなたは、次の①～⑦のようなことをどのくらいしていますか。

問 14-① おうちの大人の人に朝、起こしてもらおう

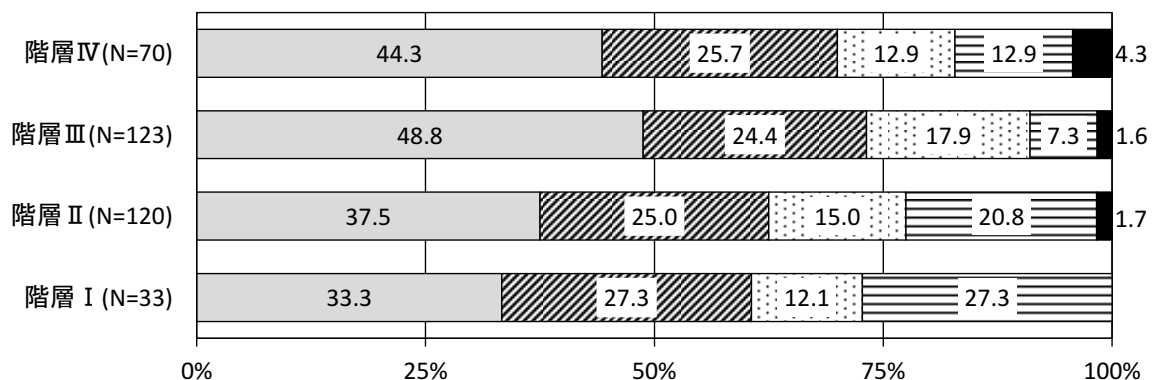
10 歳



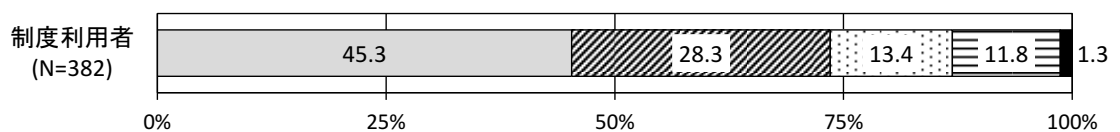
13 歳



16 歳



制度利用者



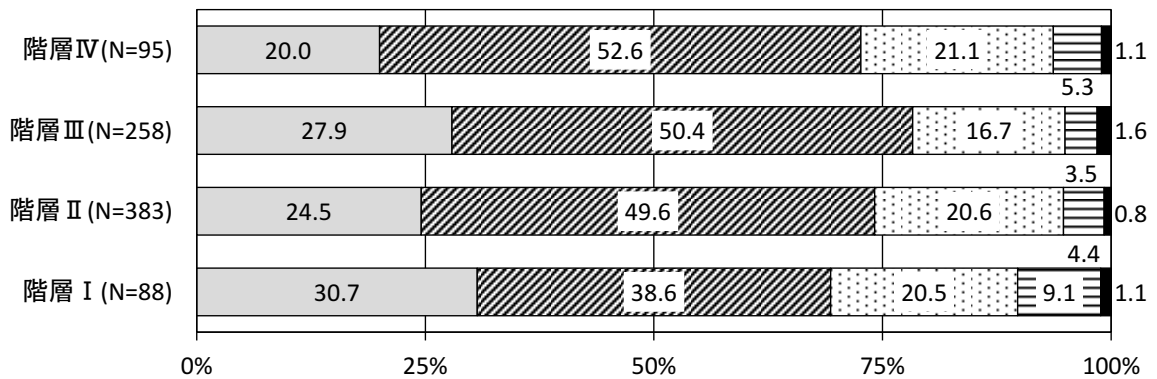
□よくある ▨ときどきある □あまりない □ない ■無回答

おうちの大人の人に朝起こしてもらおう頻度についてみると、13歳は、他の年齢と比べ「よくある」が低くなっています。

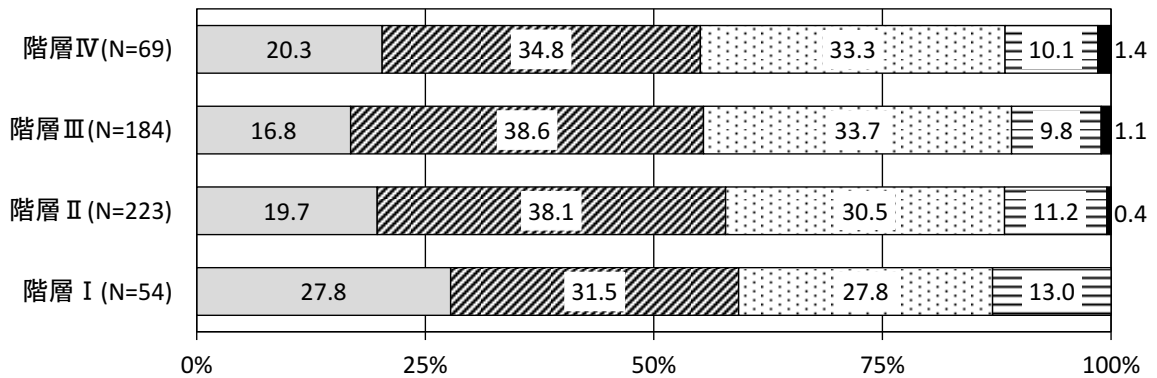
また、階層Ⅰ・Ⅱでは、Ⅲ・Ⅳに比べ「よくある」「ときどきある」が低くなっています。

問 14-② おうちのお手伝いをする

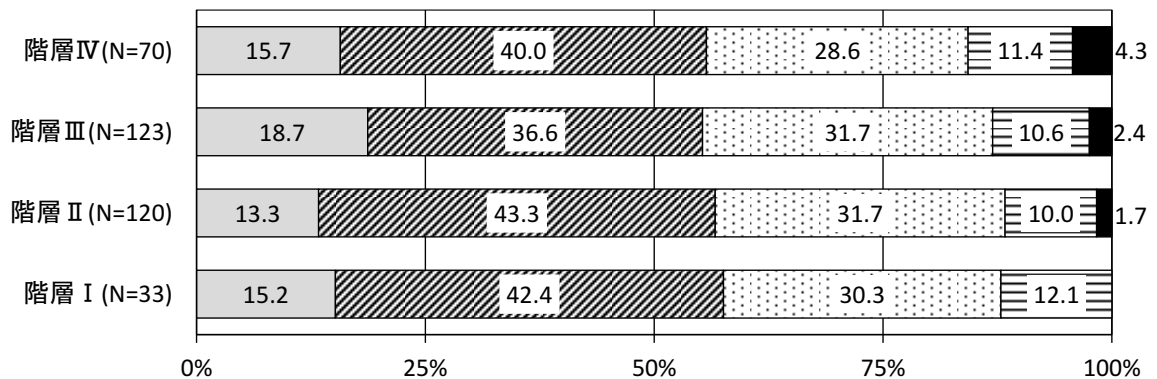
10 歳



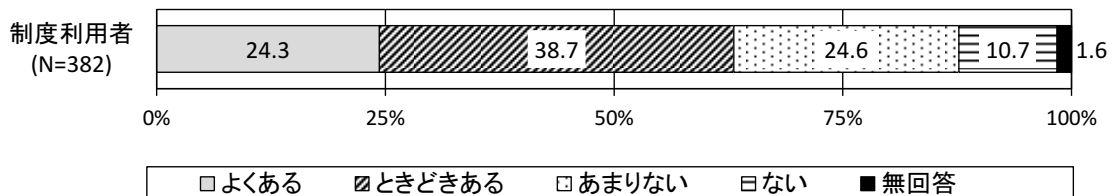
13 歳



16 歳



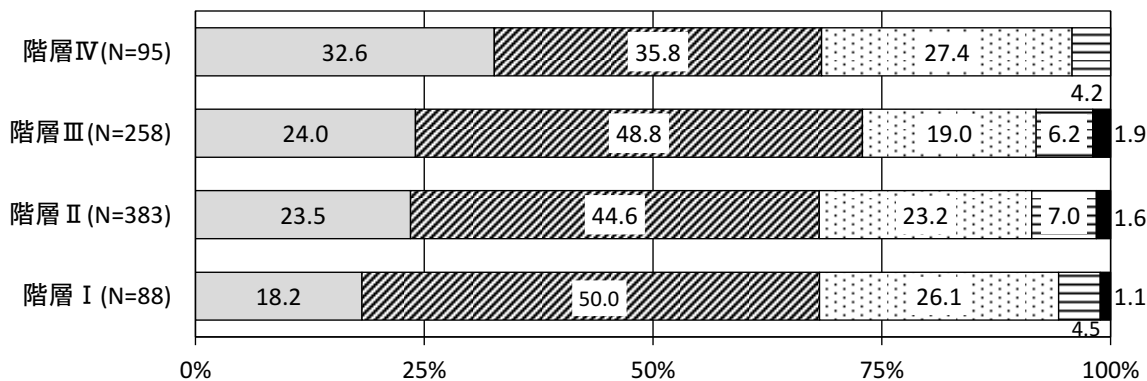
制度利用者



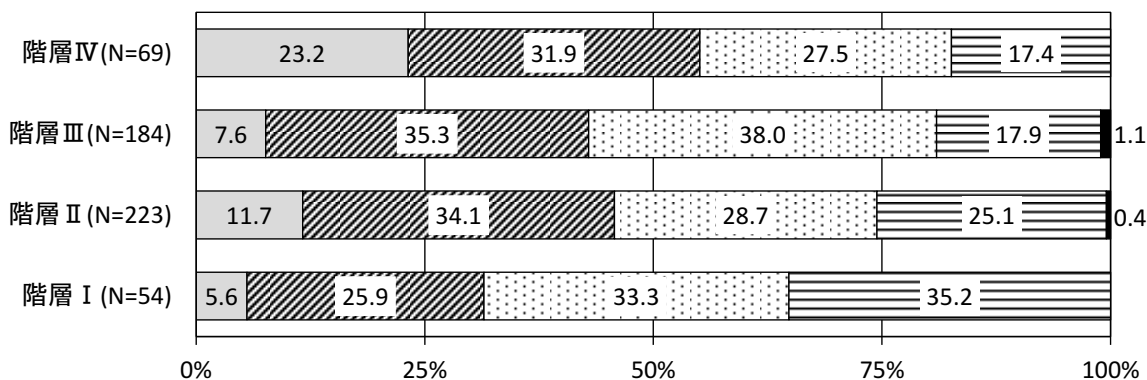
おうちのお手伝いをする頻度についてみると、10 歳では、他の年齢に比べ「よくある」「ときどきある」が高くなっていますが、全体として大きな傾向の差は見られませんでした。

問 14-③ おうちの大人の人に勉強を覚えてもらう

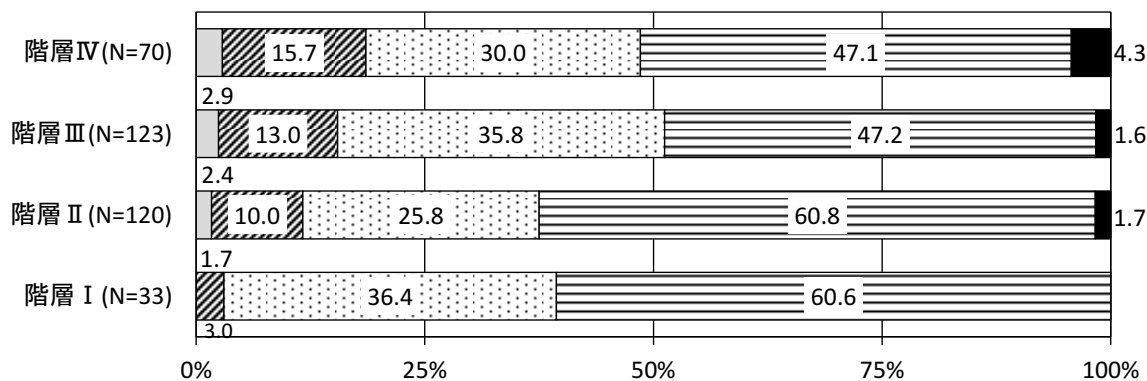
10 歳



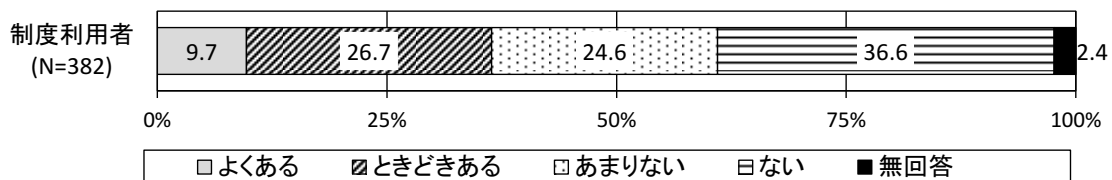
13 歳



16 歳



制度利用者

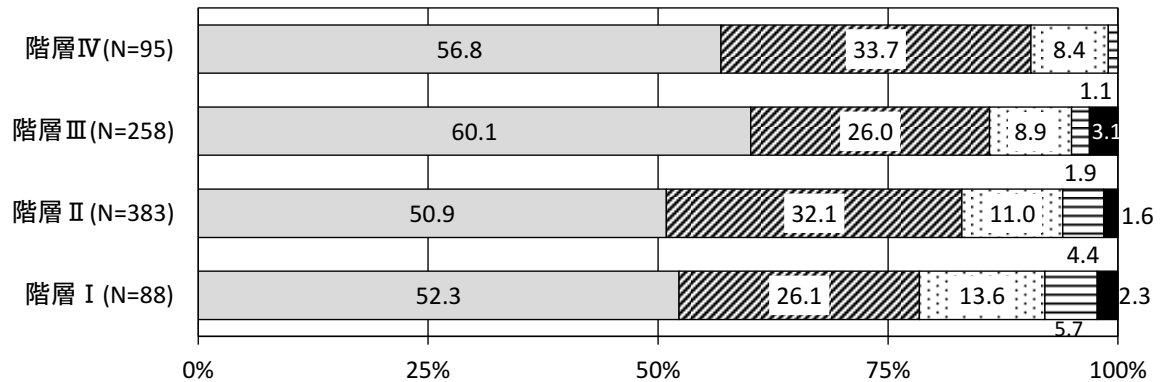


おうちの大人の人に勉強を覚えてもらう頻度についてみると、年齢が上がるにつれて、「よくある」「ときどきある」は低くなっています。

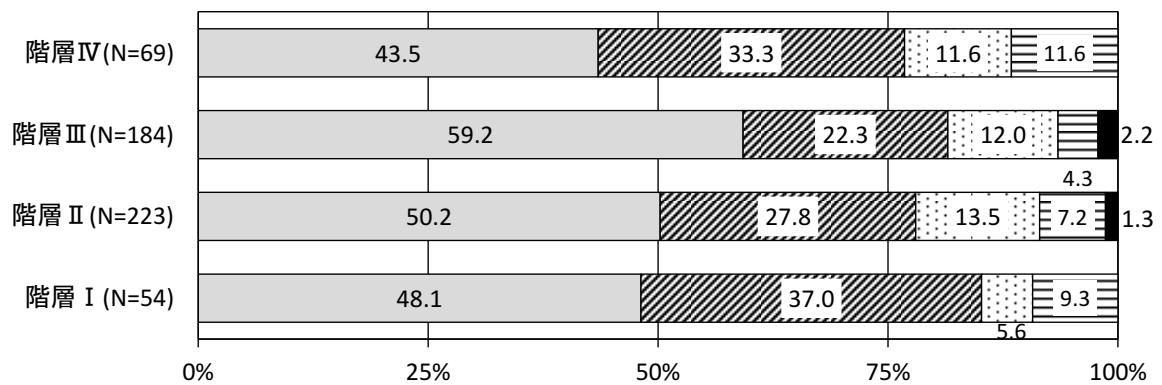
また、各年齢の階層Ⅰ、制度利用者で「よくある」が低くなっています。

問 14-④ おうちの大人の人と学校などでのできごとについて話をする

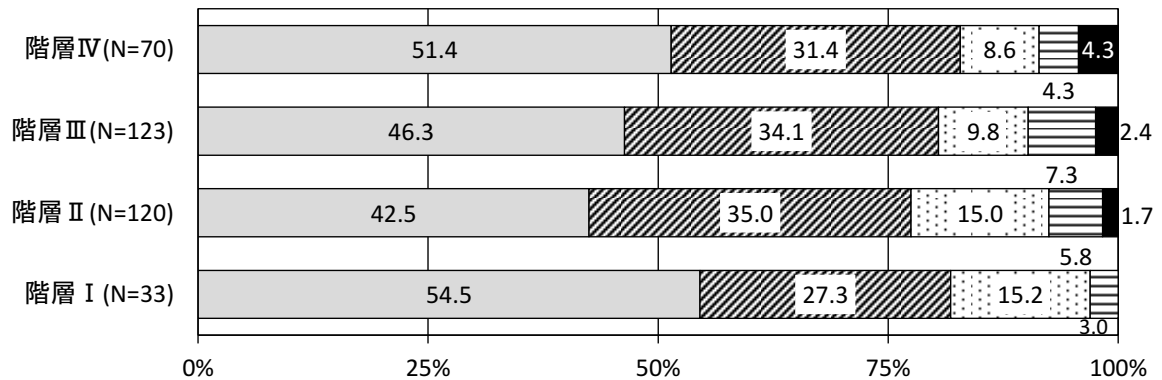
10 歳



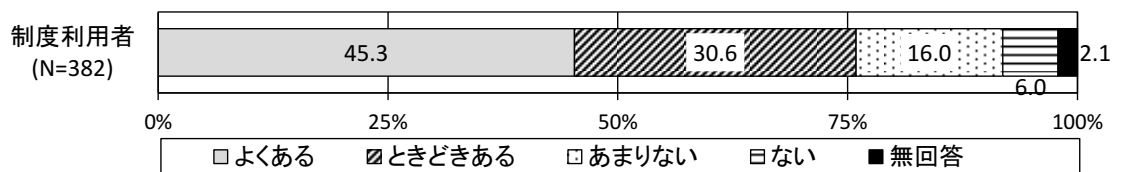
13 歳



16 歳



制度利用者

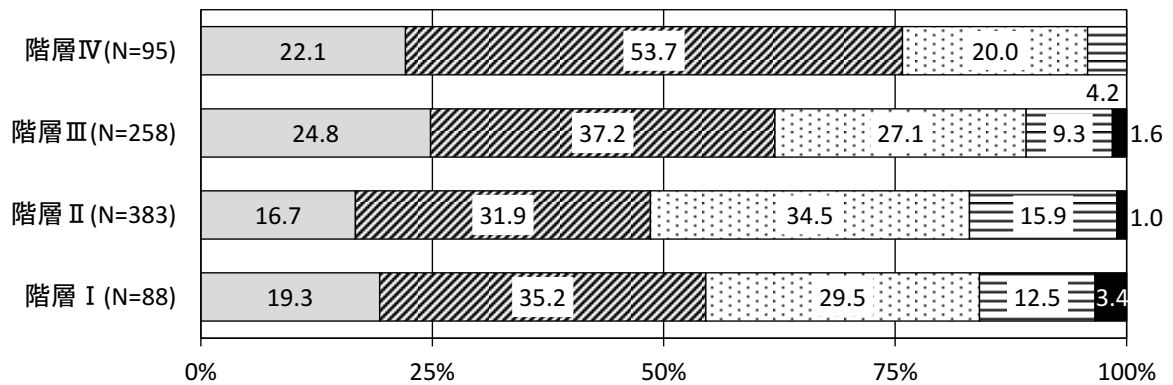


おうちの大人の人と学校などでのできごとについて話をする頻度についてみると、どの年齢も 8 割前後の子は、「よくある」「ときどきある」が高くなっています。

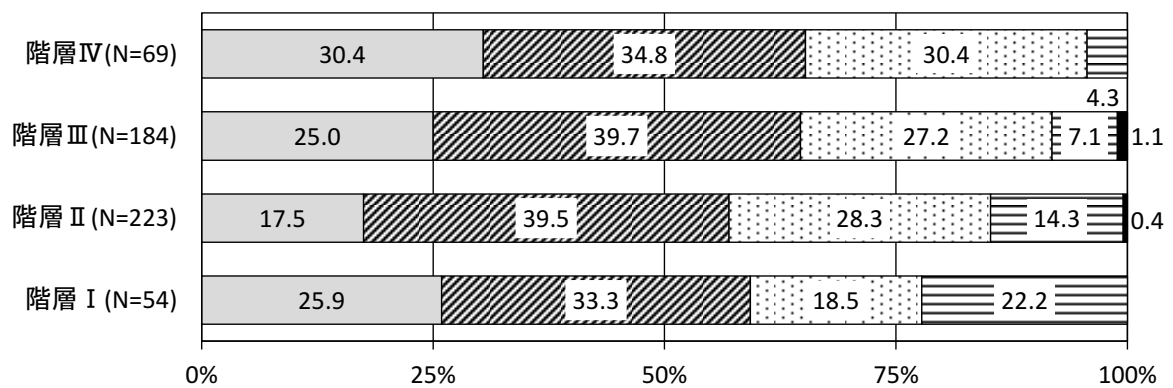
10 歳では、階層が低くなるほど「あまりない」、「ない」が高くなっています。

問 14-⑤ おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をする

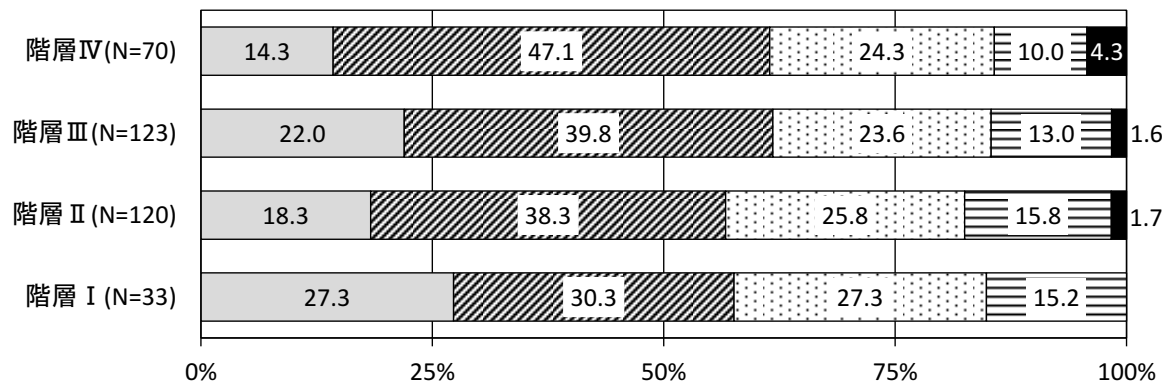
10 歳



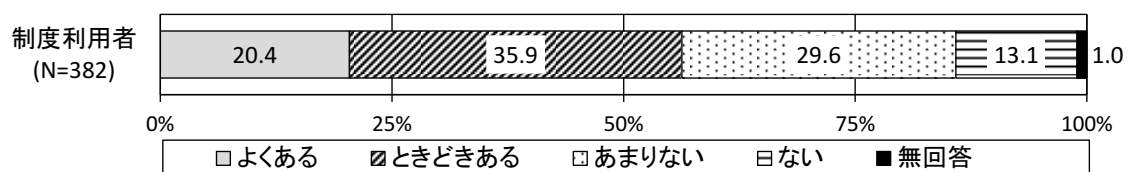
13 歳



16 歳



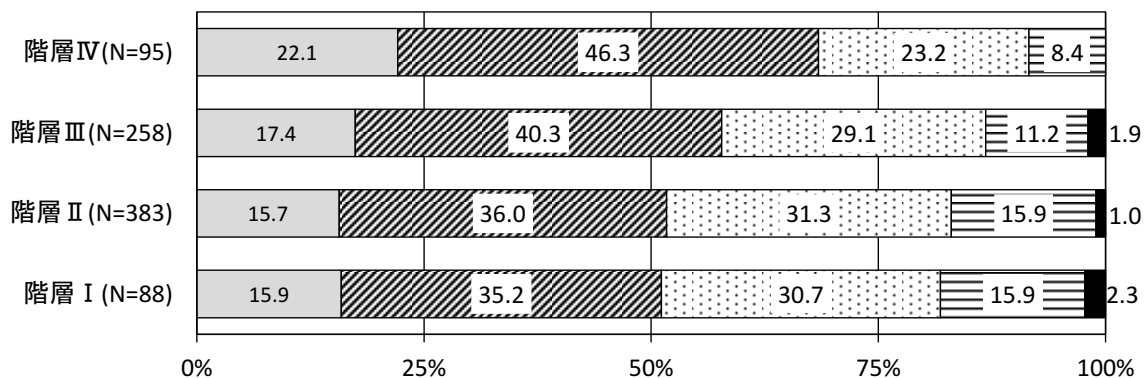
制度利用者



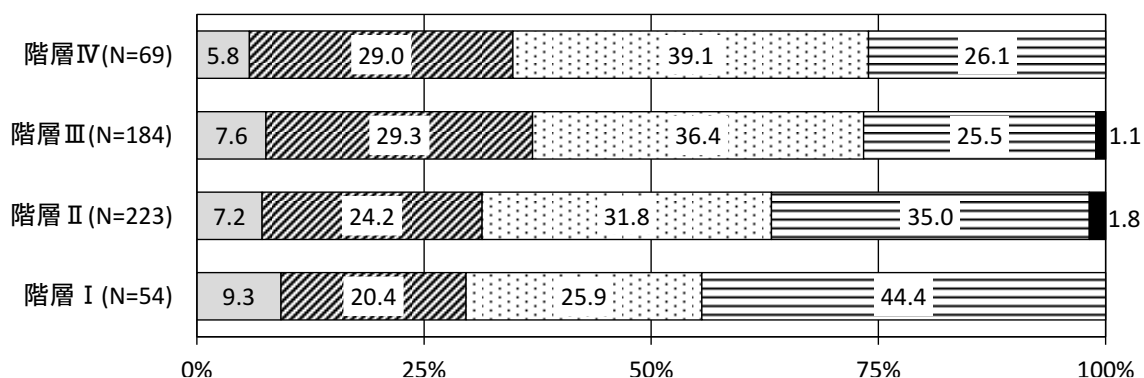
おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をする頻度についてみると、年齢・階層ごとの回答に統一的な傾向はみられませんでした。階層が低いほど「よくある」「ときどきある」がやや少ない傾向にありました。

問 14-⑥ おうちの大人の人と図書館や美術館、音楽鑑賞など文化的な施設や行事に行く

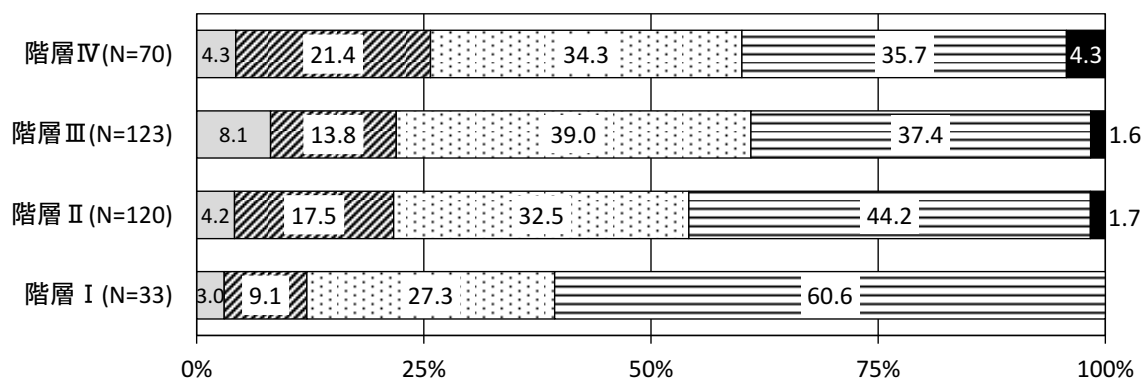
10 歳



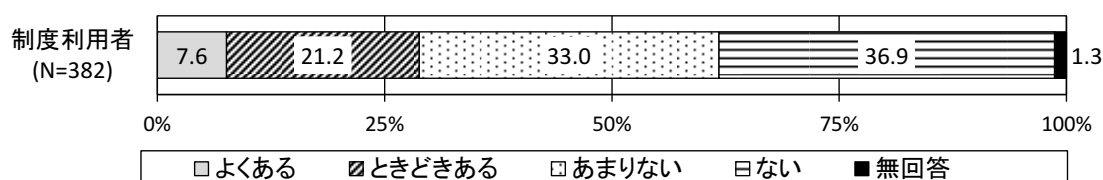
13 歳



16 歳



制度利用者

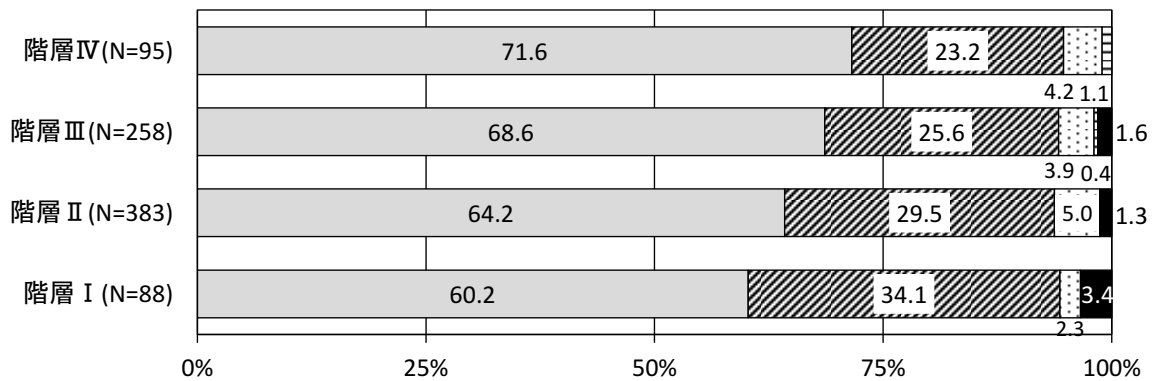


おうちの大人の人と図書館や美術館、音楽鑑賞など文化的な施設や行事に行く頻度についてみると、全ての年齢で、階層が低くなるにしたがって「ない」が高くなっています。

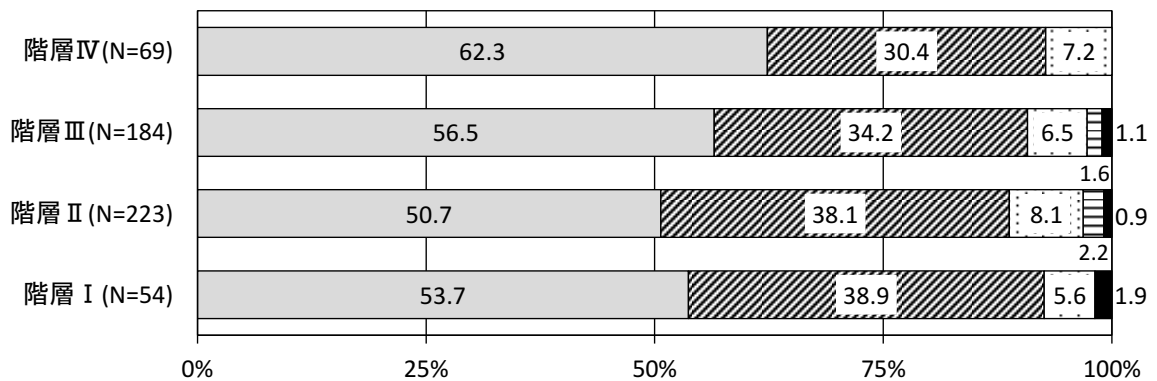
16 歳では、階層Ⅰの「ない」が最も高く6割を超えています。

問 14-⑦ おうちの大人の人と外出(買い物、外食など)をする

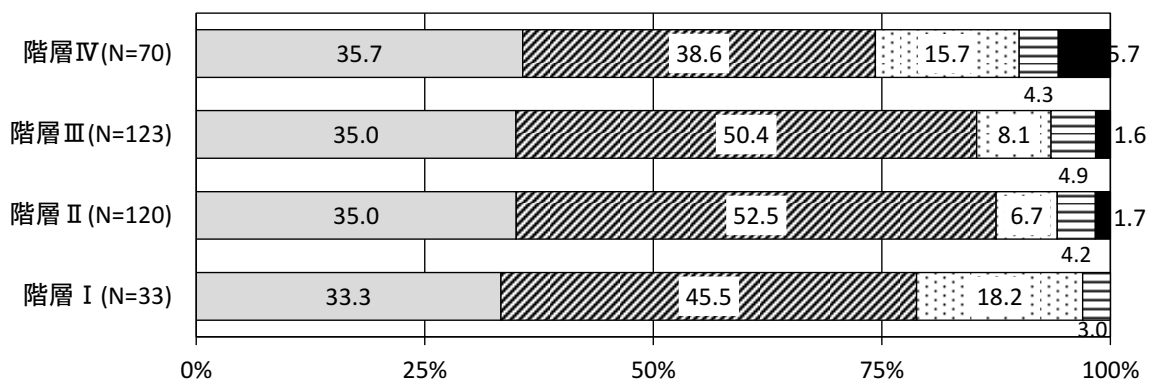
10 歳



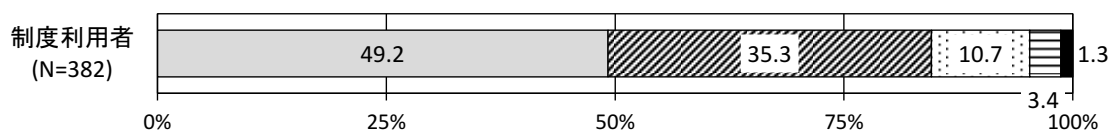
13 歳



16 歳



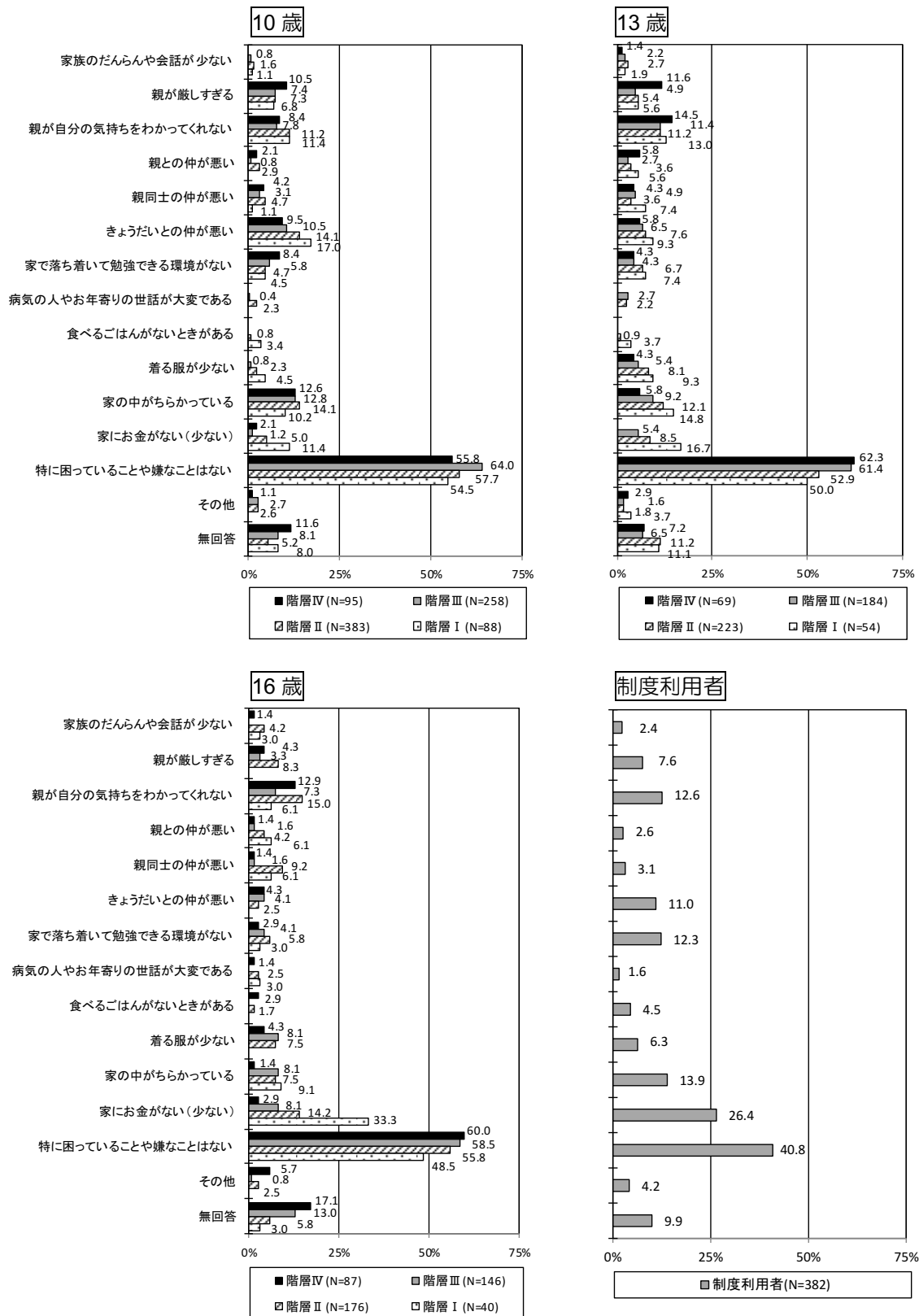
制度利用者



□よくある ▨ときどきある □あまりない □ない ■無回答

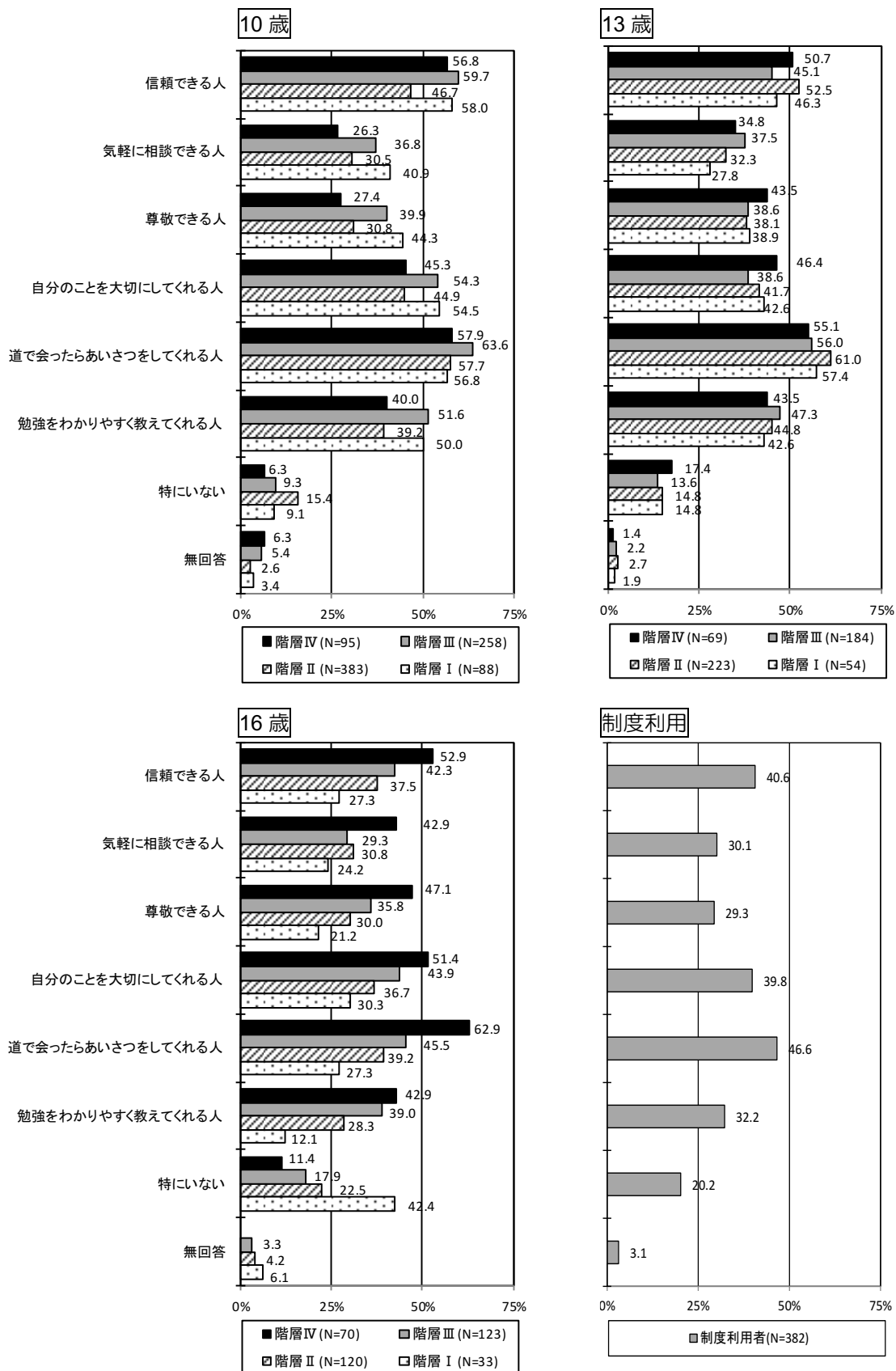
おうちの大人の人と外出(買い物、外食など)をする頻度についてみると、年齢が高くなるにしたがって、また階層が低くなるにしたがって、「よくある」が低くなっていますが、16歳では階層による差がほとんどなくなります。

問 15 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことはありますか。(MA)



家族のことなどで、何か困っていることや嫌なことについてみると、「特に困っていることや嫌なことではない」を除き、10歳では、「きょうだいとの仲が悪い」「家の中がちらかっている」が高く、年齢が高くなるにしたがって、「親が自分の気持ちをわかってくれない」「家にお金がない(少ない)」が高くなっています。なお、制度利用者は、「家にお金がない(少ない)」が26.4%と最も高くなっています。

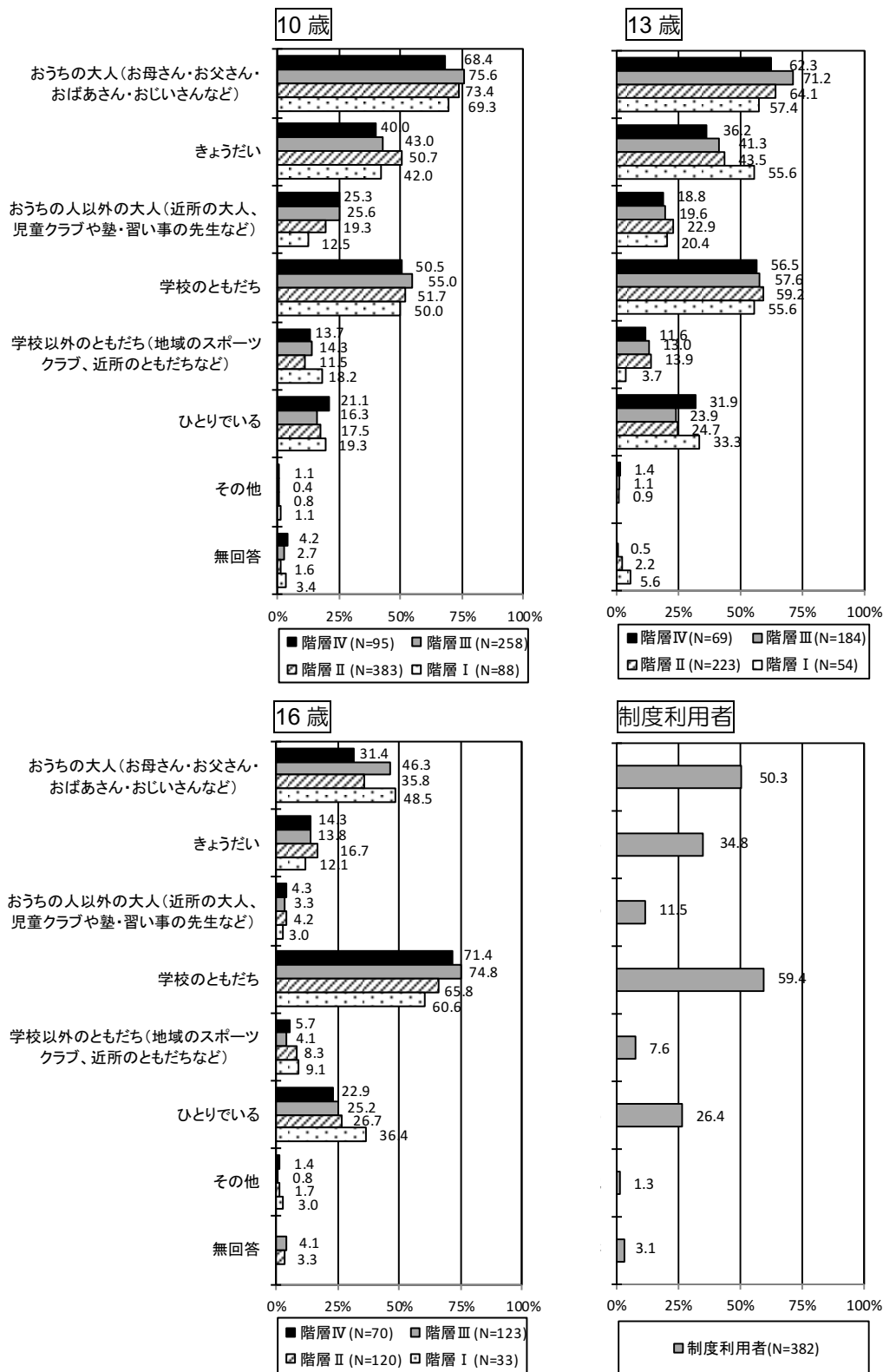
問 16 あなたのまわりには、親以外で、次のような大人はいますか。(MA)



親以外でまわりにいる大人についてみると、10歳、13歳では、階層による回答に大きな傾向はありませんが、16歳になると、階層が低くなるにしたがって、「信頼できる人」「気軽に相談できる人」などが低く、「特にいない」が42.4%と高くなっています。

3 学校や勉強のこと

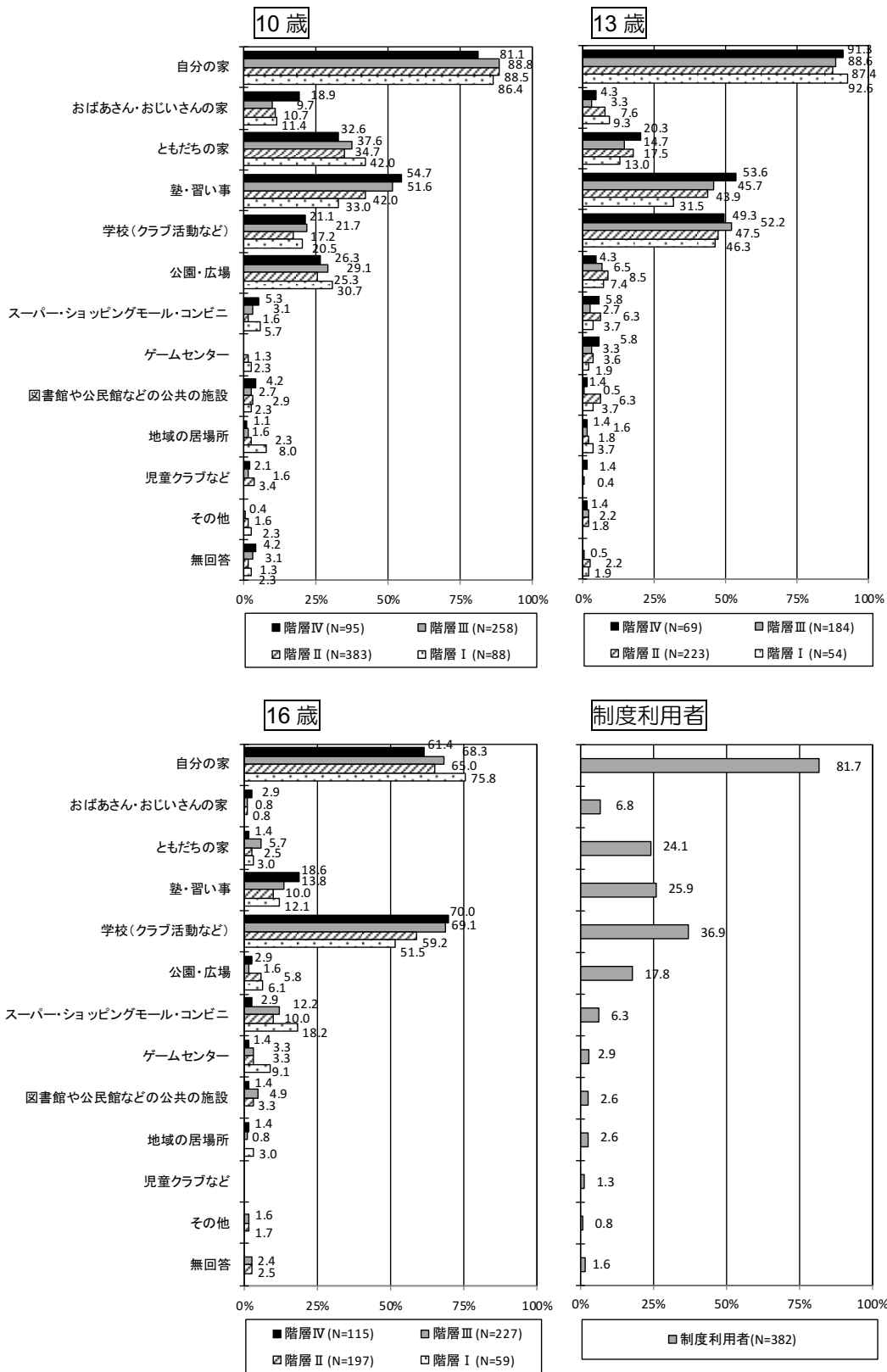
問 17-1 あなたは、ふだんの放課後、だれと過ごしますか。(MA)



ふだんの放課後、誰と過ごすかについてみると、10歳、13歳では、「おうちの大人」が最も高く、次いで「学校のともだち」が高くなっています。16歳では、「学校のともだち」が最も高く、次いで、「おうちの大人」となっています。

制度利用者は、「学校のともだち」の割合が最も高く、次いで「おうちの大人」の順となっています。

問 17-2 あなたは、ふだんの放課後、どこで過ごしますか。(MA)

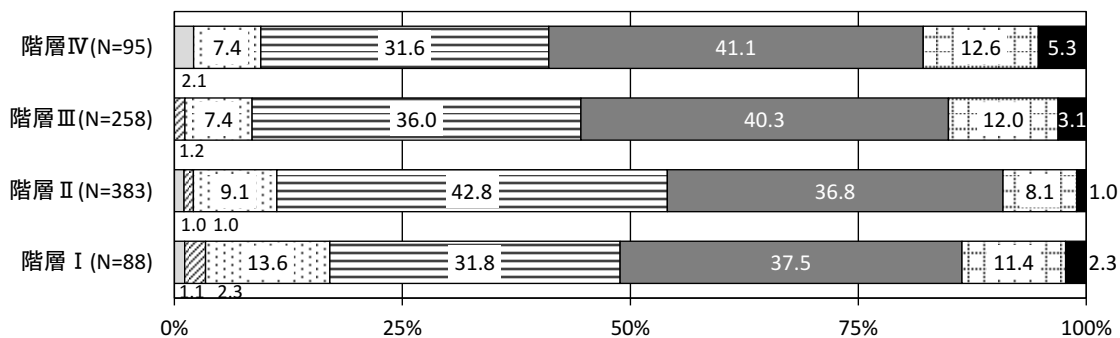


ふだんの放課後、どこで過ごすかについてみると、いずれの年齢でも、「自分の家」が最も高く、10歳では「塾・習い事」、13歳、16歳では「学校(クラブ活動など)」も高くなっています。

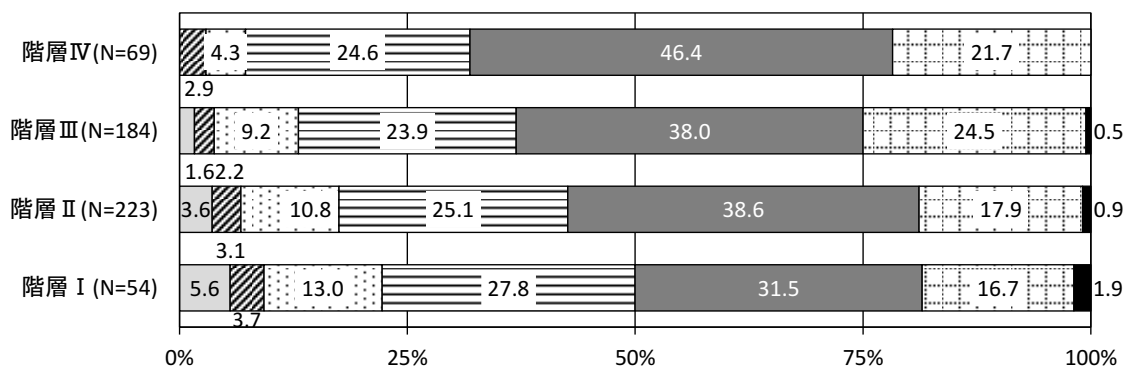
制度利用者では、「自分の家」が最も多く、次いで「学校(クラブ活動)」、「塾・習い事」の順となっています。

問 18 あなたは学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。塾などの時間も含まれます。また、どこで勉強していますか。(MA)

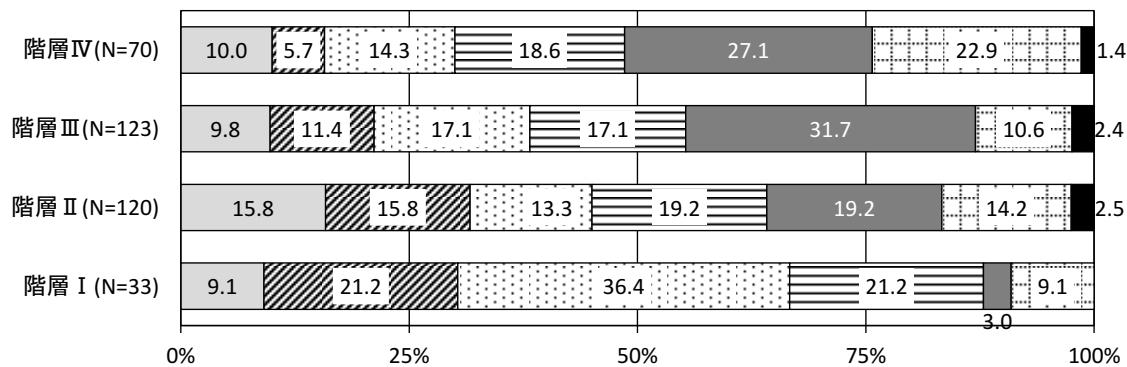
10 歳



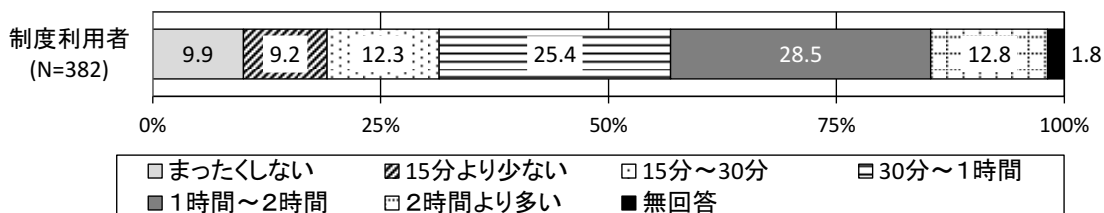
13 歳



16 歳



制度利用者

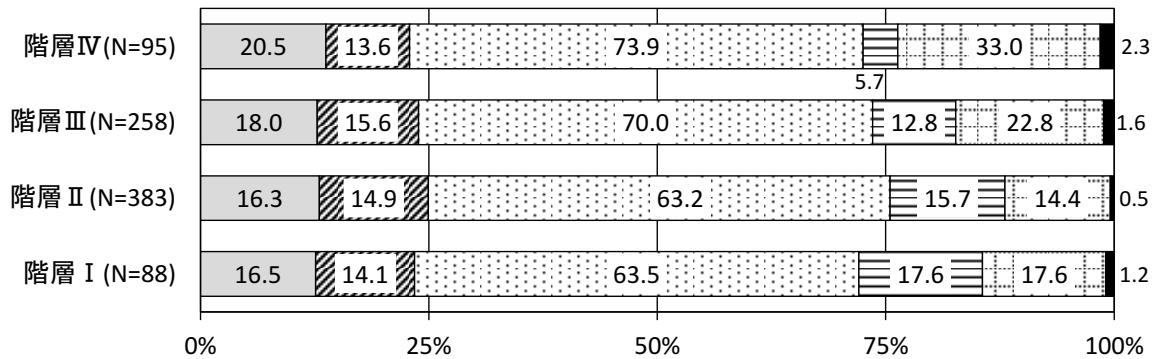


学校の授業以外で、1日(平日)に勉強する時間についてみると、いずれの年齢についても、階層が低くなるほど「30分未満」が高くなっています。

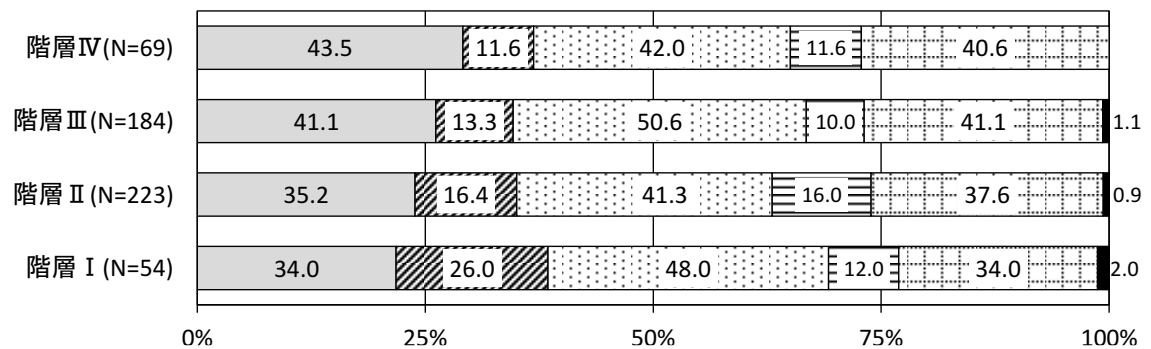
また、年齢があがるにつれて、「30分未満」はより高くなっています。

問 18-2【勉強する場所】

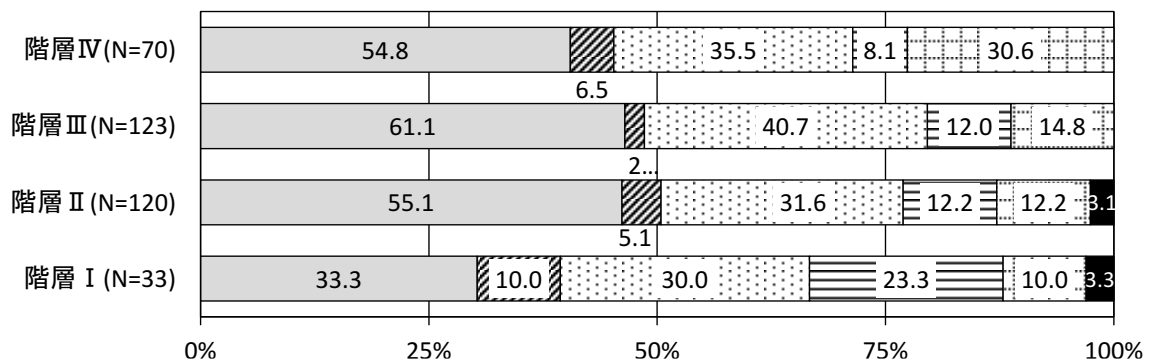
10 歳



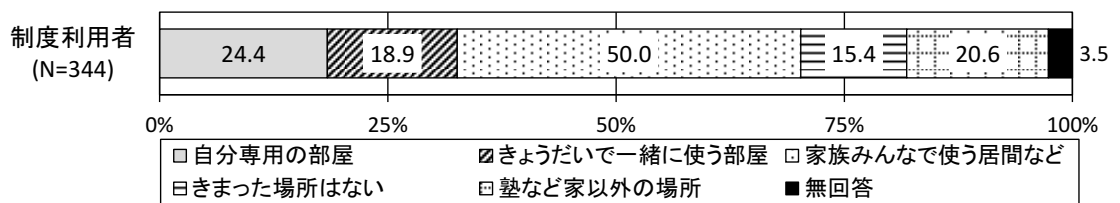
13 歳



16 歳

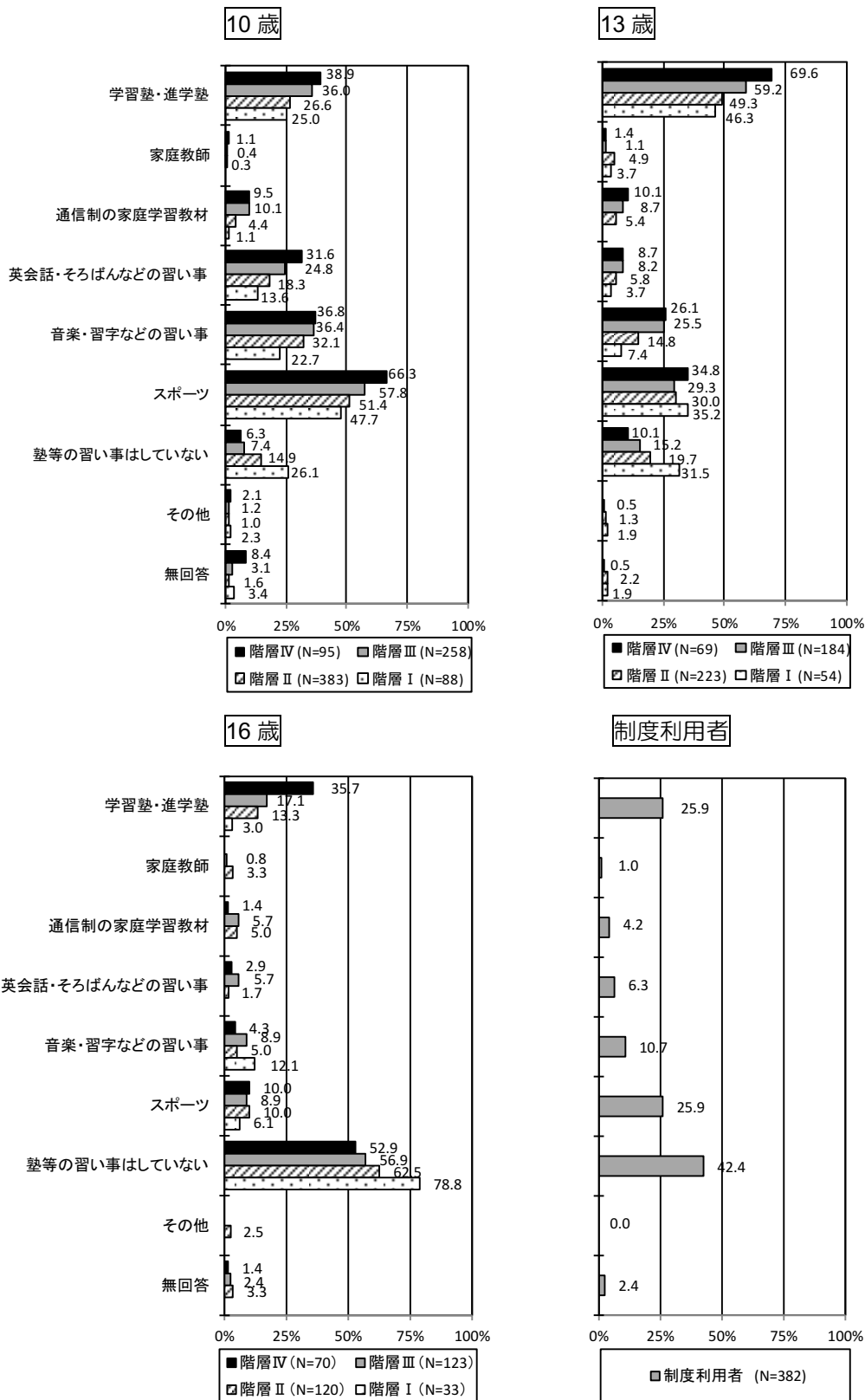


制度利用者



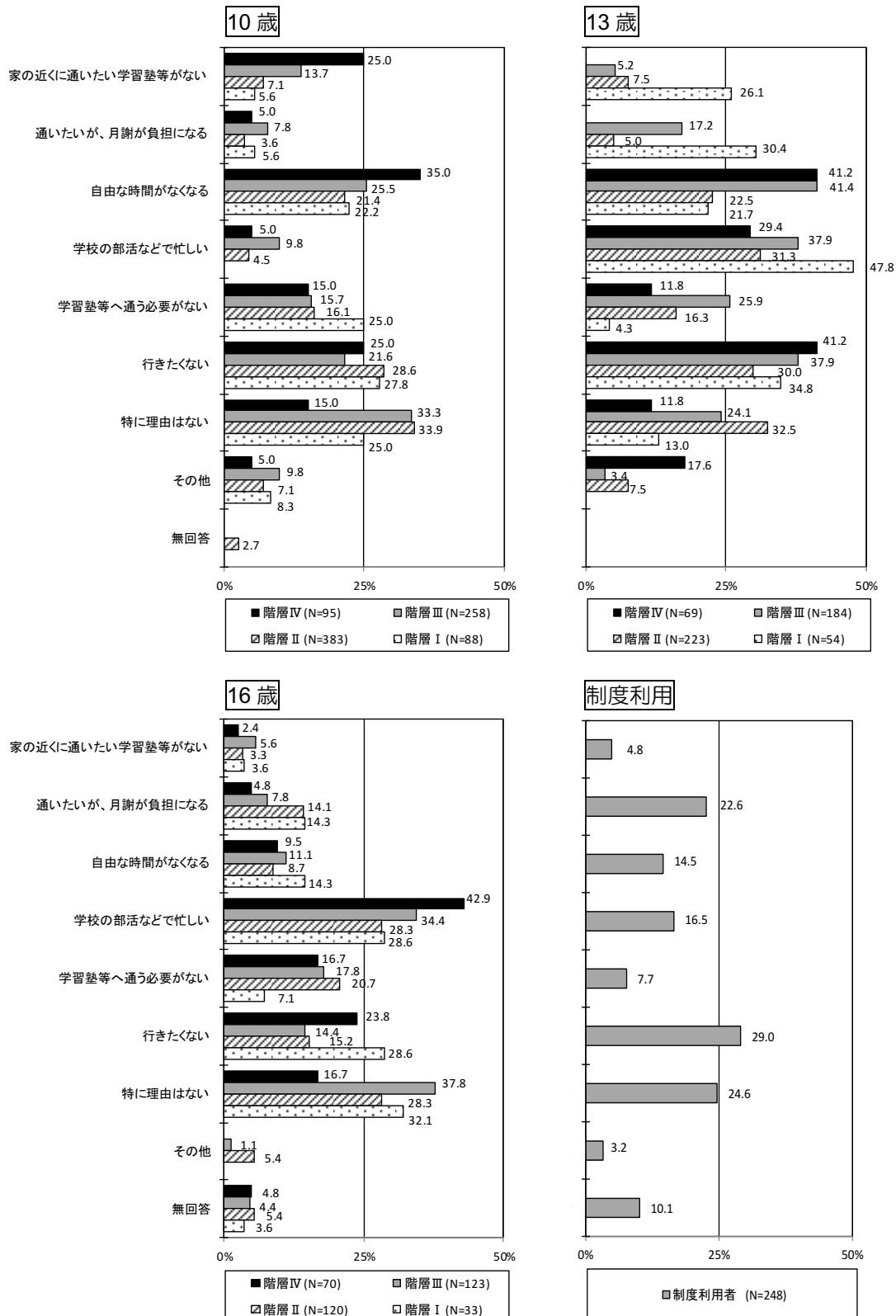
勉強する場所についてみると、10 歳では、「家族みんなで使う居間など」が 6 割以上を占めていますが、年齢が高くなるに従って減少し、16 歳になると「自分専用の部屋」を利用する人が、階層Ⅰを除き 5 割以上となっています。

問 19-1 あなたは、放課後に学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室等に通っていますか。(MA)



放課後に学習塾などに通っているかについてみると、いずれの年齢においても、階層が低くなるにしたがって、「学習塾・進学塾」が低くなり、「塾等の習い事はしていない」が高くなっています。

問 19-2 学習塾等に通っていない方にお聞きます。学習塾等に通っていない理由はなんですか。(MA)

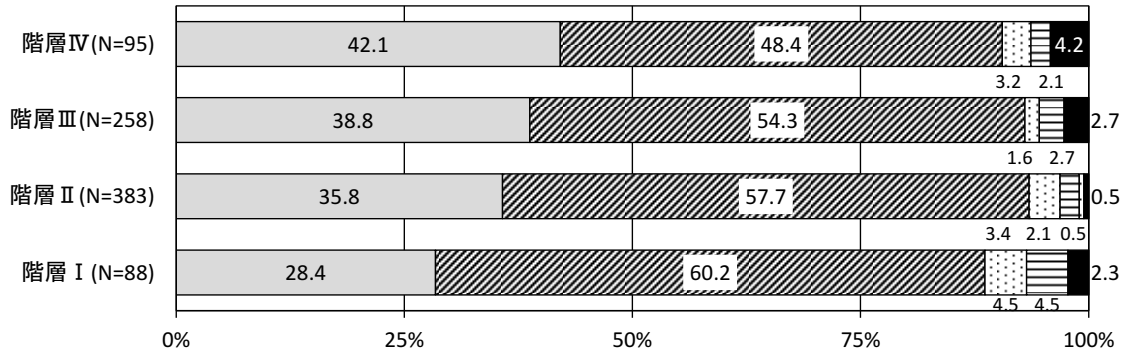


学習塾などに通っていない理由についてみると、「学校の部活などで忙しい」は10歳、13歳が高く3割以上となっています。

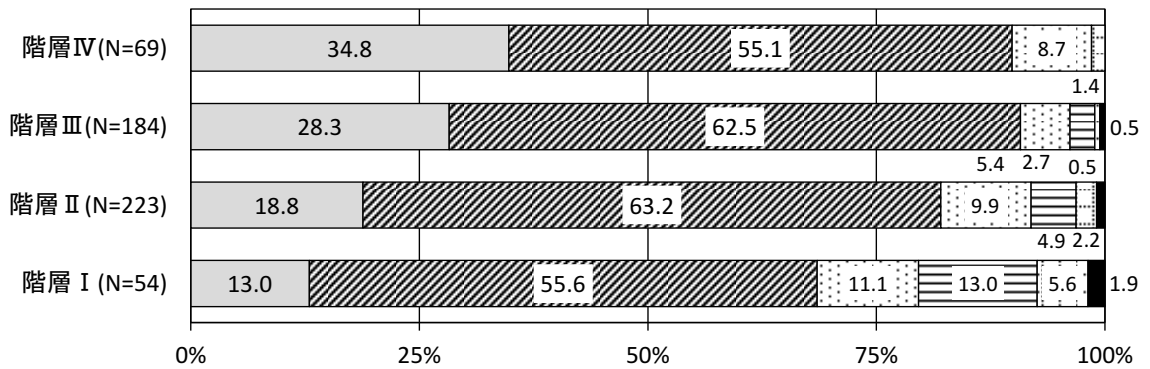
また、「通いたいが、月謝が負担になる」は、制度利用者が高く2割超となっています。

問 20 あなたは、学校の授業がわかりますか。

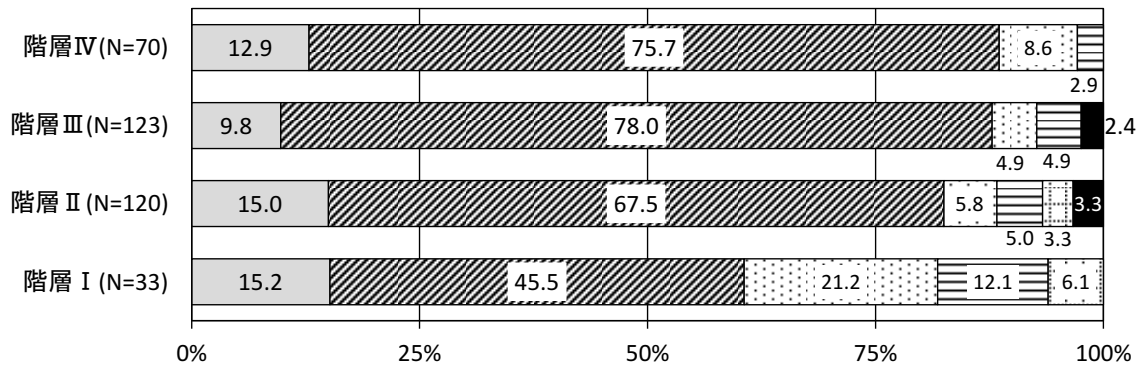
10 歳



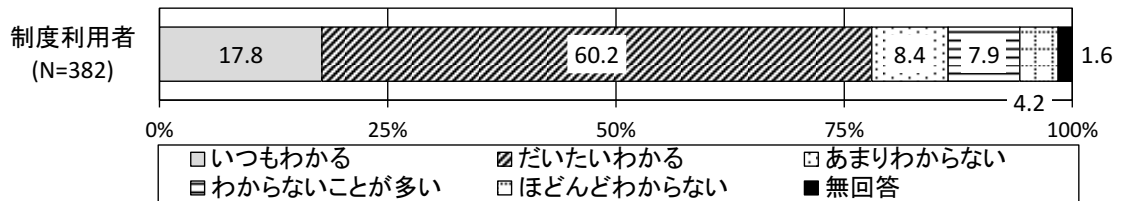
13 歳



16 歳

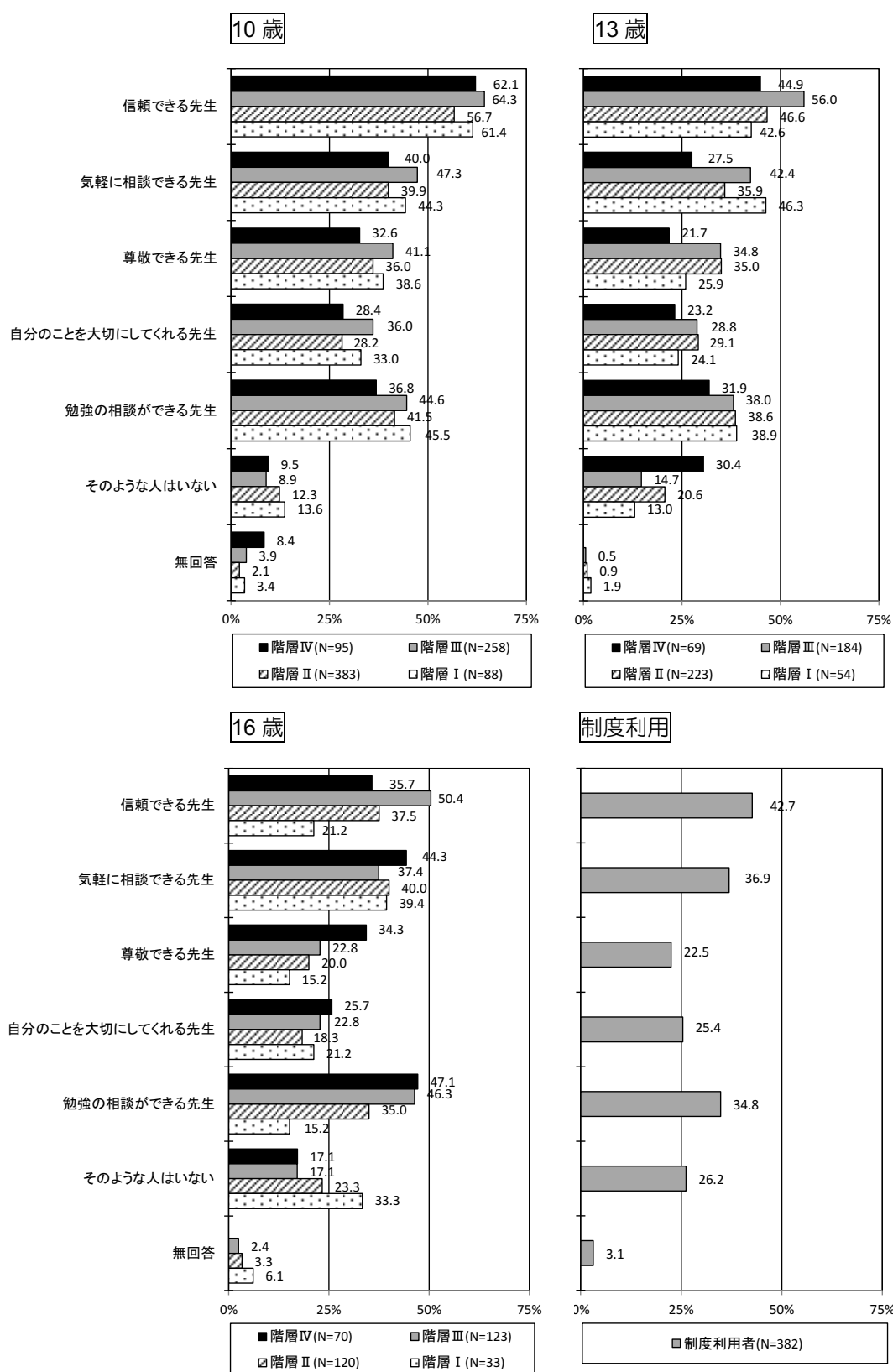


制度利用者



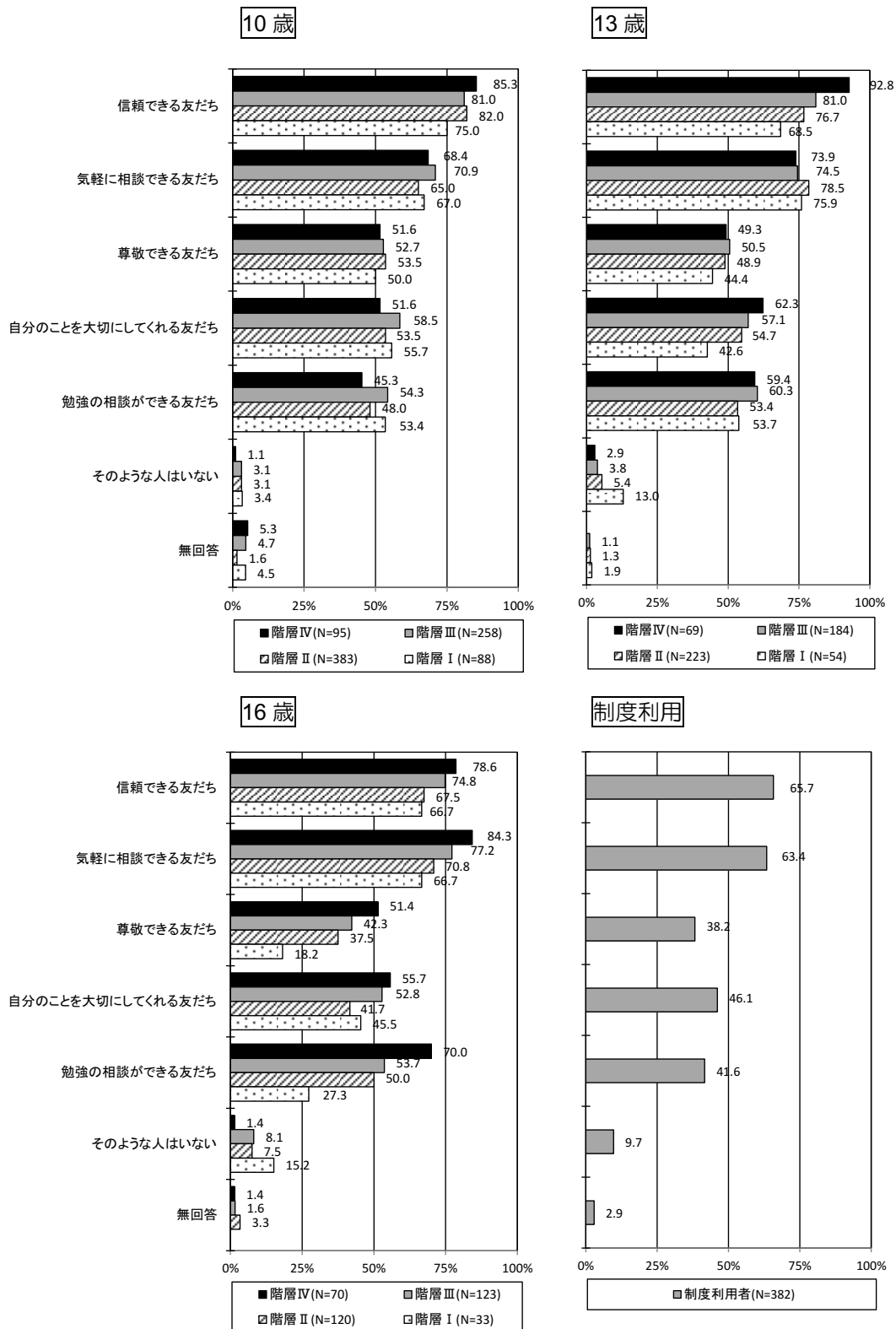
学校の授業がわかるかについてみると、いずれの年齢においても、階層が低くなるにしたがって、「わからない」（「あまりわからない」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」）が高くなっています。

問 21 あなたには、次のような先生が周りにいますか。(MA)



周りにいる先生についてみると、10歳では「信頼できる先生がいる」が6割前後と、他年齢に比べ高くなっています。一方、「そのような人はいない」が、13歳の階層IVで30.4%、16歳の階層Iで33.3%とやや高くなっています。

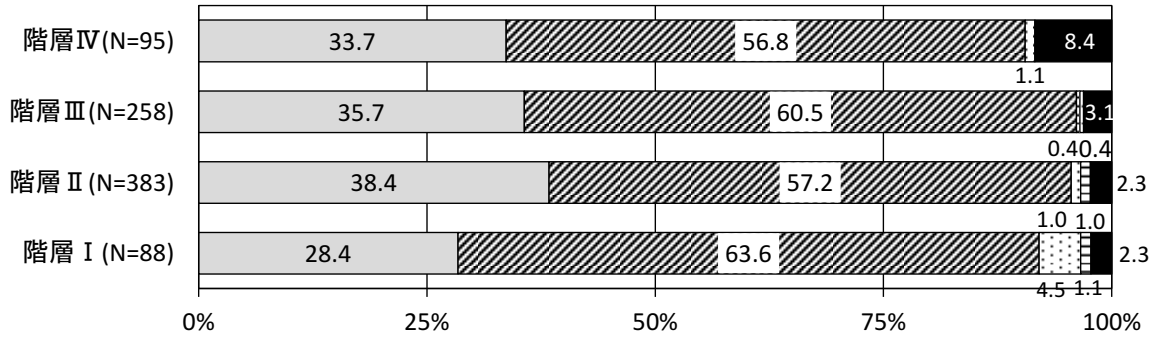
問 22 あなたには、次のような友だちが周りにいますか。(MA)



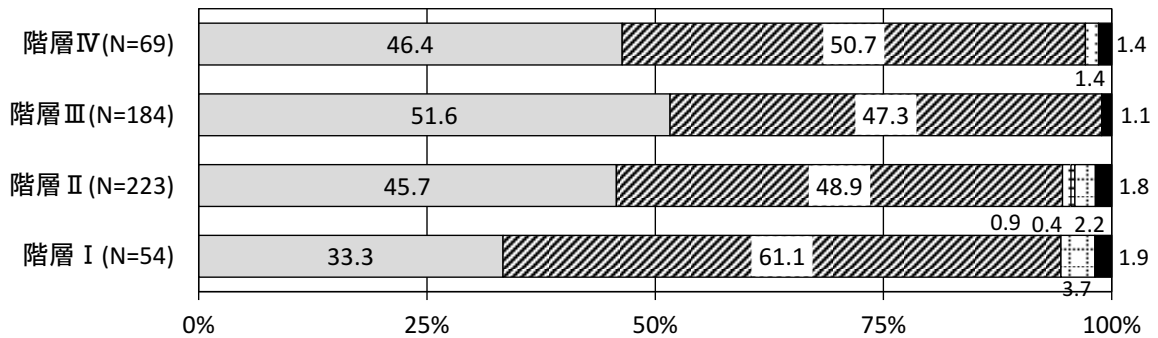
周りにいる友だちについてみると、10歳では、階層による大きな差はみられませんが、年齢があがるにつれて、階層 I・II でいる割合が減っており、「そのような人はいない」が高くなっています。

問 23 あなたは、前の学年のときに、夏休みなどの長期休み以外で、学校を休んだことがありますか。

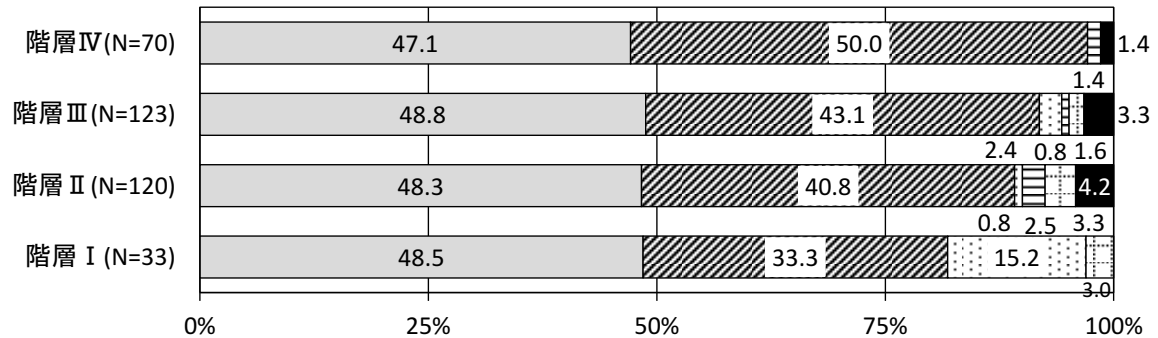
10 歳



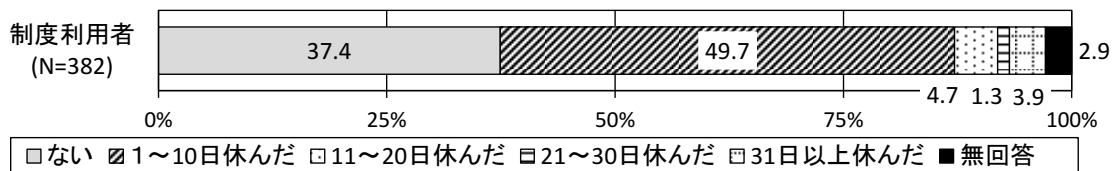
13 歳



16 歳

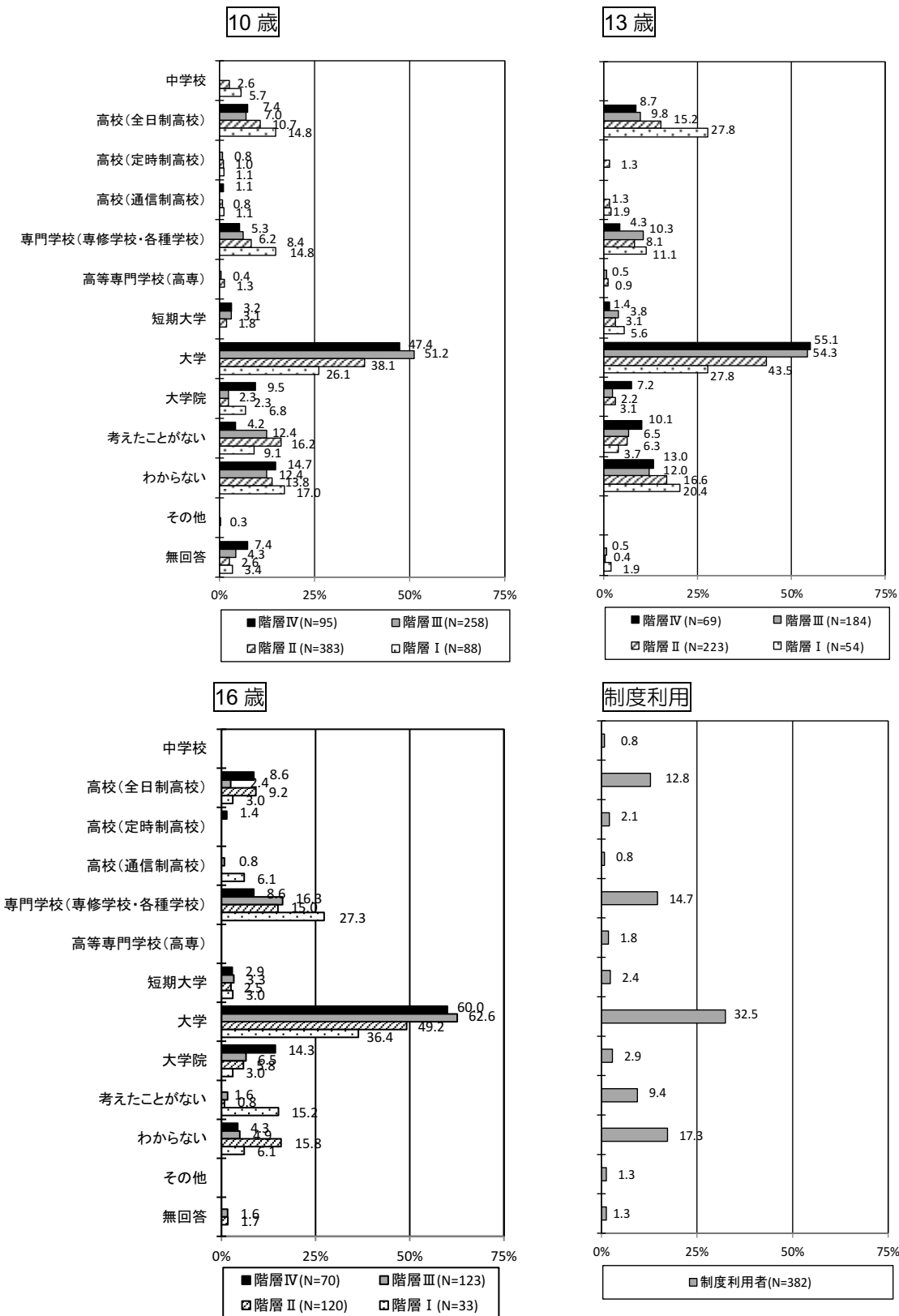


制度利用者



長期休み以外で学校を休んだ日数についてみると、16歳では、階層が低くなるにしたがって、「1日以上」が高くなっていますが、「ない」は階層による差はほとんどありませんでした。

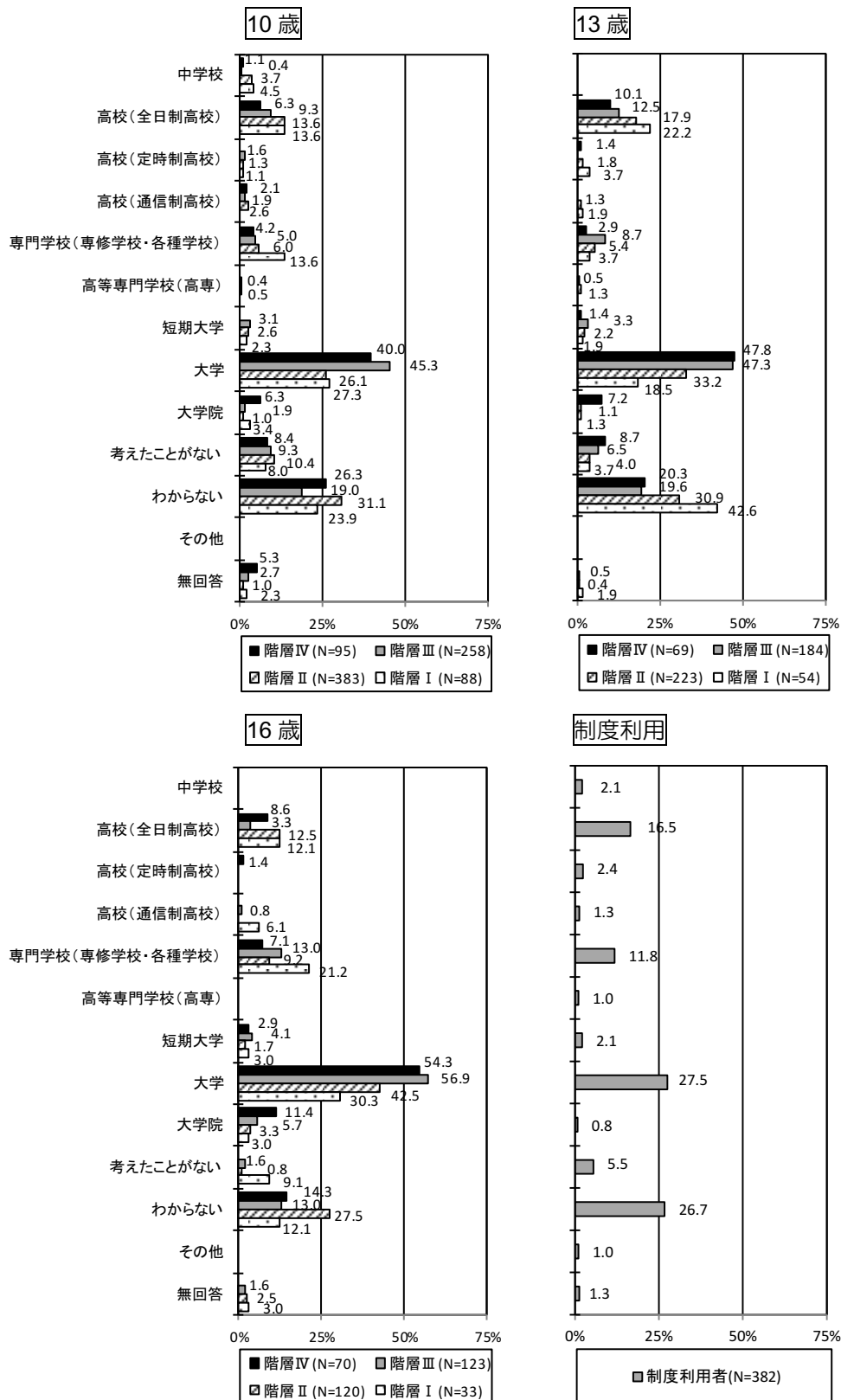
問 24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。



将来どの学校まで行きたいかについてみると、いずれの年齢についても、階層が低いほど「大学」までが低くなり、「高校（全日制）」や「専門学校」が高くなっています。

16歳の階層Iでは「大学」「専門学校（専修学校・各種学校）」に次いで3番目に「考えたことがない」が高くなっています。

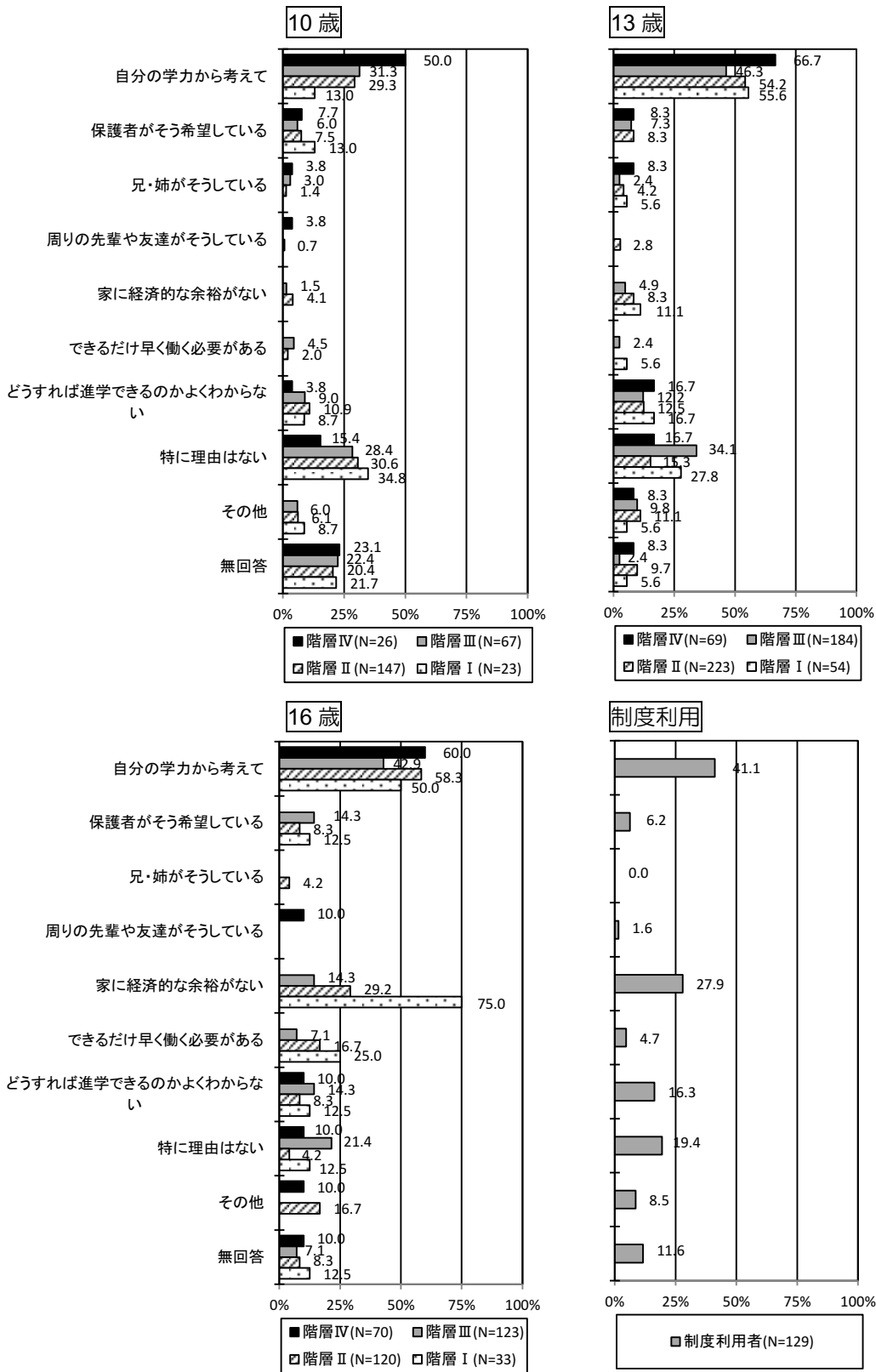
問 25 あなたは、将来どの学校まで行くことになると思いますか。



将来どの学校まで行くことになるかについてみると、年齢があがるにつれて、「大学」が高くなっていますが、階層が低いほど「大学」が低くなり、「高校(全日制)」や「専門学校(専修学校・各種学校)」が高くなっています。

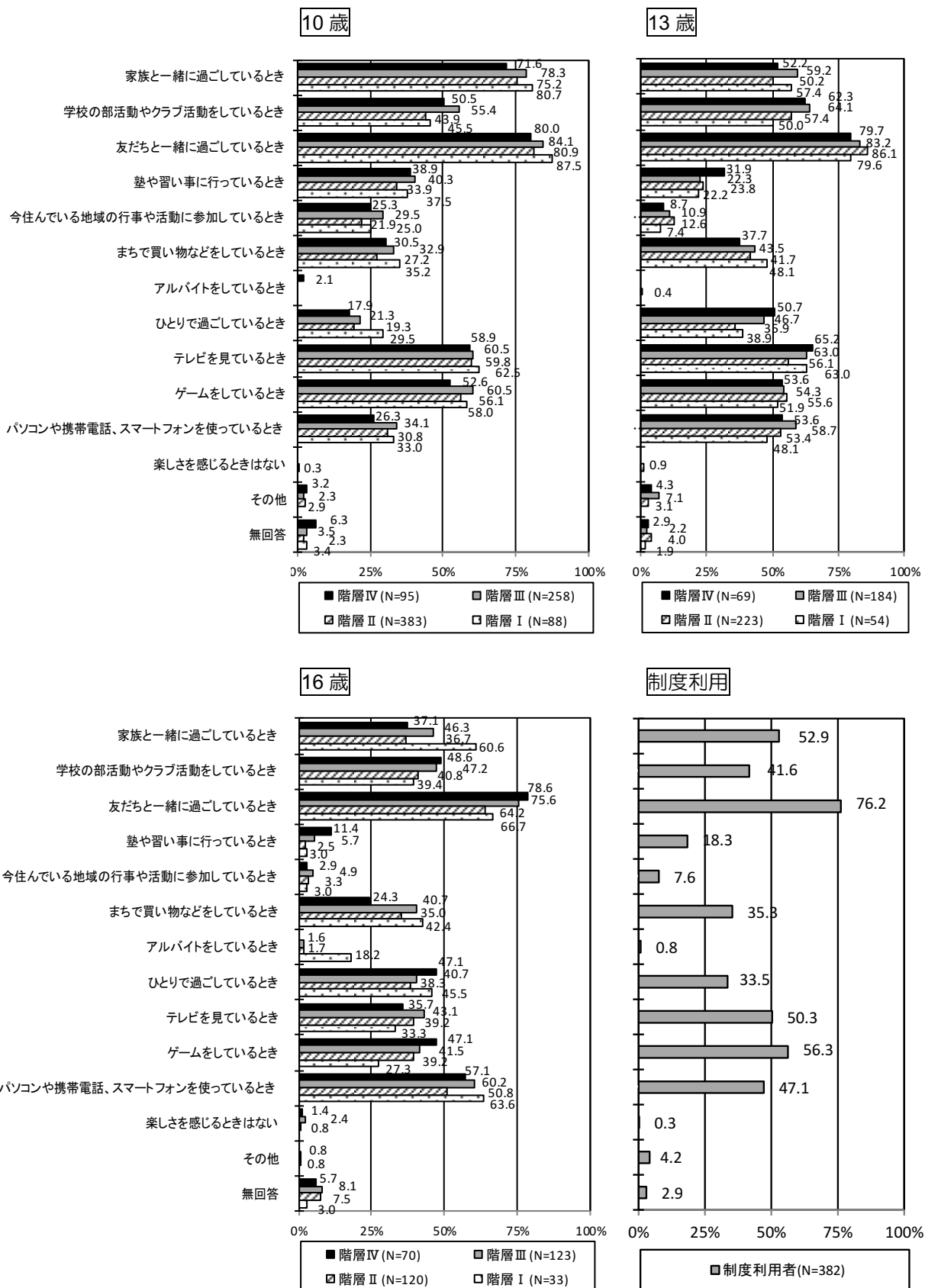
【問 24 と問 25 での答えが異なる方にお聞きします】

問 26 答えが異なるのは、どのような理由からですか。(MA)



どの学校まで行きたいか、どの学校まで行くことになるか、で回答が違う場合の理由についてみると、13 歳、16 歳では「自分の学力から考えて」が5割を超えています。16 歳の階層 I では、「家に経済的な余裕がない」が7割を超えています。

問 27 普段の生活で、どんなときに楽しさを感じますか。(MA)



16歳の生活で楽しさを感じるタイミングについてみると、年齢が高くなるにしたがって、「家族と一緒に過ごしているとき」、「塾や習い事に行っているとき」、「今住んでいる地域の行事や活動に参加しているとき」、「ゲームをしているとき」が低くなっています。

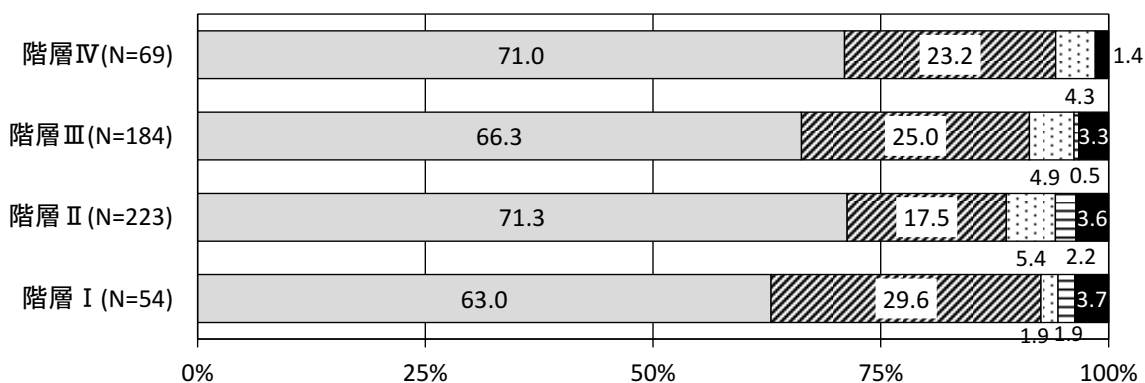
4 普段考えていること

問 28 自分の家は居心地がいいと感じますか。

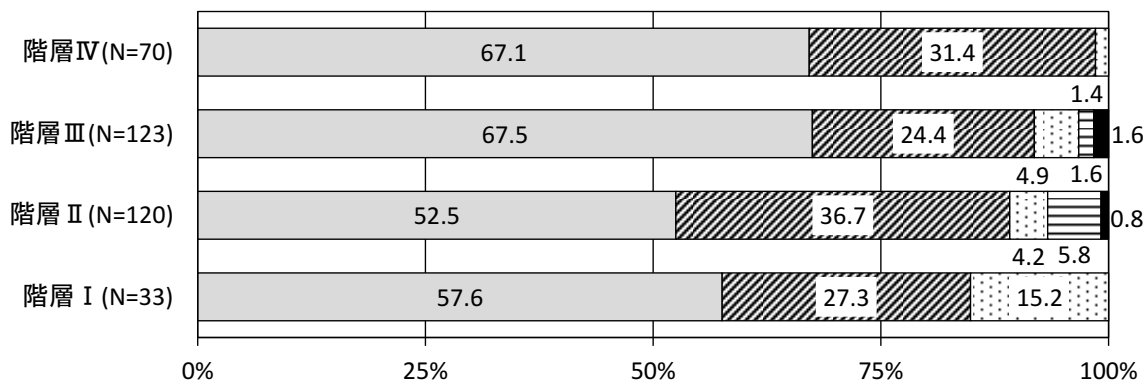
10 歳



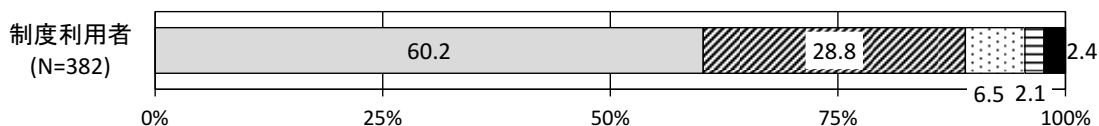
13 歳



16 歳



制度利用者



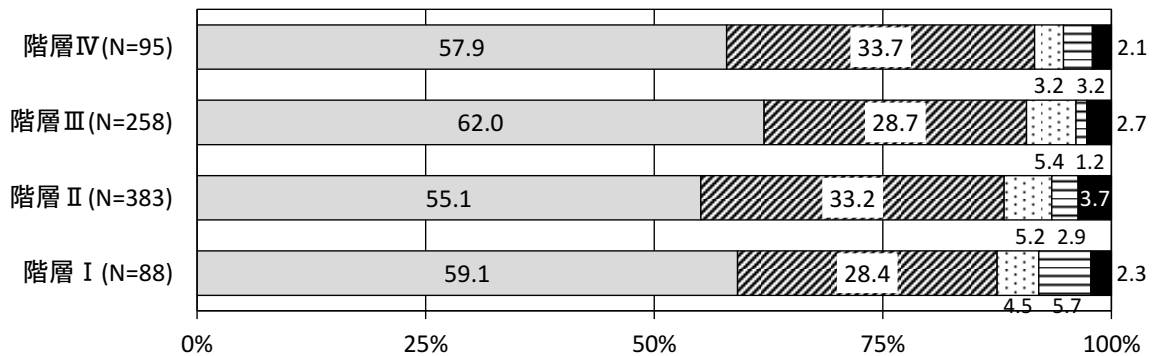
□「そう思う」 ▨「どちらかといえばそう思う」 □「どちらかといえばそう思わない」 □「そう思わない」 ■無回答

自分の家の居心地についてみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は、全体を通して9割前後ですが、16歳では、階層が下がるにしたがってその割合が低くなっています。

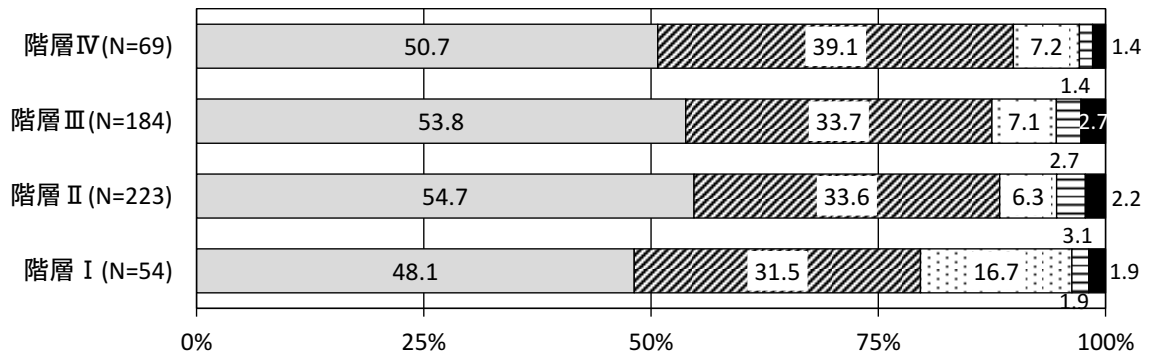
問 29 あなたは、この1週間で、次の①～③のような気分やことがらをどのくらい経験しましたか。

問 29-① 悲しいと感じたこと

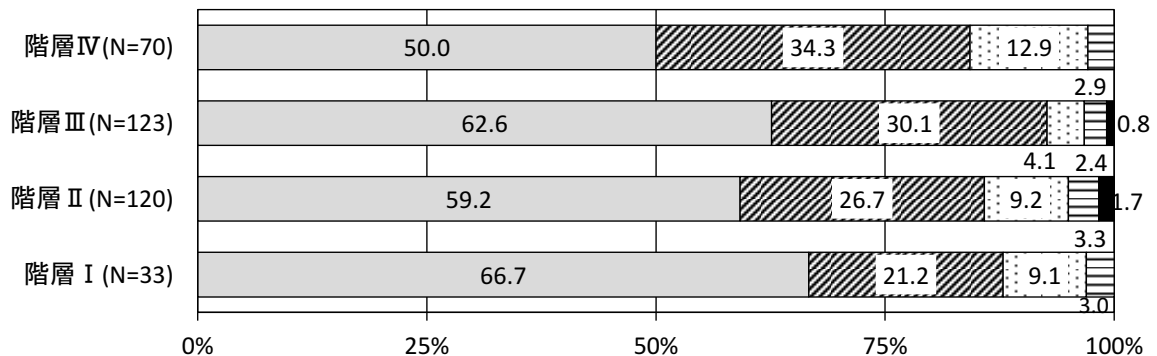
10 歳



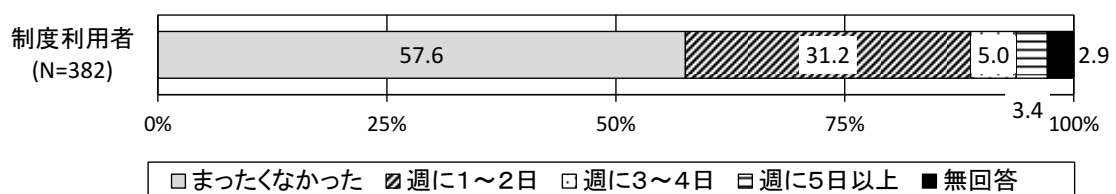
13 歳



16 歳



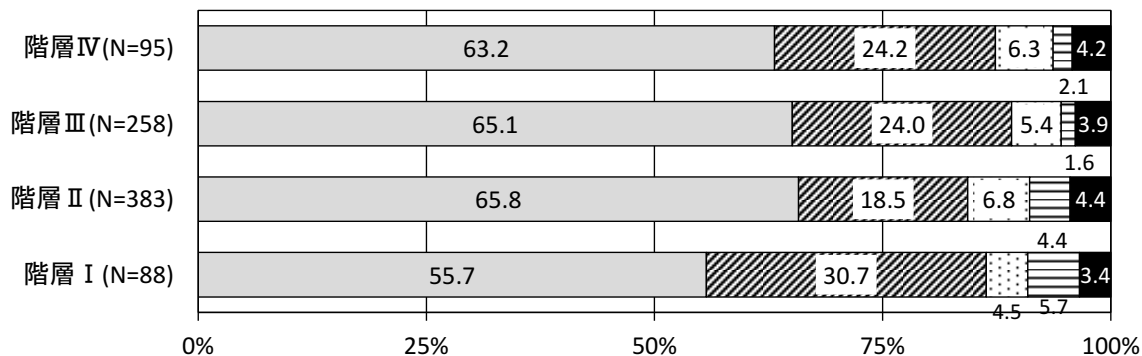
制度利用者



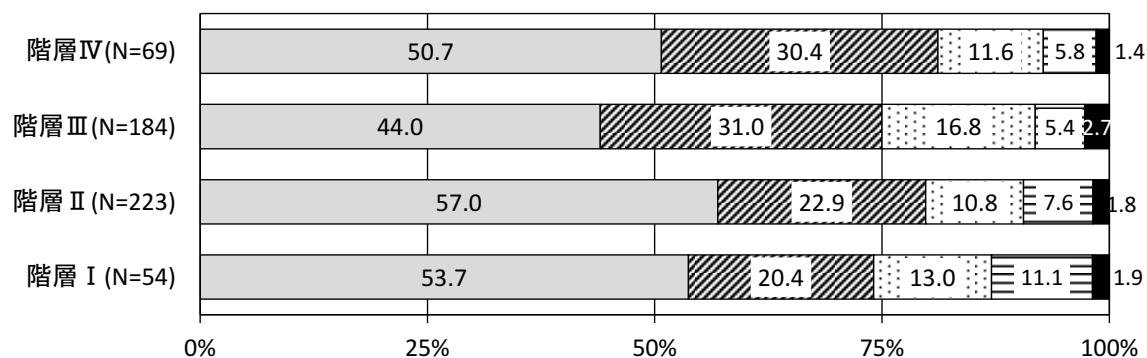
最近の1週間で悲しいと感じたことがあるかについてみると、階層による大きな差は見られませんが、13歳の階層Iで「週3~4日以上」が16.7%と高くなっています。

問 29-② ゆううつだと感じたこと

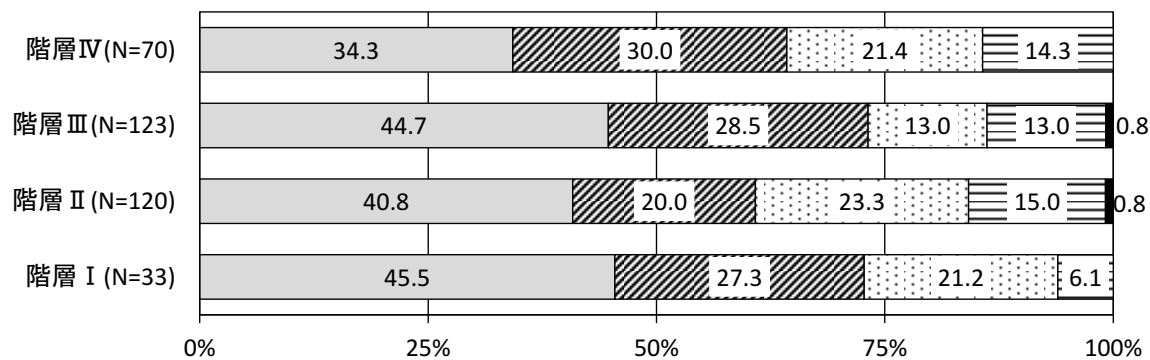
10 歳



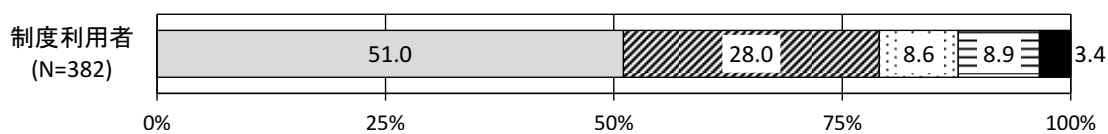
13 歳



16 歳



制度利用者

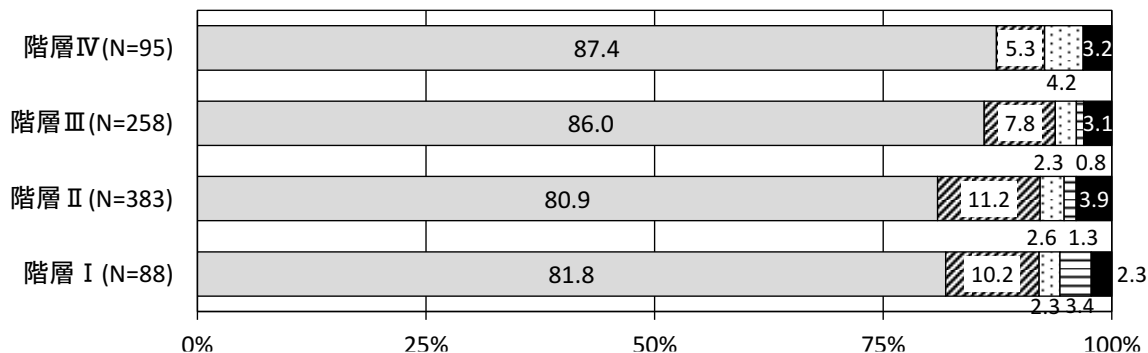


□まったくなかった ▨週に1~2日 ▩週に3~4日 ▨週に5日以上 ■無回答

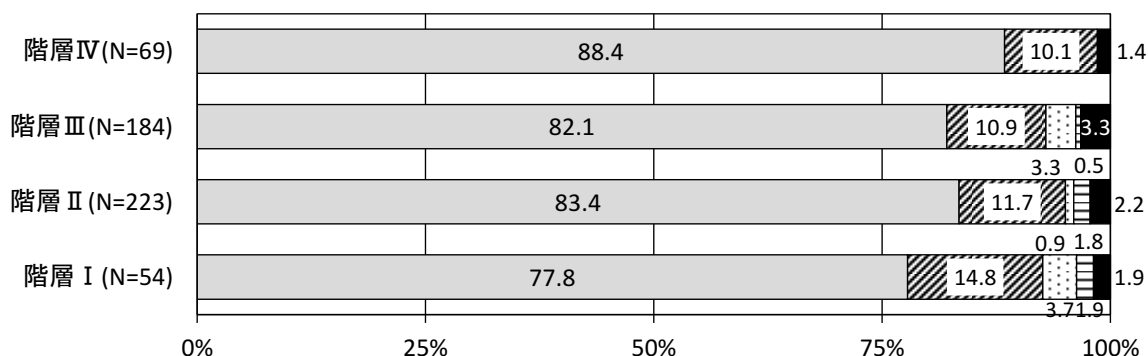
最近の1週間でゆううつだと感じたことがあるかについてみると、全ての階層で、年齢が高くなるにしたがって、「週に3日以上」ゆううつだと感じる人の割合は増えています。

問 29-③ ひとりぼっちで寂しいと感じたこと

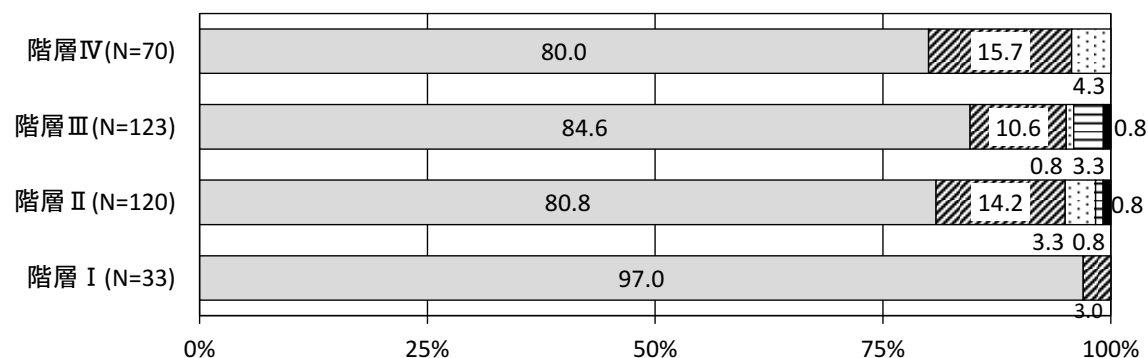
10 歳



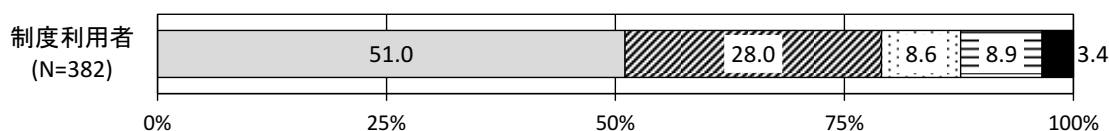
13 歳



16 歳



制度利用者



□まったくなかった ▨週に1~2日 ▩週に3~4日 ▪週に5日以上 ■無回答

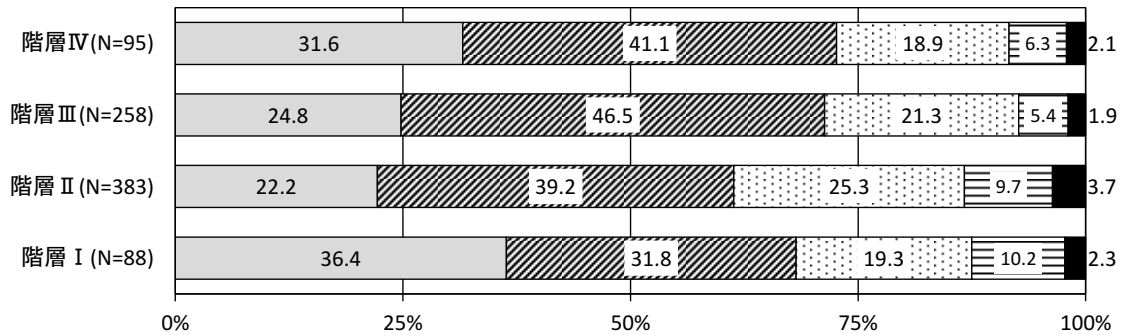
最近の1週間でひとりぼっちで寂しいと感じたことがあるかについてみると、10歳の階層I・II、13歳の階層Iで「まったくなかった」がやや低くなっています。

一方、16歳では「まったくなかった」が97.0%と高くなっています。

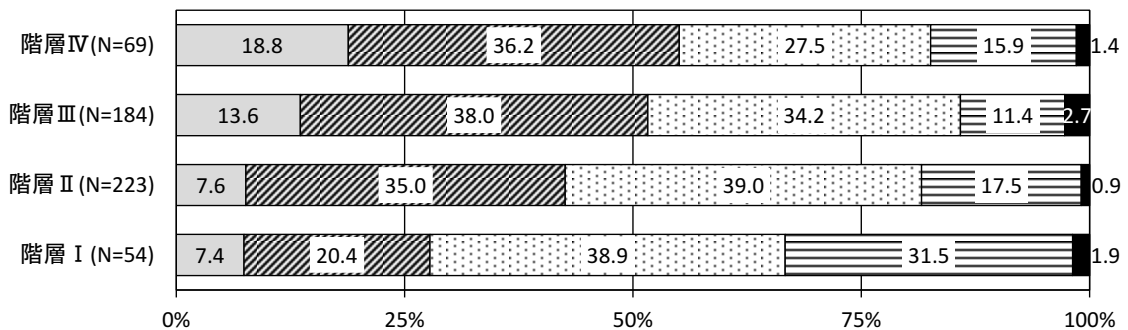
問 30 あなたは、次の①～⑦についてどのように考えますか。

問 30-① 自分に自信がある

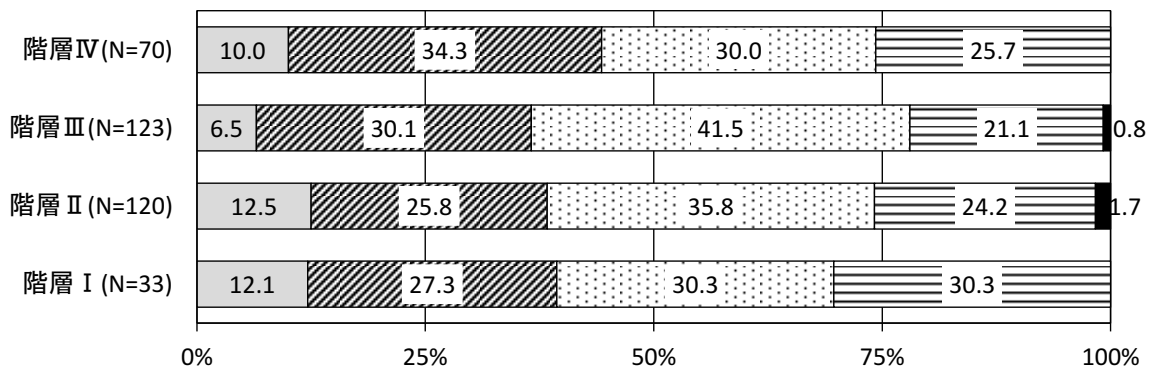
10 歳



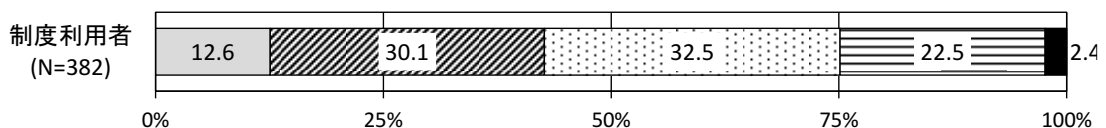
13 歳



16 歳



制度利用者

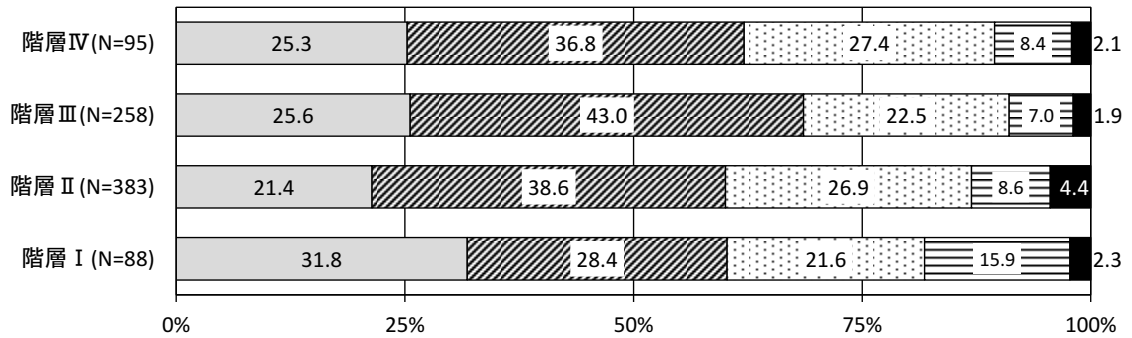


□ そう思う ▨ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ▨ そう思わない ■ 無回答

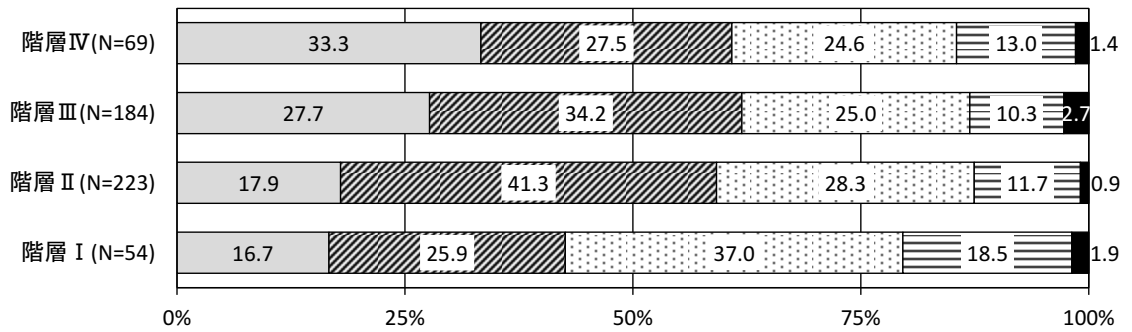
自分に自信があるかについてみると、10 歳、16 歳では、階層による大きな差は見られませんが、13 歳では、階層が低くなるにしたがって、「そう思う」「どちらかというと思う」が低くなっています。

問 30-② 自分の考えをはっきり相手に伝えられる

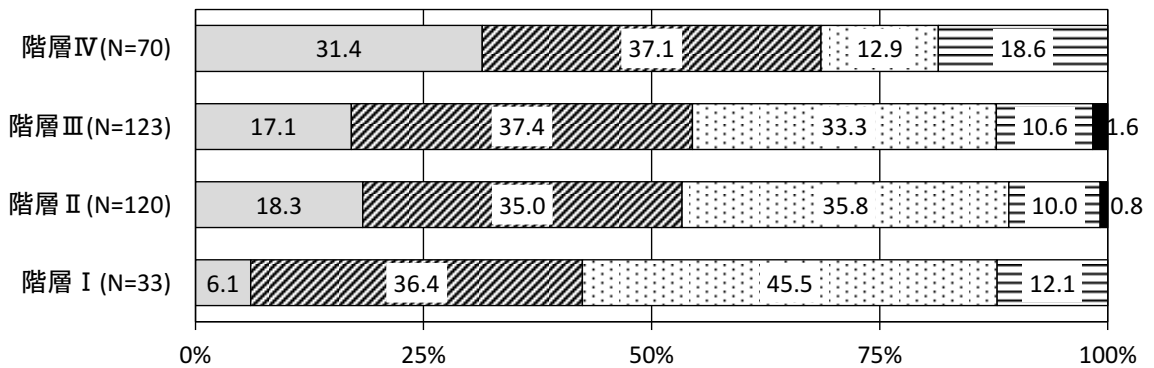
10 歳



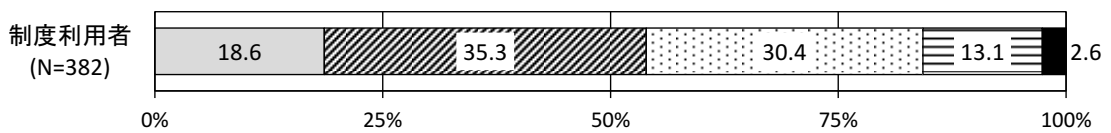
13 歳



16 歳



制度利用者

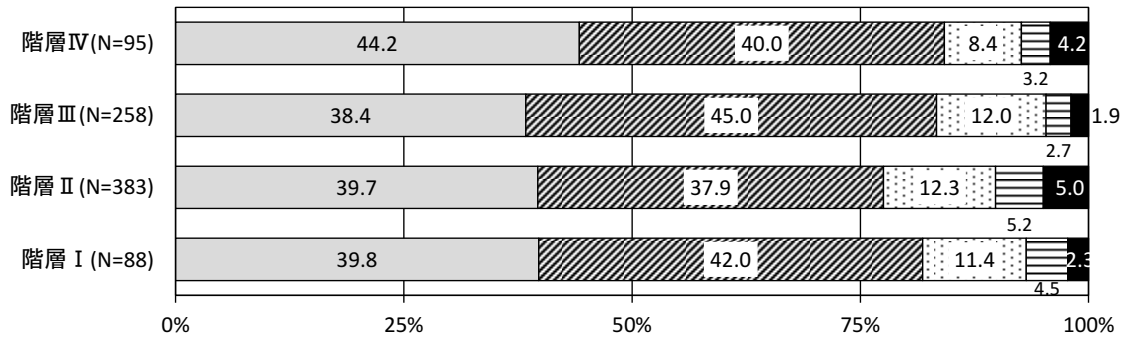


□ そう思う ▨ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ◻ そう思わない ■ 無回答

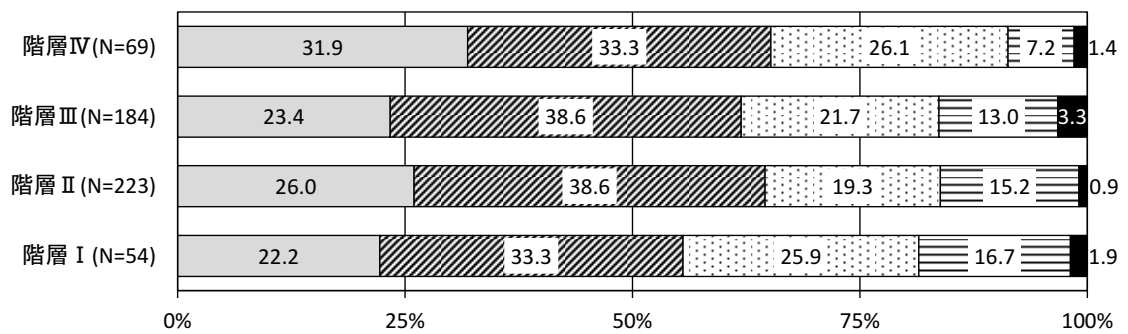
自分の考えをはっきり相手に伝えられるかについてみると、10歳では、階層による大きな差は見られませんが、13歳、16歳では階層が低くなるにしたがって「そう思う」「どちらかというと思う」が低くなっています。

問 30-③ 人は信用できると思う

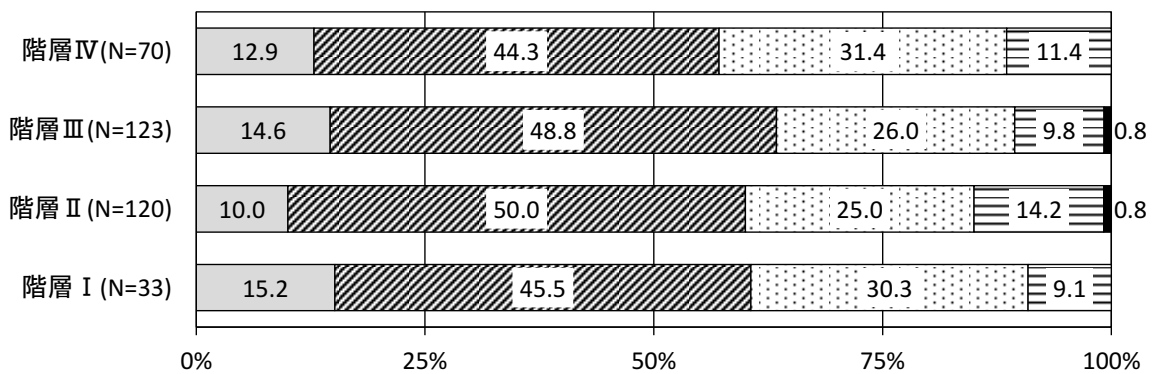
10 歳



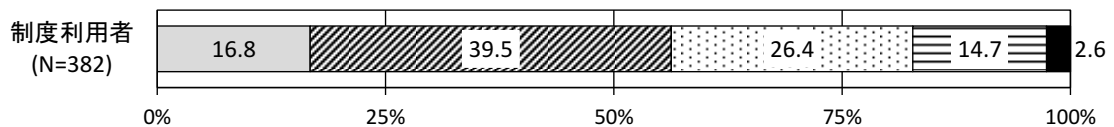
13 歳



16 歳



制度利用者

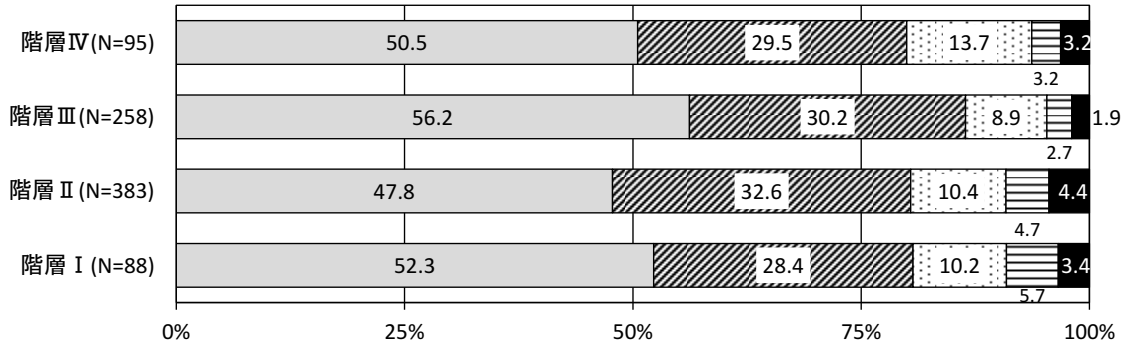


□ そう思う ▨ どちらかというと思う ▩ どちらかというと思わない □ そう思わない ■ 無回答

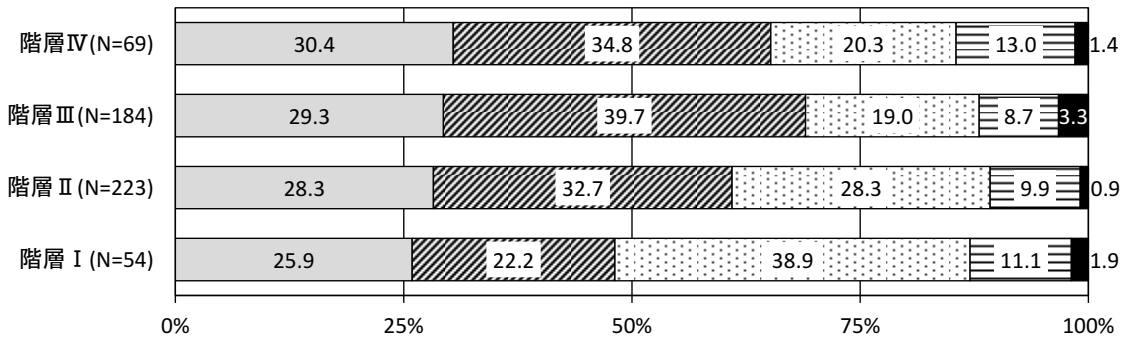
人は信用できると思うについてみると、各年齢について、階層による大きな差は見られませんが、10歳と比べ、13歳、16歳では、全体的に「そう思う」「どちらかというと思う」が低くなっています。

問 30-④ 自分の将来に明るい希望を持っている

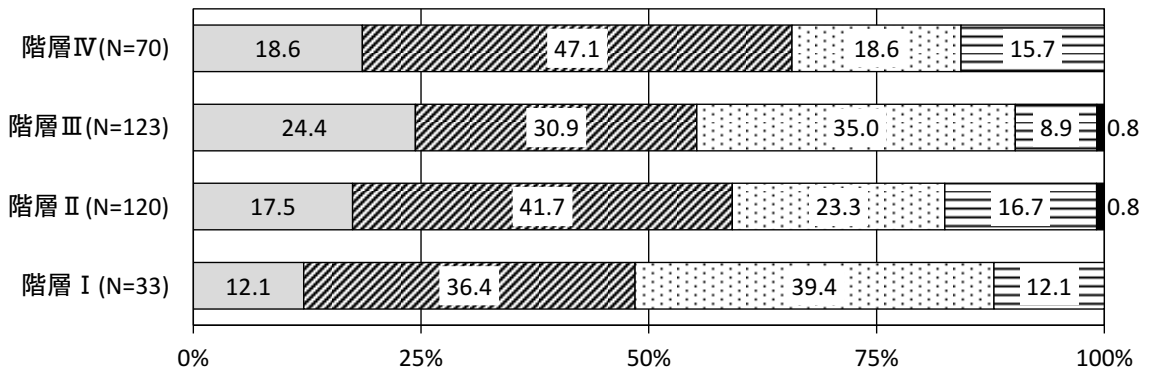
10 歳



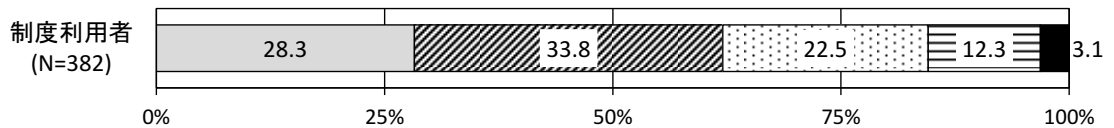
13 歳



16 歳



制度利用者

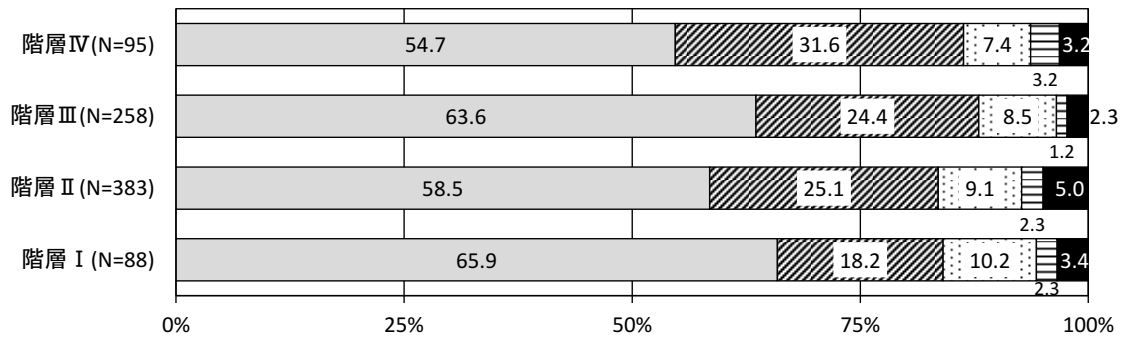


□「そう思う」 ▨「どちらかというと思う」 ▩「どちらかというと思わない」 ◻「そう思わない」 ■「無回答」

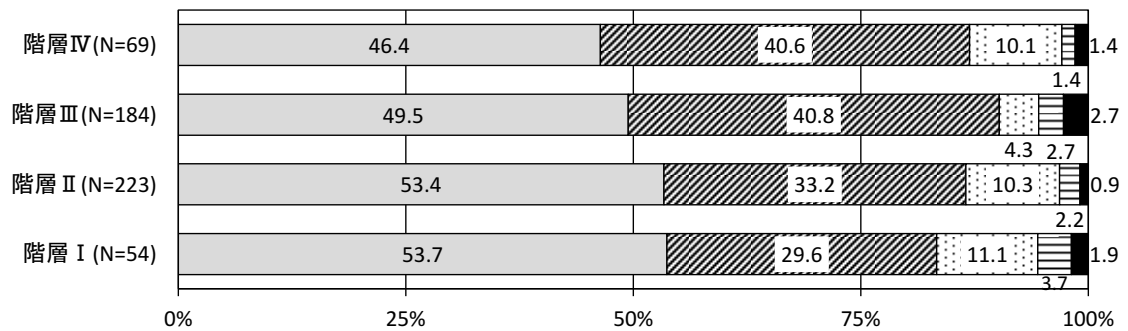
自分の将来に明るい希望を持っているかについてみると、10 歳では、階層による大きな差は見られませんが、13 歳、16 歳では階層Ⅰで「そう思う」「どちらかというと思う」が低くなっています。

問 30-⑤ 将来のためにも、今頑張りたいと思う

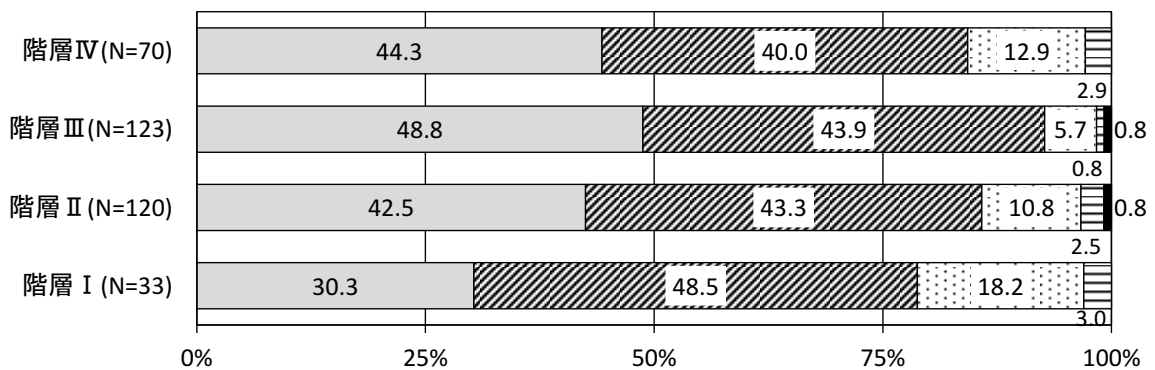
10 歳



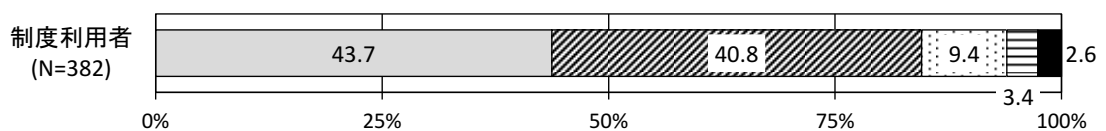
13 歳



16 歳



制度利用者

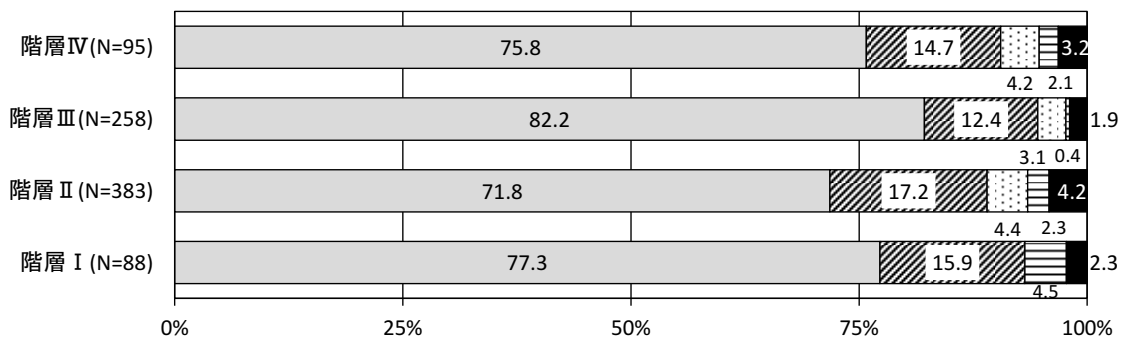


□ そう思う ▨ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ◻ そう思わない ■ 無回答

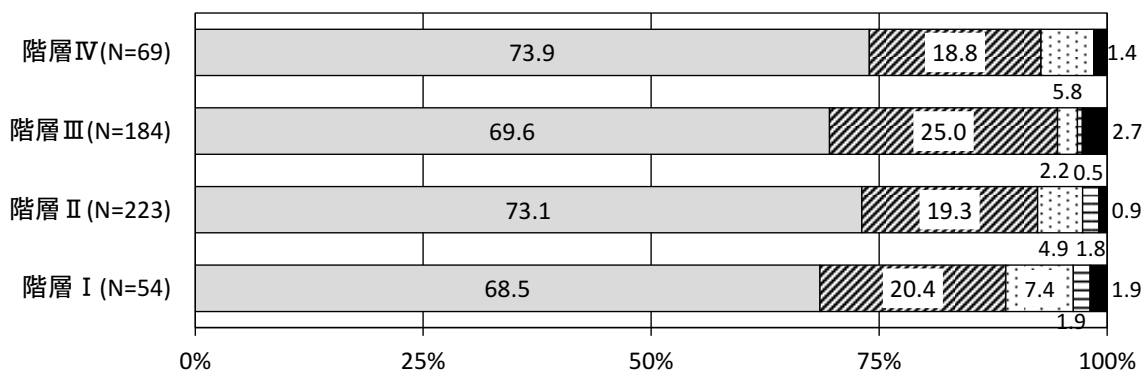
将来のためにも、今頑張りたいと思うかについてみると、すべての階層で「そう思う」「どちらかというと思う」が高くなっています。

問 30-⑥ 将来、一生懸命働きたい

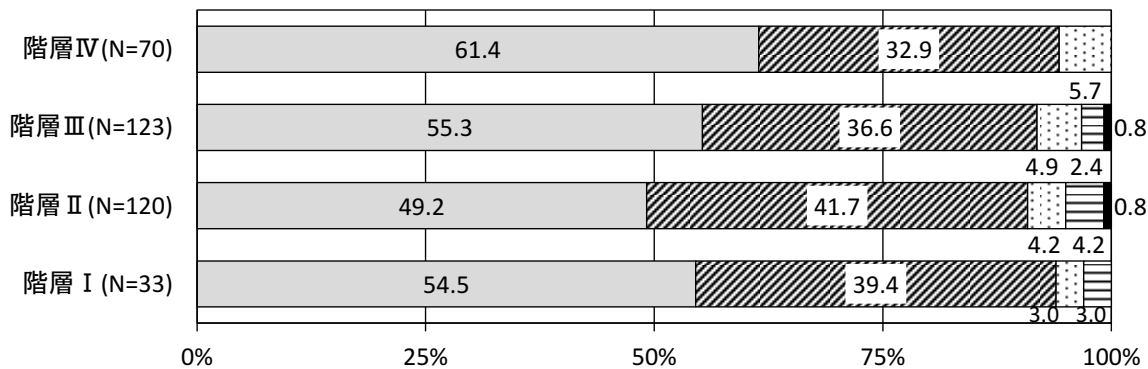
10 歳



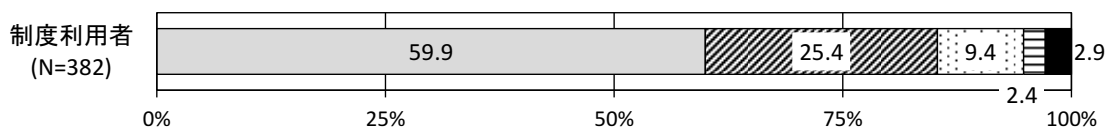
13 歳



16 歳



制度利用者



□ そう思う ▨ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ▨ そう思わない ■ 無回答

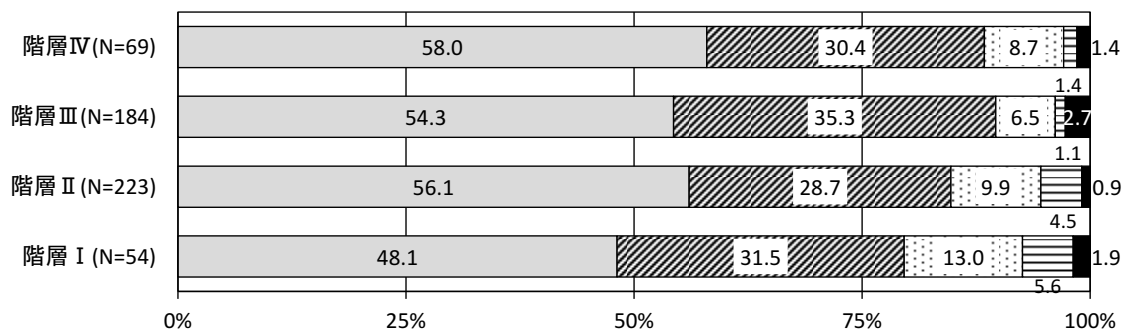
将来、一生懸命働きたいかについてみると、各年齢、階層による大きな差は見られませんが、16 歳では 10 歳、13 歳に比べ、「そう思う」の割合が全体的に低くなっています。

問 30-⑦ 自分は幸せだ

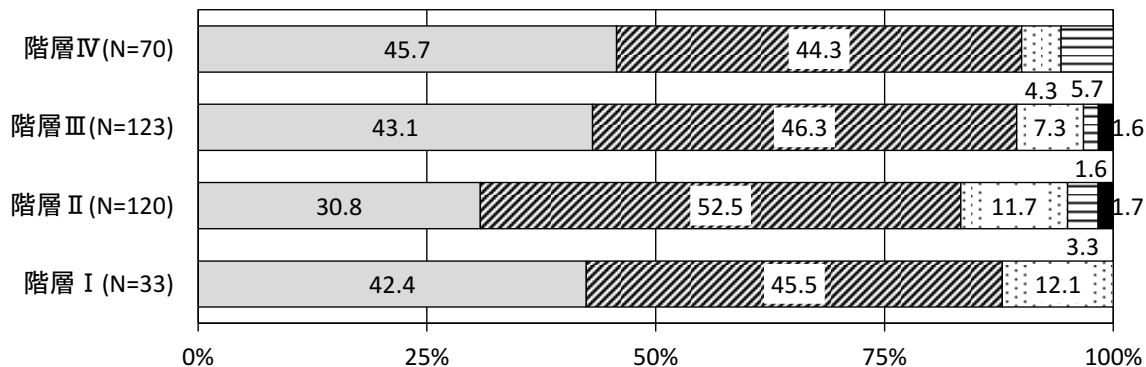
10 歳



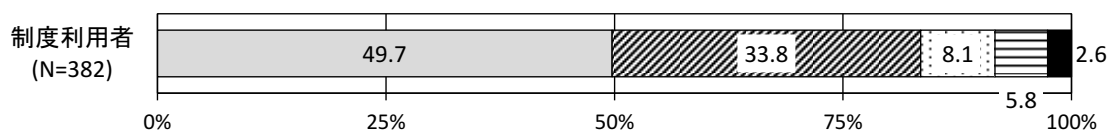
13 歳



16 歳



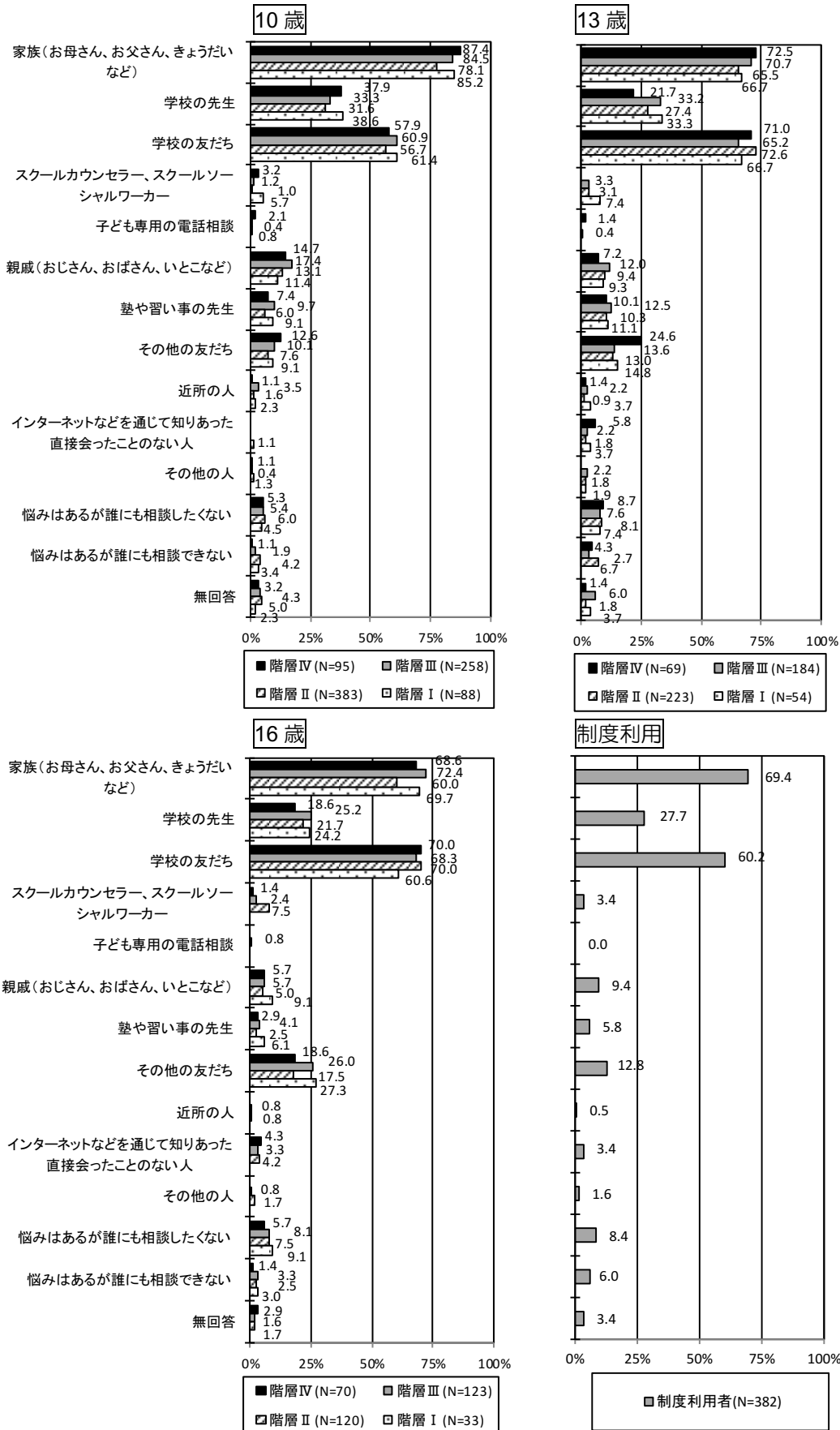
制度利用者



□ そう思う ▨ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ▨ そう思わない ■ 無回答

自分は幸せだと思うかについてみると、各年齢において、階層Ⅰ・Ⅱで「そう思う」「どちらかというと思う」が低くなっています。また、特に16歳について、全体的に「そう思う」が低くなっています。

問 31 あなたが悩んでいるときに、相談にのってくれる人は誰ですか。(MA)

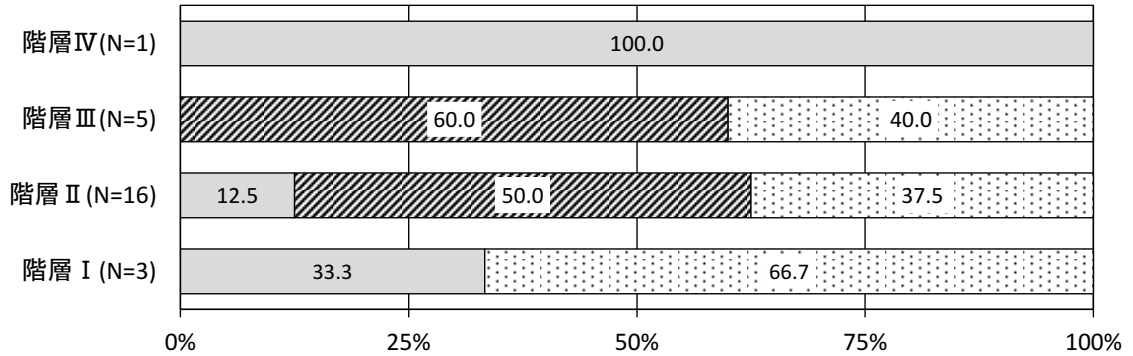


悩んでいるときに、相談にのってくれる人についてみると、すべての年齢・階層で「家族」「学校の友達」が高くなっています。16歳では、階層Iで「その他の友だち」が高くなっています。

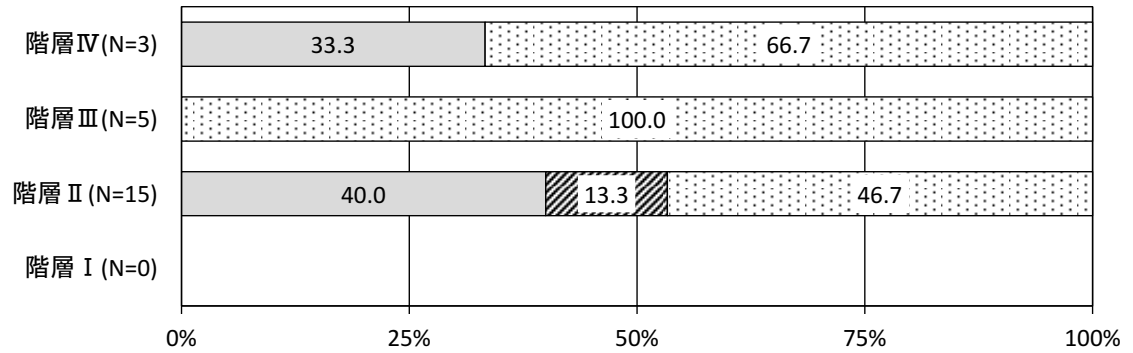
【問 31 で「13. 悩みはあるが誰にも相談できない」と回答した方】

問 31-2 相談できない理由は何ですか。

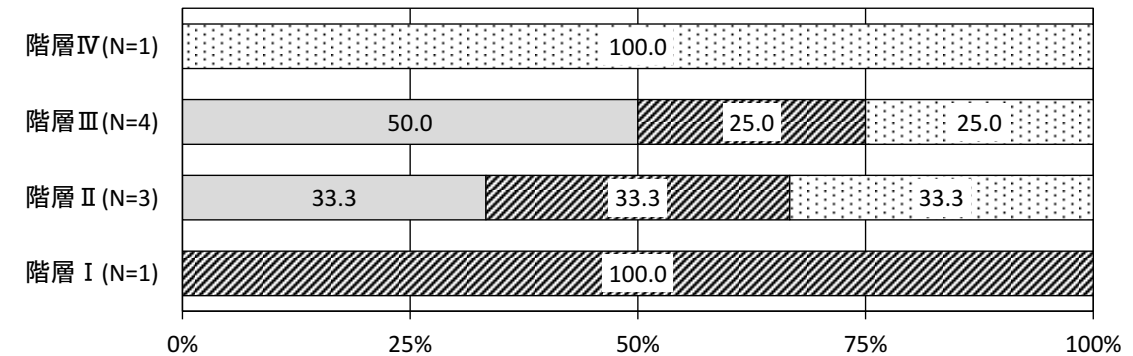
10 歳



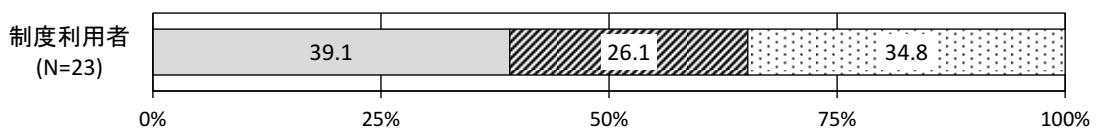
13 歳



16 歳



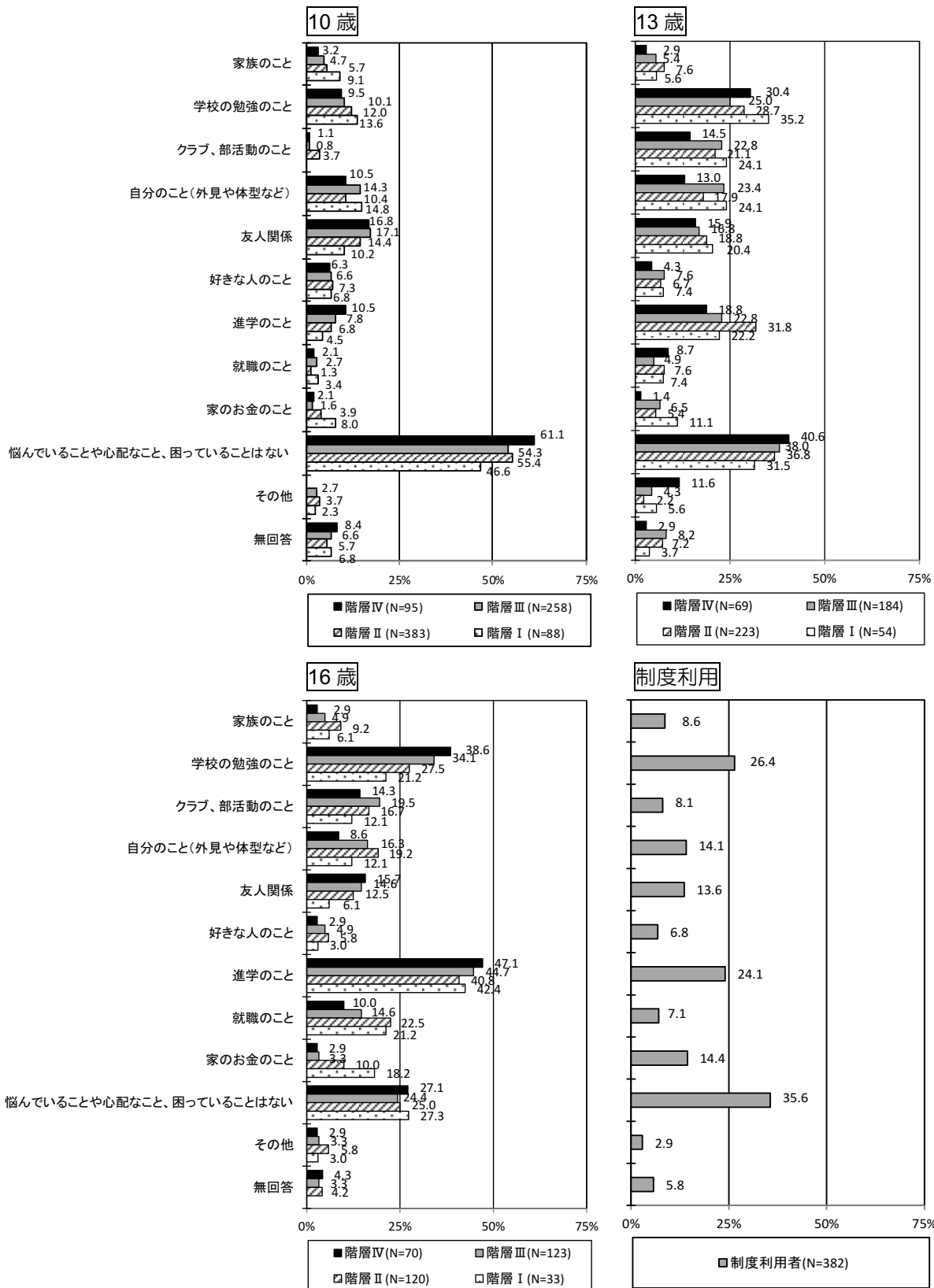
制度利用者



□ 相談できる相手がない ■ 誰に相談すればいいのかわからない □ その他 ■ 無回答

「悩みはあるが誰にも相談できない」と答えた人が各年齢・階層で回答者は少なく、また、階層による差も見られませんでした。

問 32-1 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。(MA)



悩んでいること、心配していることなどは何かについてみると、10歳に比べ、13歳、16歳で、全体的に悩みや心配なこと、困っていることがある割合が高くなっています。また、階層Iでは、年齢があがるにつれ「家のお金のこと」が高くなっています。

問 32-2 書ける範囲で、あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや誰かに相談したいと思っていることを具体的に教えてください。(自由意見)

<主な意見>

○ **自分の将来に関すること**

- ・ 自分の将来のことへの不安（生きていけるか、将来が見えない、進学、就職）
- ・ 将来やりたいことがない。
- ・ 就職できるか不安。

○ **進学・進路に関すること**

- ・ 行きたい高校がない、高校に行けるか、どこの高校にするか。
- ・ 希望する大学には入れるか（国立、芸大等）
- ・ 家のお金の関係で、公立高校に行かなければ高校に行かせてもらえない。
- ・ 母子（貧困）家庭なので進学できるか不安

○ **学校生活に関すること**

- ・ クラスに居場所がない、いじめを受ける、イヤな人がいる。
- ・ 教師が厳しい。
- ・ 勉強と部活の両立に悩んでいる。
- ・ 友だちがいない。友だちに彼氏・彼女を取られたなど。
- ・ 友人がどう思っているか。
- ・ 生徒会長（生徒会執行部等）に選ばれたが、うまくやっていけるか。

○ **勉強に関すること**

- ・ やる気スイッチが入らない、やる気が出ない。
- ・ 勉強がよくわからない。勉強しても成績が上がらない。
- ・ 授業がわからない、付いていけない。

○ **部活やスポーツに関すること**

- ・ 部活が大変、先輩がきつくあたる、レギュラーになれない。
- ・ 上下関係が厳しい。
- ・ 担当教師がきつい
- ・ 部長・キャプテンに選ばれたが、みんなを引っ張っていけるか。

○ **家庭に関すること**

- ・ 親の仲が悪い。離婚してくれない。家庭内暴力がある。
- ・ 親が病気（うつ病、病弱）
- ・ 兄弟仲が悪い、家にお金が無い。

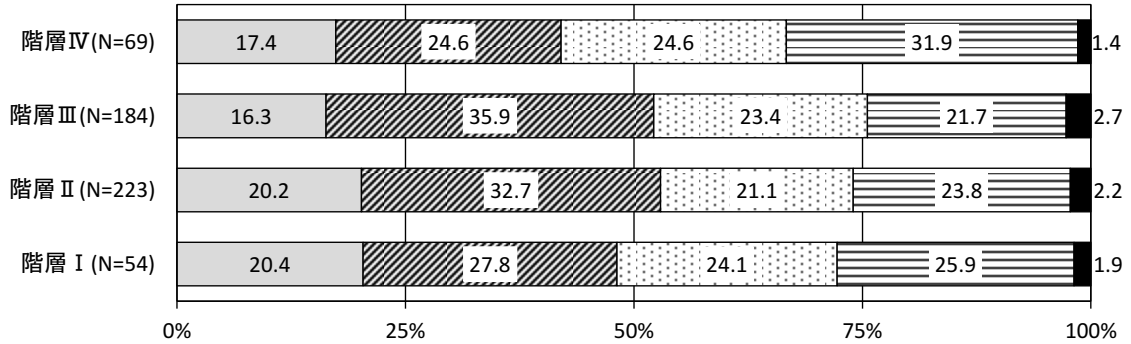
○ **その他の意見**

- ・ お金が欲しい、大学に行ってもお金が払えるかわからない。
- ・ 健康への不安、病気がち
- ・ 容姿のこと（やせている、太っている、目が悪い、背が低い等）

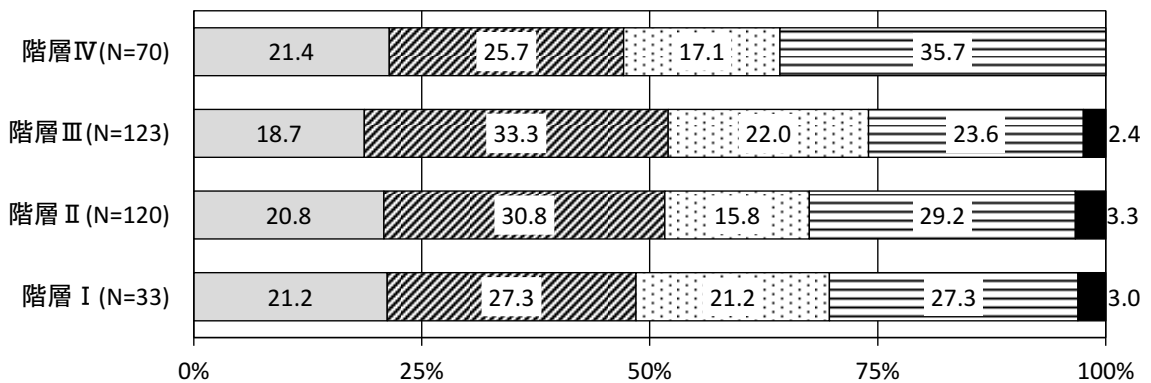
【13歳以上の方のみ】

問 33-1 自宅や学校以外の場所で、無料で大学生のボランティアなどと活動をしたり、落ち着いて過ごしたりできる居場所があれば、利用したいと思いますか。

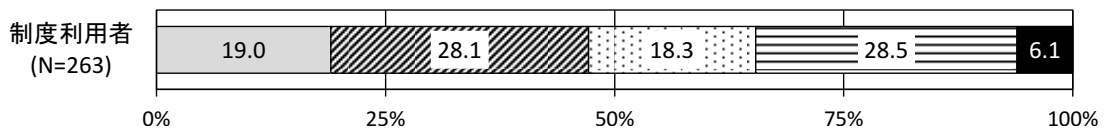
13歳



16歳



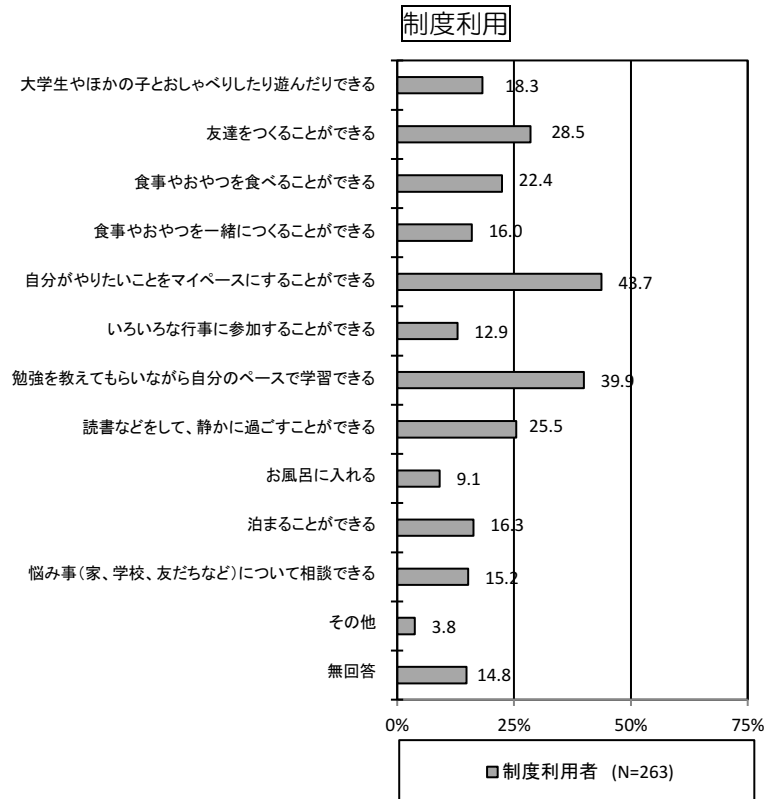
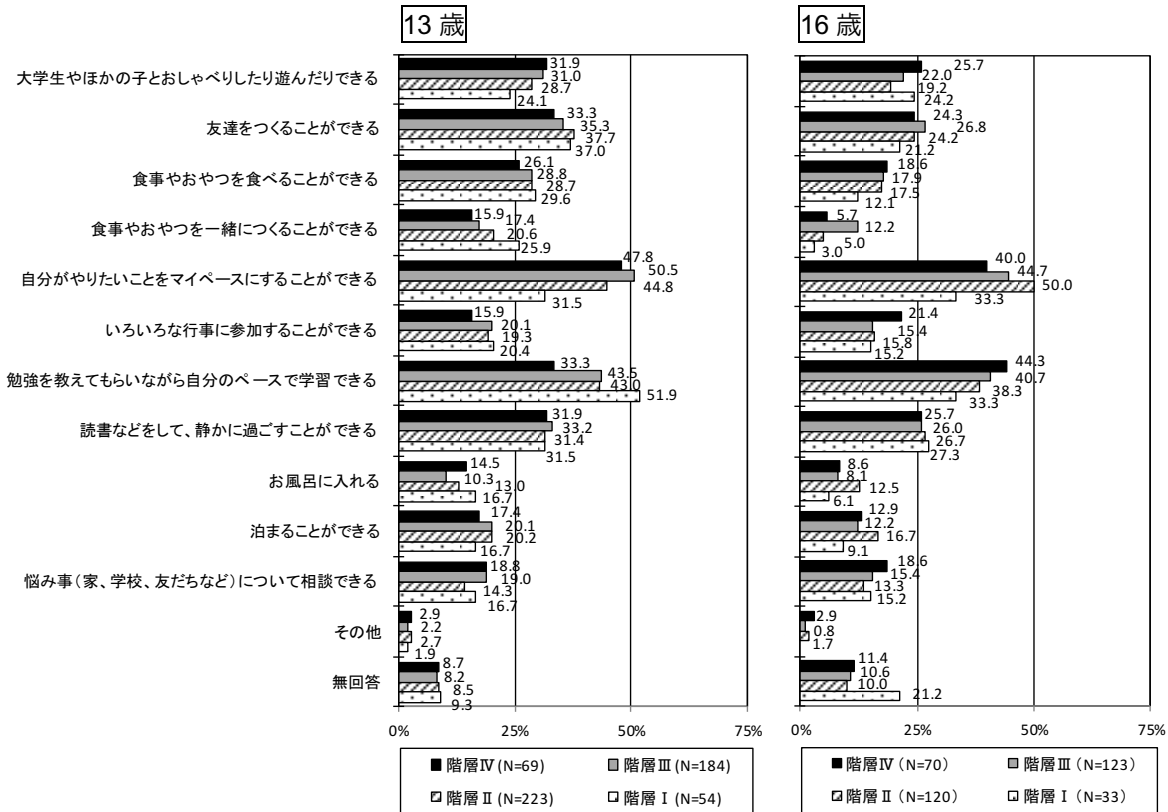
制度利用者



□ そう思う ▨ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない □ そう思わない ■ 無回答

自宅や学校以外の場所で落ち着いて過ごせる場所を利用したいかについてみると、階層間での差はあまり見られず、いずれの階層でも、約半数が「そう思う」「どちらかというと思う」と答えています。

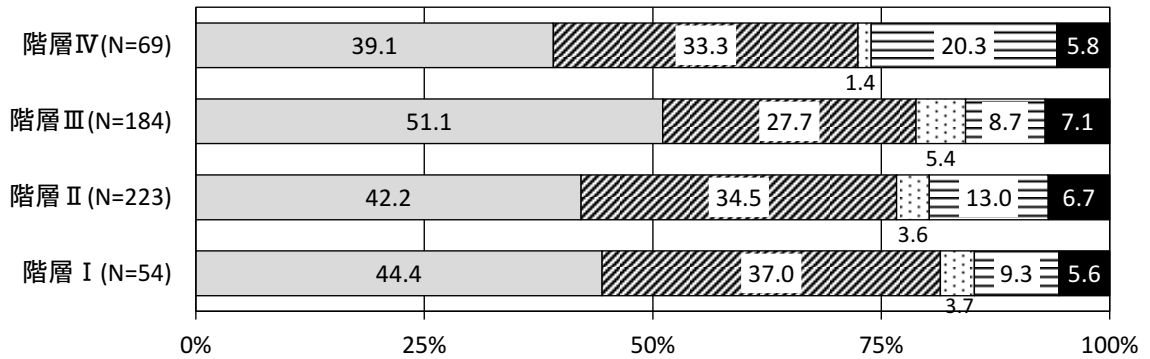
問 33-2 その居場所では、どのようなことができればよいと思いますか。(MA)



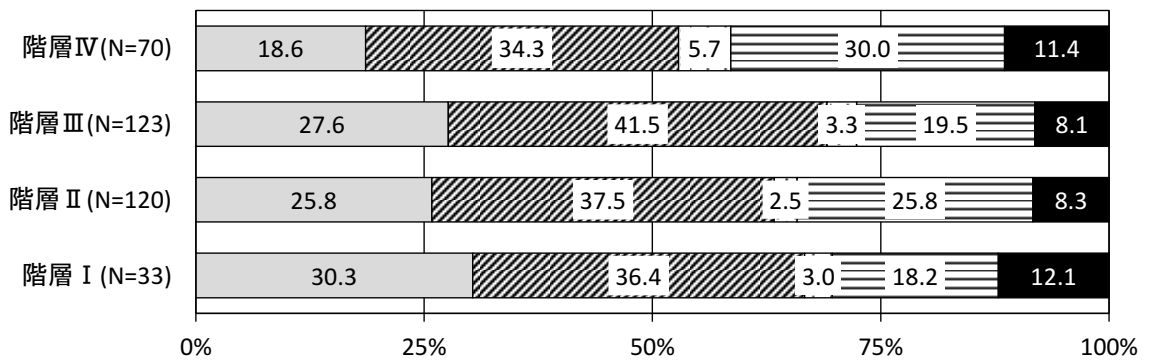
家や学校以外の落ち着ける場所で何をやりたいかについてみると、13歳、16歳ともに、「自分がやりたいことをマイペースにすることができる」「勉強を教えてもらいながら、自分のペースで学習できる」の割合が他の項目より高くなっています。また、階層が低くなるにしたがって、「勉強を教えてもらいながら自分のペースで学習できる」の割合が高くなっています。

問 33-3 その場所は、どの範囲にあれば利用したいと思いますか。

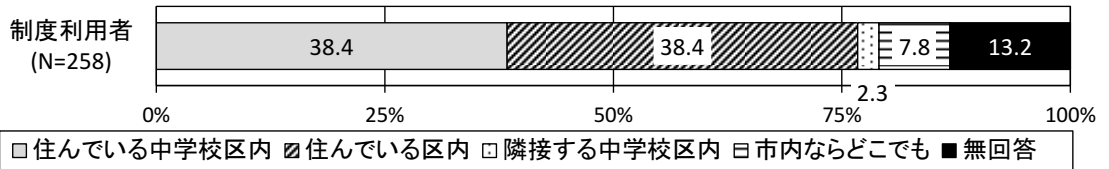
13 歳



16 歳



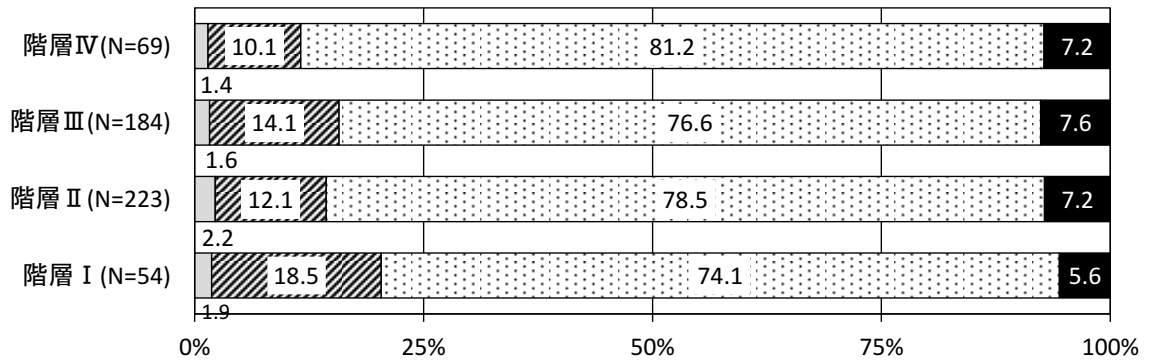
制度利用者



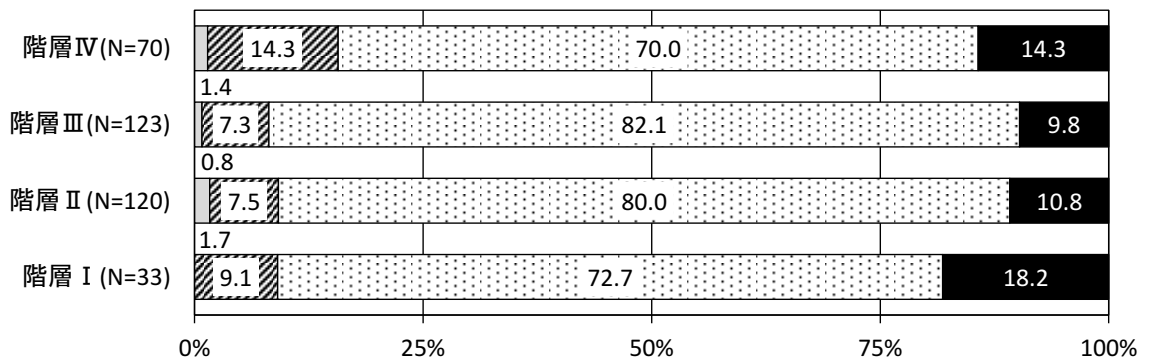
家や学校以外の落ち着ける場所がどこにあつたらいいかについてみると、「住んでいる中学校区内」では、13歳が半数近くを占め、16歳以上になると、「住んでいる区内」や「市内ならどこでも」と希望する区域が拡大しています。

問 33-4 その場所は、どのくらいの頻度で利用したいと思いますか。

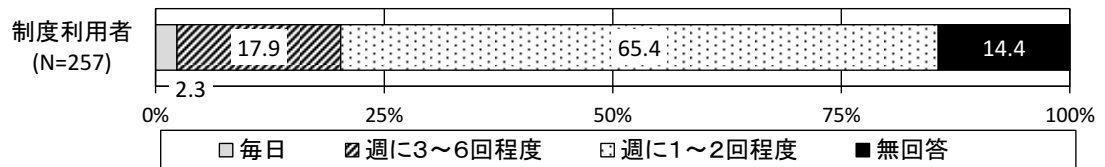
13 歳



16 歳

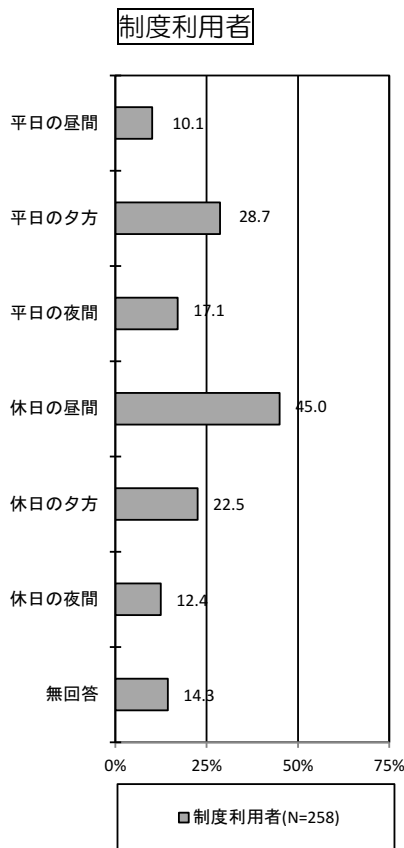
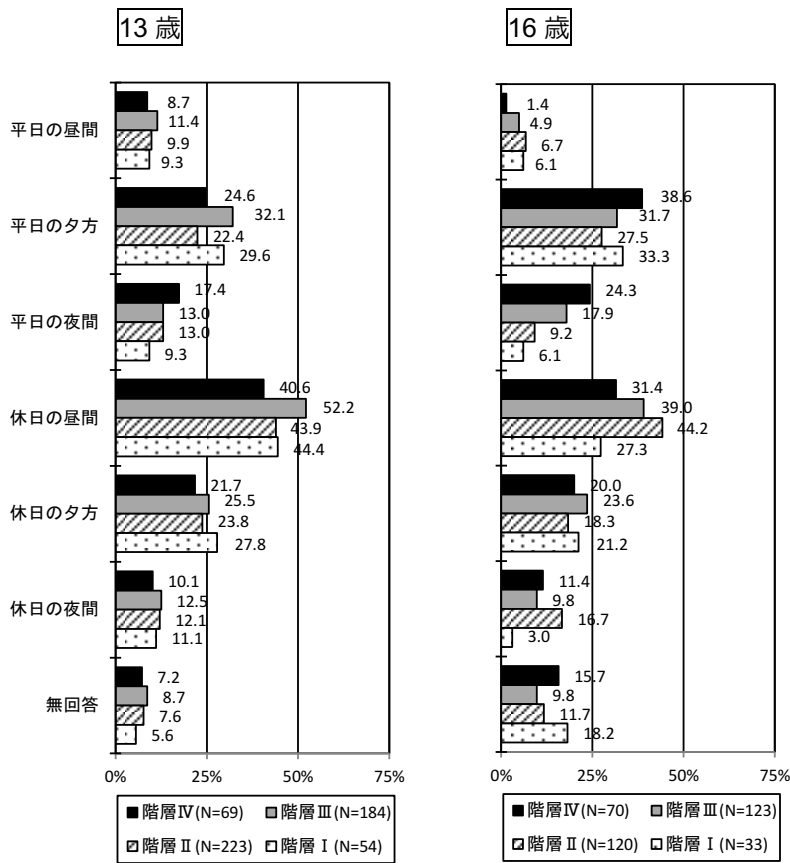


制度利用者



家や学校以外の落ち着ける場所を使いたい頻度についてみると、13 歳、16 歳のいずれの階層も「週に1~2回程度」が最も高くなっています。

問 33-5 その場所は、どの時間帯に利用したいと思いますか。(MA)

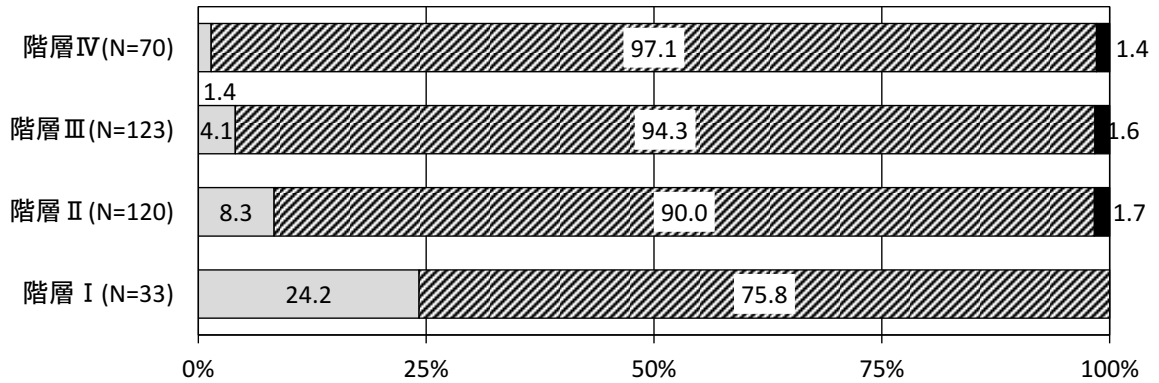


家や学校以外の落ち着ける場所を使いたい時間帯についてみると、13 歳児、16 歳児ともに、休日の昼間が最も高く、次いで平日の夕方となっています。

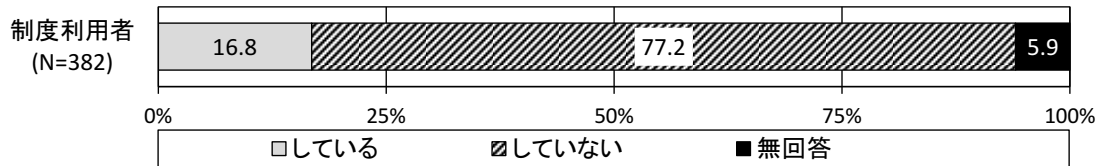
【16歳以上の方のみ】

問 34-1 今、アルバイトをしていますか。

16歳



制度利用者



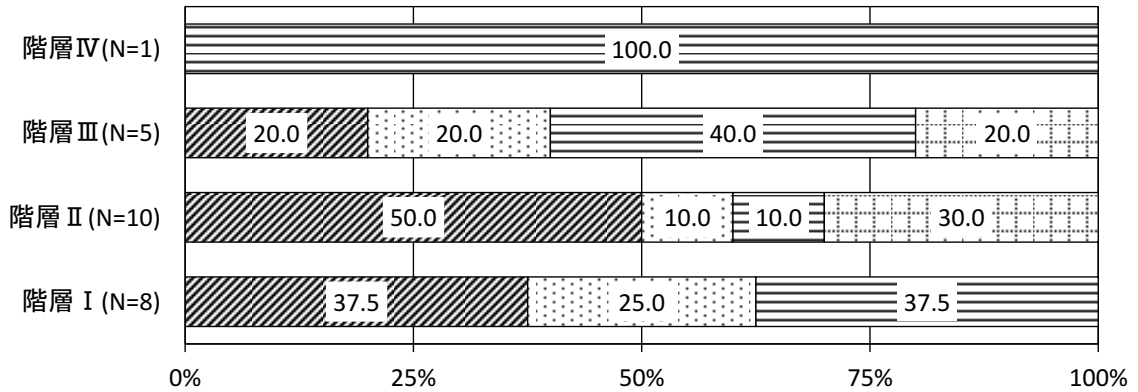
アルバイトの状況についてみると、階層が低くなるにしたがってアルバイトを「している」が高くなっています。制度利用者においても、同様です。

【問 34-1 で「1. している」に○をつけた方(かた)に、次の①、②についておたずねします。】

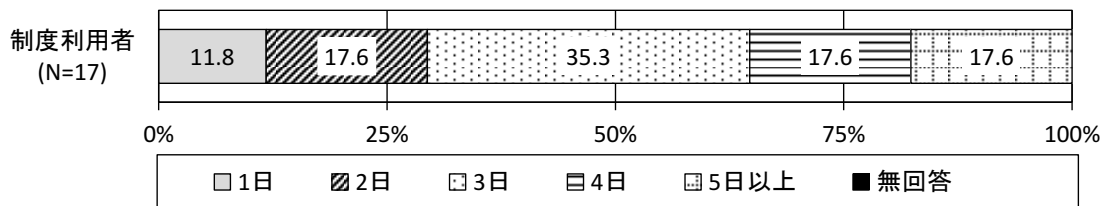
問 34-2

① 勤務時間：週何日

16歳



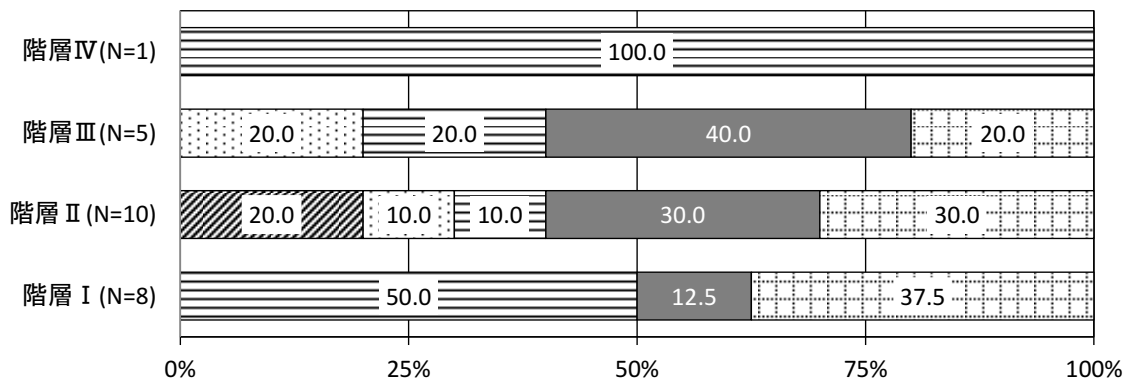
制度利用者



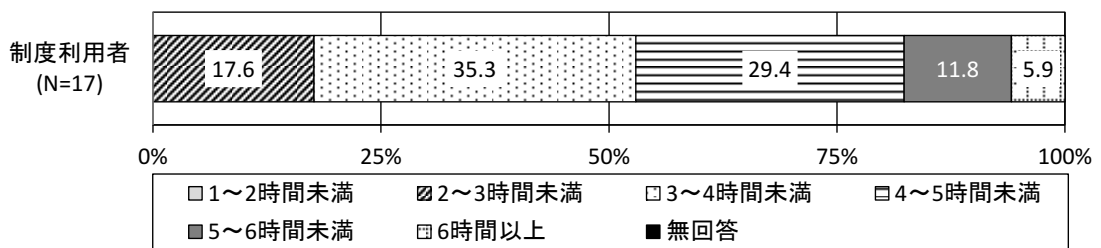
アルバイトの勤務日数について、階層による大きな差は見られませんでした。

① 勤務時間：1日あたり約何時間

16歳



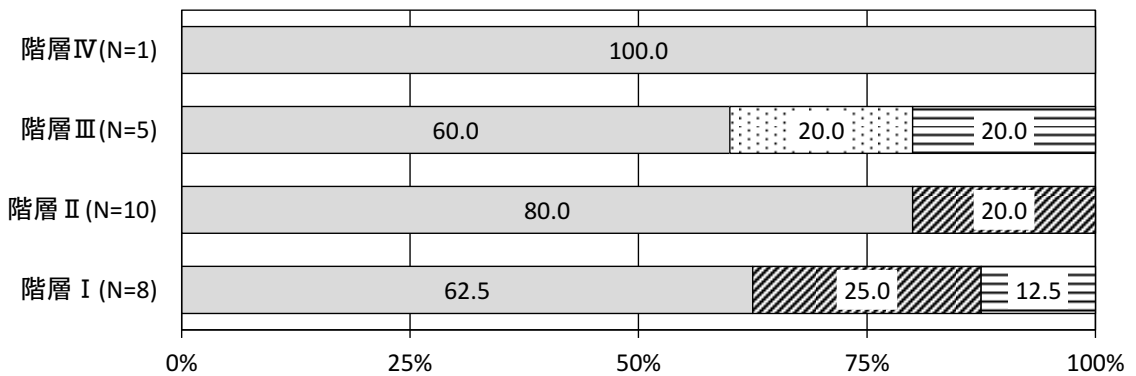
制度利用者



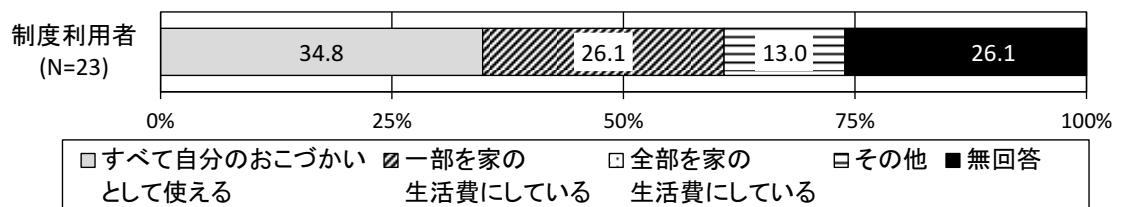
アルバイトの勤務時間について一般調査では、階層Ⅰで「6時間以上」の割合が高くなっています。

② アルバイト代の使いみち

16歳



制度利用者

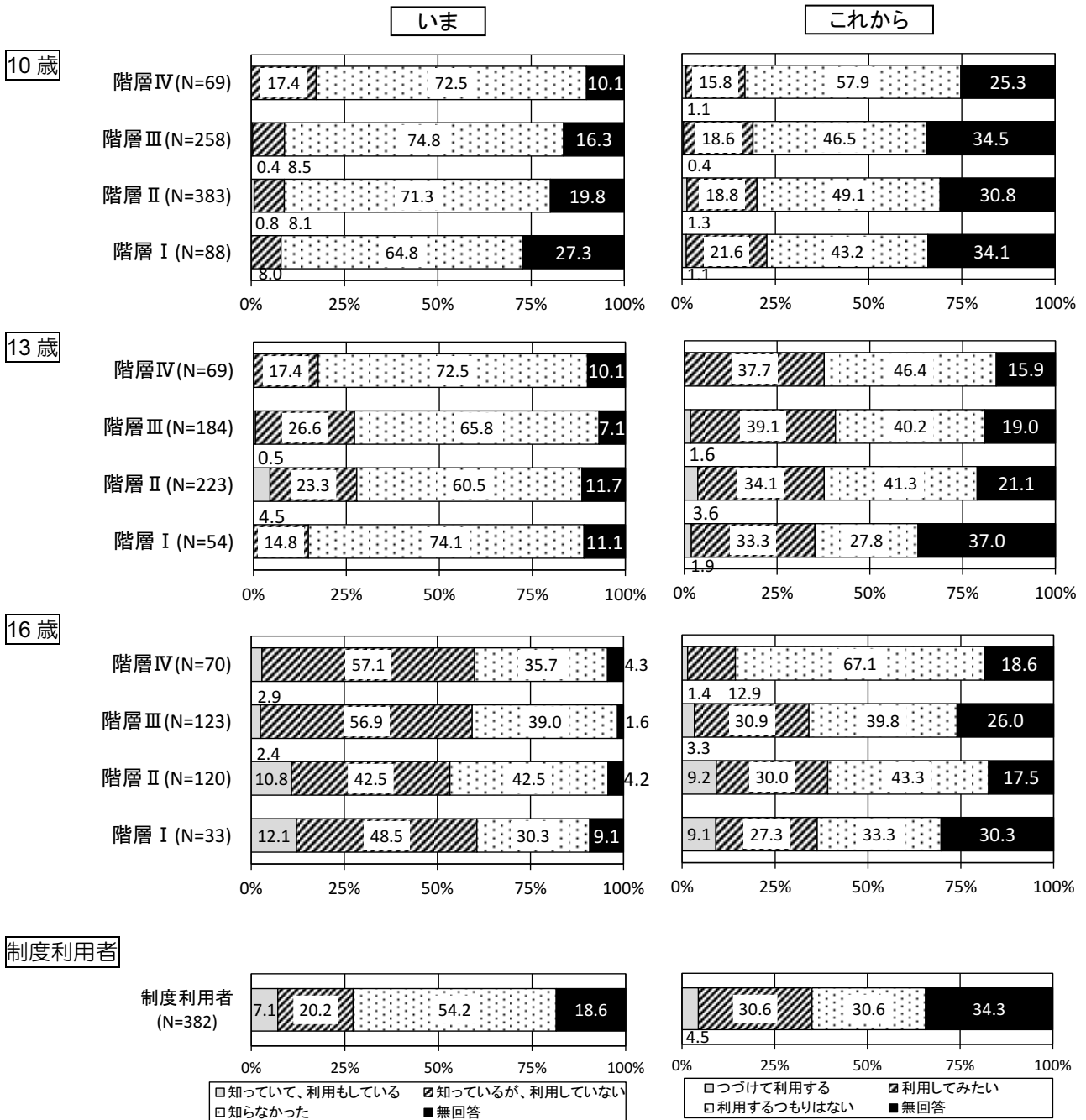


アルバイト代のつかいみちについて、階層Ⅰでは25.0%が、階層Ⅱでは20.0%が「一部を家の生活費にしている」と答えています。

5 静岡市の取組について

問 35 次の①～⑦の静岡市の取組や事業について、「いま」知っていたり利用したりしていますか。
また、「これから」利用したいかどうかについて教えてください。

問 35-① 静岡市の奨学金(篤志奨学金、育英奨学金)



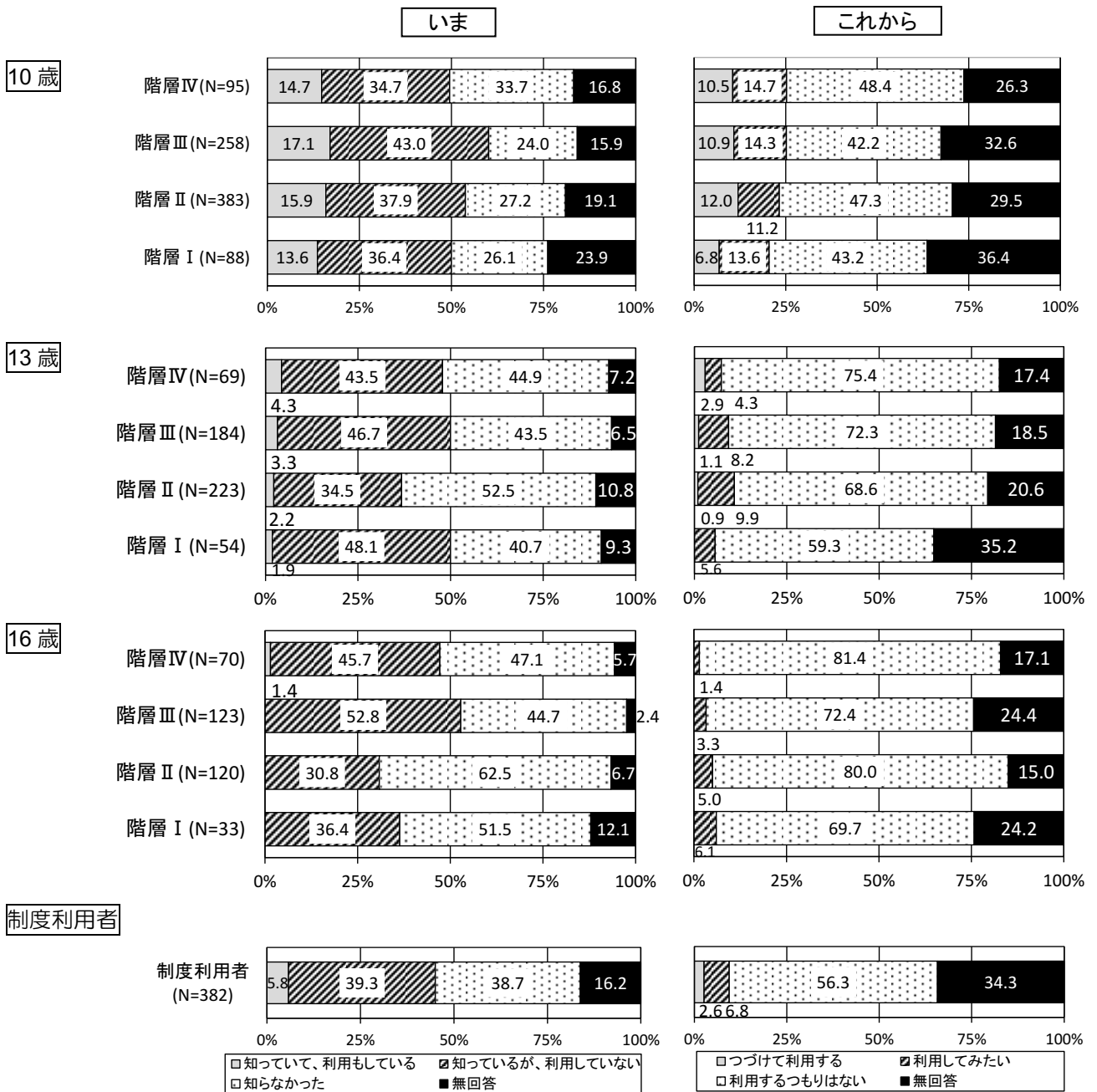
現在の利用状況について、16歳の階層I・IIで「知っていて、利用もしている」の割合がやや高くなっています。これからの利用希望について、13歳及び16歳の階層IV以外で、「利用してみたい」が3割～4割前後となっています。

問 35-② 児童館



現在の利用状況について、年齢があがるにつれて知っている割合は高くなりますが、「知っている、利用もしている」割合は低くなっています。また、今後の利用希望については、10歳において「続けて利用する」「利用してみたい」の割合が高く、年齢があがるにつれてその割合は低くなっています。

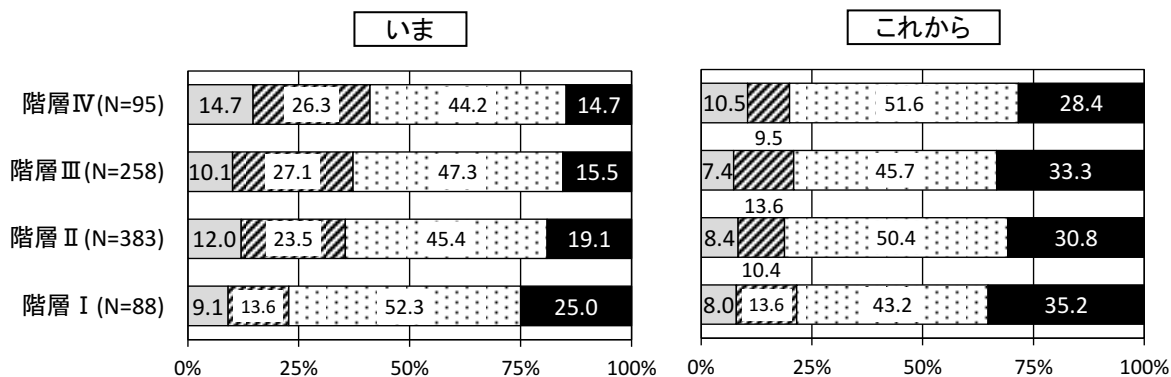
問 35-③ 放課後子ども教室



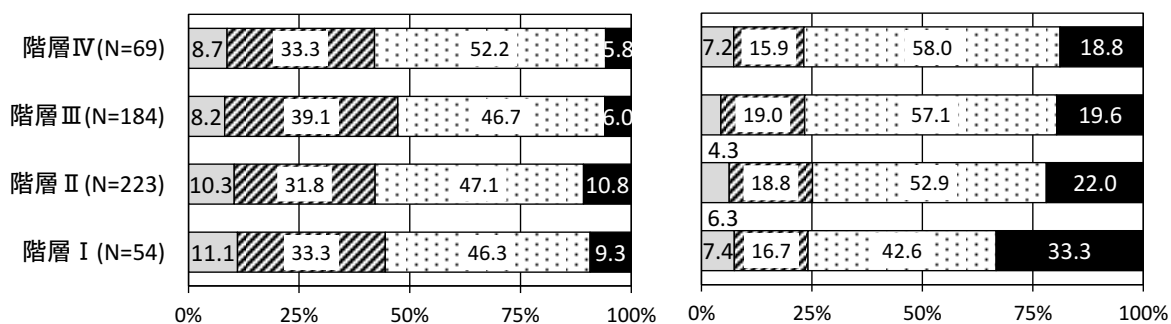
放課後子ども教室の認知度は約半数となっています。利用希望者は10歳に多く半数近くが希望しています。

問 35-④ 学校以外の場での学習・生活支援

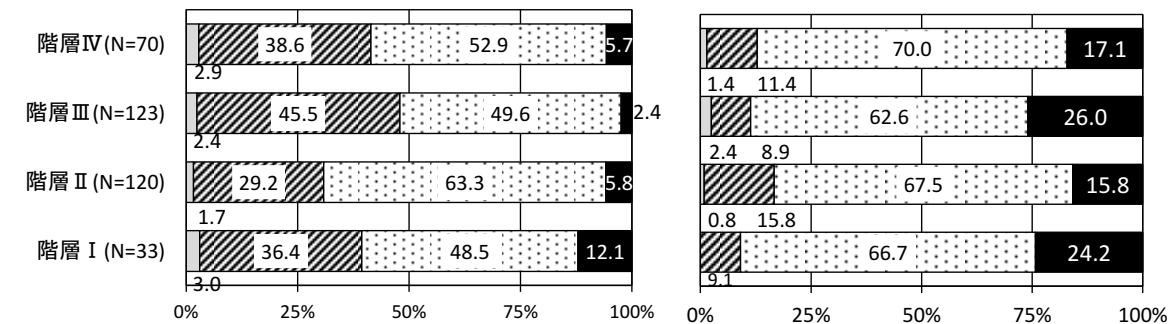
10 歳



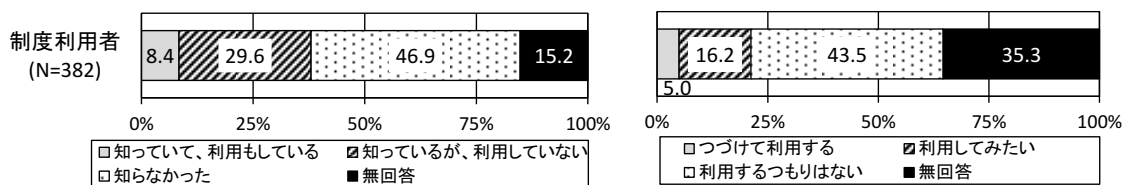
13 歳



16 歳



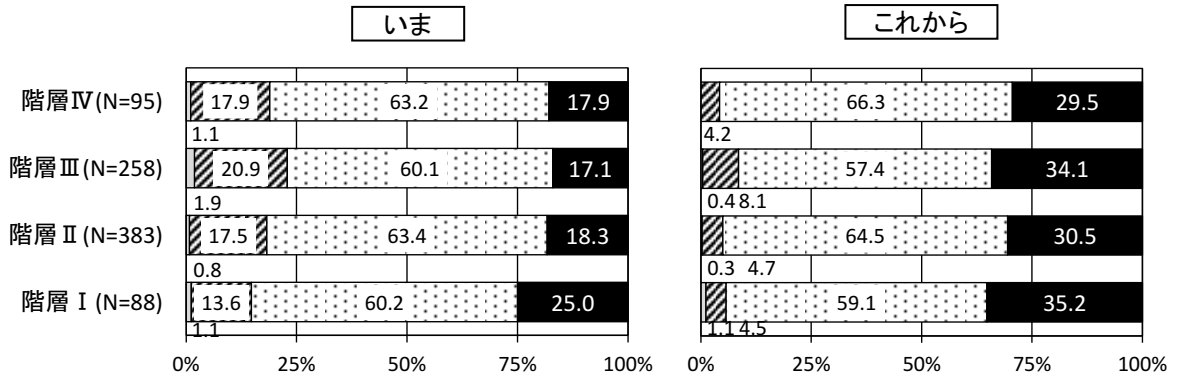
制度利用者



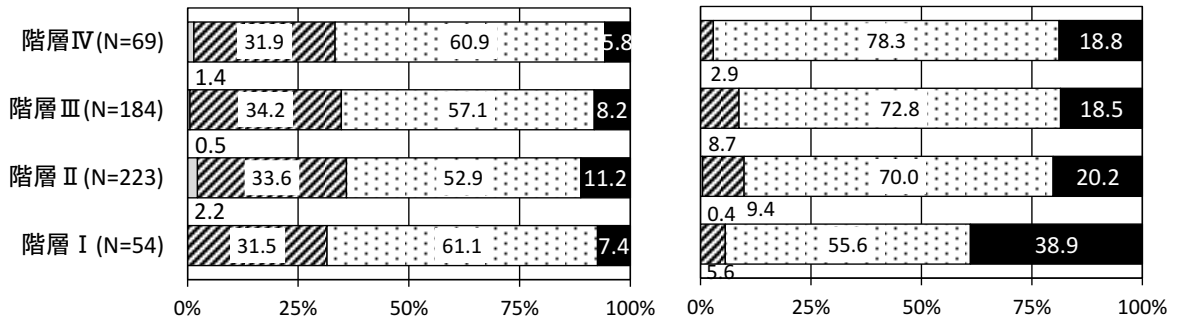
現在の利用状況について、各年齢・各階層とも「知らなかった」の割合が最も多くなっています。また、10歳、13歳において階層に関わらず1割前後が「知っている、利用している」と答えています。今後の利用希望について、各年齢とも1割～2割前後が「利用してみたい」と答えています。

問 35-⑤ スクールソーシャルワーカーへの相談

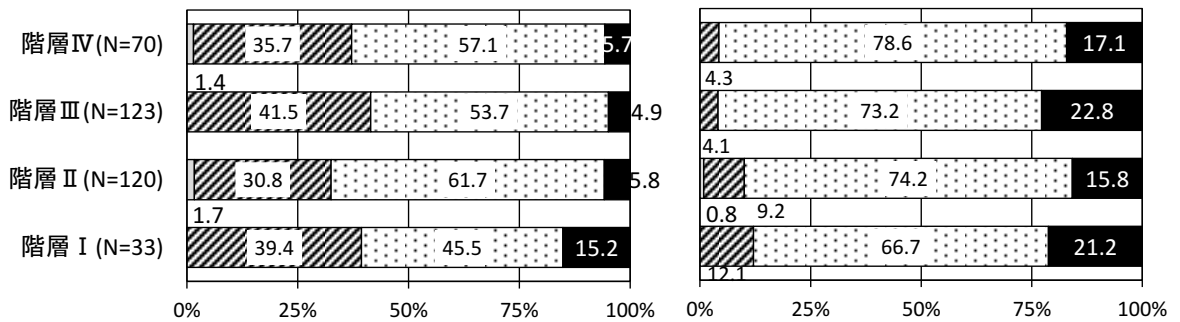
10 歳



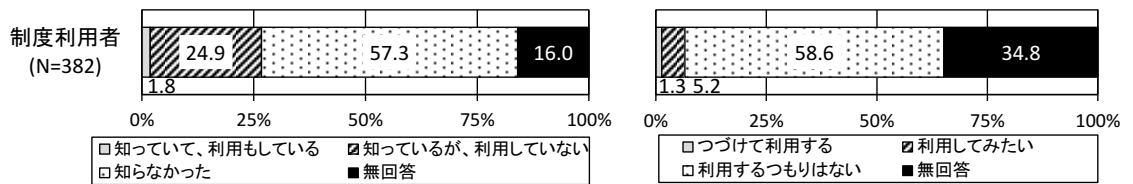
13 歳



16 歳



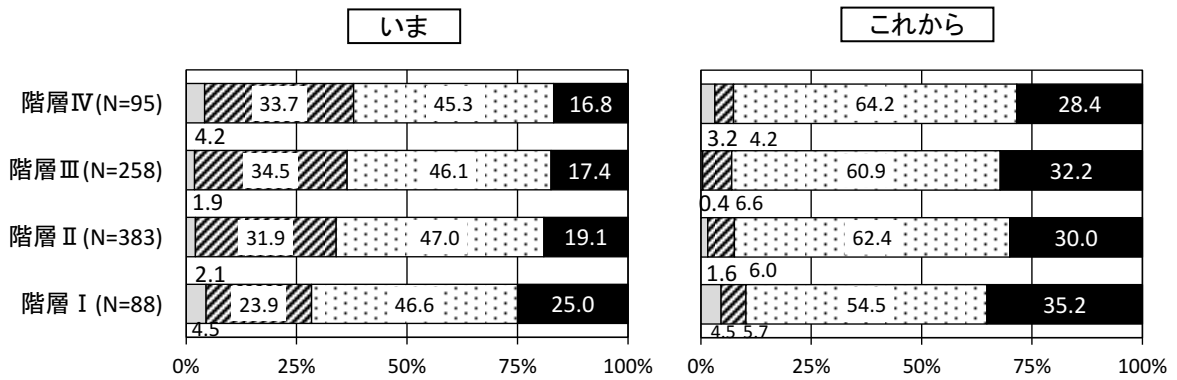
制度利用者



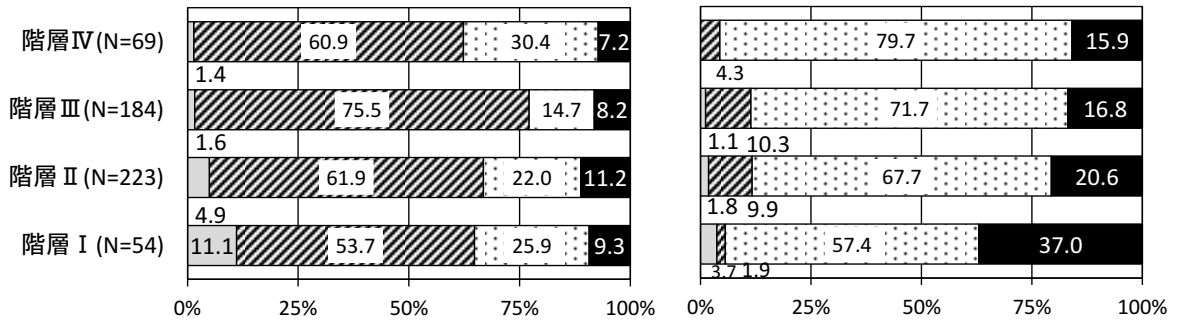
スクールソーシャルワーカーの認知度は、年齢が上がるにしたがって増加していますが、利用希望は 1 割程度となっています。

問 35-⑥ スクールカウンセラーの相談

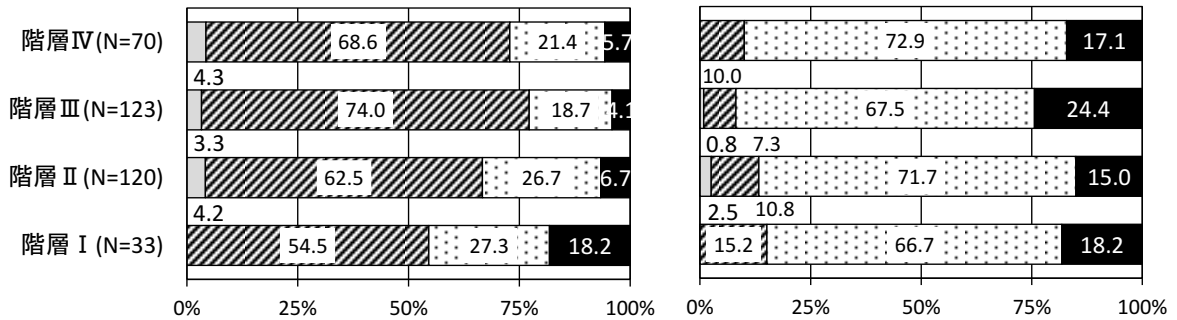
10 歳



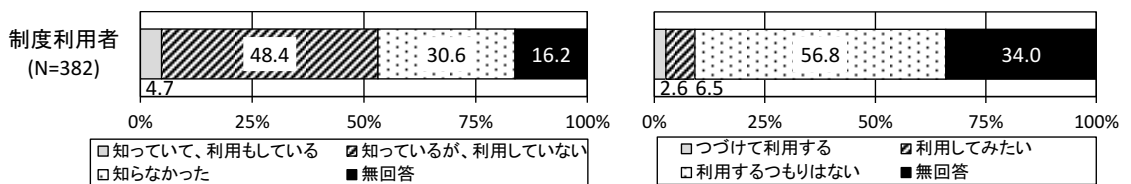
13 歳



16 歳



制度利用者



スクールカウンセラーの認知度は 13 歳、16 歳で多くなっていますが、利用希望は各年齢とも 1 割前後となっています。

問 35-⑦ その他意見

(各年齢回答が 1~3 件のため省略)

問 36 あなたの、学校や家での生活で、もっと良くしたり充実したりしてほしいことはありますか。また、子ども・若者のために静岡市役所が取り組んだ方がよいと思うことがあれば自由に書いてください。
(自由意見)

<主な意見>

○ **学校や学習に関すること設備等に関すること**

- 教室に空調を設置するなど勉強のための環境をよくしてほしい。(熱中症対策、暑くて授業に集中できないなど)
- 校舎の老朽化・雨漏り対策、トイレの洋式化・綺麗にしてほしい。
- 給食をおいしいものに。静岡の特産品などを使った料理を出すなど。
- 進学相談や授業でわからないことを相談できる場所や、SNS でも相談できる対応。
- 勉強ができるフリースペースを増やしてほしい(図書館の自習室は満室)
- 先生にはもっと生徒の気持ちを理解してほしい。
- 面白い本などの読み聞かせを増やした方がいいと思う
- 夏休み等長期休みを短くして、平日の授業時間を減らして自主学習ができるようにしてほしい。

○ **相談機関等に関すること**

- いじめの悩み事や相談を、学校を通さずに SNS でできるようにしてほしい。
- いじめ相談センターの設置。深夜・祝祭日の電話相談(平日9~17時では電話できない)
- いろいろな相談ができる場所や時間を増やしてほしい
- 担任以外の先生に相談したい
- スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーに相談しやすくしてほしい(相談するのに教員を通さなければならない、相談していることを知られる)
- 不登校(保健室や別室登校)でも指導してほしい。

○ **遊び場や居場所に関すること**

- 放課後の遊び場や居場所が少ないので増やしてほしい
- 思いっきり遊べる公園やスポーツ広場などがほしい
- 図書館の開館時間を延ばしたり、蔵書を増やしたりするなど充実してほしい。
- 児童館の設置

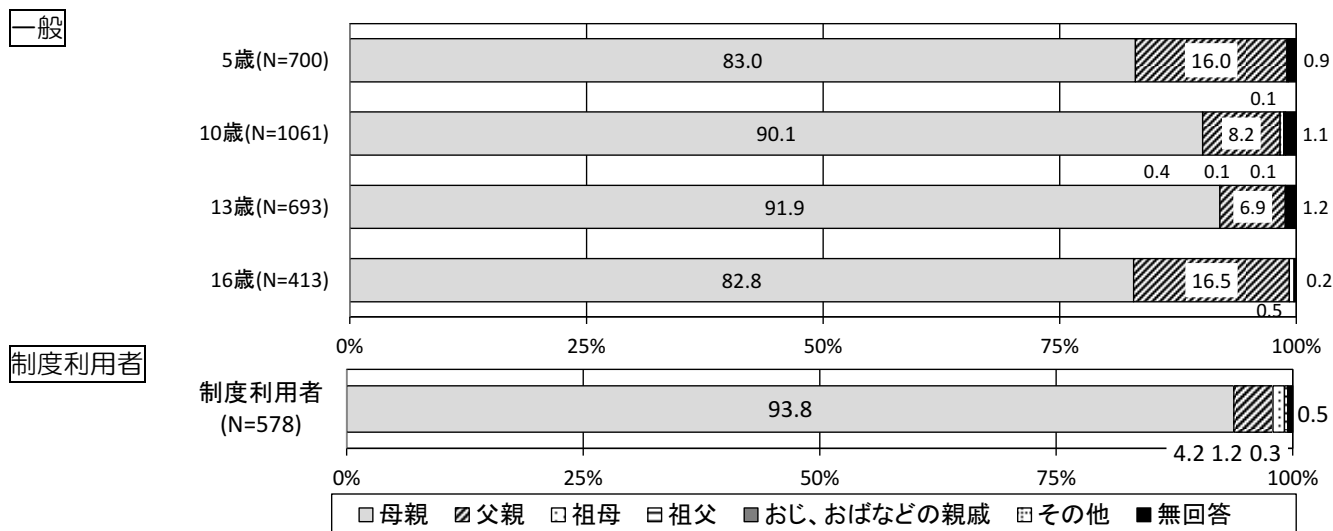
○ **その他の意見**

- 高校生もまだ子どもなので、医療費や施設の入場料を無料にしてください
- 近隣の学校との交流があるといいと思います

保護者

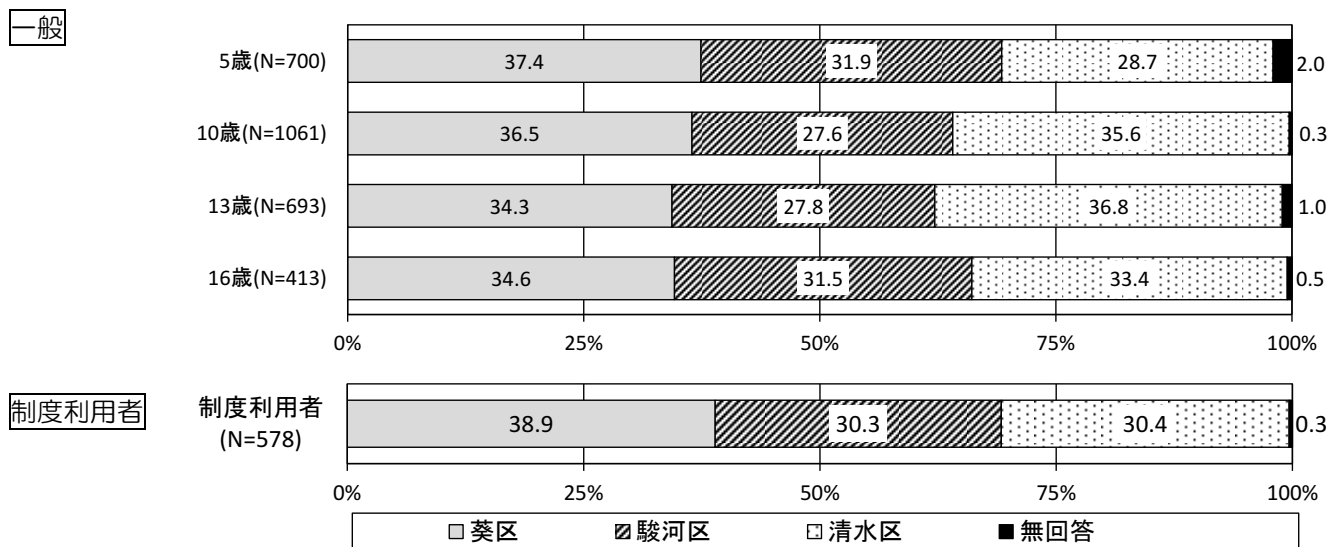
1 回答者のこと

問1 お子さんからみたあなたの続柄について教えてください。【制度利用者 問1】



一般では「母親」が8～9割台、「父親」が1割前後となっています。制度利用者では、「母親」が9割強となっています。

問2 現在のお住まいの区について教えてください。【制度利用 問2】

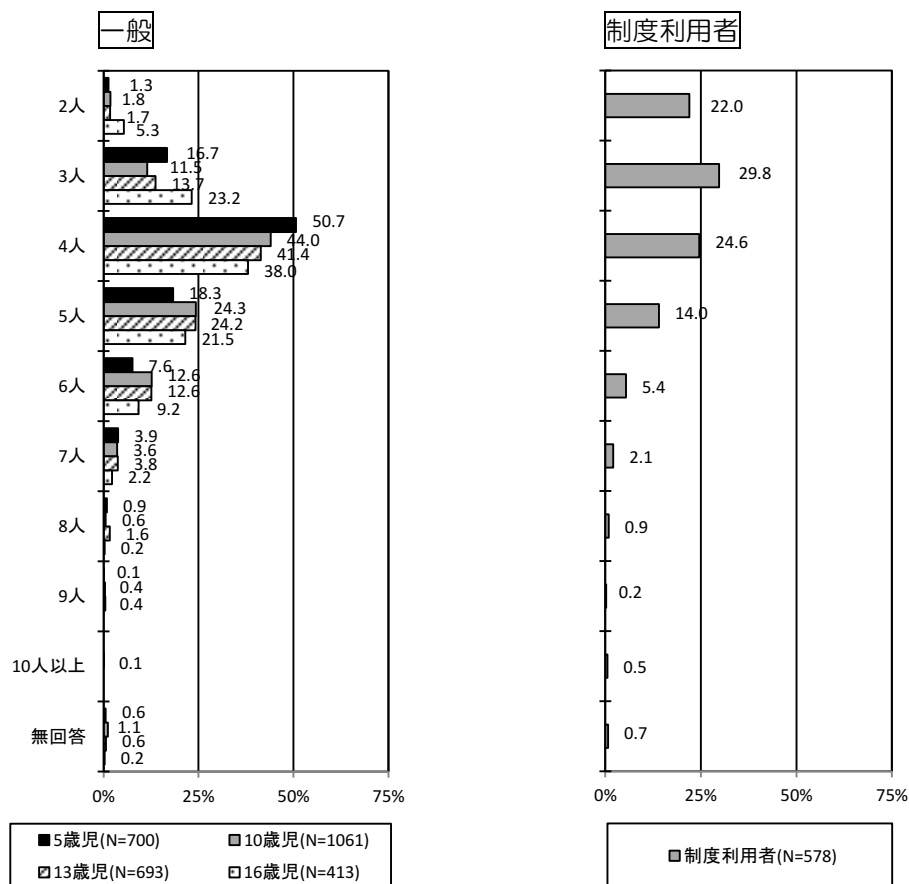


一般、制度利用者ともに、居住区はほぼ均等となっています。

2 世帯のこと

問3 あなたの世帯(世帯員)についておたずねします。【制度利用 問3】

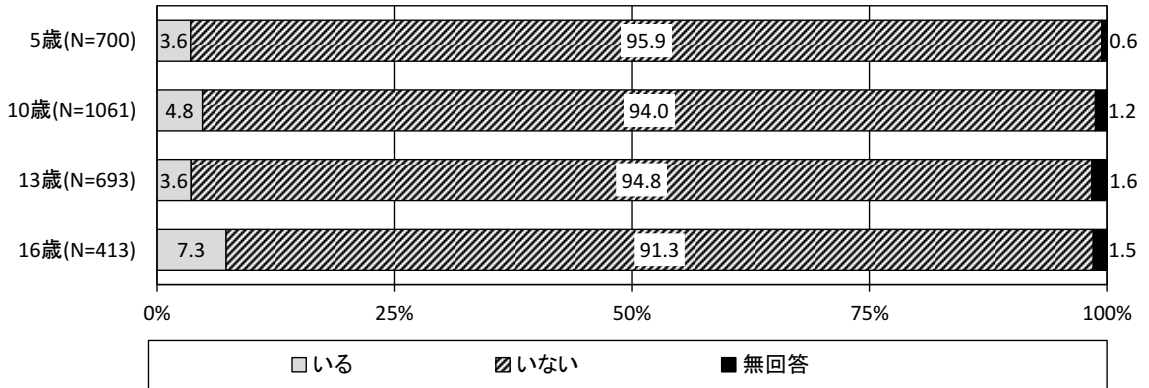
問3-① 世帯員の人数を記入してください。(あなたやお子さんを含む)



世帯員の人数についてみると、一般では、いずれの年齢も「4人」が最も多くなっています。一方、制度利用者は「3人(29.8%)」が最も多く、次いで「4人(24.6%)」となっています。

問 3-② 世帯員のうち、介護または介助が必要な方はいますか。(〇は1つ)

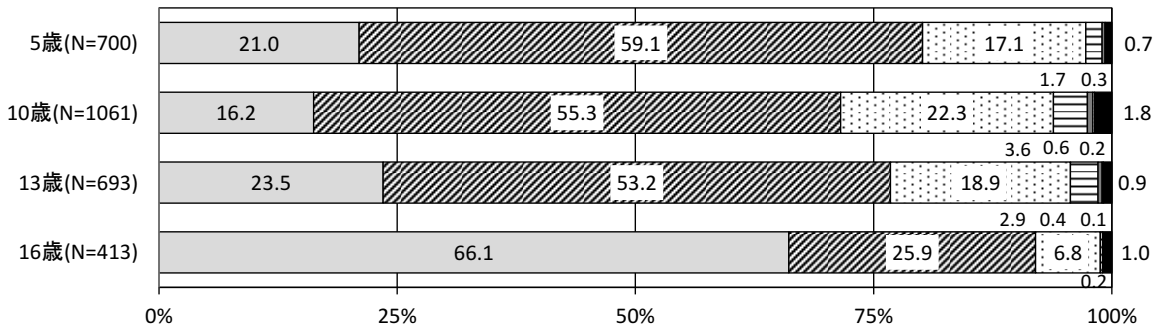
一般



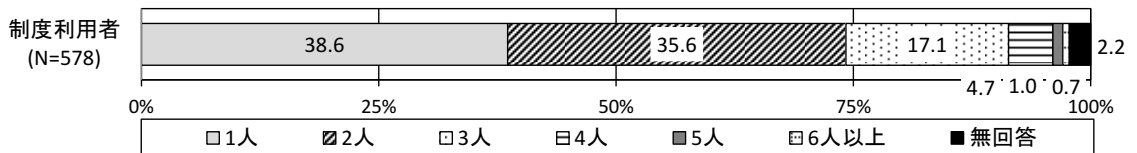
介護または介助が必要な方について、16歳で7.3%と他の年齢よりやや高くなっています。

問 3-③ 世帯員のうち、18歳未満の子どもの人数を記入してください。

一般



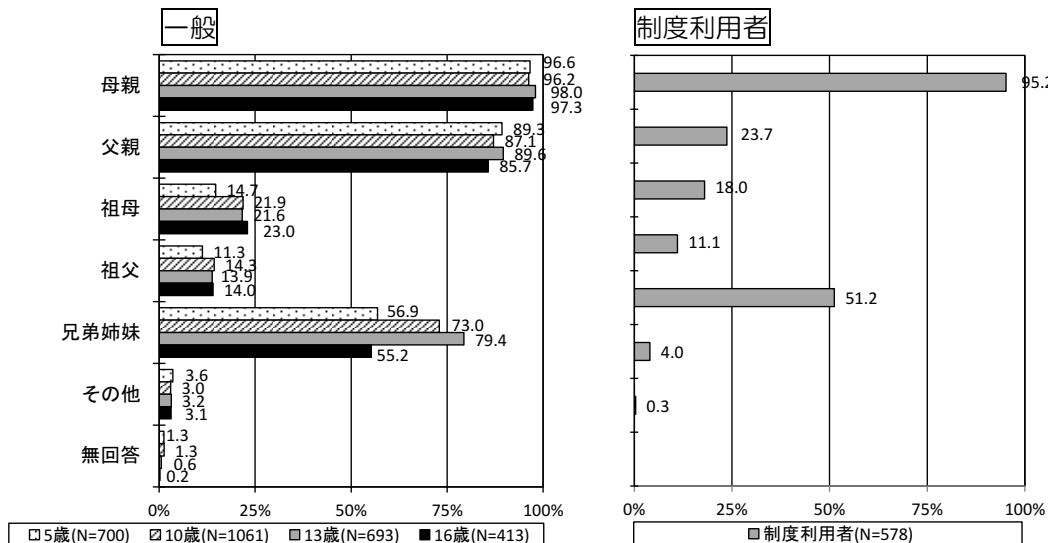
制度利用者



5歳から13歳までは「2人」、16歳では「1人」が高くなっています。

問 4 あなたの世帯に含まれる方全員のお子さんからみた続柄について教えてください。

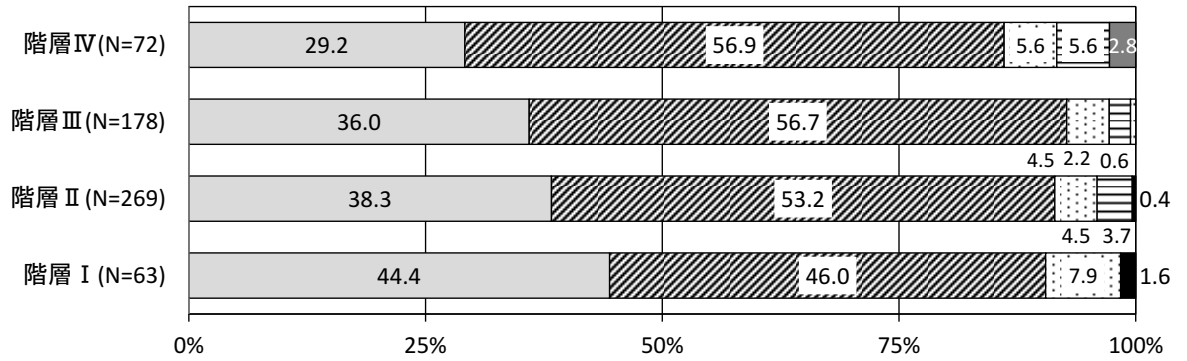
【制度利用 問4】(MA)



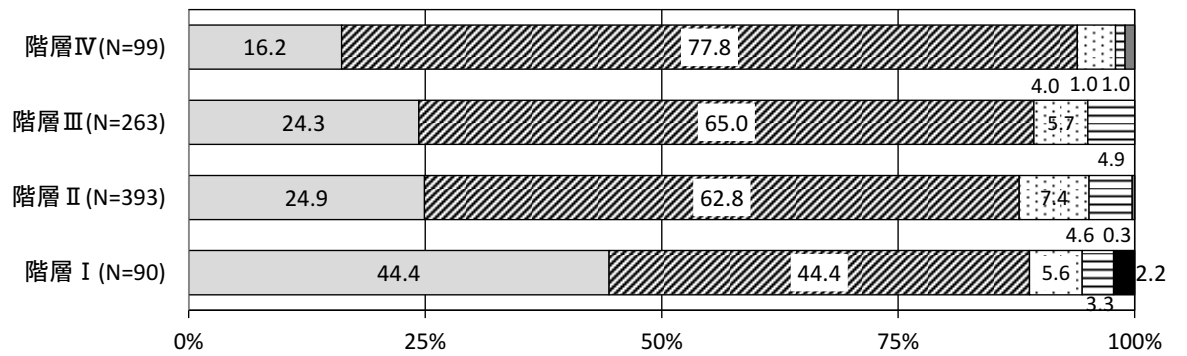
一般では父母・兄弟姉妹、制度利用者では母親・兄弟姉妹が高くなっています。

問 5-1 あなたの世帯で収入のある方的人数を教えてください。

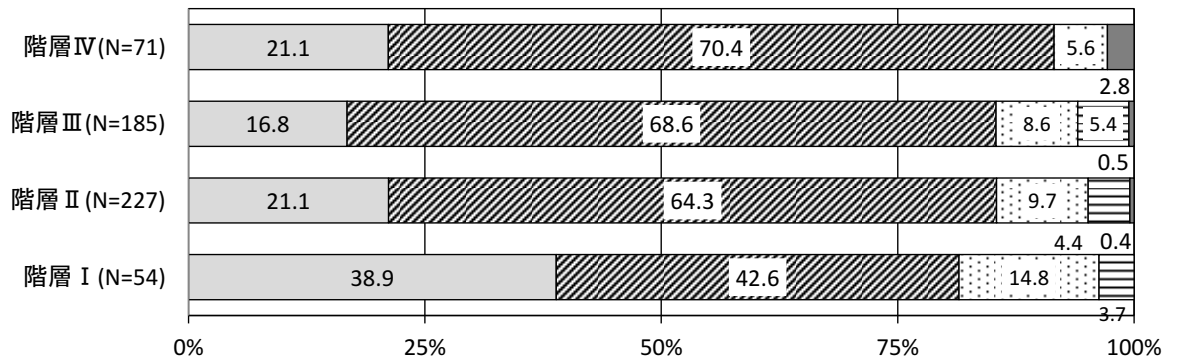
5歳



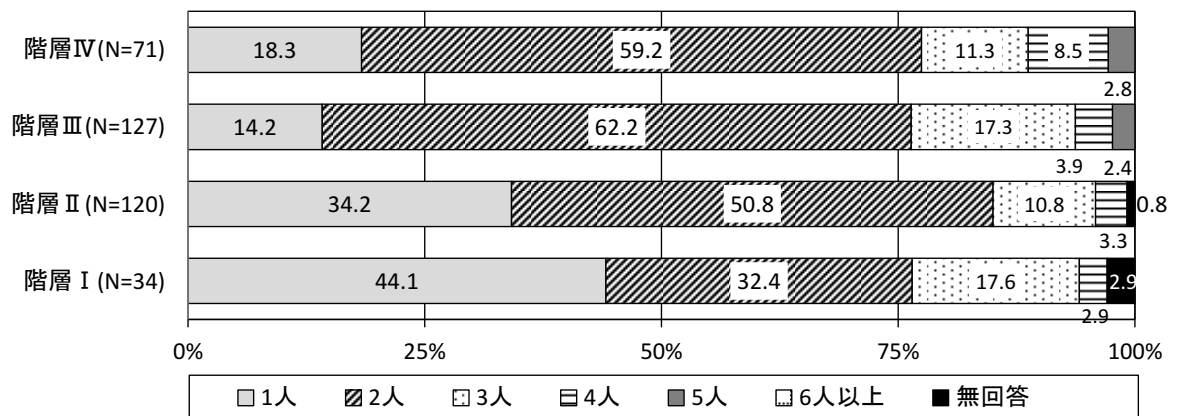
10歳



13歳



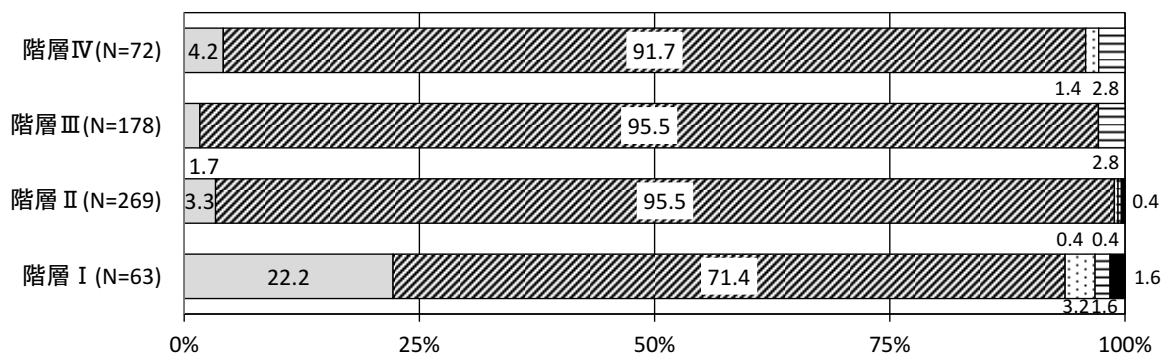
16歳



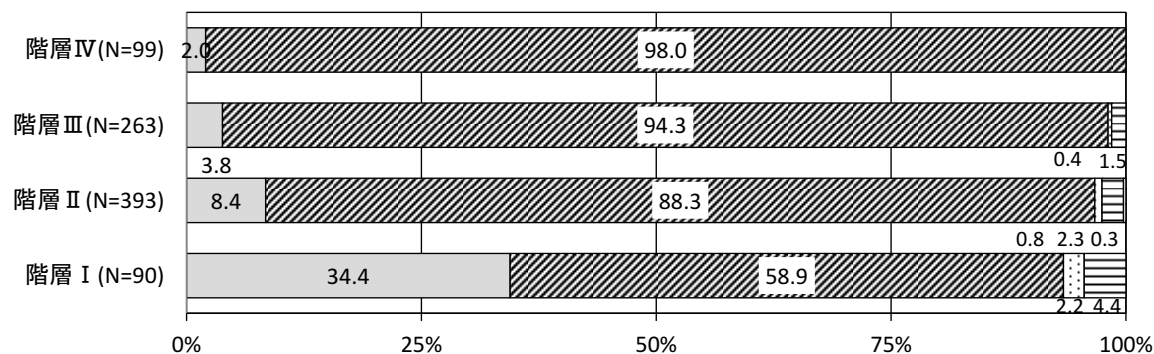
世帯員で収入のある人についてみると、いずれの年齢についても、階層が低くなるにしたがって「1人」が高くなっています。

問 5-2 あなたの世帯の世帯主(家計の主たる収入を得ている人)はどなたですか。お子さんからみた続柄で教えてください。

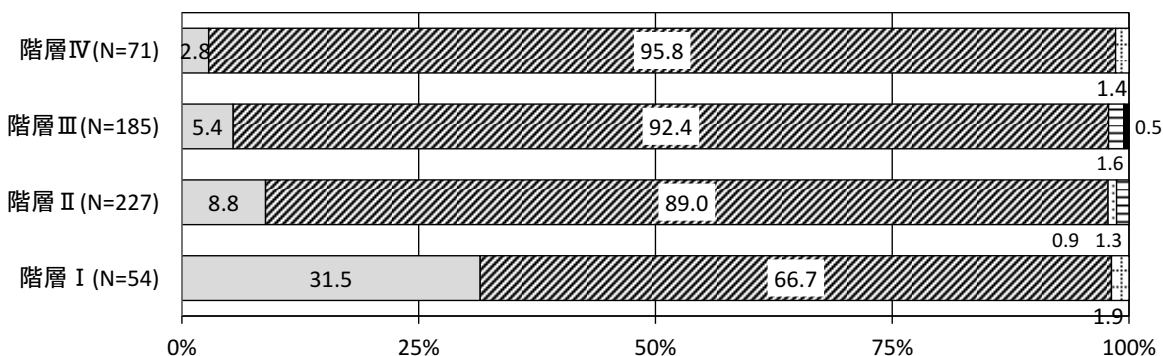
5歳



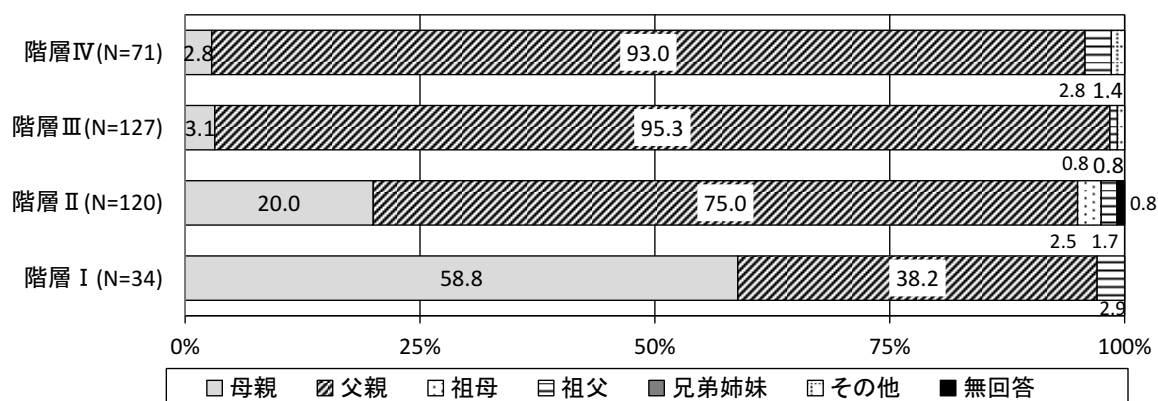
10歳



13歳

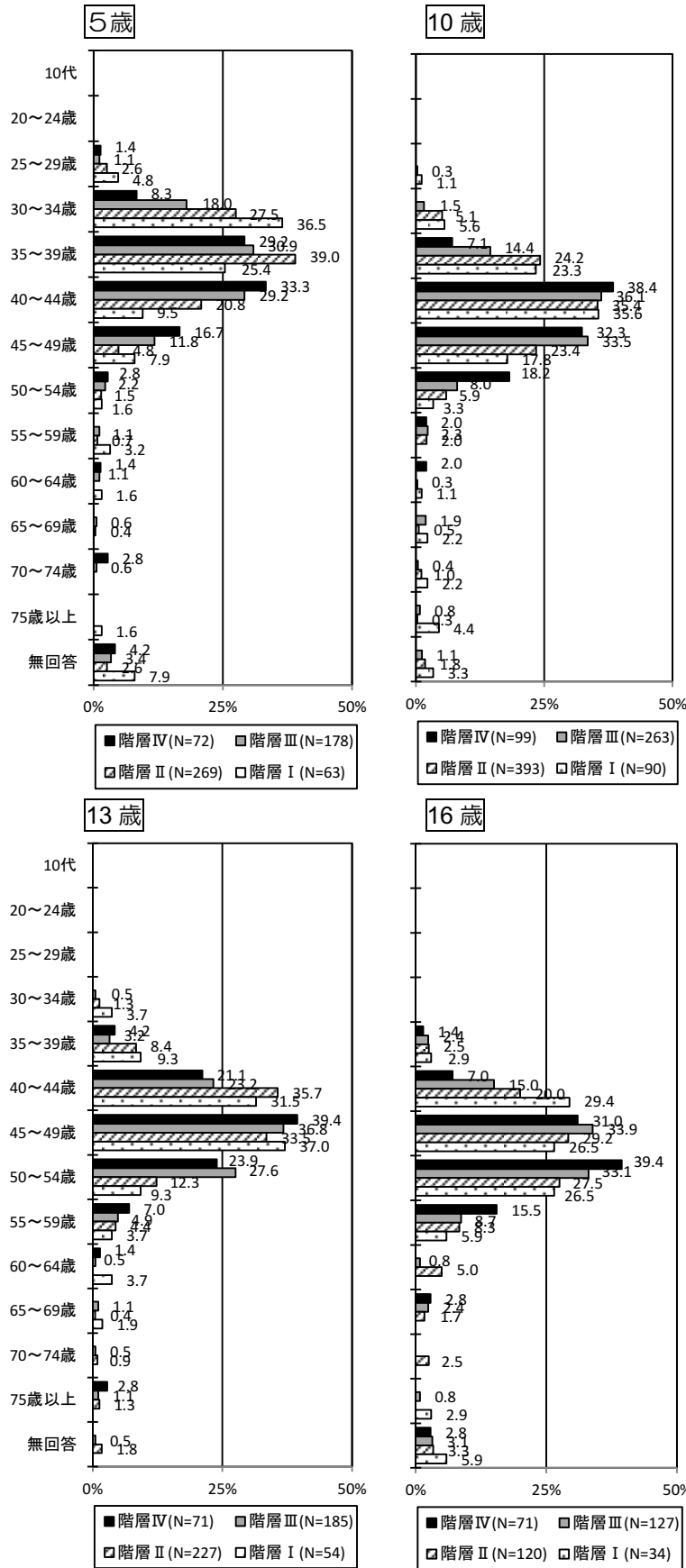


16歳



世帯主についてみると、いずれの年齢についても、階層が低くなるにしたがって「母親」が高く、特に16歳では、6割近くとなっています。

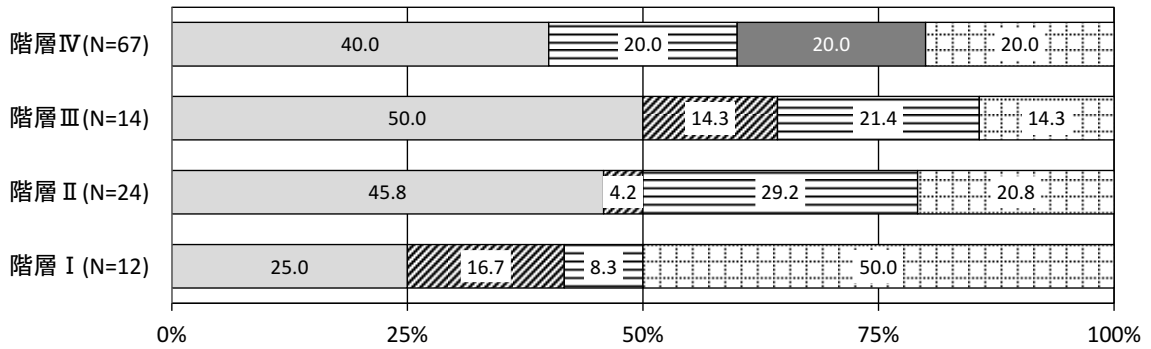
問 5-3 あなたの世帯の世帯主の方の生年月(西暦)について教えてください。



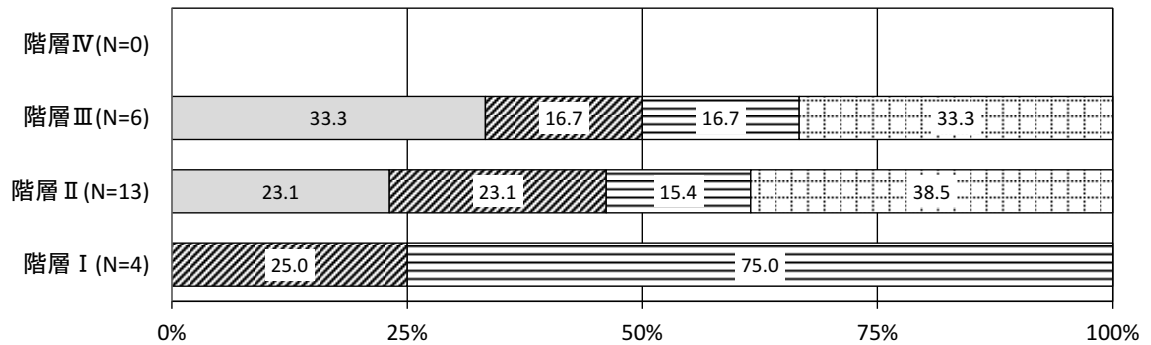
世帯主の年齢についてみると、5歳は35~39歳、10歳は40~44歳、13歳は45~49歳、16歳は50~54歳がピークとなっています。

問 5-4 母親・父親以外(祖母、祖父、おば、おじなど)が、主として家計を支えている場合、その方の就業状況について教えてください。

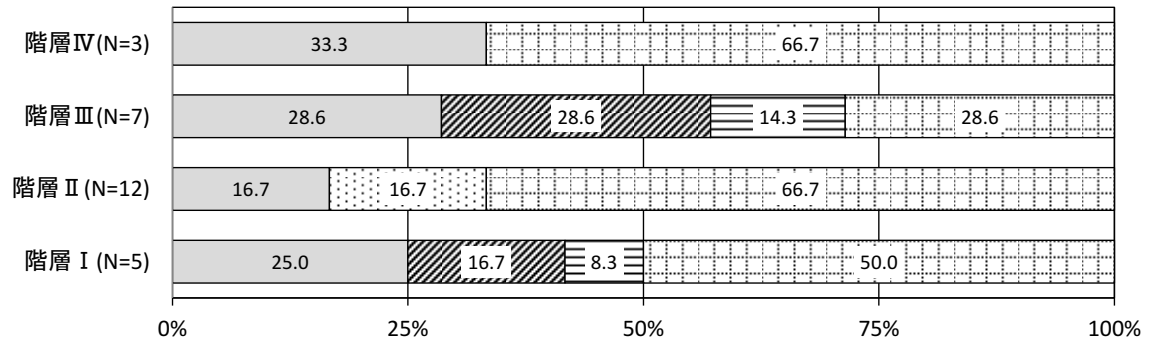
5歳



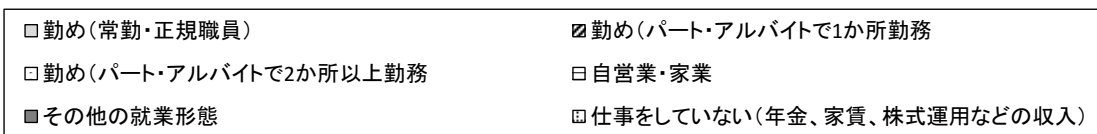
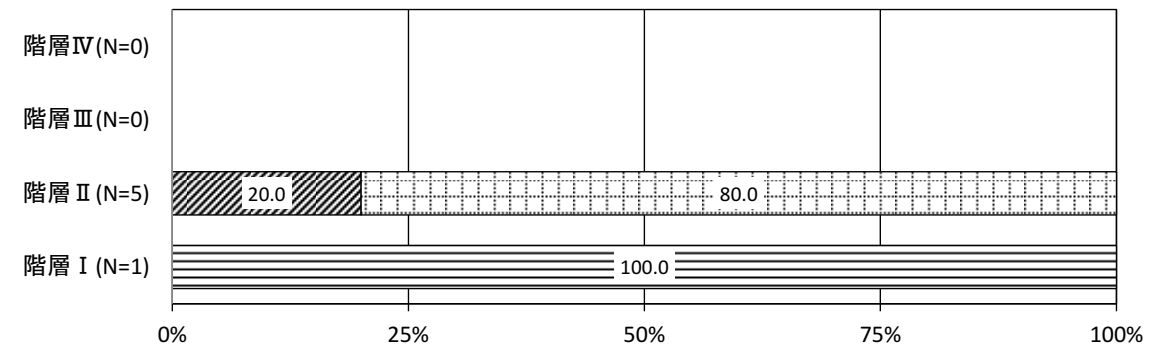
10歳



13歳

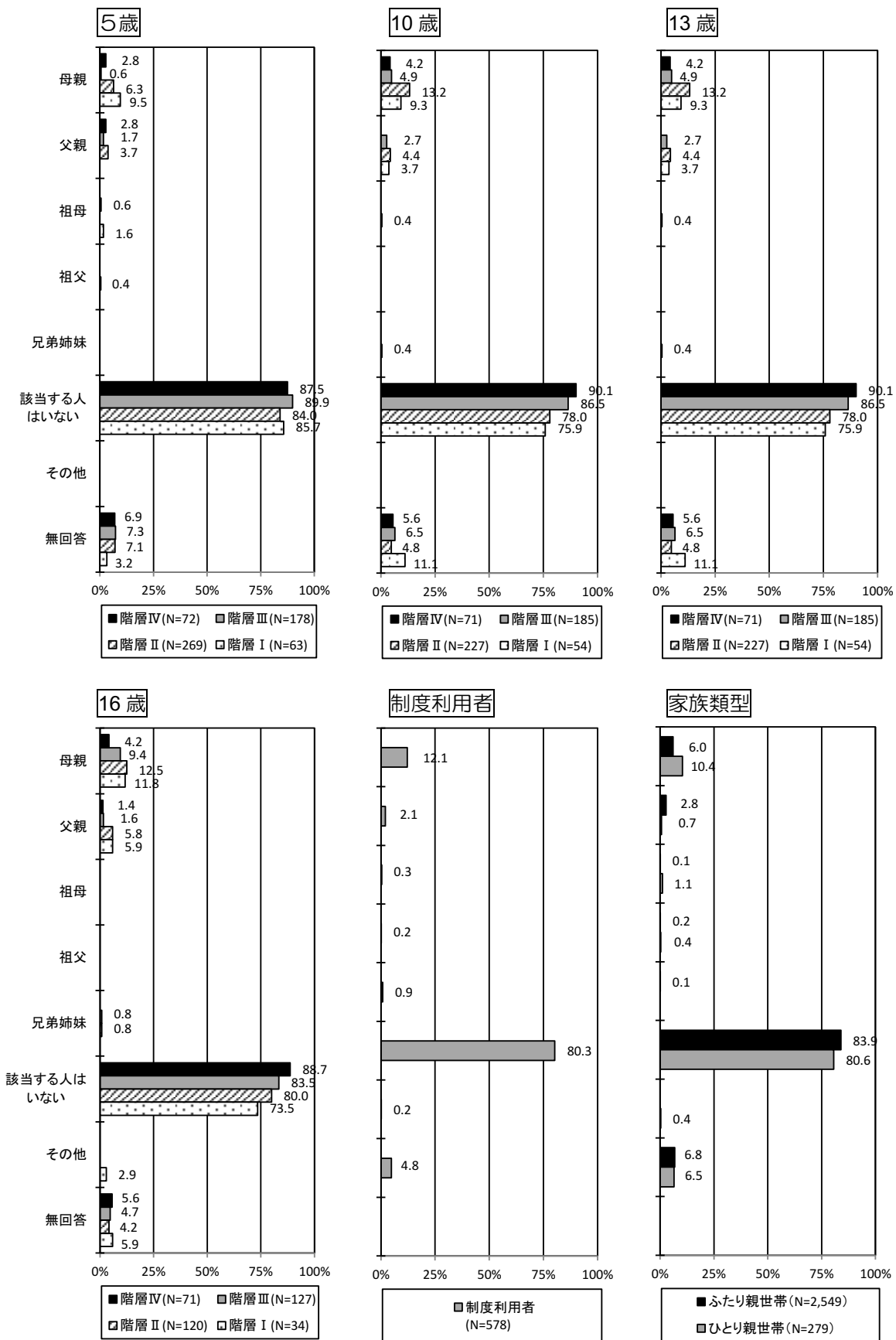


16歳



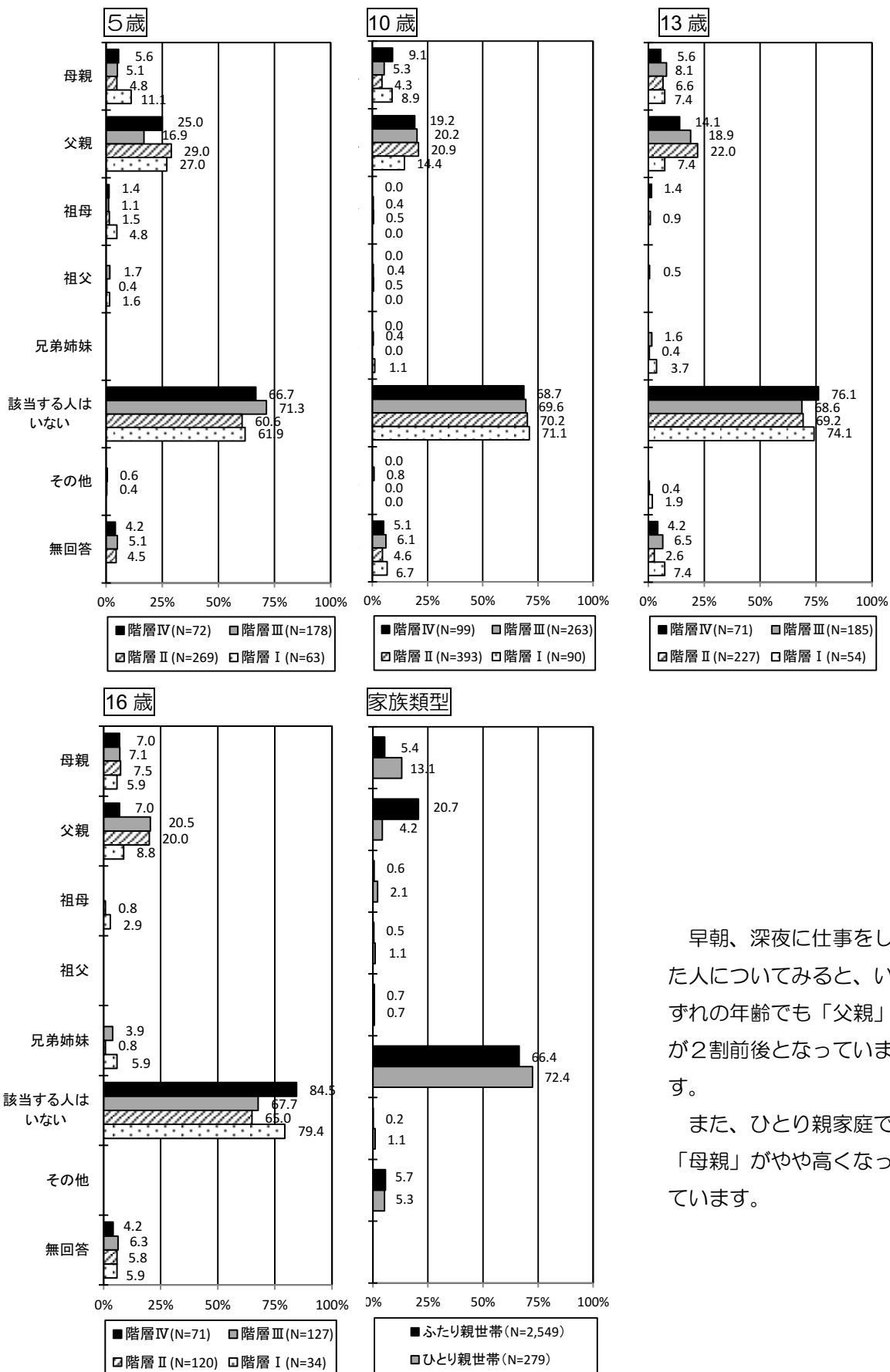
父母以外で家計を支えている人の就業状況について、「勤め(常勤・正規職員)」が高い傾向にあります。

問6 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間(平成28年1月1日～12月31日の期間)に、同時に複数の仕事を掛け持ちした人はいますか。【制度利用 問5】(MA)



同時に複数仕事をした人は、総数としては少ない状況にあります。階層が低くなるにしたがって、母親並びに父親の割合が若干高くなっています。

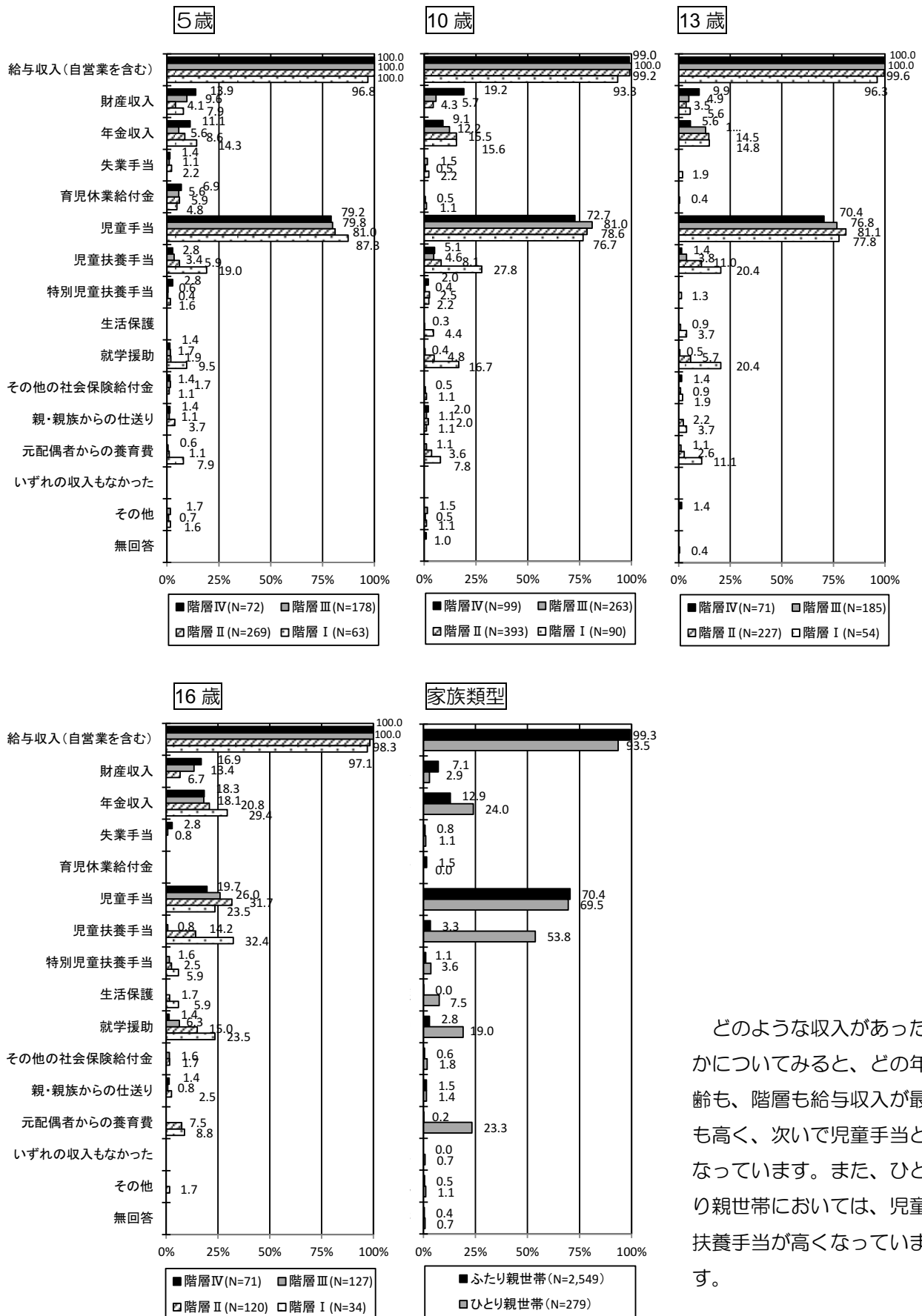
問7 あなたの世帯に含まれる方で、昨年1年間(平成28年1月1日～12月31日の期間)に、深夜(22時～5時頃)や早朝(5時～8時)の時間を勤務時間として仕事をしていましたか。(MA)



早朝、深夜に仕事をした人についてみると、いずれの年齢でも「父親」が2割前後となっています。

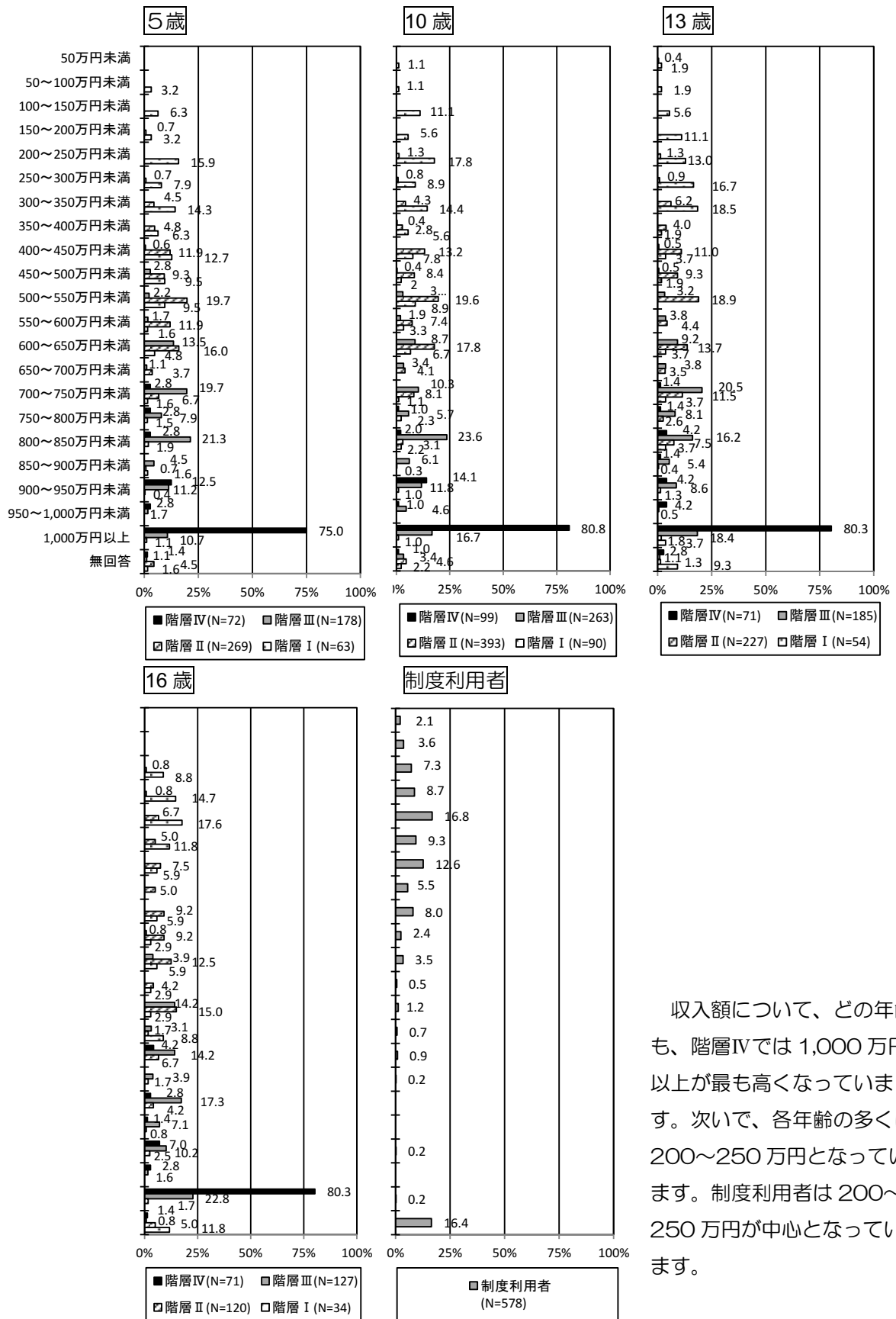
また、ひとり親家庭で「母親」がやや高くなっています。

問9 あなたの世帯では、昨年1年間(平成28年1月1日~12月31日の期間)に、どのような収入がありましたか。(MA)



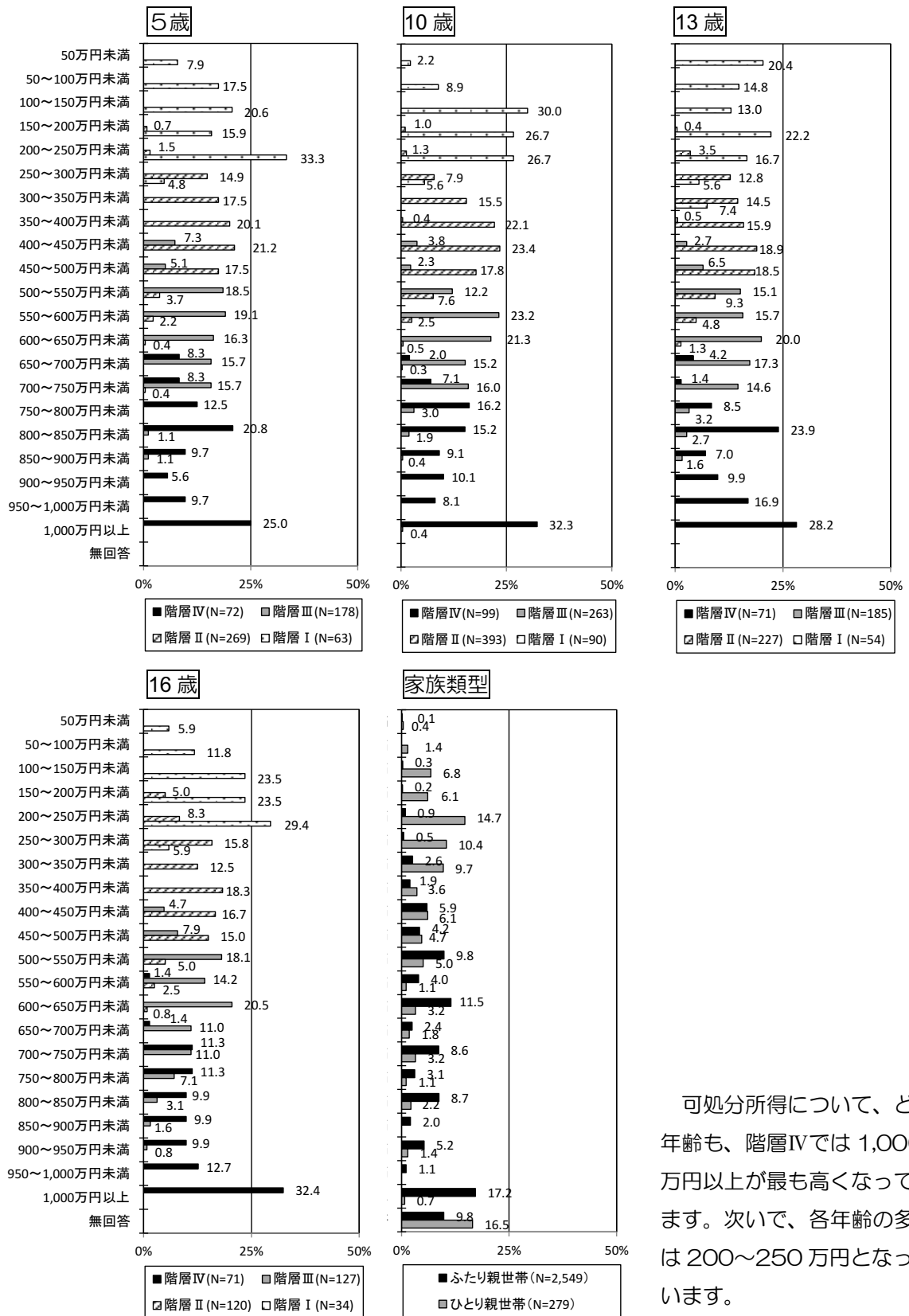
どのような収入があったかについてみると、どの年齢も、階層も給与収入が最も高く、次いで児童手当となっています。また、ひとり親世帯においては、児童扶養手当が高くなっています。

問 9-1 あなたの世帯の昨年1年間(平成 28 年1月1日～12 月 31 日の期間)の収入の合計(税込)はおおよそどのくらいでしたか。世帯全員の年間の収入の合計金額(税込)



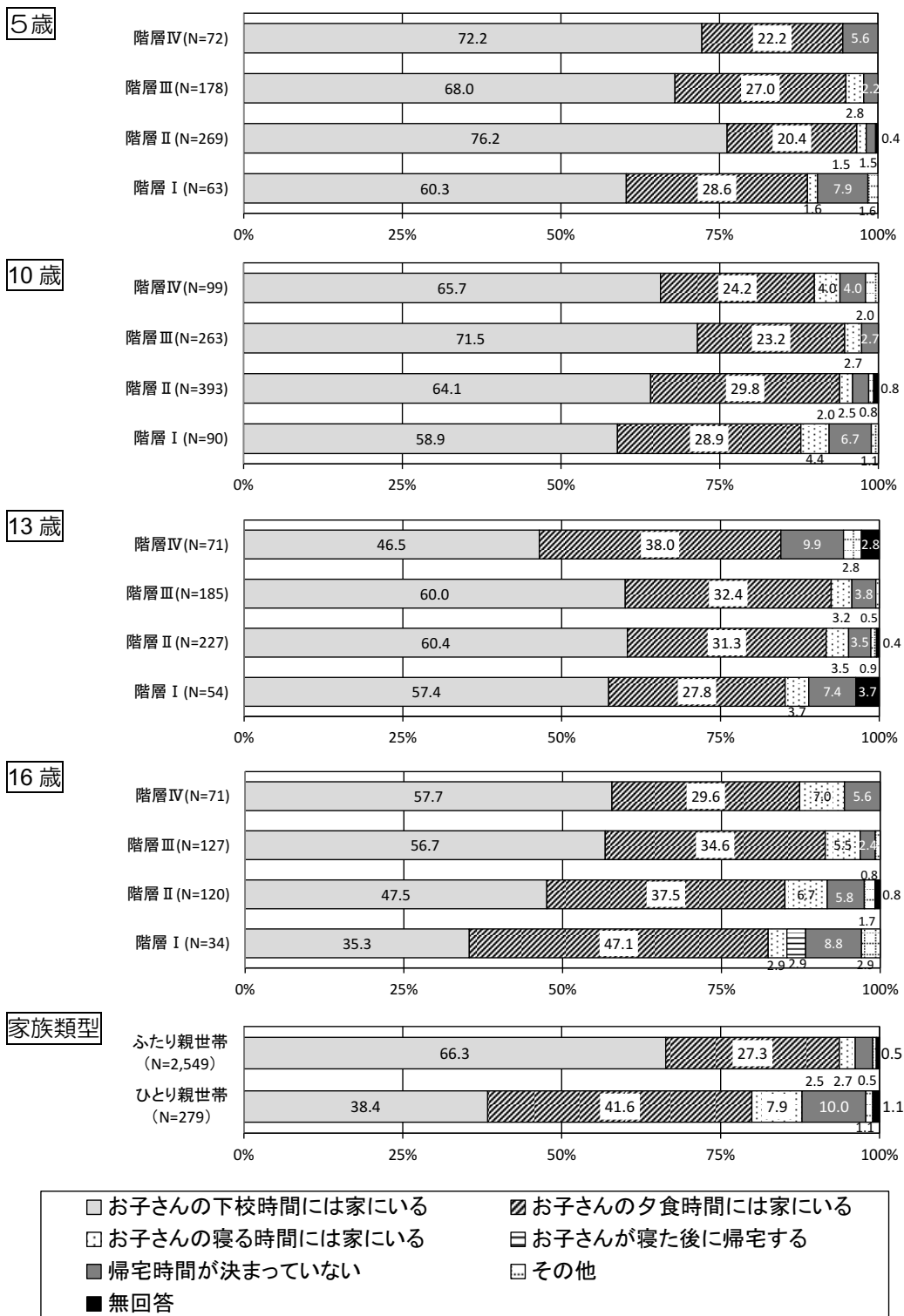
収入額について、どの年齢も、階層IVでは1,000万円以上が最も高くなっています。次いで、各年齢の多くは200～250万円となっています。制度利用者は200～250万円が中心となっています。

問 9-2 あなたの世帯の昨年1年間(平成 28 年1月1日～12月31日の期間)の可処分所得はおおよそどのくらいでしたか。



可処分所得について、どの年齢も、階層IVでは1,000万円以上が最も高くなっています。次いで、各年齢の多くは200～250万円となっています。

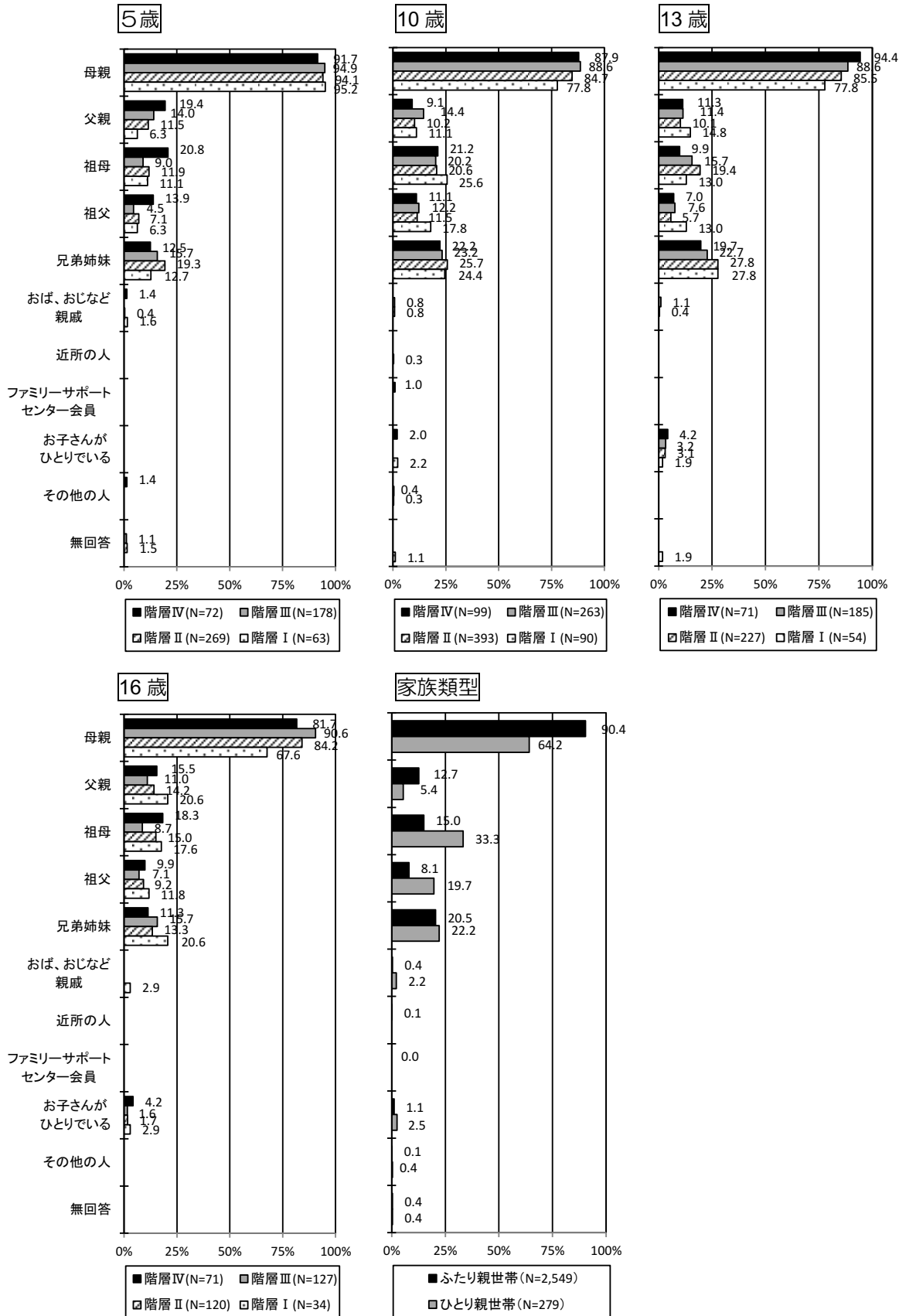
問 10-1 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯を選んでください。



保護者が家にいる時間帯についてみると、5 歳、10 歳は、「お子さんの下校時には家にいる」人が 7 割前後となっていますが、13 歳、16 歳は半数前後となっています。また、階層が低くなるにしたがって「お子さんの夕食時には家にいる」と回答する人が増加しています。

ひとり親世帯は、ふたり親世帯に比べると全体的に帰宅時間が遅くなっており、「お子さんが寝た後に帰宅する」「帰宅時間が決まっていない」と回答している人が 2 割程度見られます。

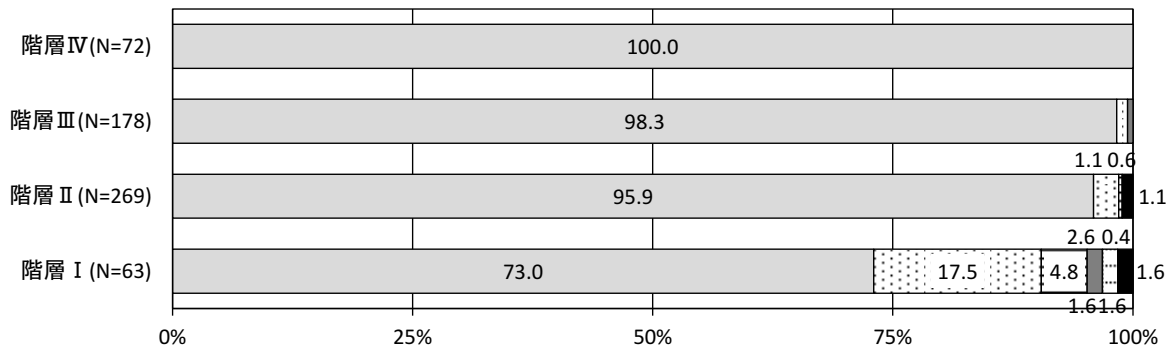
問 10-2 お子さんが家にいるとき、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。(MA)



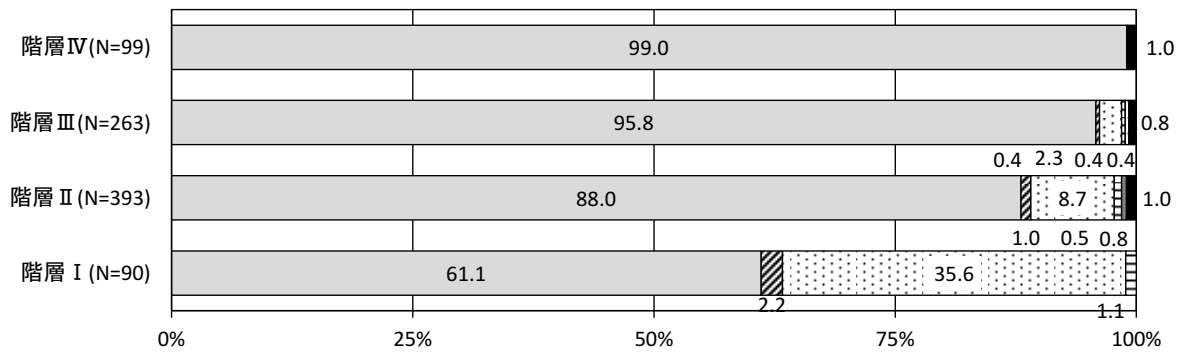
主に子どもと過ごす時間が長いのは誰かについてみると、どの年齢も、階層も母親が最も高く、階層が低くなるにしたがって母親の家にいる割合が低くなっています。家族類型では、ひとり親世帯においては、ふたり親世帯の9割に比べ、6割強となっています。

問 11 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。【制度利用 問7】

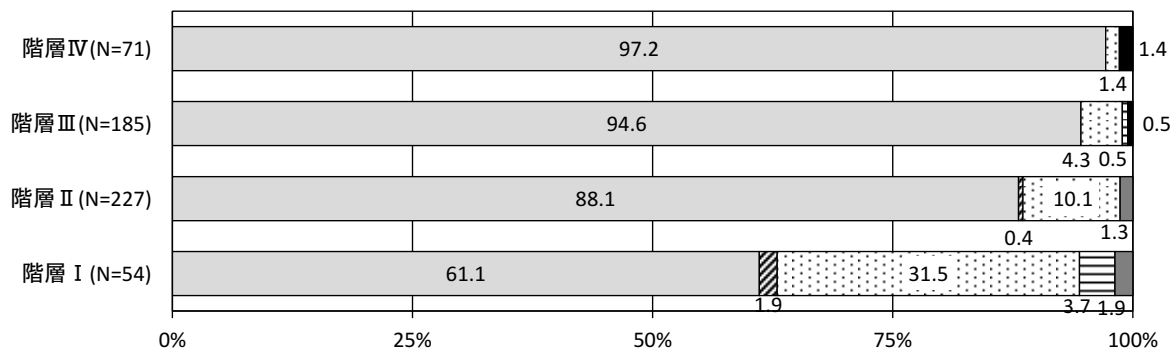
5歳



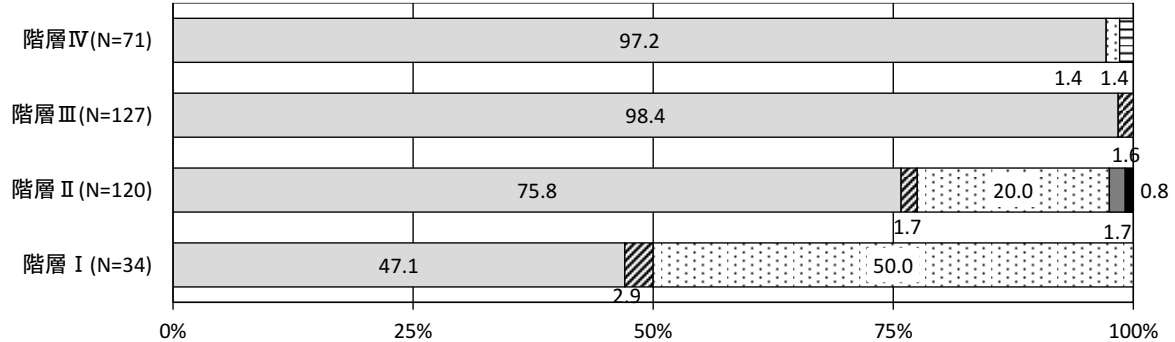
10歳



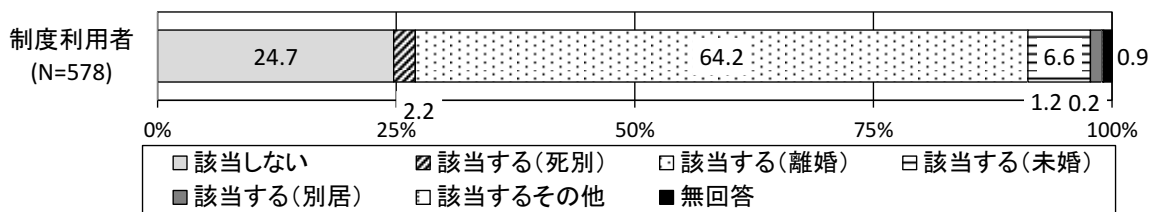
13歳



16歳



制度利用者

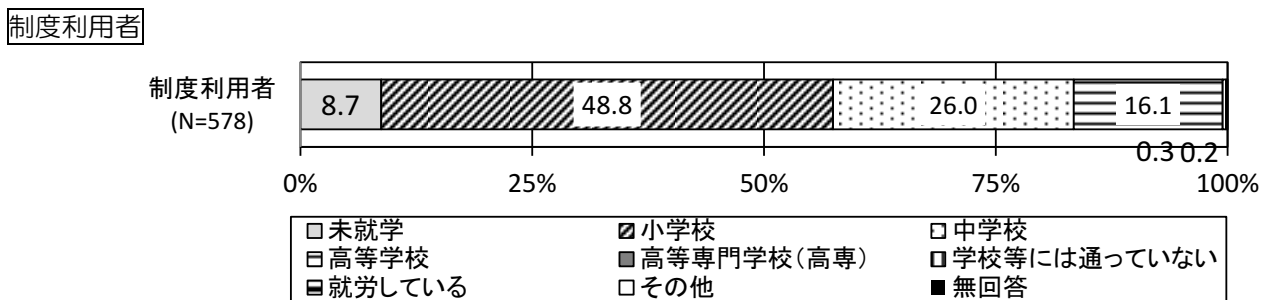
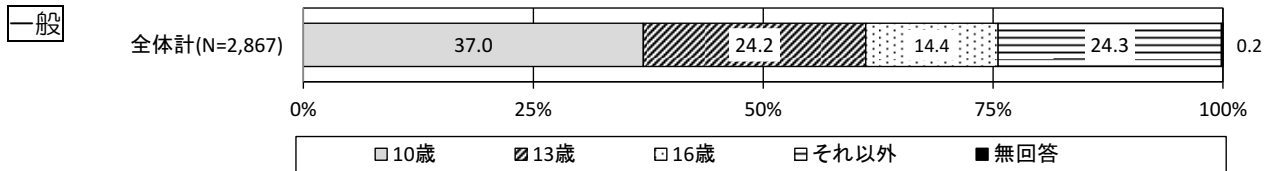


いずれの年齢についても、階層が低くなるにしたがって、ひとり親家庭の割合が高くなっています。

3 子どものことに

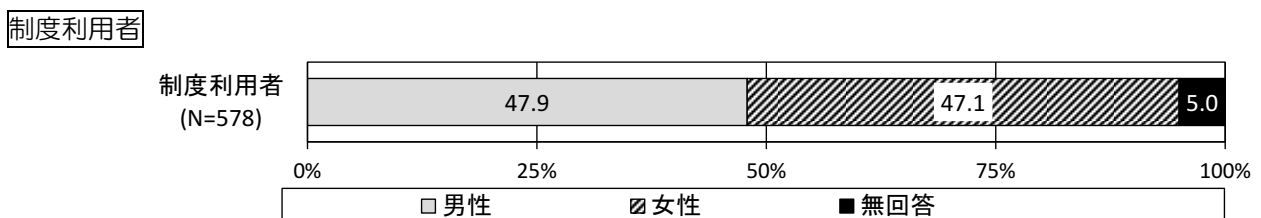
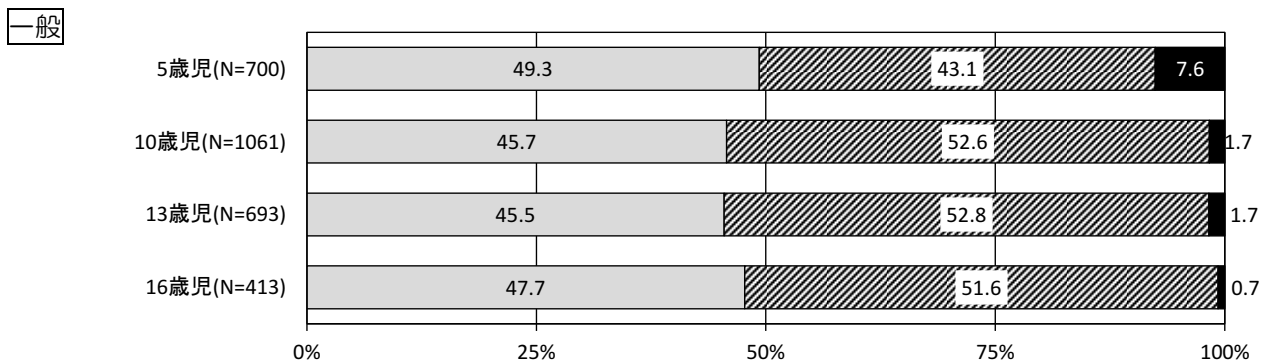
問 12 お子さんのことについて、以下の点について教えてください。(⑤はMA)【制度利用 問8】

問 12-① 生年月(西暦)



一般では、10歳が高くなっています。制度利用者は小学生が多くなっています。

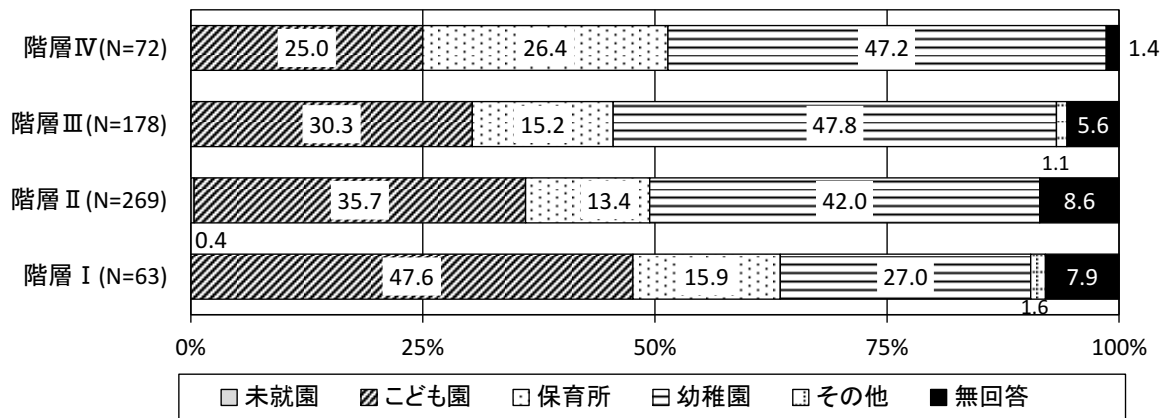
問 12-② 性別



一般の各年齢、制度利用者とも、「男性」「女性」が半々となっています。

問 12-③ 学校等の在籍状況

5歳

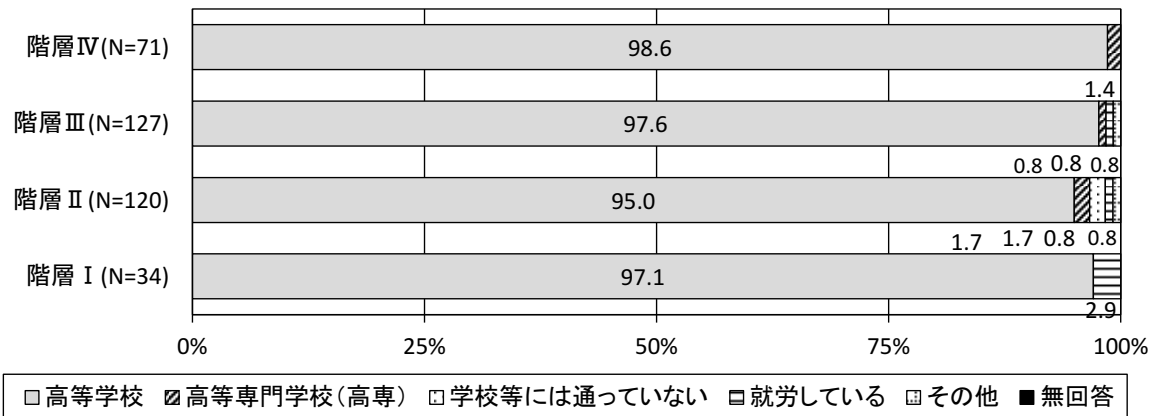


注：階層Ⅰ、Ⅲ、Ⅳは未就園児を持つ回答者がいない。

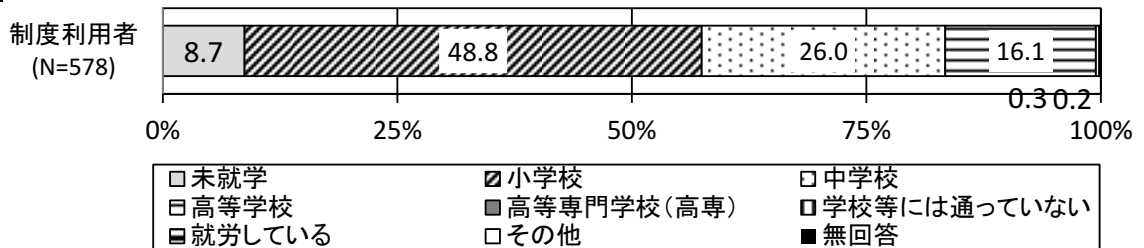
10歳 100%が「小学校」のためグラフなし

13歳 100%が「中学校」のためグラフなし

16歳



制度利用者

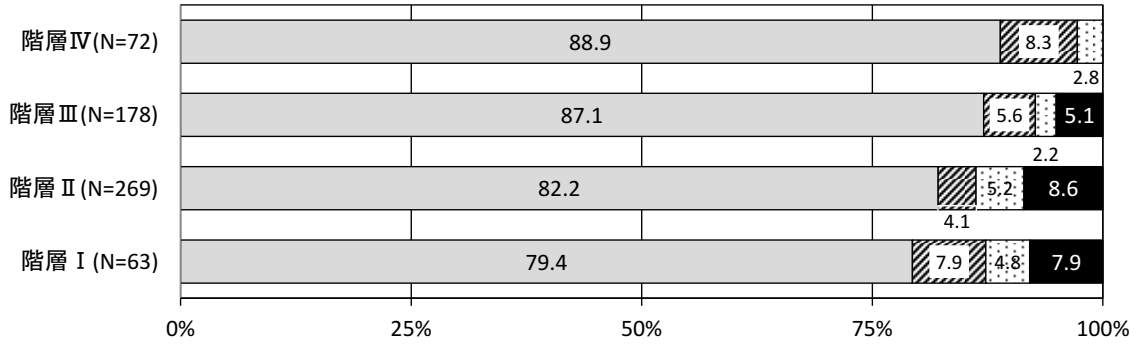


5歳は、階層が低くなるにしたがってこども園が高くなり、階層が高くなるにしたがって幼稚園が高くなっています。

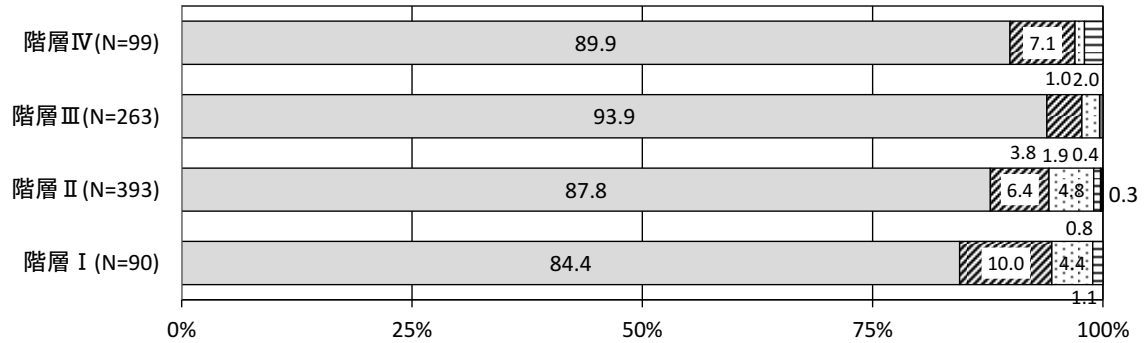
16歳は、9割以上が高校生となっています。

問 12-④ 健康状態

5歳



10歳

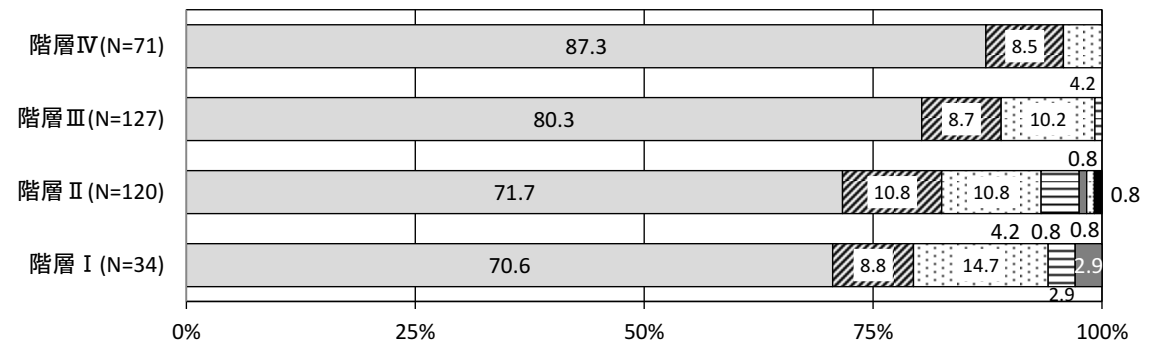


13歳

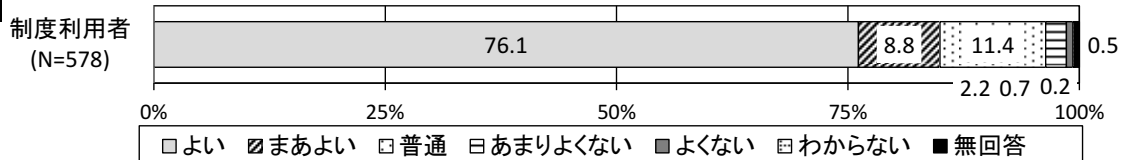


注：階層Ⅰにおいて、「まあ良い」の回答者はいなかった。

16歳

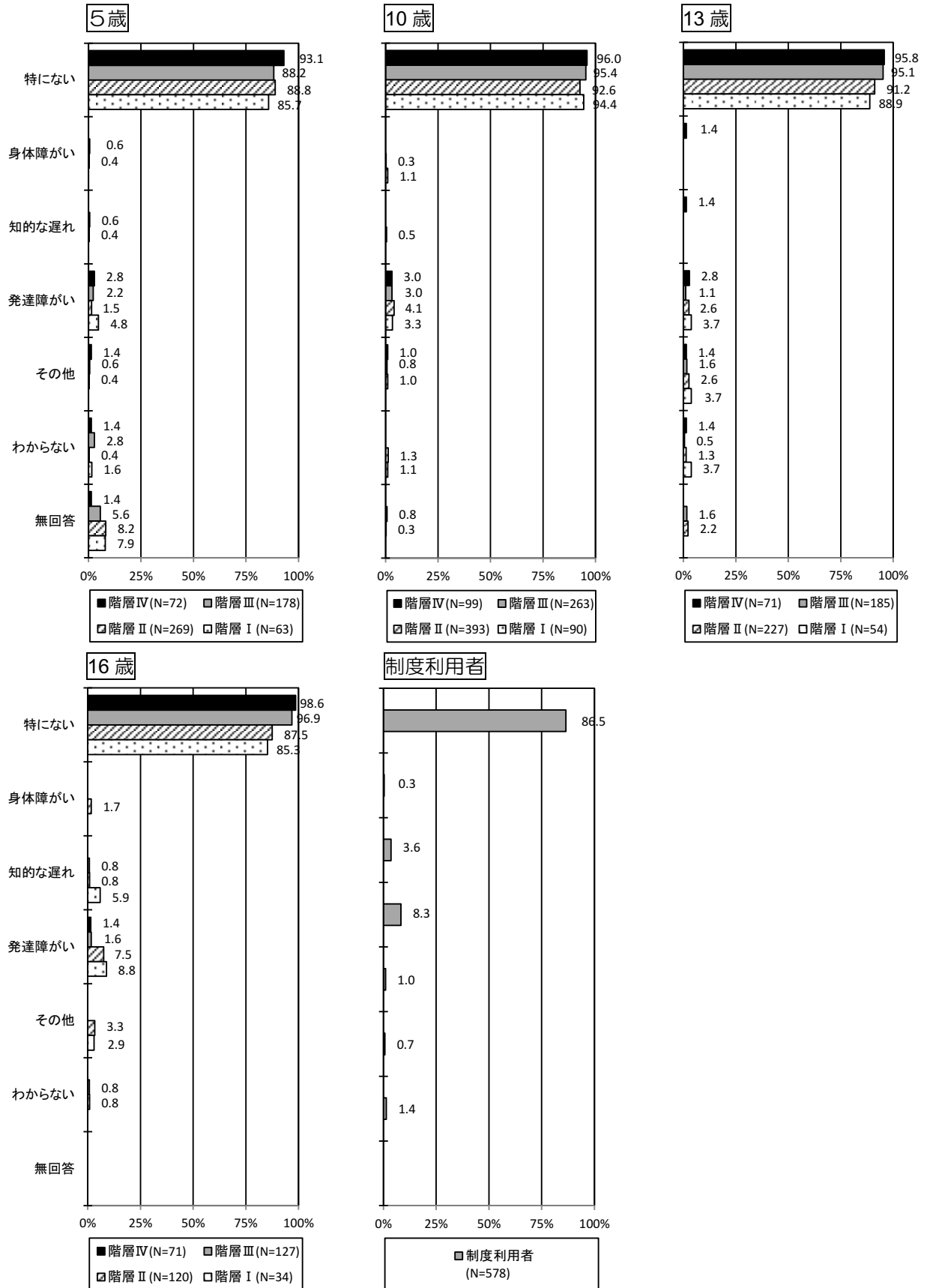


制度利用者



健康状態について、どの年齢も、9割以上が「よい」となっています。階層別に見ると、階層が低くなるにしたがって健康ではないという人が増えています。特に13歳と16歳の階層Ⅰが普通と答えている人が増加しています。

問 12-⑤ 障がい等の有無※ 経過観察を含む



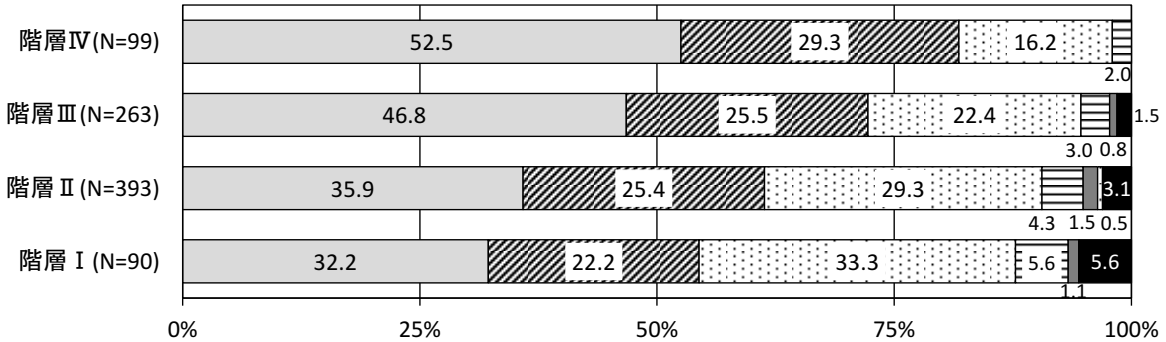
どの年齢も、階層が低くなるにしたがって、障がいは「特にない」が低くなっています。障がいが高いものは、「発達障がい」となっています。

問 12-⑥ 学校等での勉強全般

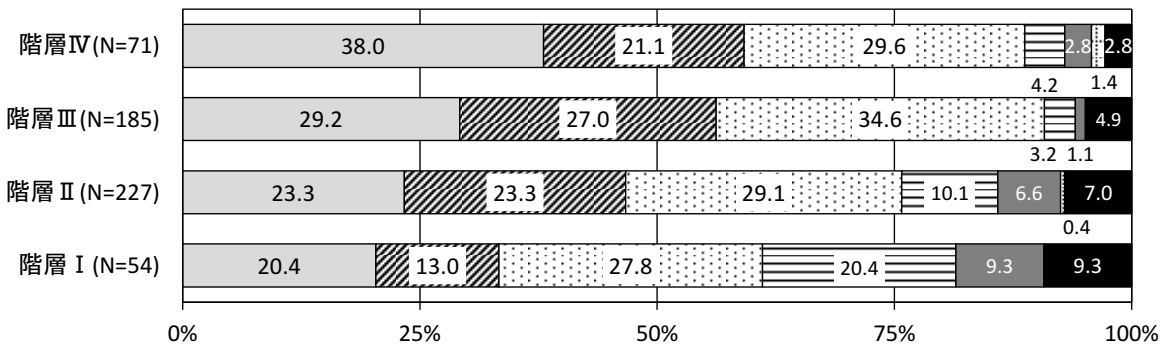
5歳

※小学生以上に対する問のため、回答は不要。

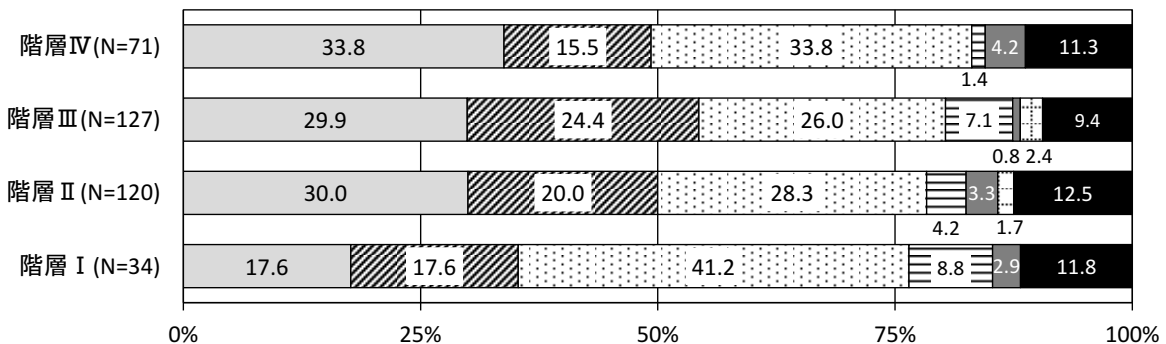
10歳



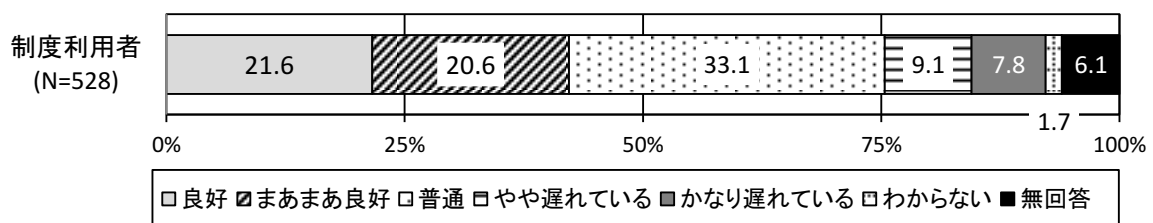
13歳



16歳



制度利用者



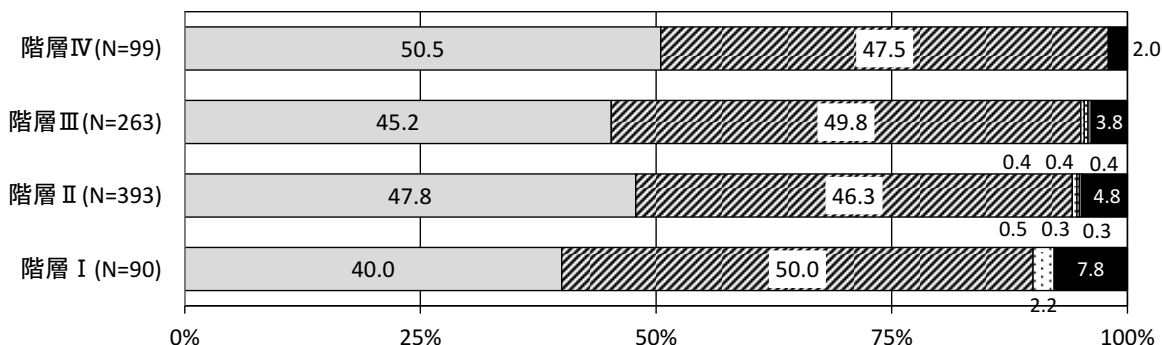
学校等での勉強全般についてみると、全ての年齢で階層が低くなるにしたがって「良好」が低くなっています。また、全ての年齢で階層が低くなるにしたがって「やや遅れている」が高くなっています。

問 12-⑦ 前の学年のときに、夏休みなどの長期休み以外で、学校を休んだ経験の有無

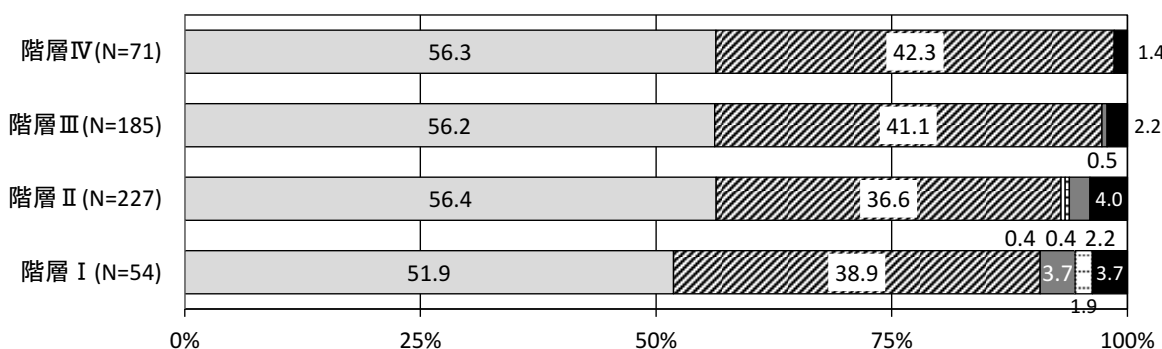
5歳

※小学生以上に対する問のため、回答なし。

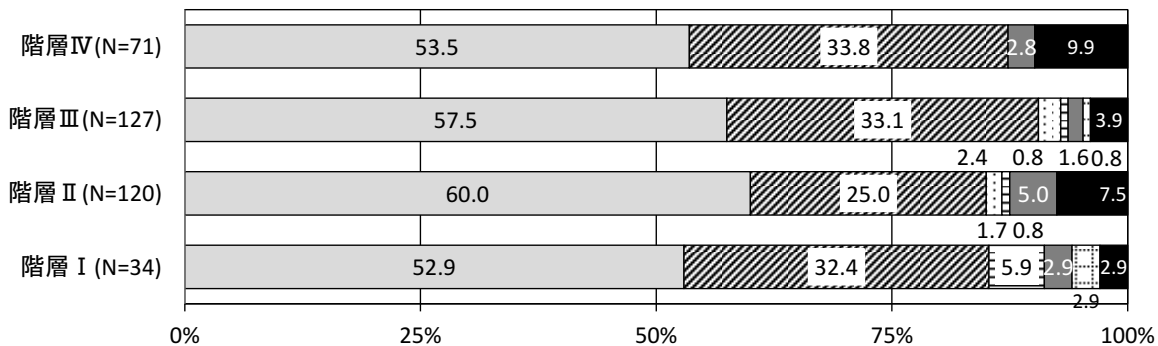
10歳



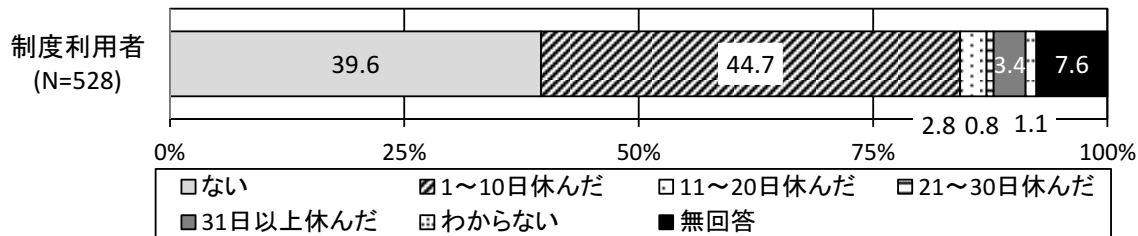
13歳



16歳



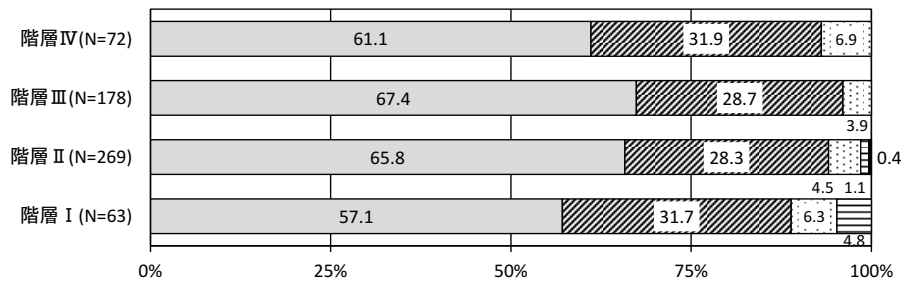
制度利用者



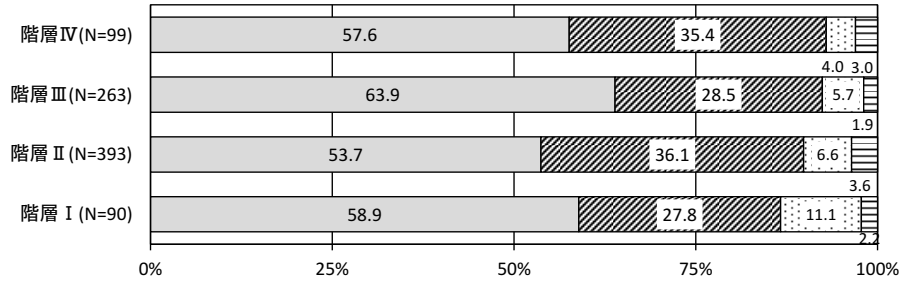
長期休み以外に休んだ日数についてみると、休んだことがないという人は、どの階層の差はありませんが、13歳、16歳の階層が低くなるにしたがって31日以上休んだ人が高くなっています。

問 13 お子さんは、普段（月曜日～金曜日）、朝決まった時間に起きられますか。【支援制度 問9】

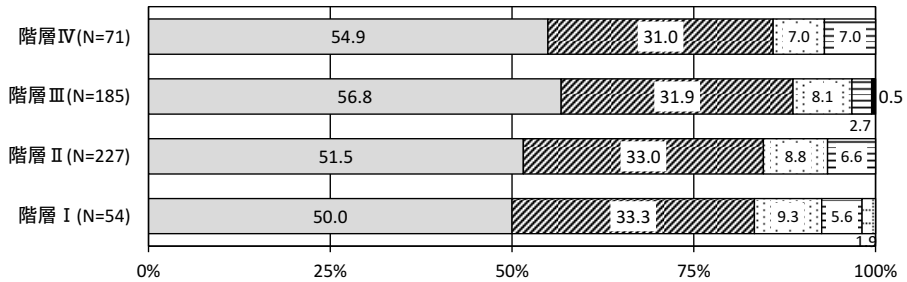
5歳



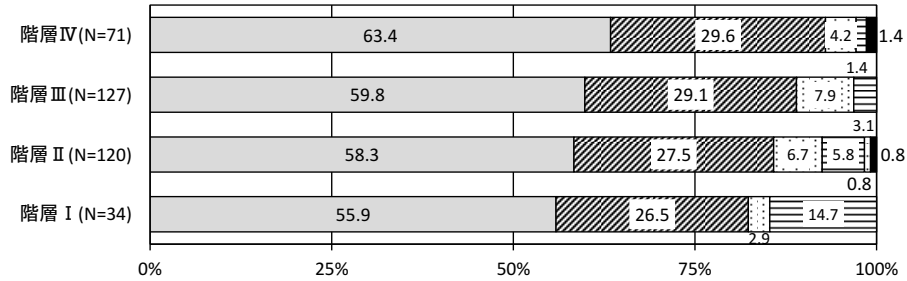
10歳



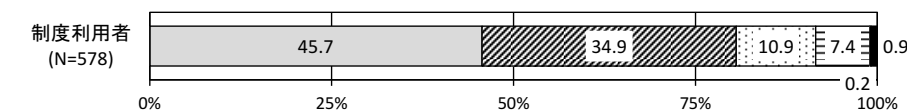
13歳



16歳



制度利用者



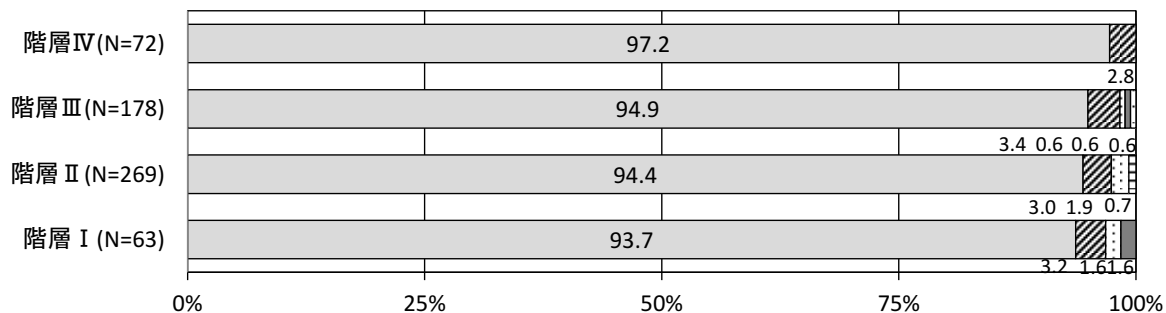
□ 起きられる ▨ どちらかといえば起きられる □ どちらかといえば起きられない
 ▩ 起きられない ▤ わからない ■ 無回答

普段朝決まった時間に起きられるかについてみると、10歳、16歳で「起きられる」「どちらかという起きられる」が、階層が低くなるにしたがって、やや低くなっています。

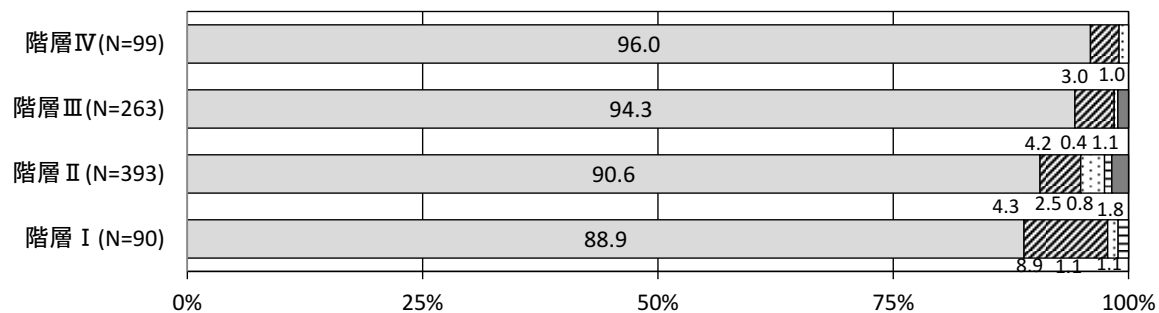
問 14-1 朝食についておたずねします。お子さんは、週にどのくらい朝食を食べていますか。

【制度利用 問 10】

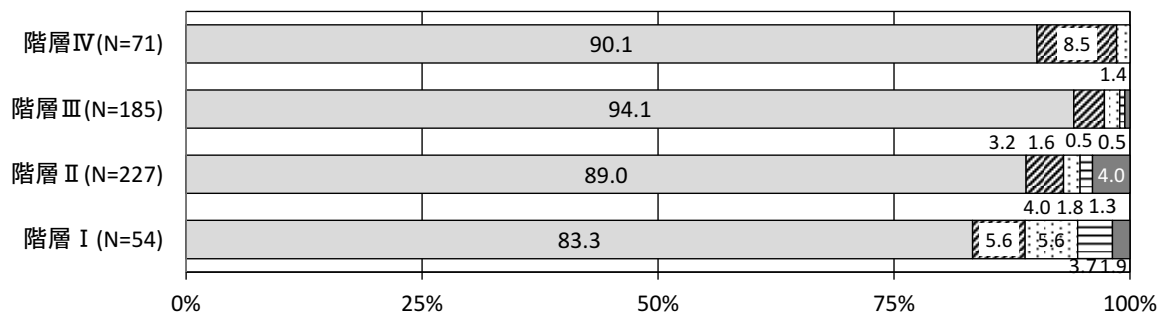
5歳



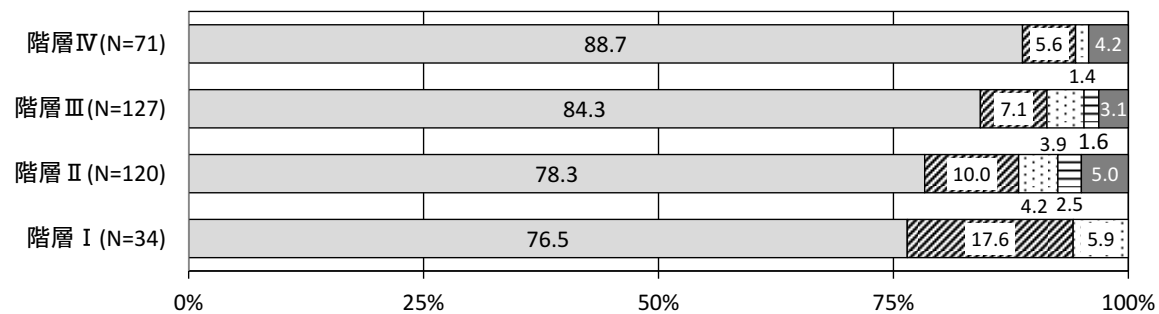
10歳



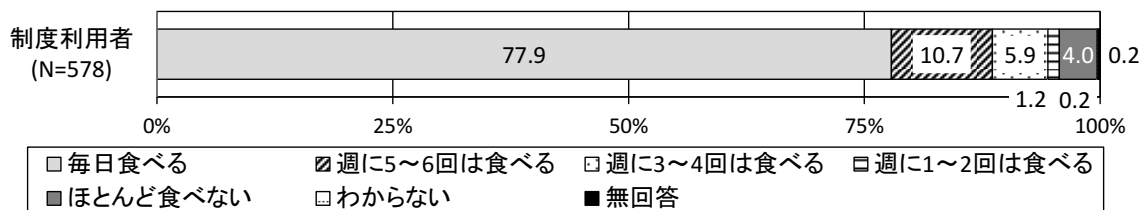
13歳



16歳



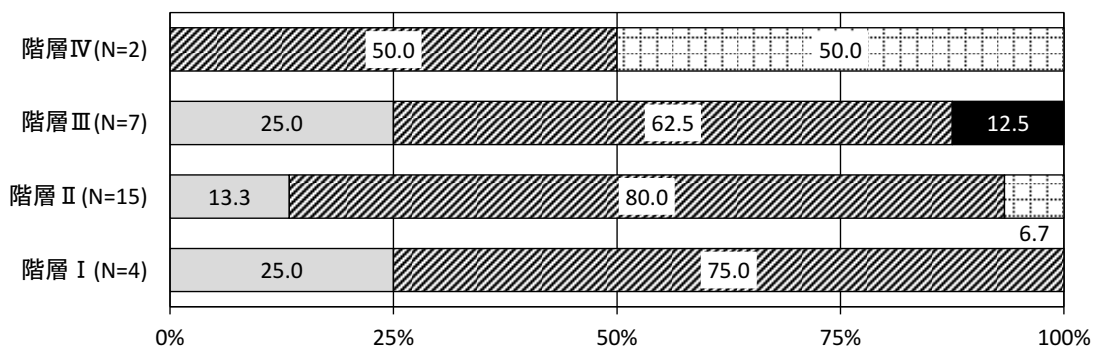
制度利用者



朝食を食べる頻度についてみると、すべての年齢で、階層が低くなるにしたがって、「毎日食べる」がやや低くなっています。

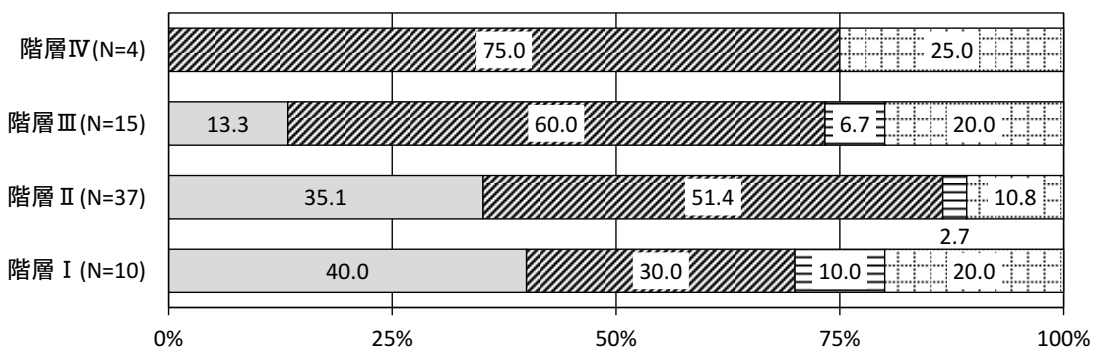
問 14-2 問 14-1 で「2」～「5」に○をつけた方におたずねします。お子さんが朝食を食べない時)、その理由はなんですか。【制度利用 問 10】

5歳

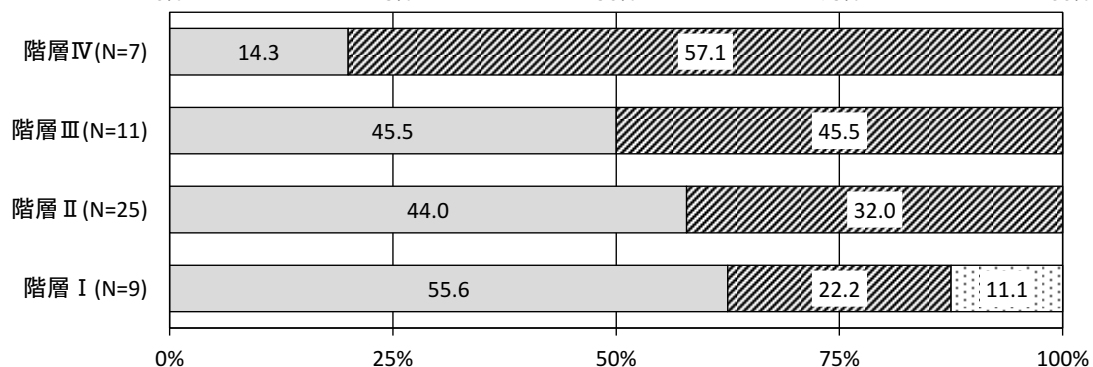


※階層Ⅳで、「時間がない」「作っていない」「食べる習慣がない」「無回答」がなかった。

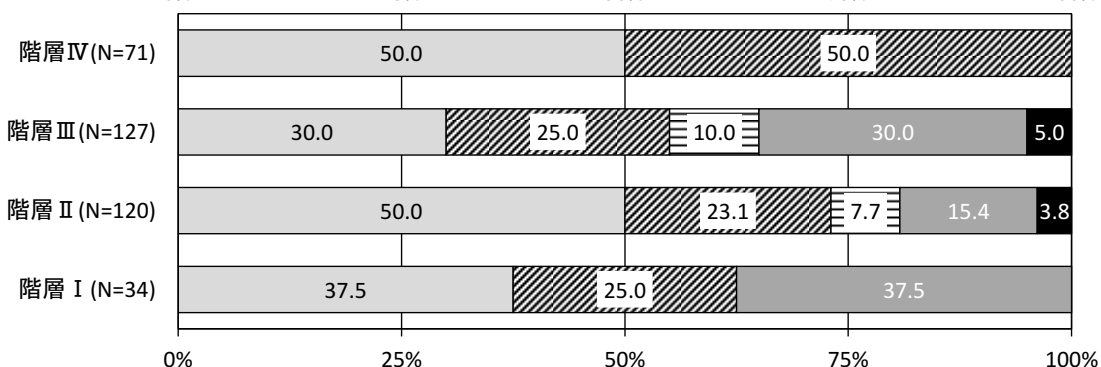
10歳



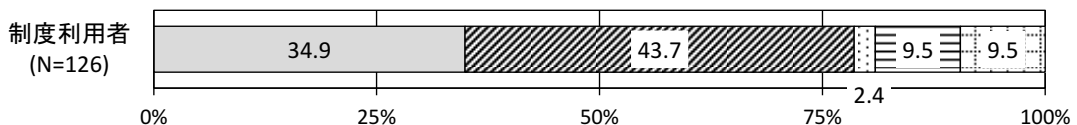
13歳



16歳



制度利用者

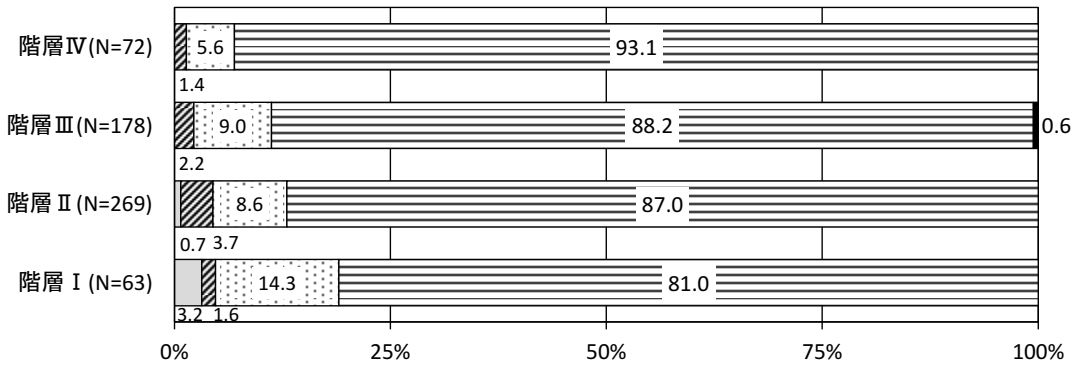


□時間がない □お腹がすいていないと子どもが言う □作っていない □食べる習慣がない □その他 ■無回答

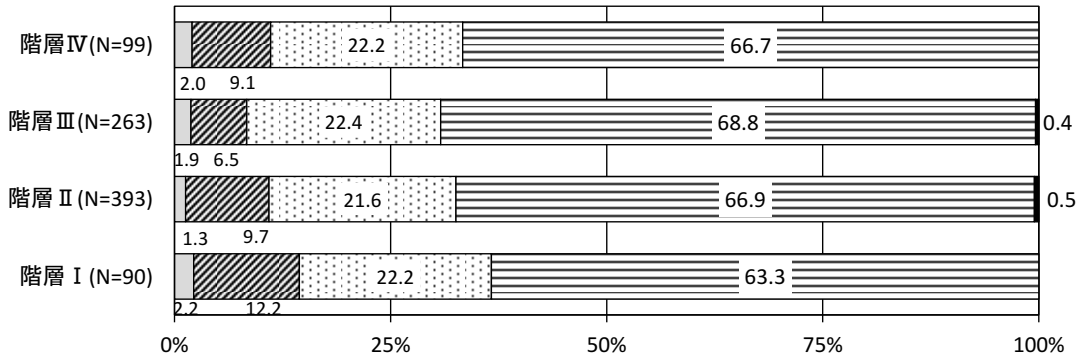
朝食を食べない理由についてみると、回答者数に対して、朝食を食べない人は少ないですが、その中では、階層が低くなるにしたがって時間がないという回答が高くなっています。

問 15 普段、お子さんだけで夕ごはんを食べることがありますか。【制度利用 問 11】

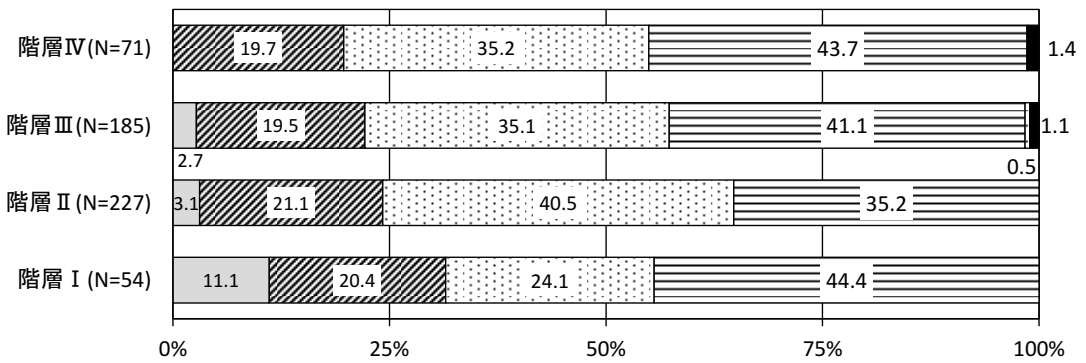
5歳



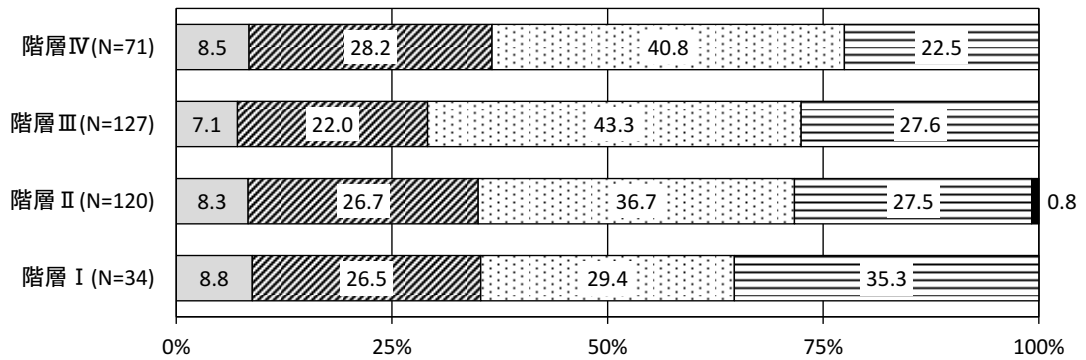
10歳



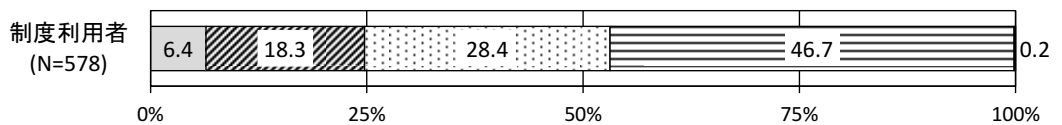
13歳



16歳



制度利用者



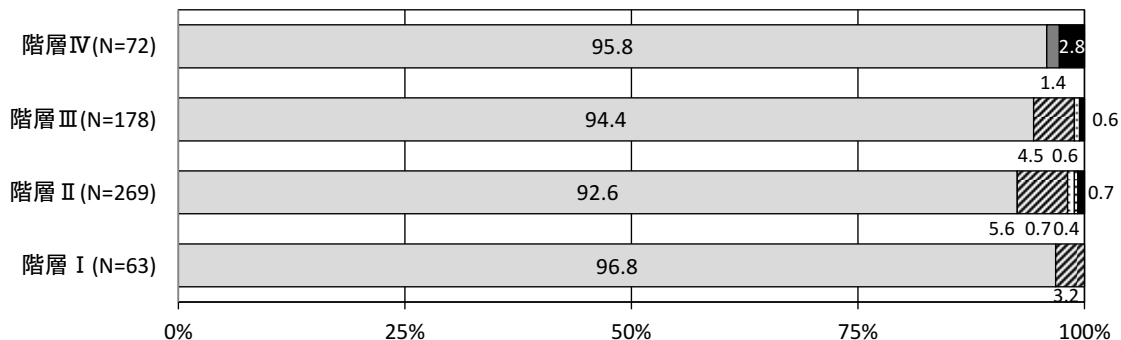
□よくある ▨ときどきある □ほとんどない ◻まったくない ◻わからない ■無回答

普段子どもだけで夕ごはんを食べるかについてみると、年齢が上がるにしたがって、また、階層が低くなるにしたがって、「よくある」「ときどきある」の回答が高くなっています。

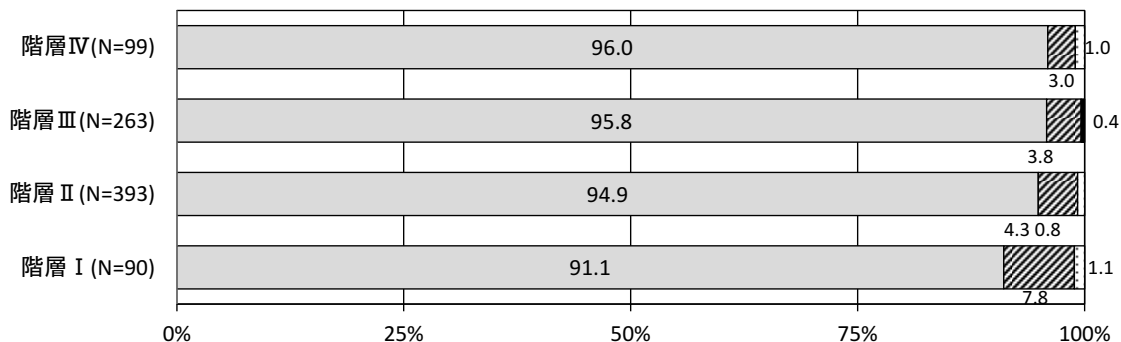
問 16 お子さんは、1週間にお風呂(シャワーのみの場合も含む)にどれくらい入っていますか。

【制度利用 問 12】

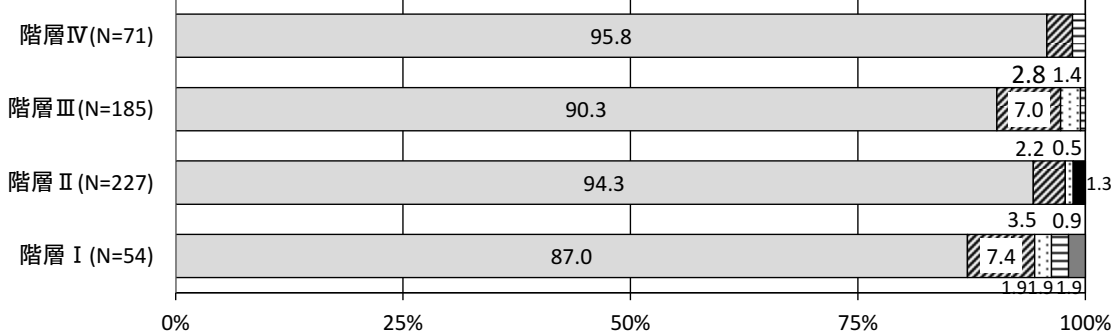
5歳



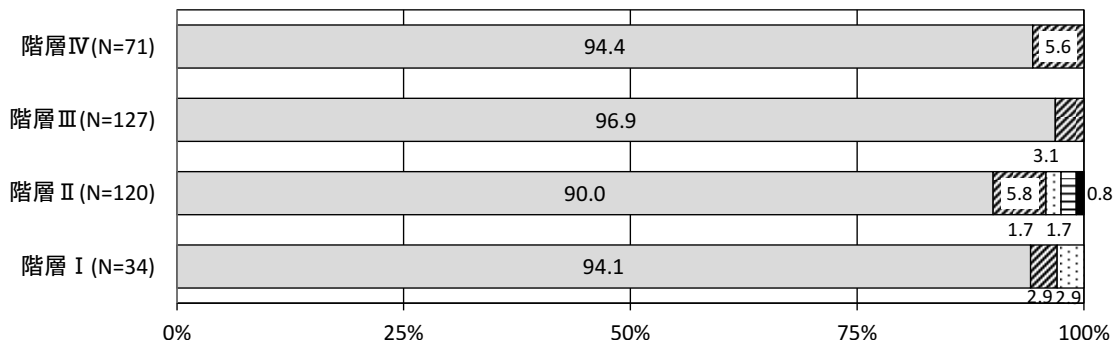
10歳



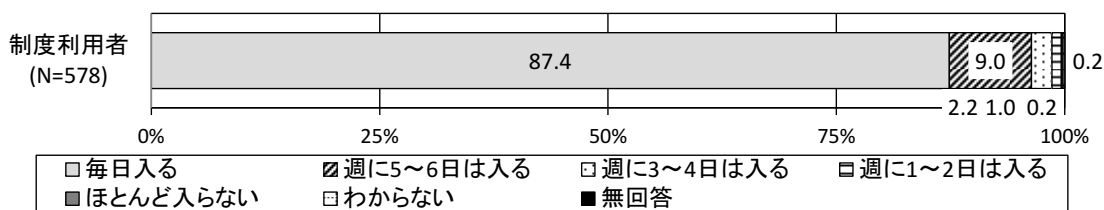
13歳



16歳



制度利用者

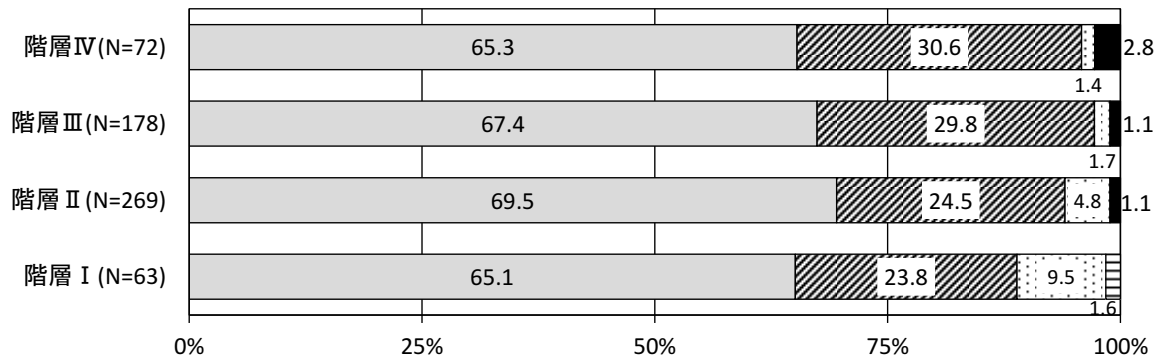


1週間にお風呂に入る頻度についてみると、ほとんどの子が毎日入ると回答していますが、10歳、13歳、16歳の一部並びに制度利用者の1割未満の子は「週5~6日は入る」という人が高くなっています。

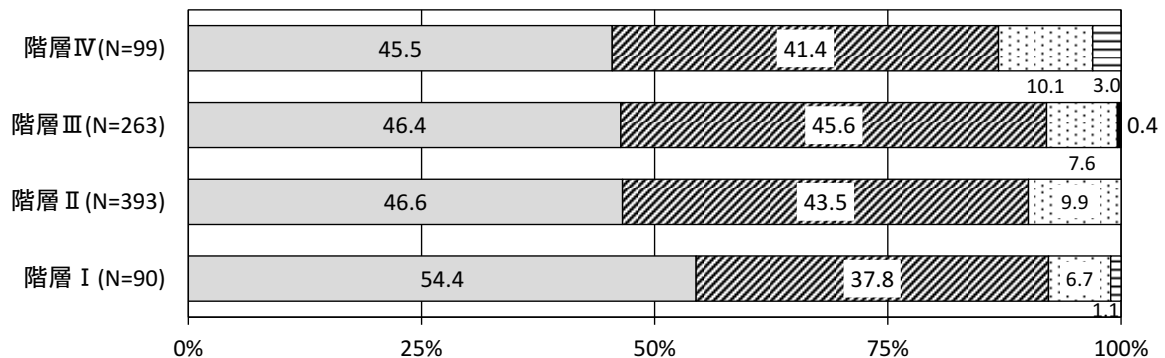
問 17 あなたの世帯では、次のようなことがどれくらいありますか。

問 17-1 家族で買い物に出かけること

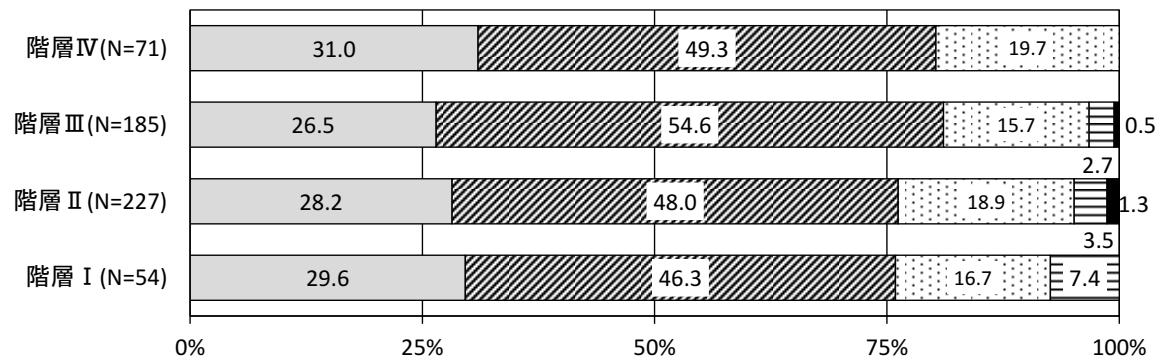
5歳



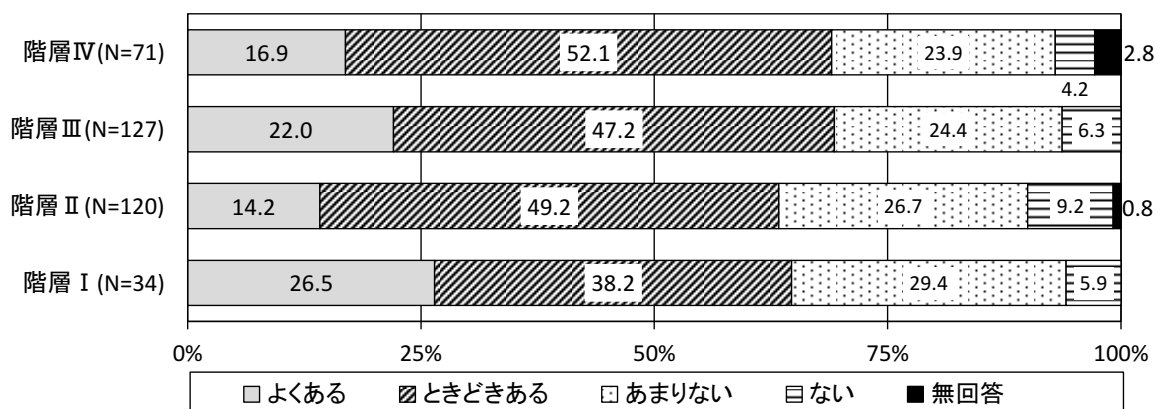
10歳



13歳



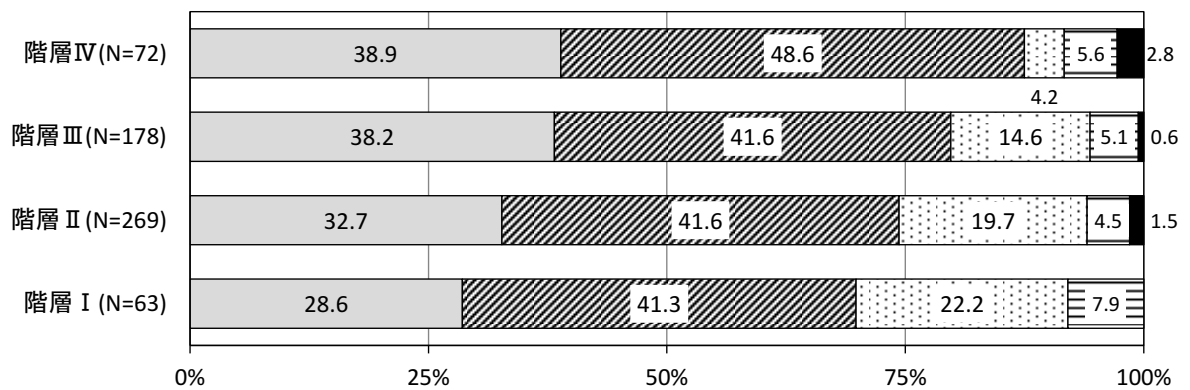
16歳



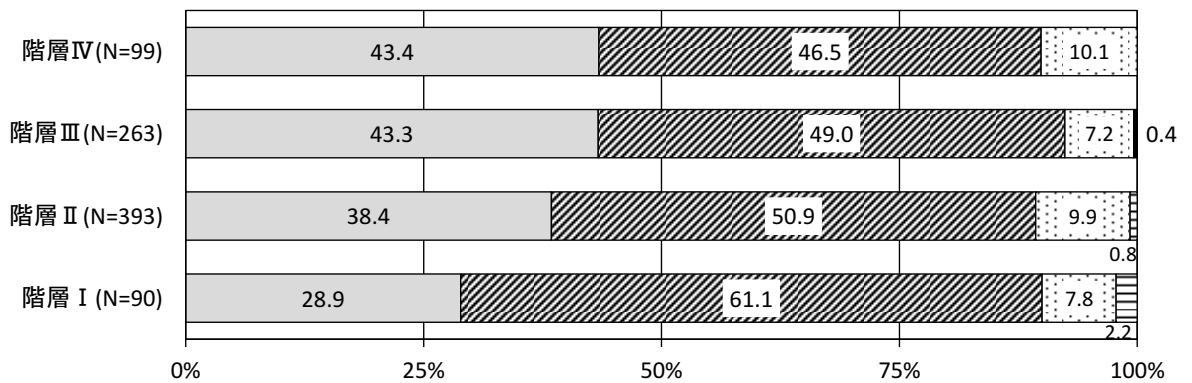
家族で買い物に出かける頻度についてみると、全ての階層で、年齢が上がるにしたがって、「よくある」「ときどきある」が低くなっています。

問 17-2 お子さんに勉強を教えること

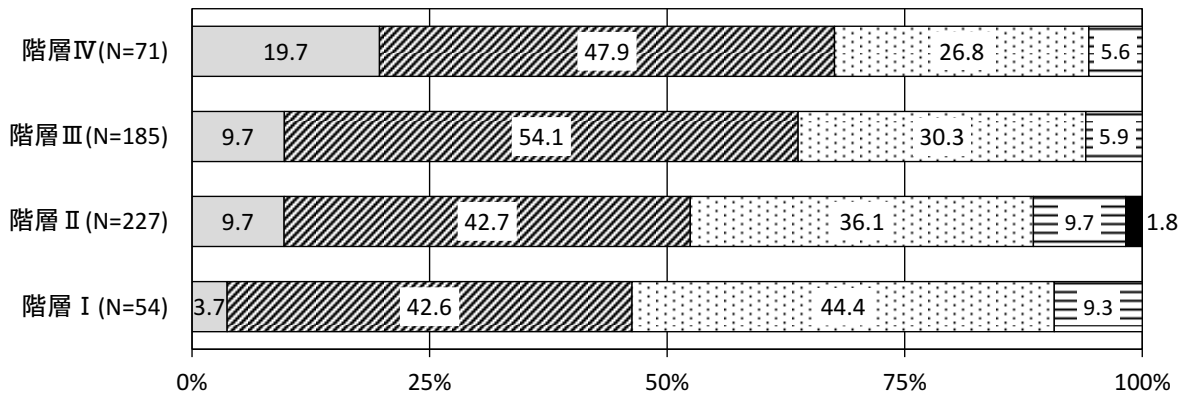
5 歳



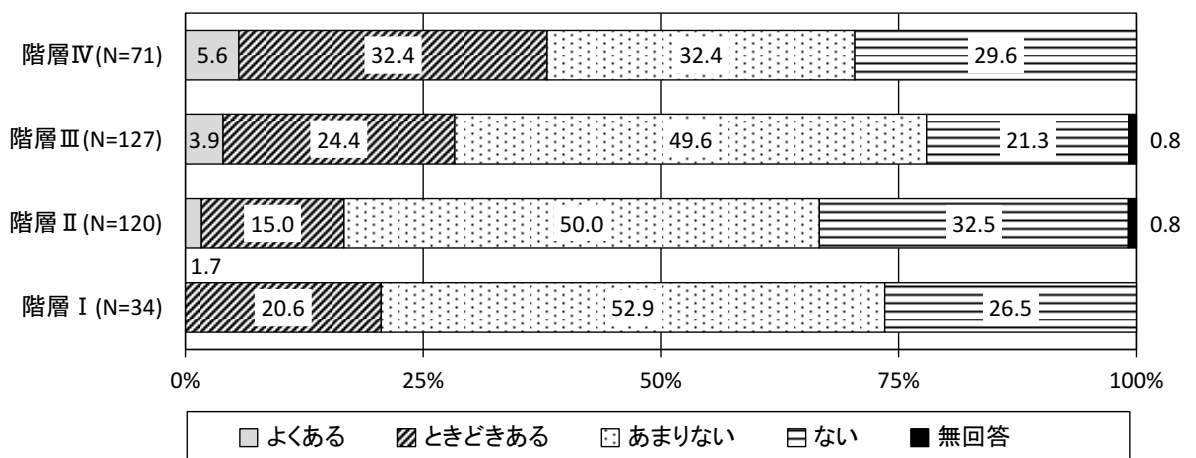
10 歳



13 歳



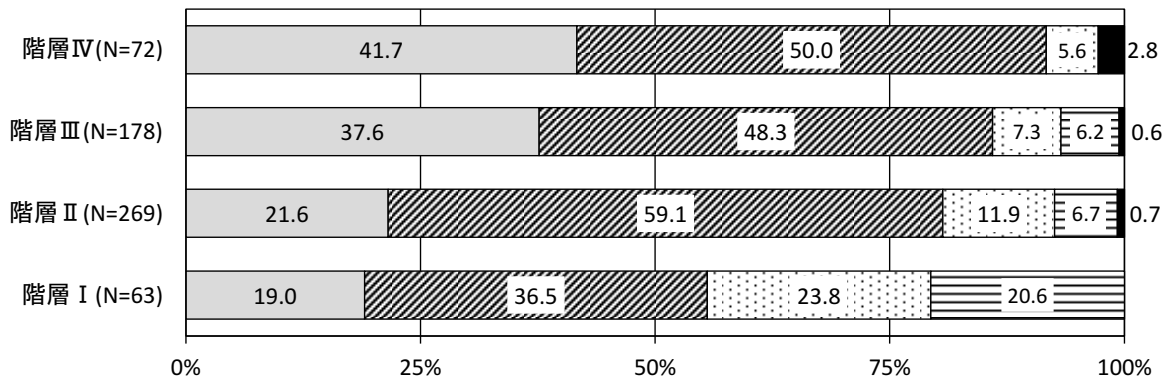
16 歳



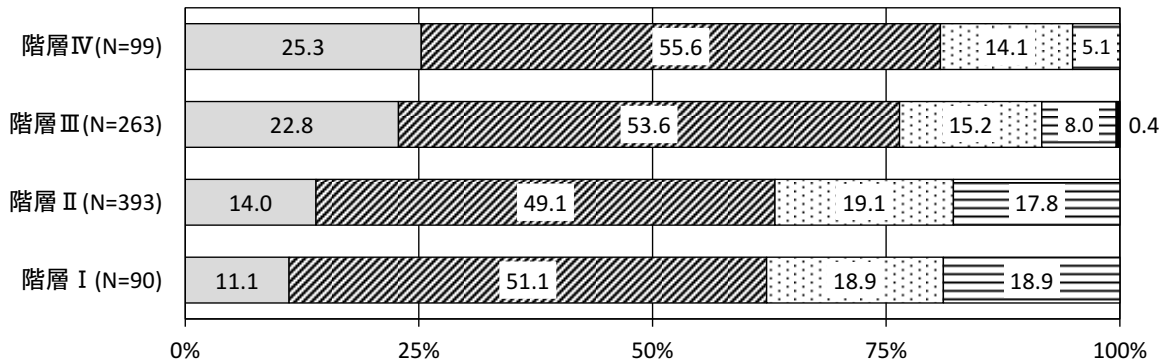
子どもに勉強を教える頻度についてみると、いずれの年齢についても、階層が低くなるにしたがって、「よくある」は低くなっています。16歳では、すべての階層で1割を下回っています。

問 17-3 家族で外食すること

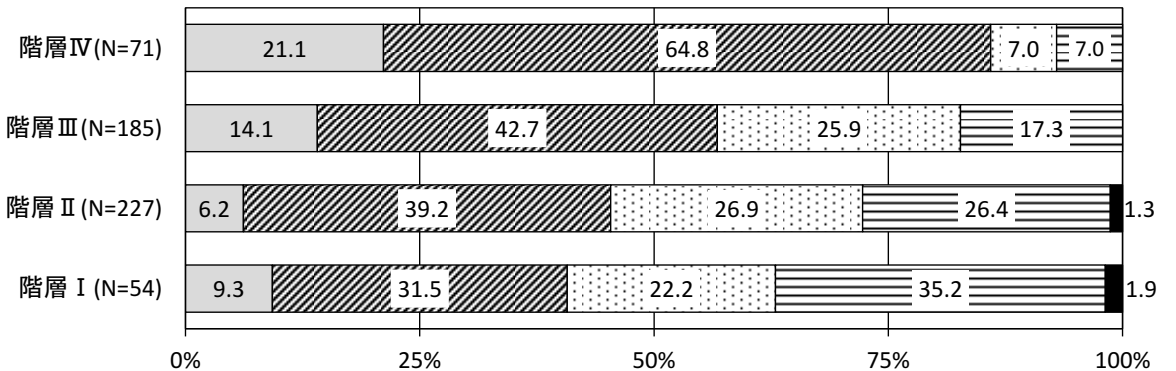
5 歳



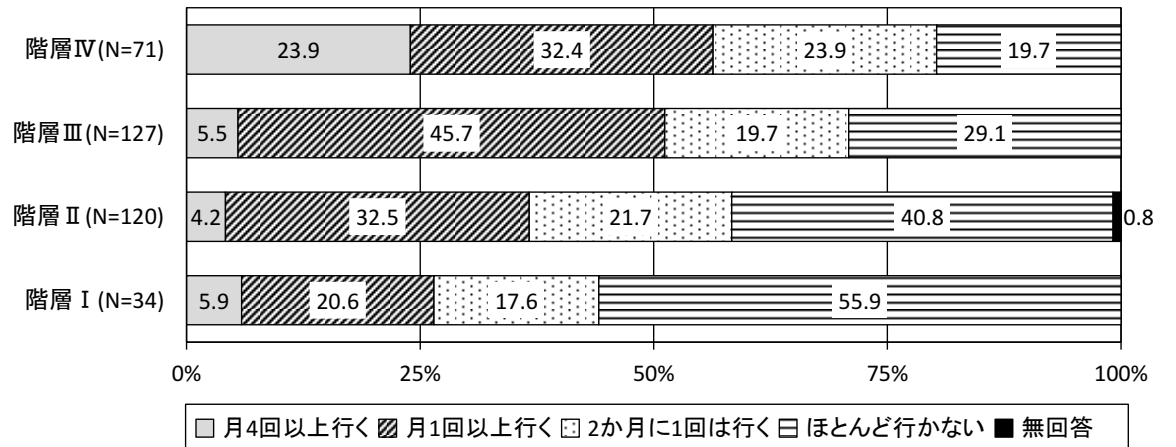
10 歳



13 歳

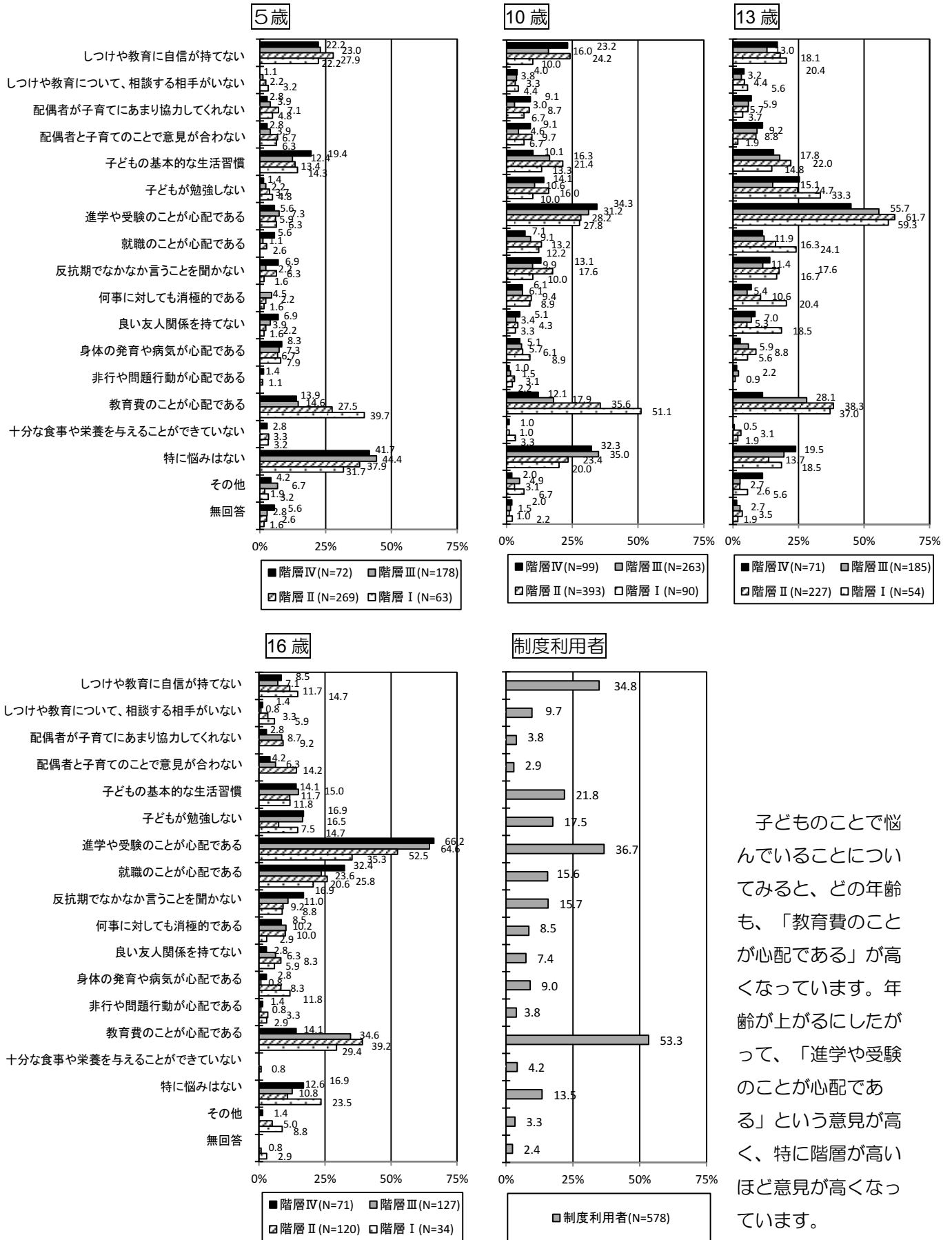


16 歳



家族で外食する頻度についてみると、いずれの年齢についても、階層が低いほど「ほとんど行かない」が高くなっています。

問 18 お子さんのことについて、現在悩んでいることはありますか。【制度利用 問 13】(MA)

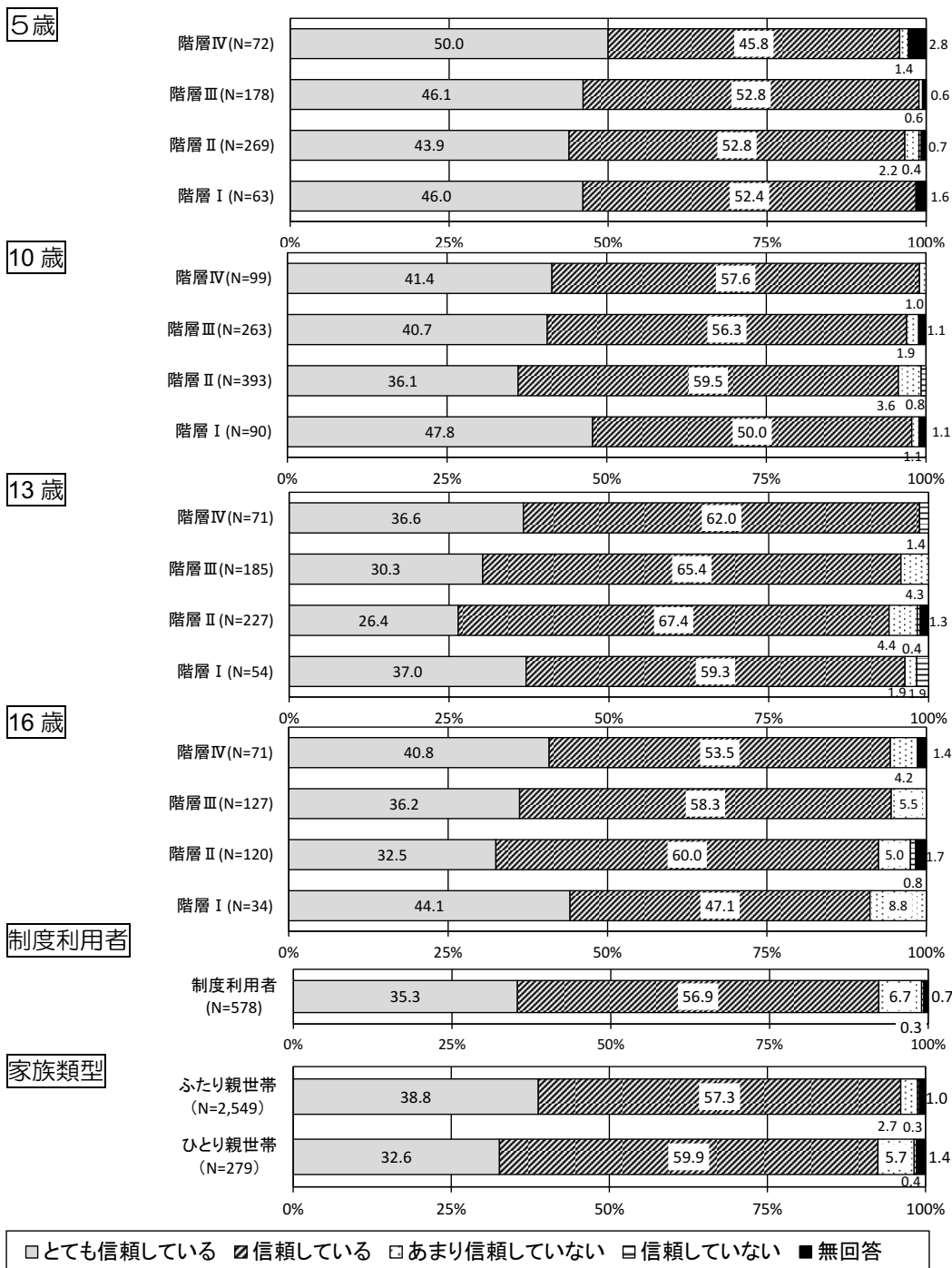


子どものことで悩んでいることについてみると、どの年齢も、「教育費のことが心配である」が高くなっています。年齢が上がるにしたがって、「進学や受験のことが心配である」という意見が高く、特に階層が高いほど意見が高くなっています。

問 19 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

【制度利用 問 14】

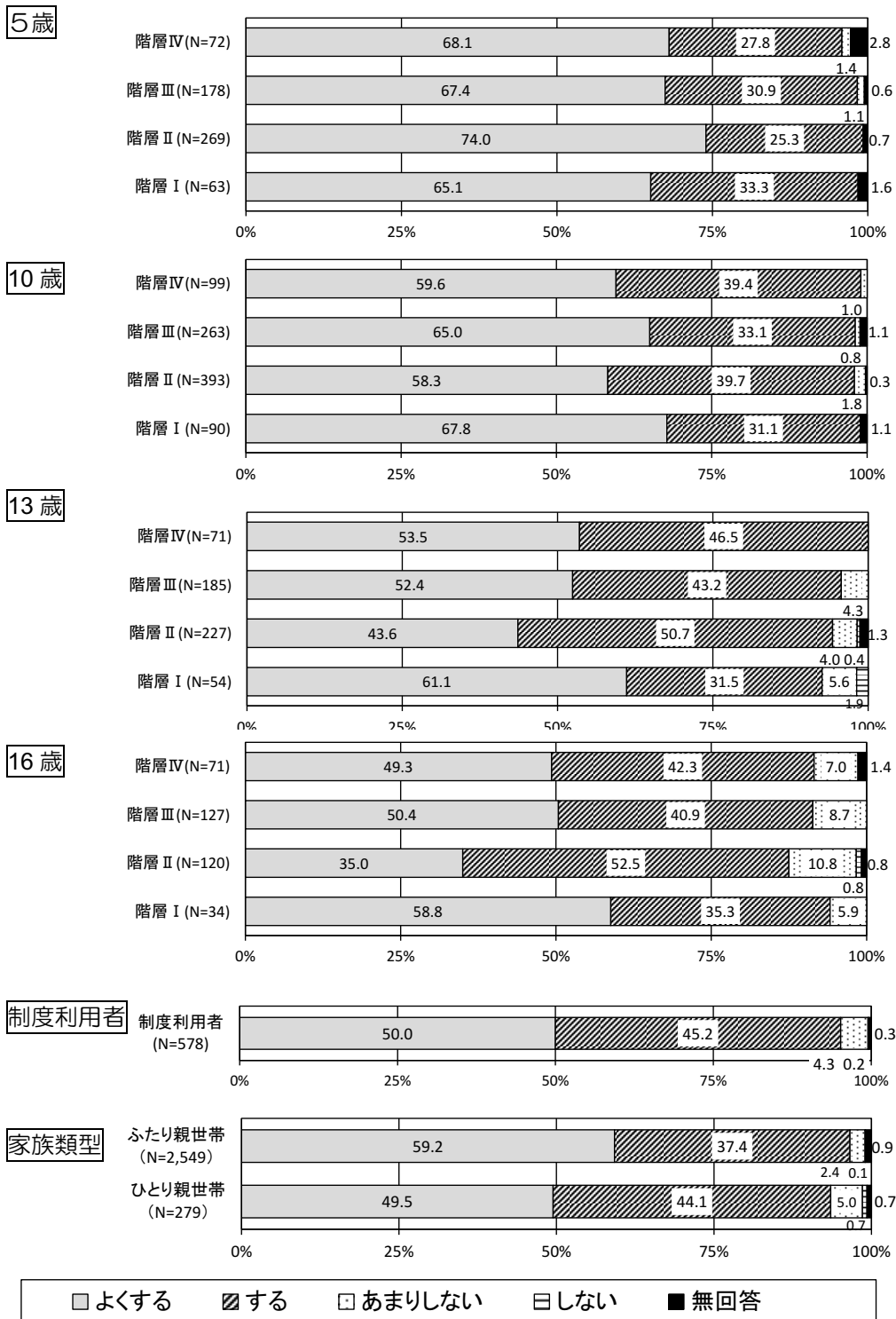
問 19-1 あなたは、お子さんを信頼していますか。【制度利用 問 14-(1)】



子どもを信頼しているかについてみると、お子さんのことを信頼しているは、年齢が上がるにしたがって、また階層が下がるにしたがって、「とても信頼している」は若干減少傾向にあります。一方、10~16歳の階層Ⅰの人は、他の階層に比べ、信頼度が高くなっています。

また、信頼しているを加えると全体で9割以上となっています。

問 19-2 あなたは、お子さんとよく会話をしますか。【制度利用 問 14-(2)】



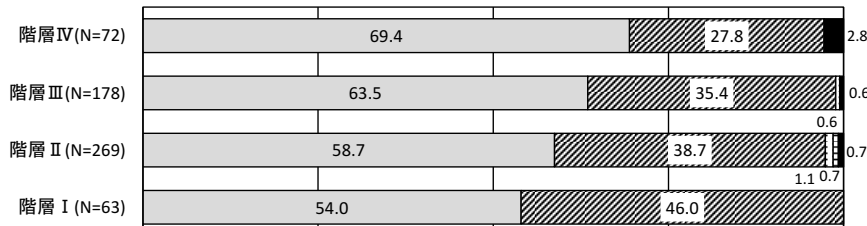
子どもと会話する頻度についてみると、どの年齢もどの階層も、半数以上の人親子で会話を「よくする」と回答しており、「する」を含めると9割以上となっています。

10～16歳の階層Ⅰの子どもは、「会話をよくする」が他の階層に比べて、高い傾向にあります。

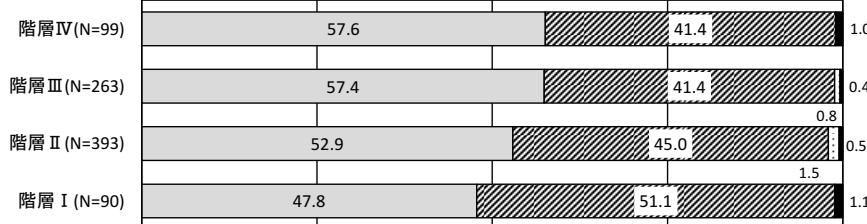
問 19-3 お子さんとの関わりの中で、家庭で心がけていることについてそれぞれお答えください。【制度
利用 問 14-(3)】

問 19-3 ① 規則正しい生活習慣を身につけさせる

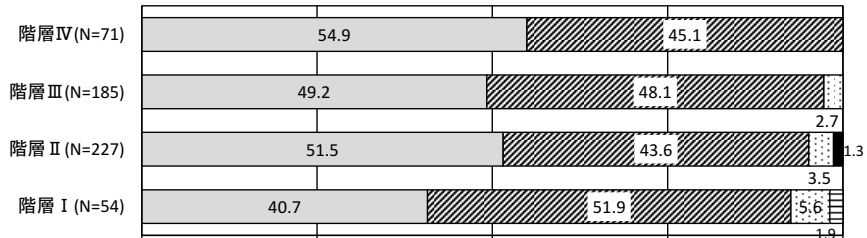
5歳



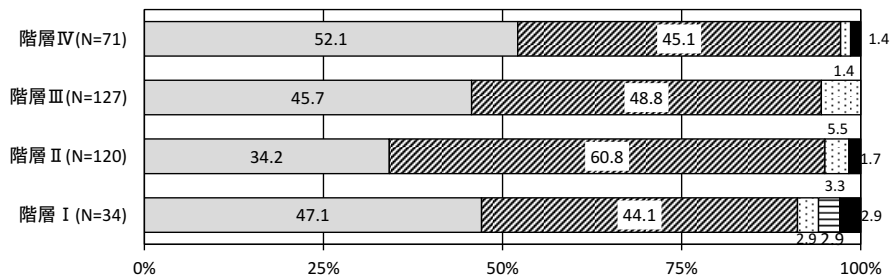
10歳



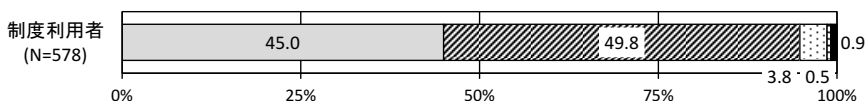
13歳



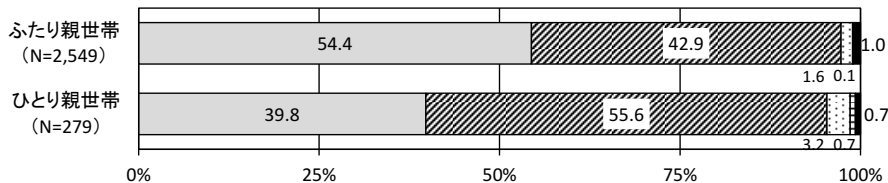
16歳



制度利用者



家族類型



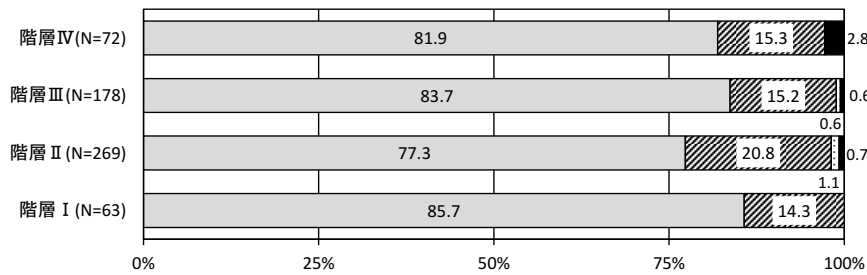
□よく心がけている ▨まあまあ心がけている □あまり心がけていない
 ◻まったく心がけていない ■無回答

※13歳の階層Ⅳは「あまり心がけていない」以降の回答、階層Ⅲは「まったく心がけていない」以降の回答はない。

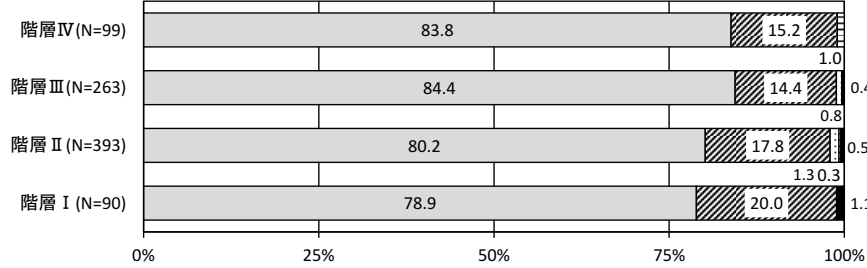
規則正しい生活習慣を身につけさせることを心がけているかについてみると、各年齢において、階層が低くなるにしたがって、規則正しい生活習慣を「よく心がけている」は低くなっています。また、ひとり親世帯においても、ふたり親世帯に比べ「よく心がけている」は低くなっています。

問 19-3 ② 毎日、食事(特に朝食)を食べさせる

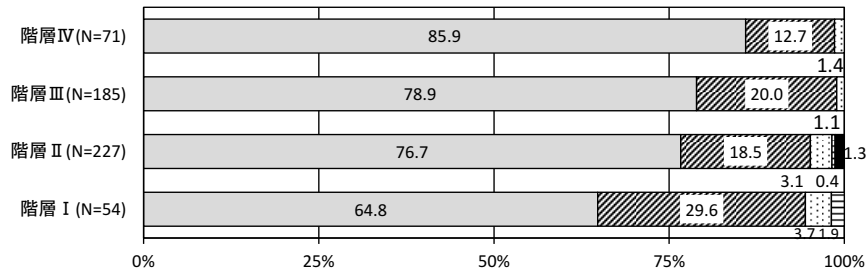
5歳



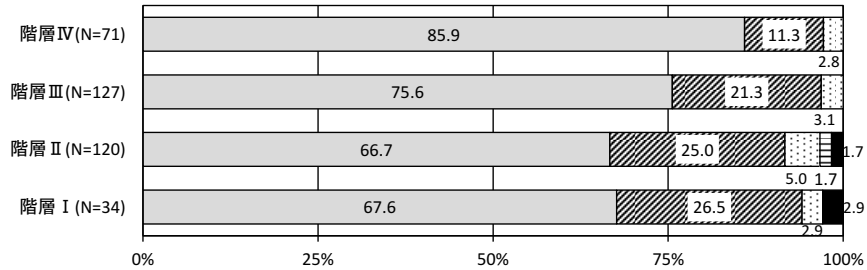
10歳



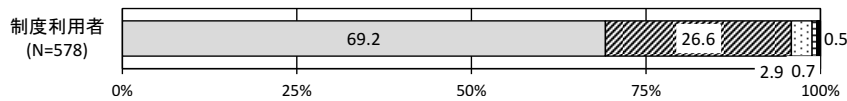
13歳



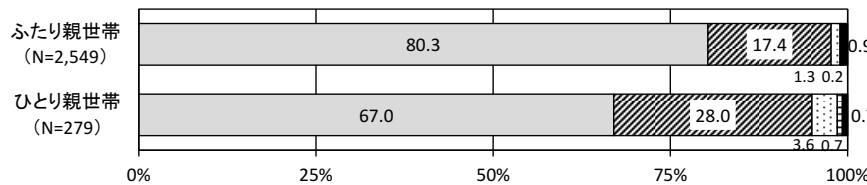
16歳



制度利用



家族類型



各年齢で、毎日、食事(特に朝食)を食べさせることを「よく心がけている」のは階層Ⅱまでは8割を超えていますが、13歳、16歳、制度利用者、ひとり親世帯については、他の層に比べると少ない状況にあります。